

第 6 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査報告書

平成 26 年 12 月

幕 別 町

<目 次>

第1編 アンケート調査について

1 調査の目的	1
2 調査の実施	1
3 報告書の見方	2

第2編 調査結果

1 介護予防生活実態調査

(1) あなたの家族や生活状況について

問1 家族構成	3
問1-1 同居者	
(1) 何人暮らし	3
(2) 同居者	4
問1-2 日中独居	4
問2 介護・介助の必要性	5
問2-1 介護・介助が必要になった原因	5
問2-2 主な介護・介助者	6
問2-3 介護・介助者の年齢	6
問3 年金の種類	7
問4 現在の暮らし	7
問5 住まい	8
問6 持家・賃貸	8
問7 主に生活する部屋	9
問7-1 エレベーターの有無	9

(2) 運動・閉じこもりについて

問1 階段の昇降	10
問2 椅子からの立ち上がり	10
問3 歩行時間	11
問4 歩行距離	11

問 5	外出頻度	12
問 6	外出の減少	12
問 7	外出控え	13
問 7-1	外出控えの理由	13
問 8	買物、散歩の頻度	
	(1) 買物の頻度	14
	(2) 散歩の頻度	14
問 9	移動手段	15
(3) 転倒予防について		
問 1	転倒の経験	16
問 2	転倒の不安	16
問 3	姿勢	17
問 4	歩行速度	17
問 5	杖の利用	18
(4) 口腔・栄養について		
問 1	体重の減少	19
問 2	身長・体重	19
問 3	固いものが食べにくくなった	20
問 4	むせること	20
問 5	口の渇き	21
問 6	歯磨き	21
問 7	歯科受診	22
問 8	入れ歯	22
問 8-1	入れ歯の噛み合わせ	23
問 8-2	入れ歯の手入れ	23
問 9	食事回数	24
問 10	食事を省くこと	24
問 11	他人と食事をする機会	25

問 11-1 食事をともにする人	25
------------------	----

(5) 日常生活について

問 1 バスや汽車による外出	26
問 2 日用品の買物	26
問 2-1 主に日用品の買物をする人	27
問 3 食事の用意	27
問 3-1 主に食事の用意をする人	28
問 4 請求書の支払い	28
問 5 預貯金の出し入れ	29
問 6 食事	29
問 7 寝床までの介助	30
問 8 座っていただけるか	30
問 9 洗面や歯磨き	31
問10 トイレ	31
問11 入浴	32
問12 歩行	32
問13 階段の昇降	33
問14 着替え	33
問15 大便の失敗	34
問16 尿もれや尿失禁	34
問17 家事全般	35

(6) 物忘れについて

問 1 物忘れ	36
問 2 電話番号の検索	36
問 3 月日の把握	37
問 4 5 分前の記憶	37
問 5 活動の判断	38
問 6 考えの伝達	38

(7) 社会参加について

問 1	書類の記入	39
問 2	新聞を読んでいる	39
問 3	本や雑誌を読んでいる	40
問 4	健康への関心	40
問 5	友人宅への訪問	41
問 6	相談を受けている	41
問 7	病人の見舞い	42
問 8	若い人に話かけること	42
問 9	趣味	43
問10	生きがい	43
問11	団体活動の頻度	
問11-①	ボランティアグループ	44
問11-②	スポーツのグループ	44
問11-③	趣味のグループ	45
問11-④	老人クラブ	45
問11-⑤	町内会・自治会	46
問11-⑥	学習・教養サークル	46
問11-⑦	その他の団体や会	47
問12	社会活動・仕事の頻度	
問12-①	見守りが必要な高齢者の支援活動	47
問12-②	介護が必要な高齢者の支援活動	48
問12-③	子供を育てている親の支援活動	48
問12-④	地域の生活環境の改善活動	49
問12-⑤	収入のある仕事	49
問13	まわりの人とのたすけあい	
問13-①	心配事や愚痴を聞いてくれる人	50
問13-②	心配事や愚痴を聞いてあげる人	50
問13-③	看病や世話をしてくれる人	51

問13-④ 看病や世話をしあける人	51
問14 相談相手	52
問15 友人関係	
問15-① 友人・知人と会う頻度	52
問15-② この1か月に会った人数	53
問15-③ 友人・知人との関係	53

(8) 健康について

問1 健康状態	54
問2 現在の治療や後遺症	54
問3 服薬	55
問4 通院状況	55
問4-1 通院頻度	56
問4-2 通院介助	56
問5 在宅サービスの利用	57
問6 飲酒	57
問7 喫煙	58
問8 生活の充実感	58
問9 楽しんでいたことが、楽しめなくなった	59
問10 以前は出来ていたことが、おっくうに感じる	59
問11 自分が役に立つ人間だと思えない	60
問12、 わけもなく疲れた感じがする	60

(9) 介護保険制度について

問1 将来の介護の希望先	61
問2 介護保険料の負担	61
問3 今後の介護保険料とサービスの在り方	62
○自由意見・要望	62

2-1	介護保険利用状況実態調査（在宅サービス利用者：要支援1・2、要介護1）	
問1	回答者	64
問2	性別	64
問3	年齢	65
問4	居住地域	65
問5	要介護度	66
問6	世帯構成	66
問7	ふだん主に介護されている方	67
問8	介護者の居住先	67
問9	心身の状況	68
問10	生活志向	68
問11	日常生活の動作	
	（1）歩行	69
	（2）食事	69
	（3）トイレ	70
	（4）入浴	70
問12	毎日の生活行動	71
問13	通院	
	（1）通院状況	72
	（2）通院回数	72
問14	入院の経験	73
問15	転倒の経験	73
問16	体重の減少等	74
問17	外出回数	74
問17-1	外出しない理由	75
問18	行動範囲	75
問19	趣味・楽しみ・好きでやっていること	76
問20	足の指や爪の痛み	76
問21	立ち上がり、歩行に対するつらさ	77
問22	食欲減退等	77

問23	歯みがき、入れ歯の清掃	78
問24	介護サービスの満足度	78
問25	(介護予防)訪問介護サービスの利用内容	79
問26	(介護予防)通所介護サービスの利用内容	79
問27	(介護予防)サービス利用後の変化	80
問28	介護サービスを利用していない理由	80
問29	今後の介護サービスの利用	81
問30	地域密着型サービスの利用意向	81
問31	介護保険料の負担	82
問32	介護サービスの利用者負担額（1割）の負担	82
問33	介護保険料と介護サービスの在り方	83
問34	今後の介護の希望先	83
問35	在宅での生活を続けるために必要なサービス、支援等	84
	○自由意見・要望	85

(介護者に対する調査)

問37	介護者	
	(1) 性別	86
	(2) 年齢	86
問38	困っていること	87
問39	介護に対する希望	87
問40	相談相手	88
問41	在宅介護が難しい理由	88
問42	在宅介護に必要なこと	89
問43	1日の介護に要する時間	89
	○自由意見・要望	90

2-2 介護保険利用状況実態調査（在宅サービス利用者：要介護2以上）

問1	回答者	91
問2	性別	91
問3	年齢	92

問 4	居住地域	92
問 5	要介護度	93
問 6	世帯構成	93
問 7	ふだん主に介護されている方	94
問 8	介護者の居住先	94
問 9	心身の状況	95
問10	生活志向	95
問11	日常生活の動作	
	(1) 歩行	96
	(2) 食事	96
	(3) トイレ	97
	(4) 入浴	97
問12	毎日の生活行動	98
問13	通院	
	(1) 通院状況	99
	(2) 通院回数	99
問14	介護サービスの満足度	100
問15	訪問介護サービスの利用内容	100
問16	通所介護サービスの利用内容	101
問17	介護サービス利用後の変化	101
問18	介護サービスを利用していない理由	102
問19	今後の介護サービスの利用	102
問20	地域密着型サービスの利用意向	103
問21	介護保険料の負担	103
問22	介護サービスの利用者負担額（1割）の負担	104
問23	介護保険料と介護サービスの在り方	104
問24	今後の介護の希望先	105
問25	在宅生活を続けるために必要なサービス、支援など	106
	○自由意見・要望	107
(介護者に対する調査)		

問27	介護者	
	(1) 性別	108
	(2) 年齢	108
問28	困っていること	109
問29	介護に対する希望	109
問30	相談相手	110
問31	在宅介護が難しい理由	110
問32	在宅介護に必要なこと	111
問33	1日の介護に要する時間	111
	○自由意見・要望	112

3 高齢社会に関する意識調査（40歳以上65歳未満の方）

（1）生活状況など

問1	性別	113
問2	年齢	113
問3	職業	114
問4	居住地域	114
問5	家族構成	115
	(1) 同居者	115
	(2) 65歳以上の同居者	116
問6	住まい	116
問7	住まいに対する満足度	117
問8	今後の居住地	117
	(1) 住み続けたいと思う理由	118
	(2) 住み続けたいと思わない理由	118
問9	高齢期の住まい	119
	(1) 住まいの形態	119
	(2) 住まいの選択理由	120
問10	幕別町は高齢者のための生活環境が整っているか	120
問11	人生の最後をどこで迎えたいか	121

(2) 交流と活動について

問12	近所との付き合い	121
問13	近所での手伝い経験	122
問14	家族や友人の相談	122
問15	高齢者との交流	123
問16	高齢期に取り組みたい活動	123
問17	幕別町は高齢者が社会参加できる機会が十分あるか	124

(3) 心身の状況

問 18	健康状態	124
問 19	現在の治療や後遺症	125
問 20	通院頻度	125
問 21	服薬	126
問 22	かかりつけ医	126
問 23	かかりつけ歯科医	127
問 24	健康のために気をつけていること	127
問 25	幕別町の高齢者に対する取組み	128
	(1) そう思う理由	128
	(2) そう思わない理由	129

(4) 経済生活

問 26	暮らしぶり	129
問 27	収入	130
問 28	収入の状況	130
問 29	生活費	131

(5) 介護保険・介護

問 30	介護経験	131
問 30-1	介護の影響	132
問 31	介護に対する考え方	132
問 32	高齢期に暮らす場所で必要なこと	133

(6) その他

問 33	認知症に対する認識	133
------	-----------	-----

問 34	認知症になった場合の相談先	134
問 35	認知症対策として重要なこと	134
問 36	孤立死への心配	135
問 37	孤立死を減らすために効果的なこと	135
問 38	高齢者は優遇されていると思うか	136
問 39	若年者に負担があるか	136
問 40	老後を安心して過ごすために行政に求めること	137
問 41	高齢者とは何歳からか	137
○自由意見・要望		138

4 介護施設入居者の家族に対する調査

問 1	入居者との関係	139
問 2	性別	139
問 3	年齢	140
問 4	職業	140
問 5	居住地域	141
問 6	介護施設の種類	141
問 7	介護施設までの距離	142
問 8	施設入居前の生活状況	142
問 9	施設介護を選択した理由	143
問10	施設介護を選択した時の介護度	143
問11	施設見学	144
問12	選択基準	144
問13	入居までに要した期間	145
問14	介護施設の選択理由	145
問15	入居期間	146
問16	面会頻度	146
問17	イベント・行事への参加頻度	147
問18	入居者の変化	147
問 19	介護者の変化	148

問 20	費用の負担者	148
問 21	入居費用に対する負担	149
問 22	介護に要する費用額	150
問 23	入居を希望する施設	151
問 24	現在の介護施設に望むこと	151
問 25	在宅介護に必要な支援	152
問 26	在宅介護か施設介護か	152
問 27	施設整備と介護保険料の在り方	153
○自由意見・要望		153

第1編 アンケート調査について

第1編 アンケート調査について

1 調査の目的

この調査は、平成 27 年度を初年度とする第 6 期幕別町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて、下記のとおり調査を行いました。

本調査において、本人の生活実態、介護保険サービスや保健福祉サービスなどの利用状況と今後の利用意向、高齢社会に関する意識、施設介護に対する考え方などに対する意見を把握し、その集計結果の分析・評価を行うことにより、次期計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の実施

(1) 介護予防生活実態調査

高齢者の生活実態の把握と介護予防事業の対象者を抽出するため、国の日常生活圏域ニーズ調査を活用し、平成 26 年 4 月 7 日時点において幕別町に住所を有する方で介護認定を受けていない下記の年齢の方 1,918 人を抽出しました。

- ・平成 26 年 3 月 31 日時点で 65 歳の方
- ・平成 27 年 3 月 31 日時点で 70 歳、75 歳、80 歳、82 歳、84 歳、86 歳、88 歳、90 歳以上の方

(2) 介護保険利用状況実態調査

要支援・要介護認定を受けている在宅被保険者のサービスの利用実態、満足度、意向などを把握するため、平成 26 年 3 月 31 日時点において要支援・要介護認定を受けている被保険者のうち在宅高齢者（施設入所者以外）1,091 人を抽出しました。

【要支援 1・2 及び要介護 1 667 人】【要介護 2 以上 424 人】

あわせて、上記①の調査対象者を介護されている方を対象に、介護保険利用状況実態調査の附帯調査として実施しました。

(3) 高齢社会に関する意識調査

今後、急速に進むことが予想される高齢化社会に関して、40 歳から 64 歳までの年代の意識を把握するため、平成 26 年 5 月 1 日時点の 40 歳から 64 歳 9,018 人のうち無作為で 1,300 人を抽出しました。

(4) 介護施設入居者の家族に対する調査

介護施設に入居者している被保険者の家族に対して、施設や入居者との関わり方や施設介護に対する意見を把握するため、平成 26 年 2 月時点の介護施設に入居している方の家族 328 人を抽出しました。

3 調査方法

介護予防生活実態調査：配布は郵送、回収は郵送および在宅介護支援センターや民生委員等による訪問回収を行いました。

介護保険利用状況実態調査、高齢社会に関する意識調査、介護施設入居者の家族に対する調査：配布・回収とも郵送で行いました。

4 調査期間

(1) 介護予防生活実態調査	平成 26 年 4 月 21 日から 5 月 16 日まで
(2) 介護保険利用状況実態調査	平成 26 年 4 月 30 日から 5 月 30 日まで
(3) 高齢社会に関する意識調査	平成 26 年 5 月 12 日から 6 月 20 日まで
(4) 介護施設入居者の家族に対する調査	平成 26 年 6 月 4 日から 6 月 30 日まで

5 回収状況

(1) 介護予防生活実態調査	回答数 1,633 件・85.1%
(2) 介護保険利用状況実態調査	
① 要支援 1、2 及び要介護 1	回答数 479 件・71.8%
② 要介護 2 以上	回答数 280 件・66.0%
(3) 高齢社会に関する意識調査	回答数 607 件・46.7%
(4) 介護施設入居者の家族に対する調査	回答数 239 件・72.9%

6 報告書の見方

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基礎として、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、合計数が 100% とならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合は、回収比率の合計が 100% を超えています。
- ③ 図表のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化している場合があります。

第2編 調査結果

1 介護予防生活実態調査

第2編 調査結果

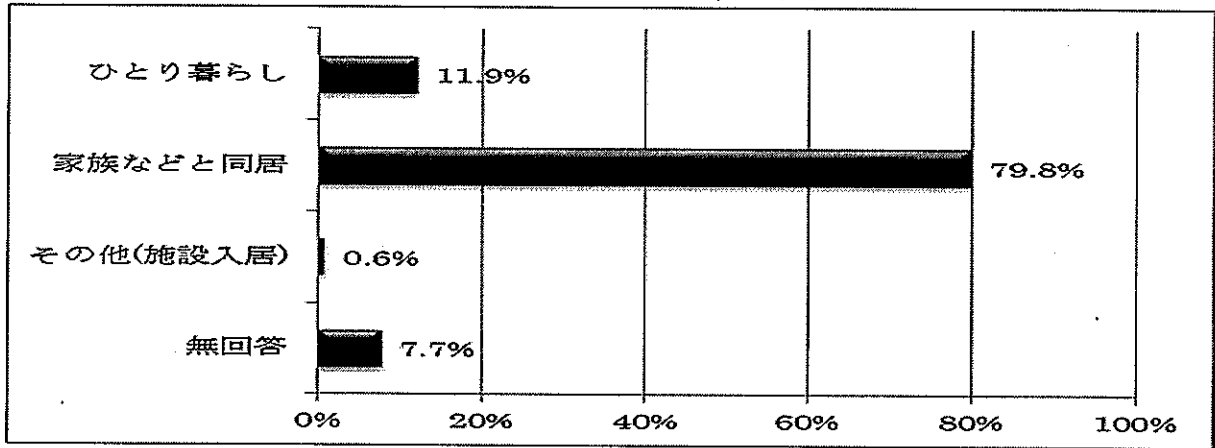
1 介護予防生活実態調査（一般高齢者）

(1) あなたの家族や生活状況について

問1 家族構成を教えてください。（1つに○）

「家族など同居(79.8%)」が最も多く、次いで「ひとり暮らし(11.9%)」の順となっている。

図1 家族構成（回答者 1,633 人）

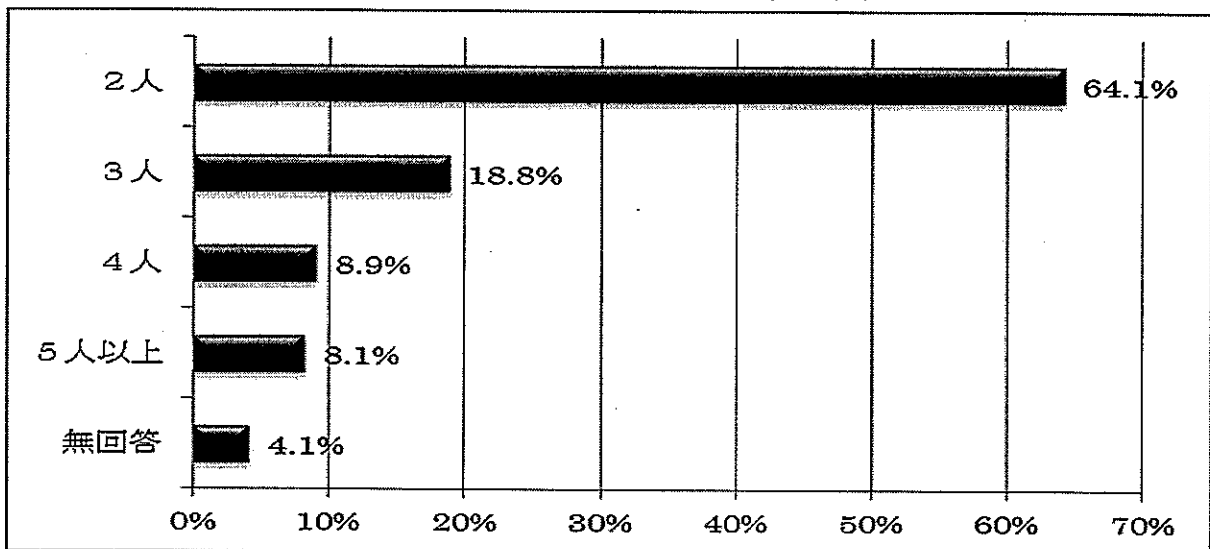


問1-1 （家族と同居している方のみ）同居者について

(1) 何人で暮らしていますか。（1つに○）

「2人(64.1%)」が最も多く、次いで「3人(18.8%)」、「4人(8.9%)」の順となっている。

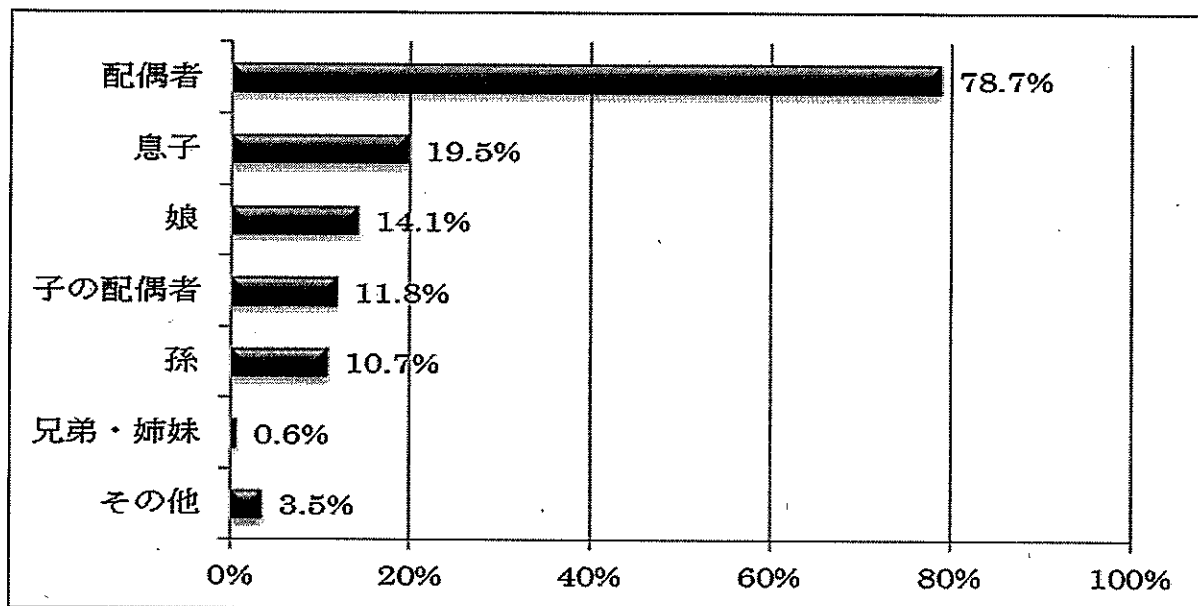
図1-1 (1) 何人暮らし（回答者 1,303 人）



(2) 同居されている方はどなたですか。(あてはまるもの全てに○)

「配偶者(78.7%)」が最も多く、次いで「息子(19.5%)」、「娘(14.1%)」の順となっている。

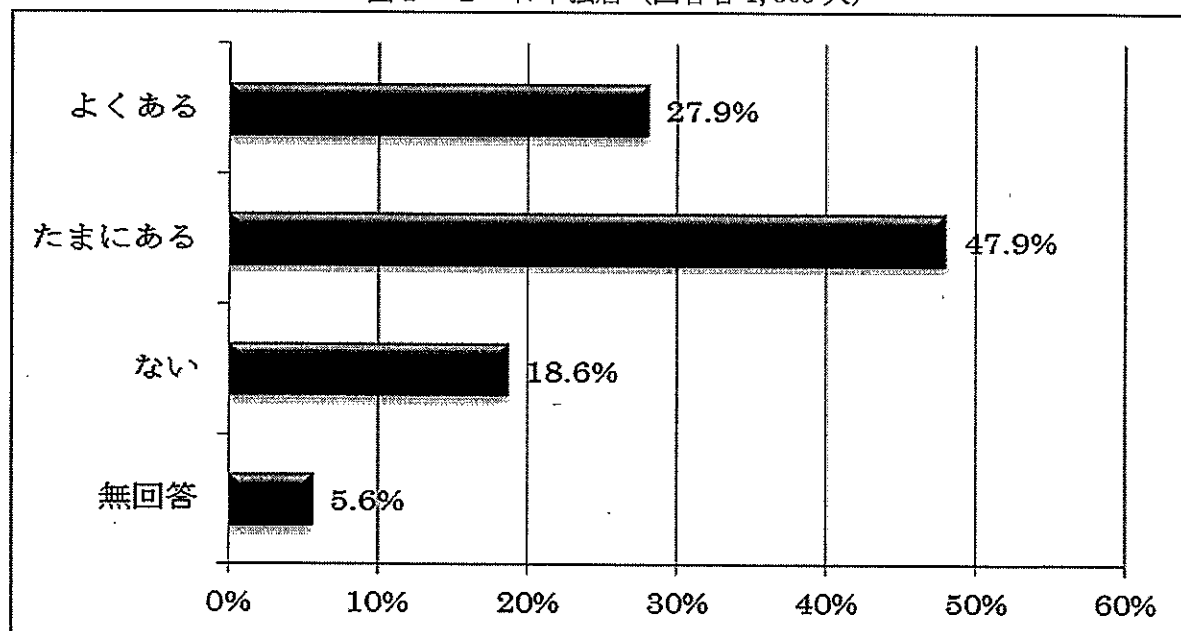
図1-1(2) 同居者(回答者1,303人)



問1-2 (同居されている方のみ) 日中は1人になることがありますか。(1つに○)

「たまにある(47.9%)」が最も多く、次いで「よくある(27.9%)」、「ない(18.6%)」の順となっている。

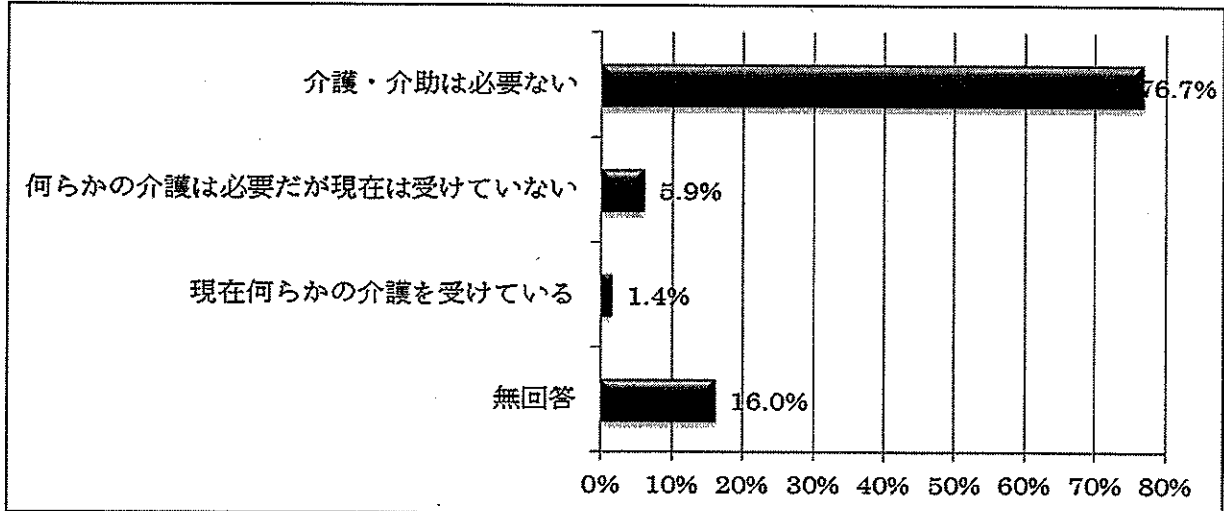
図1-2 日中独居(回答者1,303人)



問2 あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

「介護・介助は必要ない(76.7%)」が最も多くなっている。

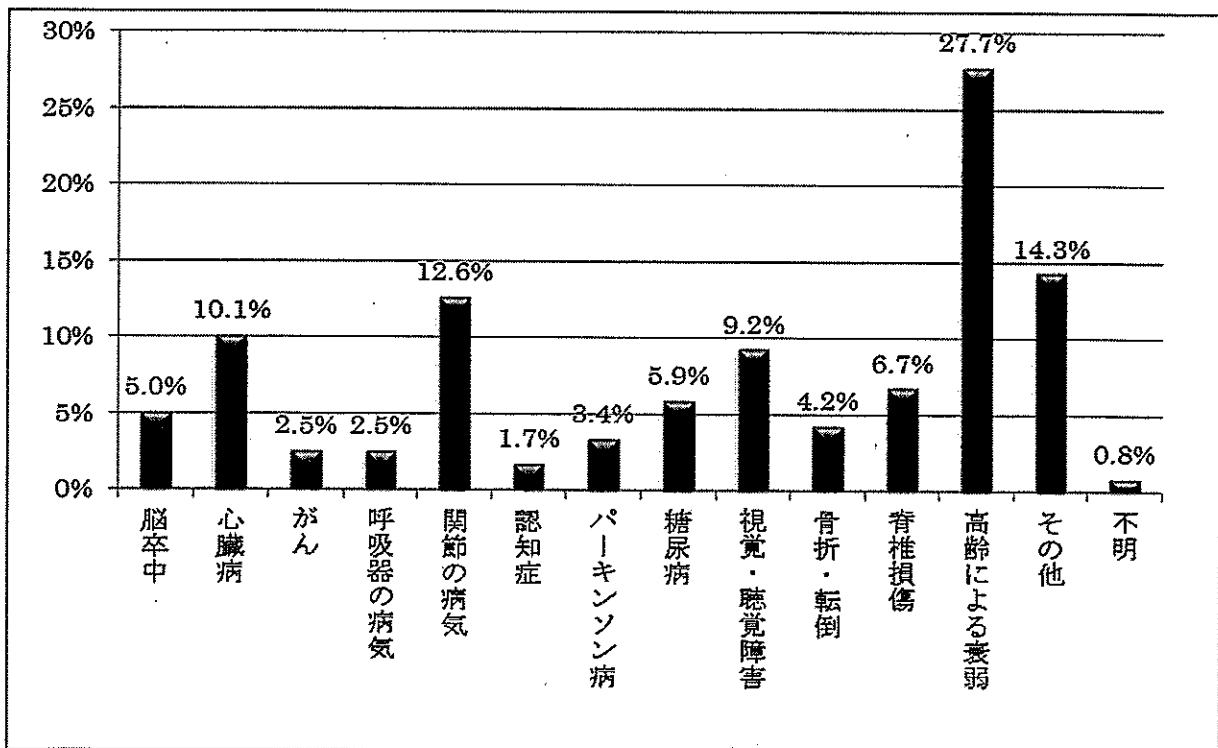
図2 介護・介助の必要性 (回答者 1,633 人)



問2-1 (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(1つに○)

「高齢による衰弱(27.7%)」が最も多く、次いで「その他(14.3%)」、「関節の病気(12.6%)」、「心臓病(10.1%)」の順となっている。

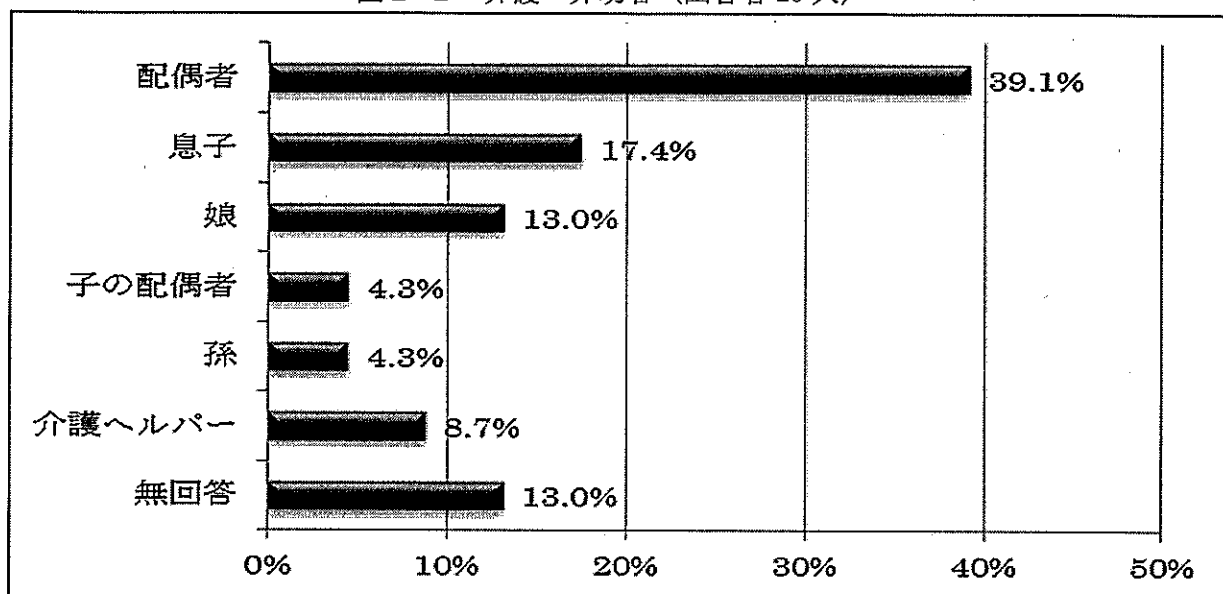
図2-1 原因 (回答者 119 人)



問2-2 (介護・介助を受けている方のみ)主にどなたの介護・介助を受けていますか。
(1つに○)

「配偶者(39.1%)」が最も多く、次いで「息子(17.4%)」、「娘(13.02%)」の順となっている。

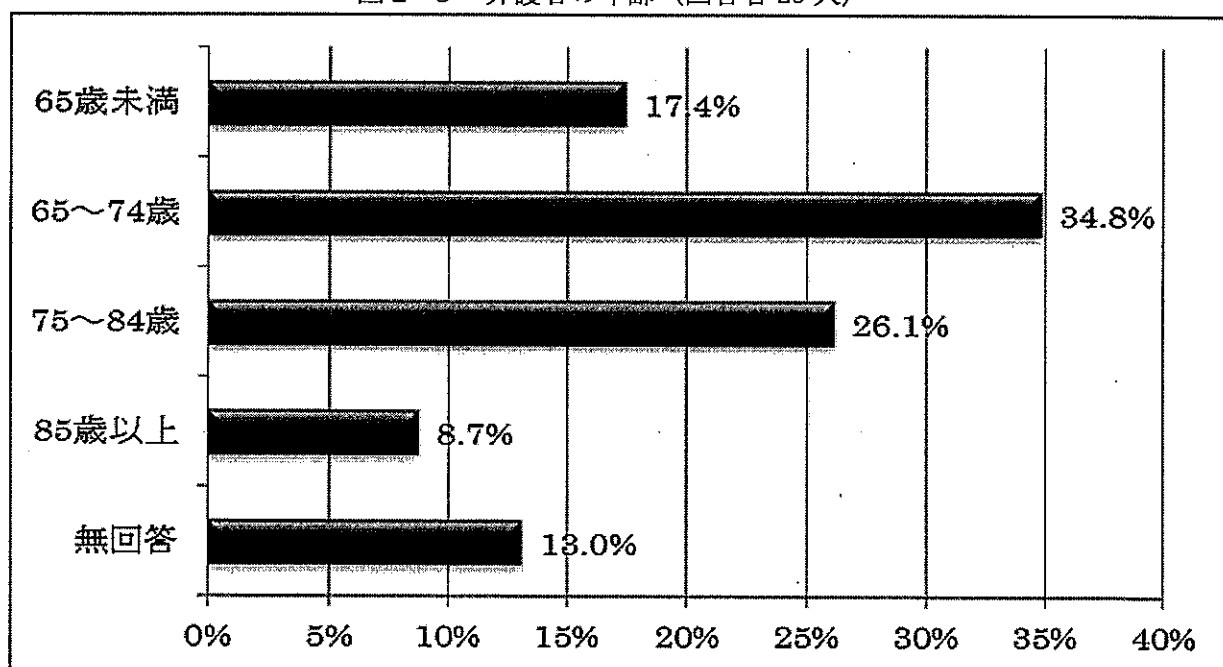
図2-2 介護・介助者 (回答者23人)



問2-3 (介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助している方の年齢をお答えください。(1つに○)

「65～74歳(34.8%)」が最も多く、次いで「75～84歳(26.1%)」の順となっている。

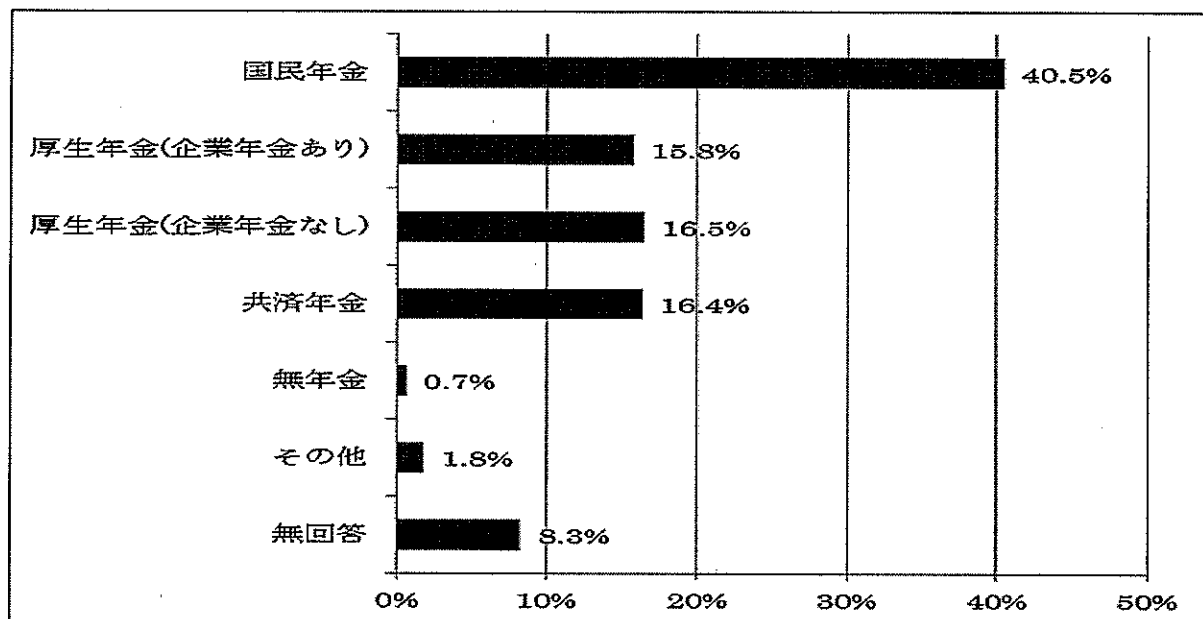
図2-3 介護者の年齢 (回答者23人)



問3 年金の種類はどれですか。(1つに○)

「国民年金(40.5%)」が最も多く、次いで「厚生年金(企業年金なし)(16.5%)」、「共済年金(16.4%)」の順となっている。

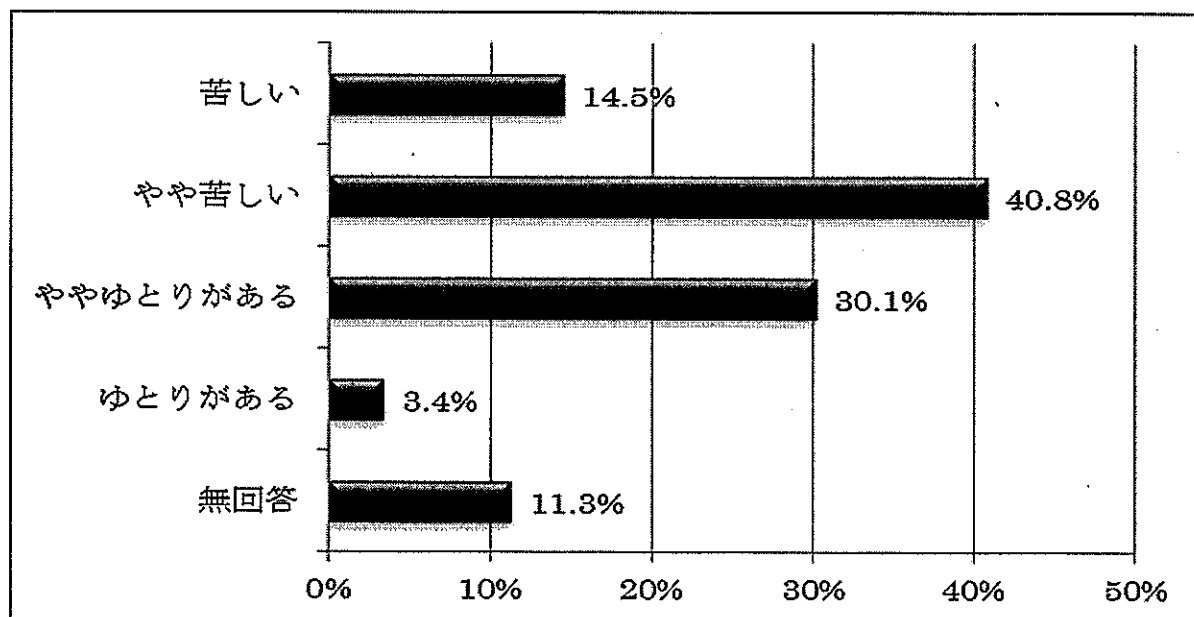
図3 年金の種類(1,633人)



問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

「やや苦しい(40.8%)」が最も多く、次いで「ややゆとりがある(30.1%)」の順となっている。

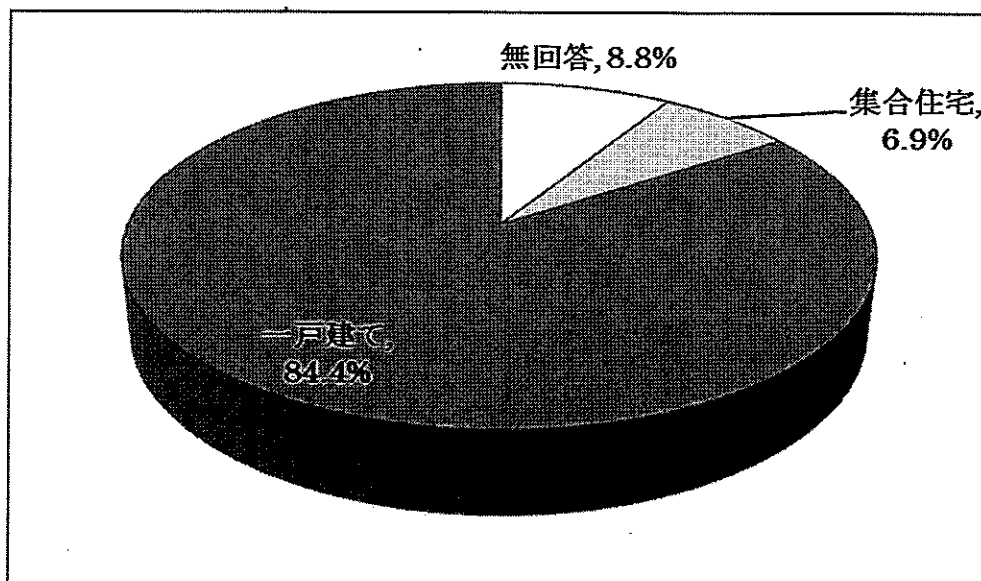
図4 現在の暮らし(1,633人)



問5 お住まいは一戸建て・集合住宅のどちらですか。(1つに○)

「一戸建て(84.4%)」と答えた方が8割を超えている。

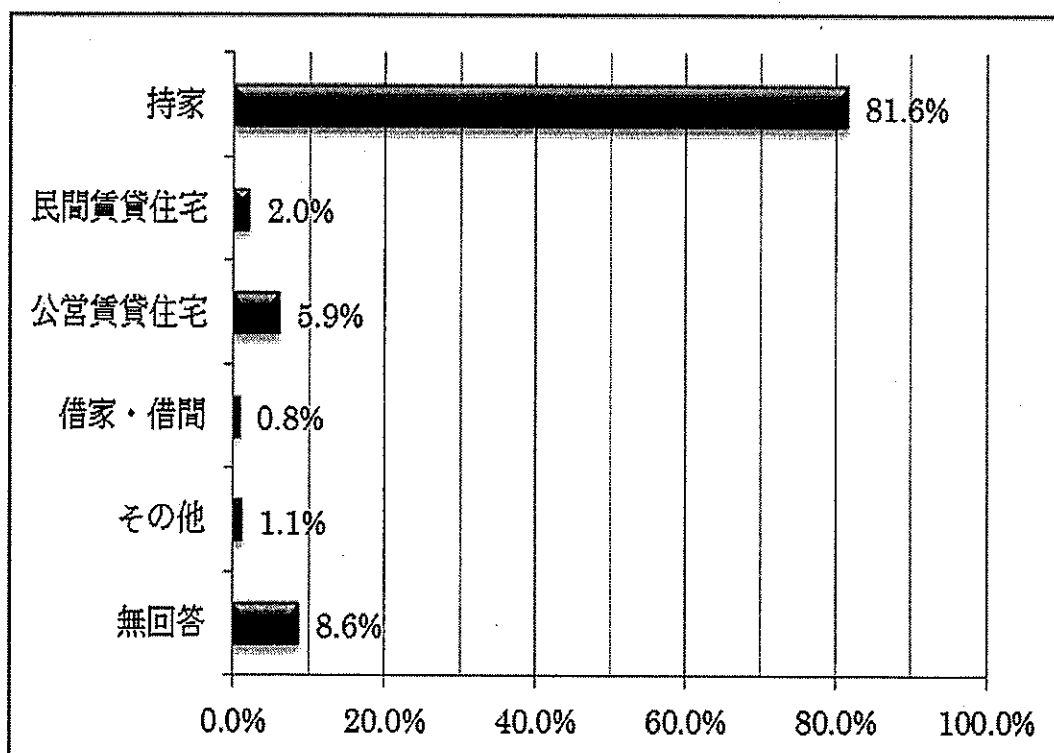
図5 住まい (1,633人)



問6 お住まいは次のどれにあたりますか。(1つに○)

「持家(81.6%)」と答えた方が最も多く8割を超えている。

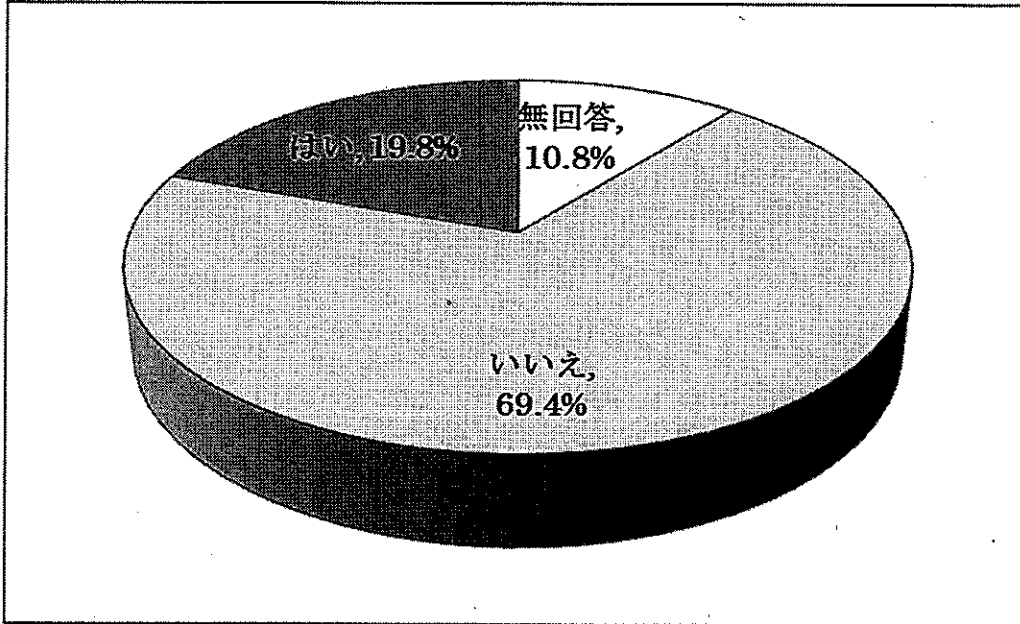
図6 持家・賃貸(479人)



問 7 お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(1つに○)

「はい(19.8%)」より「いいえ(69.4%)」が多くなっている。

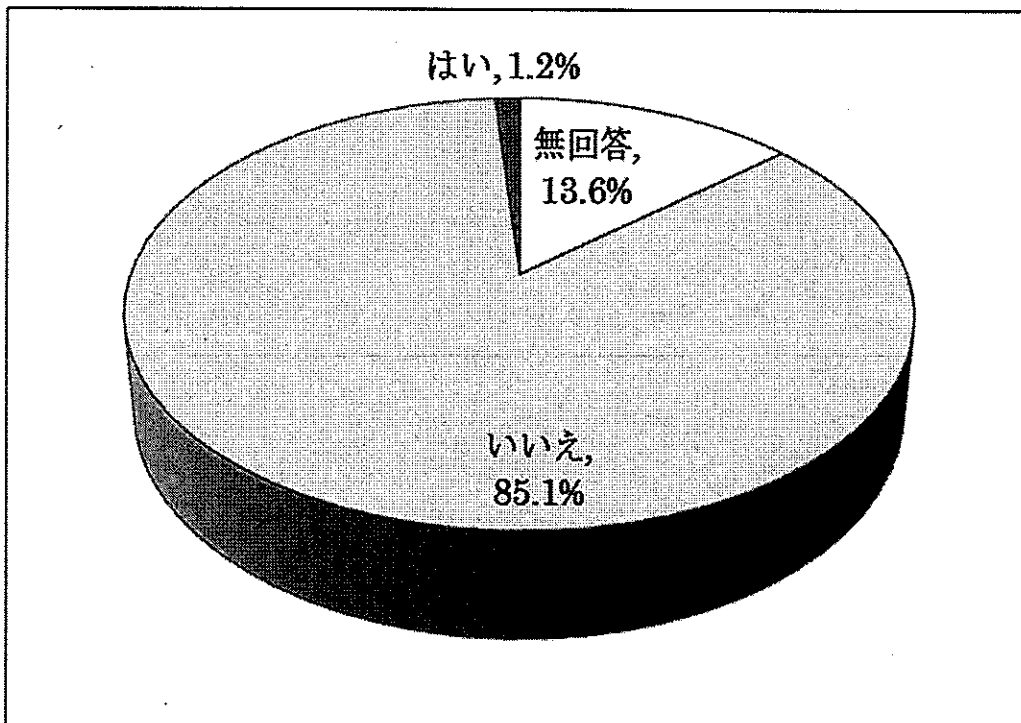
図 7 主に生活する場所(479 人)



問 7-1 (2階以上の方)エレベーターは設置されていますか。(1つに○)

「いいえ(85.1%)」と答えた方が8割を超えている。

図 7-1 エレベーターの有無(323 人)

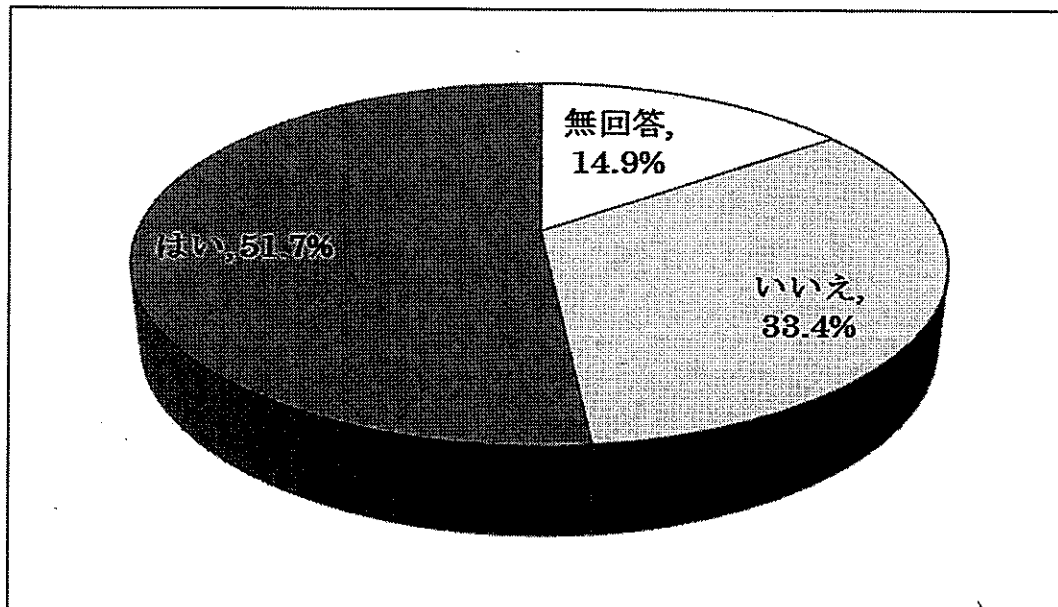


(2) 運動・閉じこもりについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

「いいえ(33.4%)」より「はい(51.7%)」と答えた人が多くなっている。

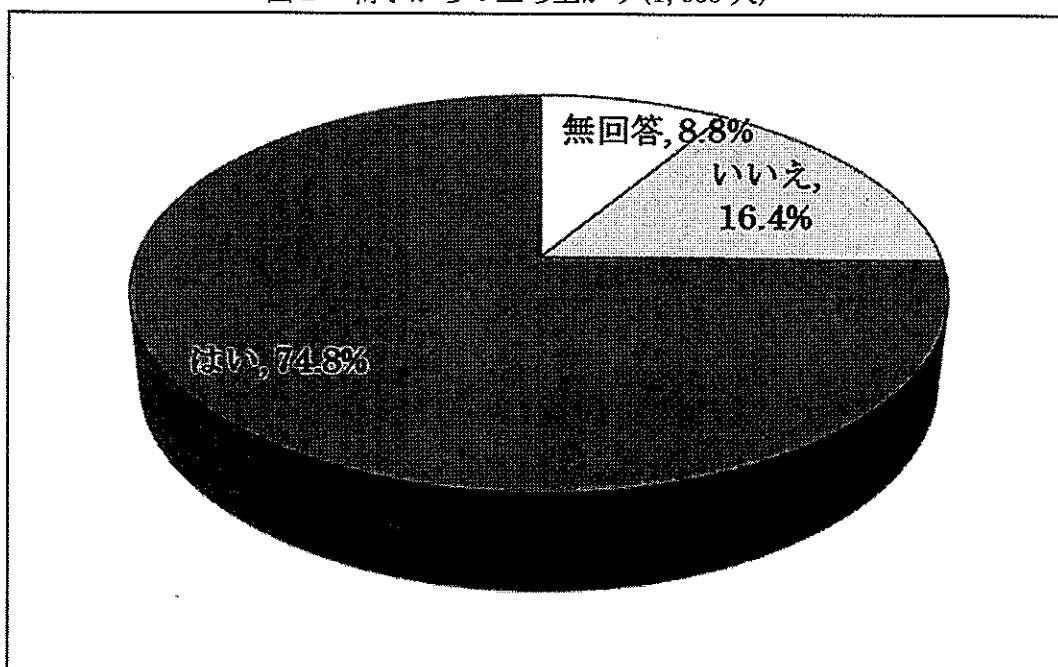
図1 階段の昇降(1,633人)



問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

「いいえ(16.4%)」より「はい(74.8%)」と答えた人が多くなっている。

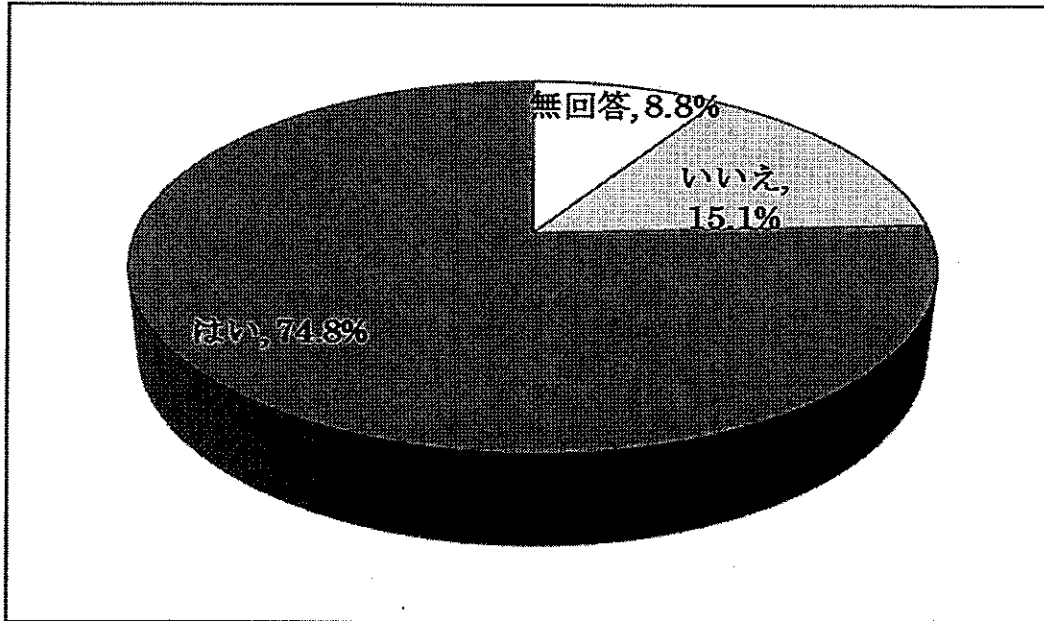
図2 椅子からの立ち上がり(1,633人)



問3 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

「いいえ(15.1%)」より「はい(74.8%)」と答えた人が多くなっている。

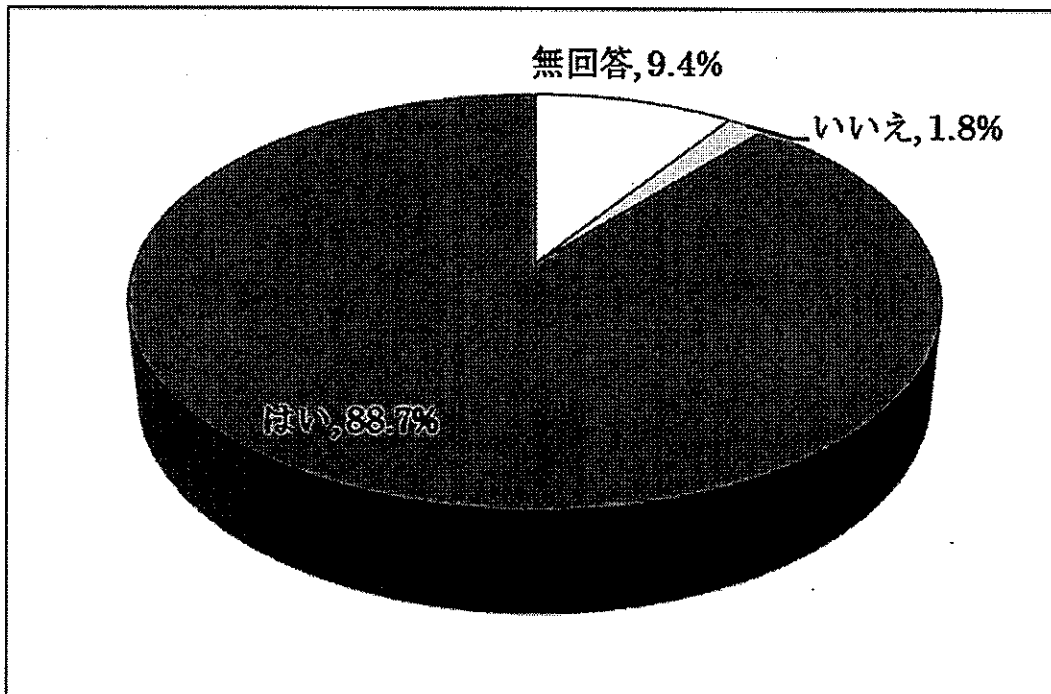
図3 歩行時間(1,633人)



問4 5m以上歩けますか。(1つに○)

「いいえ(1.8%)」より「はい(88.7%)」と答えた人が多くなっている。

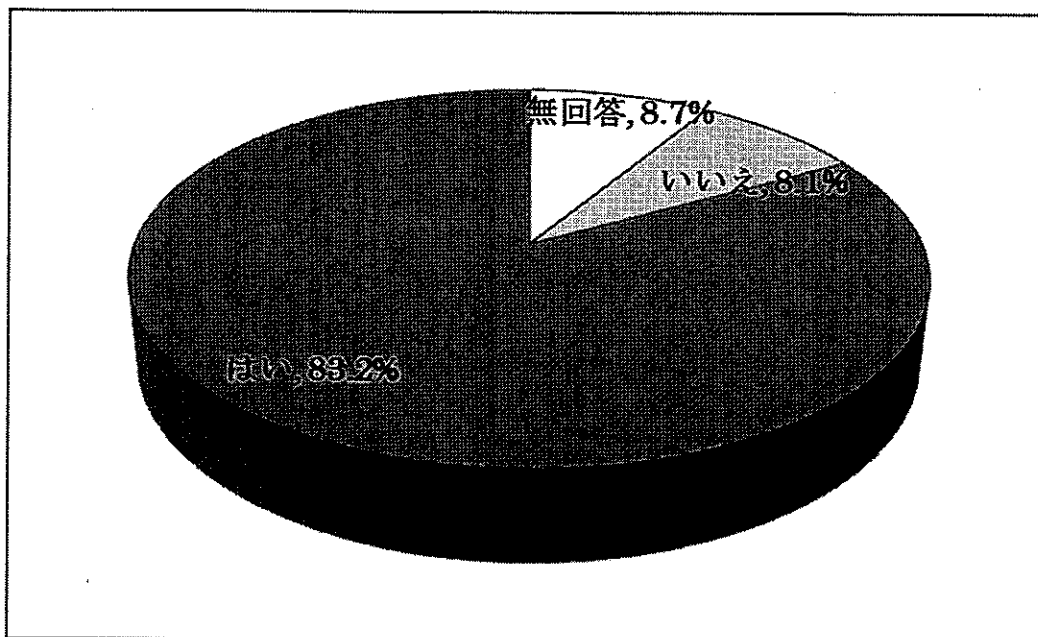
図4 歩行距離(1,633人)



問5 週に1回以上外出していますか。(1つに○)

「いいえ(8.1%)」より「はい(83.2%)」と答えた人が多くなっている。

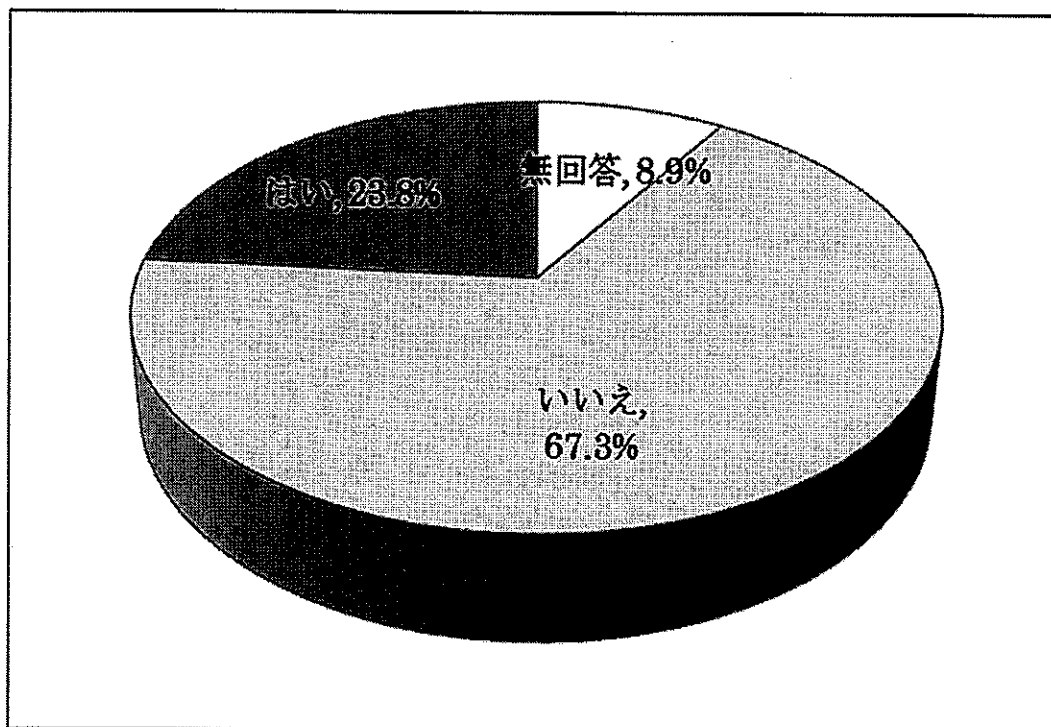
図5 外出頻度(1,633人)



問6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

「はい(23.8%)」より「いいえ(67.3%)」と答えた人が多くなっている。

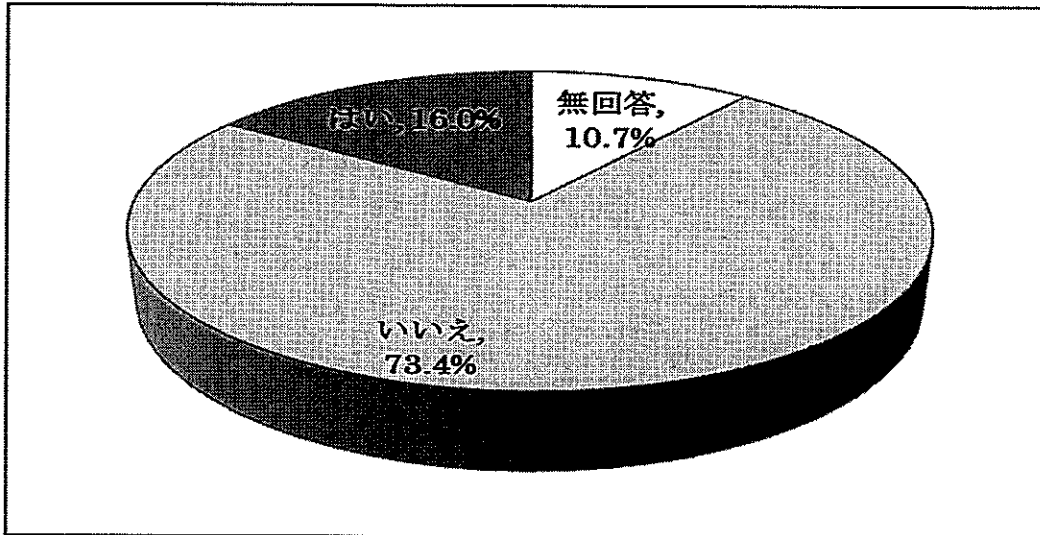
図6 外出の減少(1,633人)



問7 外出を控えていますか。(1つに○)

「はい(16.0%)」より「いいえ(73.4%)」と答えた人が多くなっている。

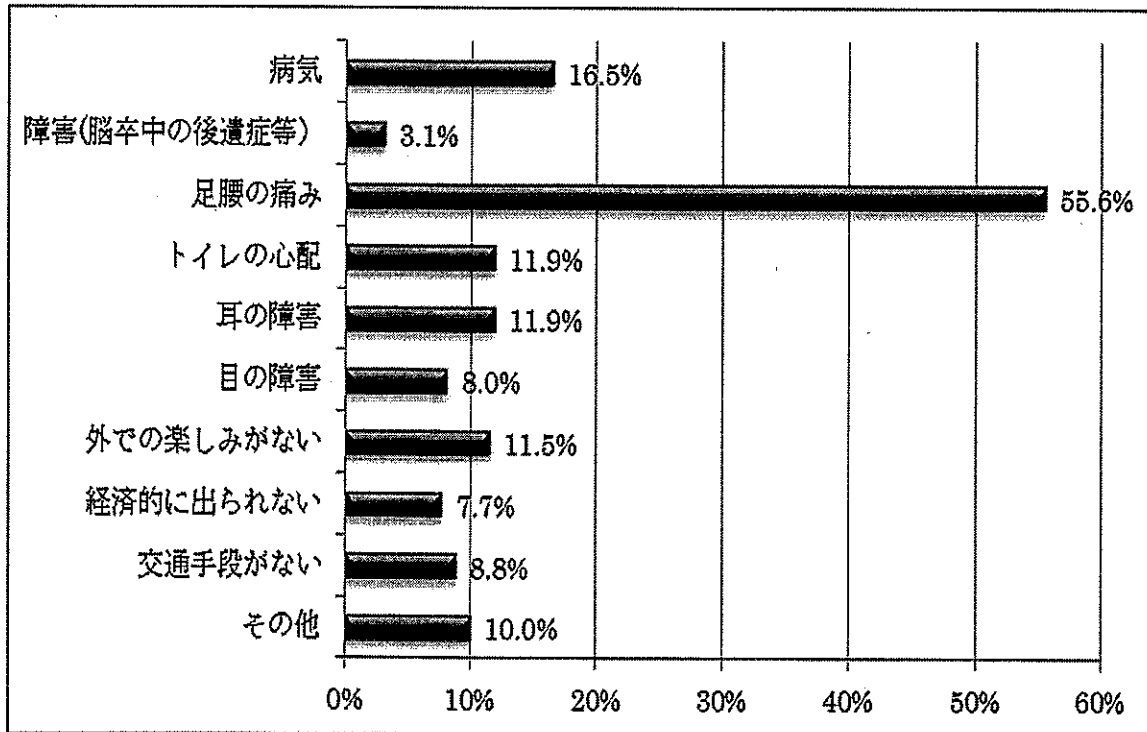
図7 外出の抑制(1,633人)



問7-1 (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「足腰の痛み(55.6%)」が最も多く、次いで「病気(16.5%)」、「トイレの心配(11.9%)」と「耳の障害(11.9%)」の順となっている。

図17-1 外出しない理由(261人)

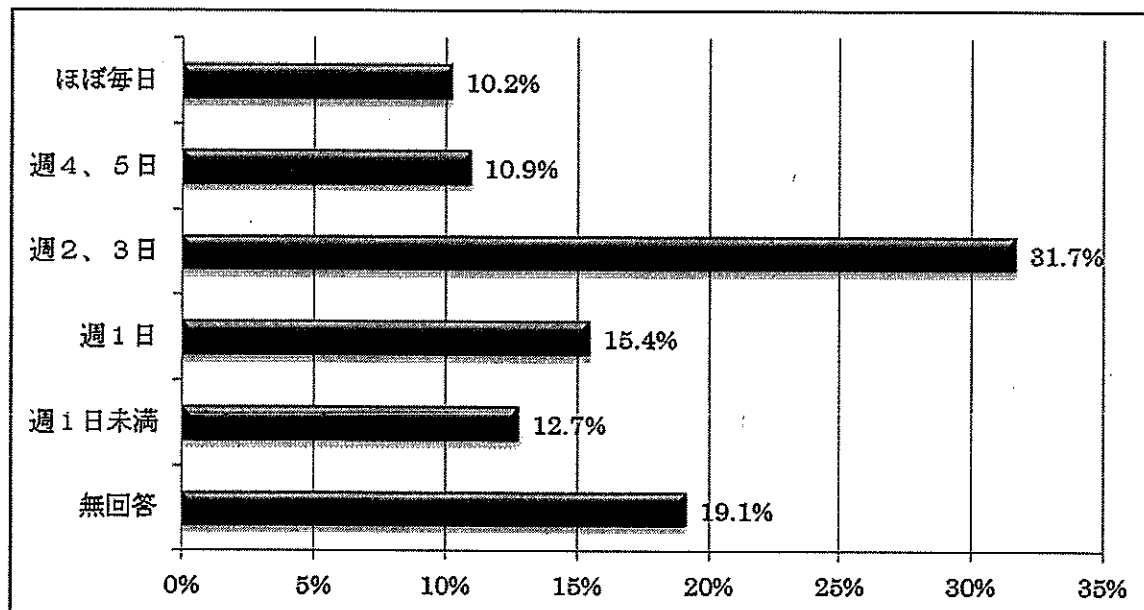


問8 買物・散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(1つに○)

(1) 買物

「週2、3日(31.7%)」が最も多く、「週1日(15.4%)」、「週1日未満(12.7%)」の順となっている。

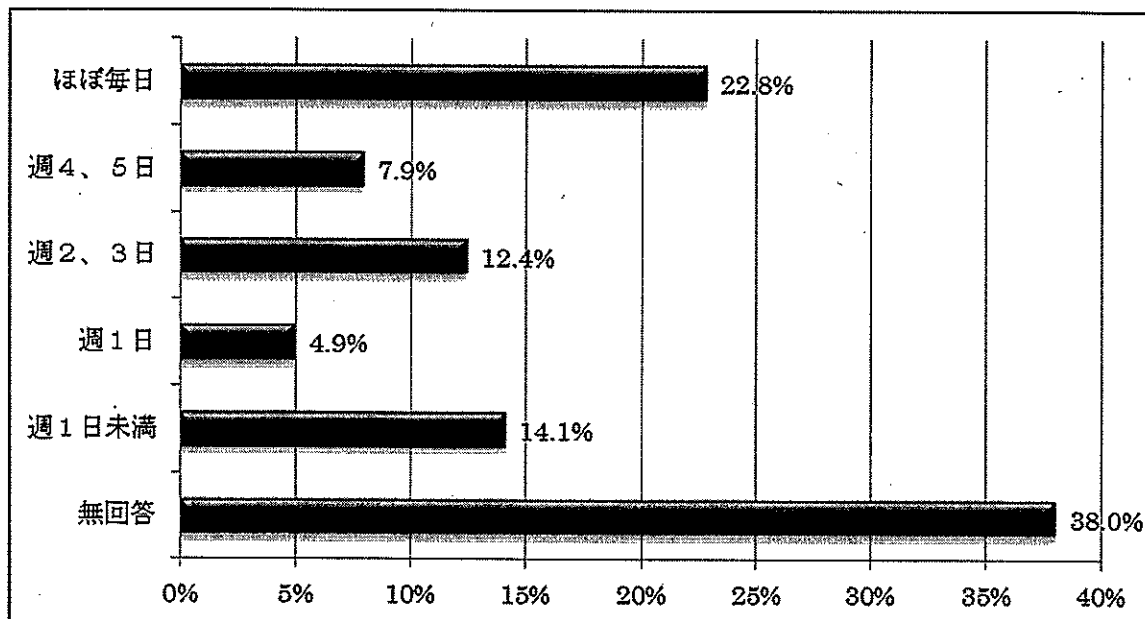
図8-(1) 買物の頻度(1,633人)



(2) 散歩

「ほぼ毎日(22.8%)」が最も多く、「週1日未満(14.1%)」、「週2、3日(12.4%)」の順となっている。

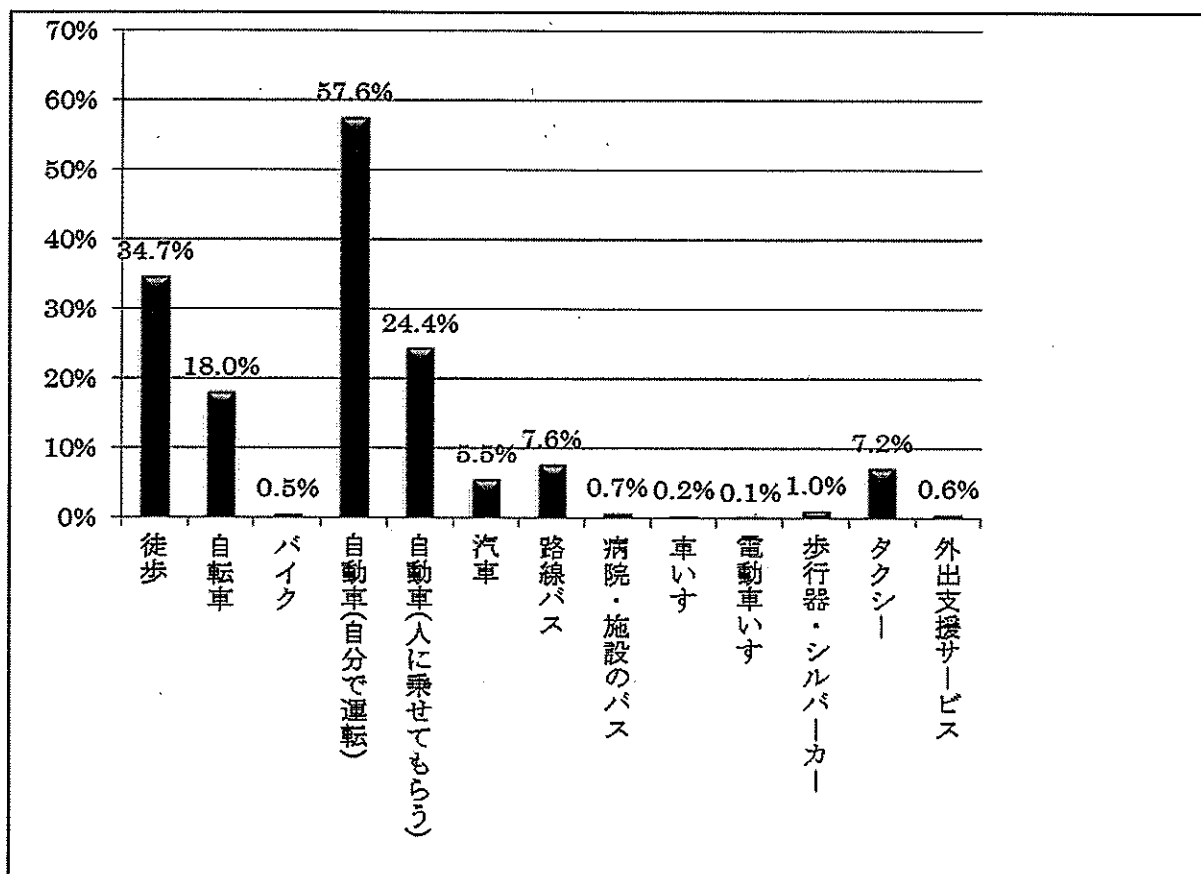
図8-(2) 散歩の頻度(1,633人)



問9 外出する際の移動手段は何ですか。(1つに○)

「自動車(自分で運転)(57.6%)」が最も多く、次いで「徒歩(34.7%)」、「自動車(24.4%)」の順となっている。

図9 移動手段(1,633人)

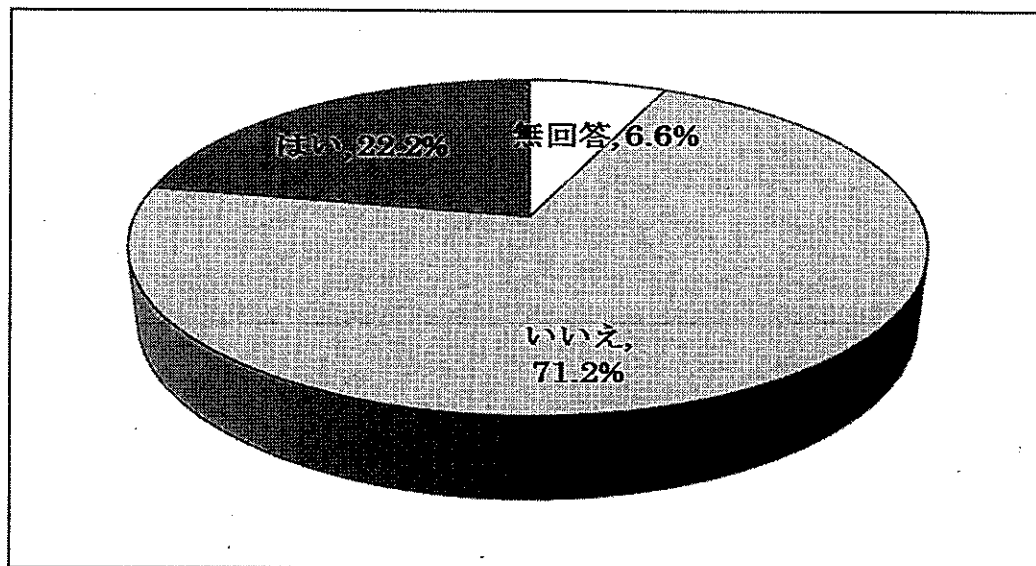


(3) 転倒予防について

問1 この1年間に転んだことがありますか。(1つに○)

「はい(22.2%)」より「いいえ(71.2%)」と答えた人が多くなっている。

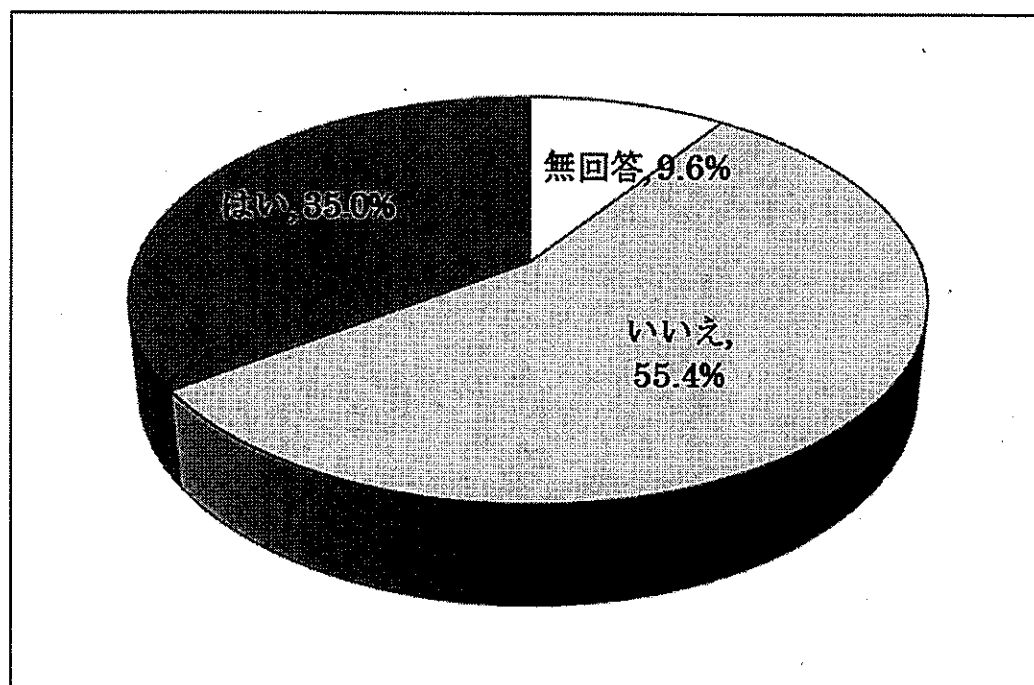
図1 転倒の経験(479人)



問2 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

「はい(35.0%)」より「いいえ(55.4%)」と答えた人が多くなっている。

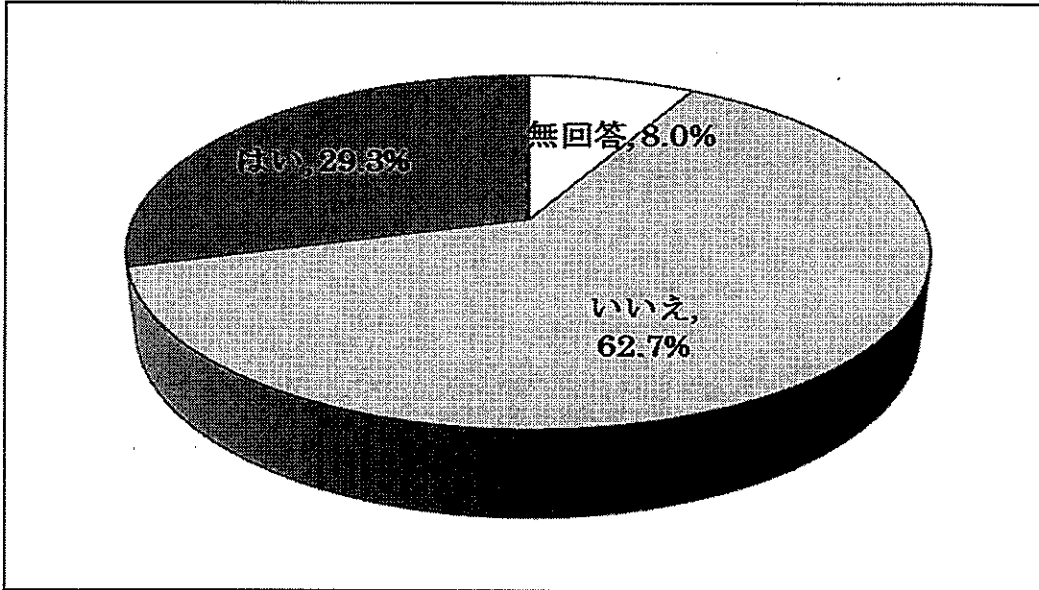
図2 転倒の不安(1,633人)



問3 背中が丸くなってきましたか。(1つに○)

「はい(29.3%)」より「いいえ(62.7%)」と答えた人が多くなっている。

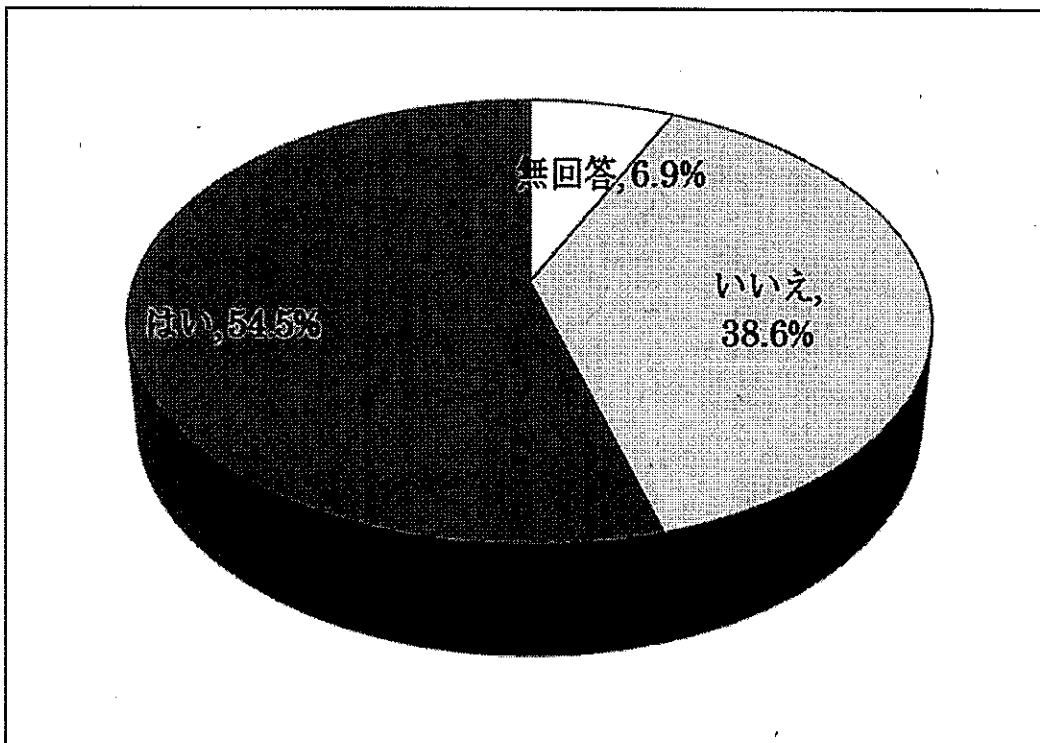
図3 姿勢(1,633人)



問4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(1つに○)

「いいえ(38.6%)」より「はい(54.5%)」と答えた人が多くなっている。

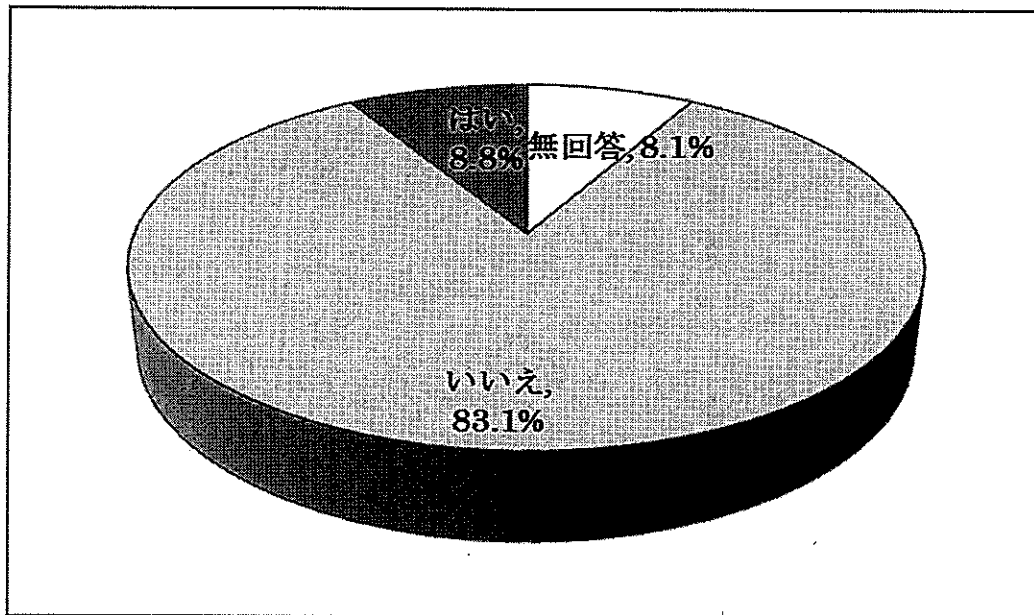
図4 歩行速度(回答者1,633人)



問5 杖を使っていますか。(1つに○)

「はい(8.8%)」より「いいえ(83.1%)」と答えた人が多くなっている。

図5 杖の使用 (回答者: 1,633 人)

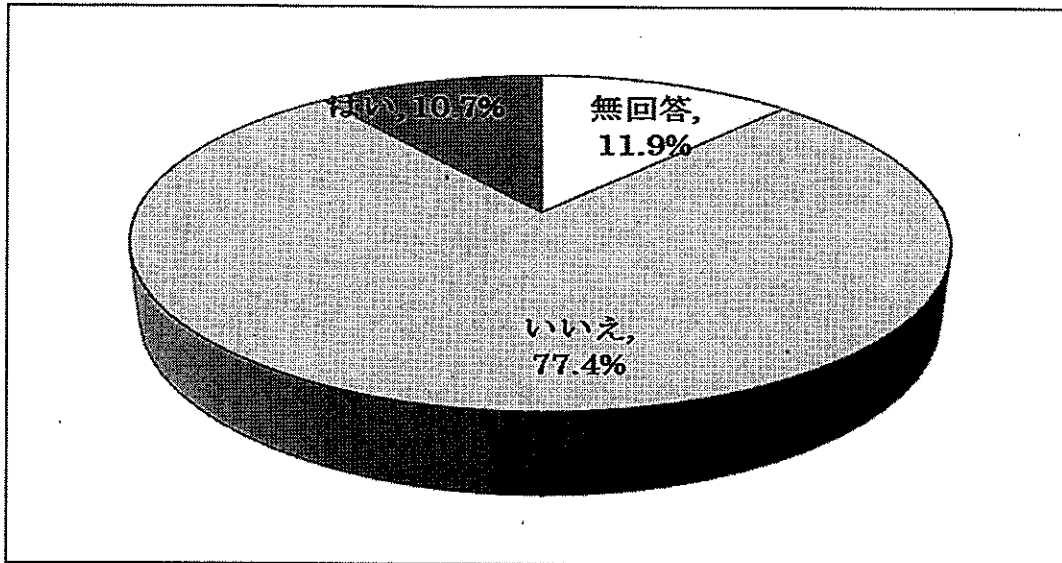


(4) 口腔・栄養について

問1 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

「はい(10.7%)」より「いいえ(77.4%)」と答えた人が多くなっている。

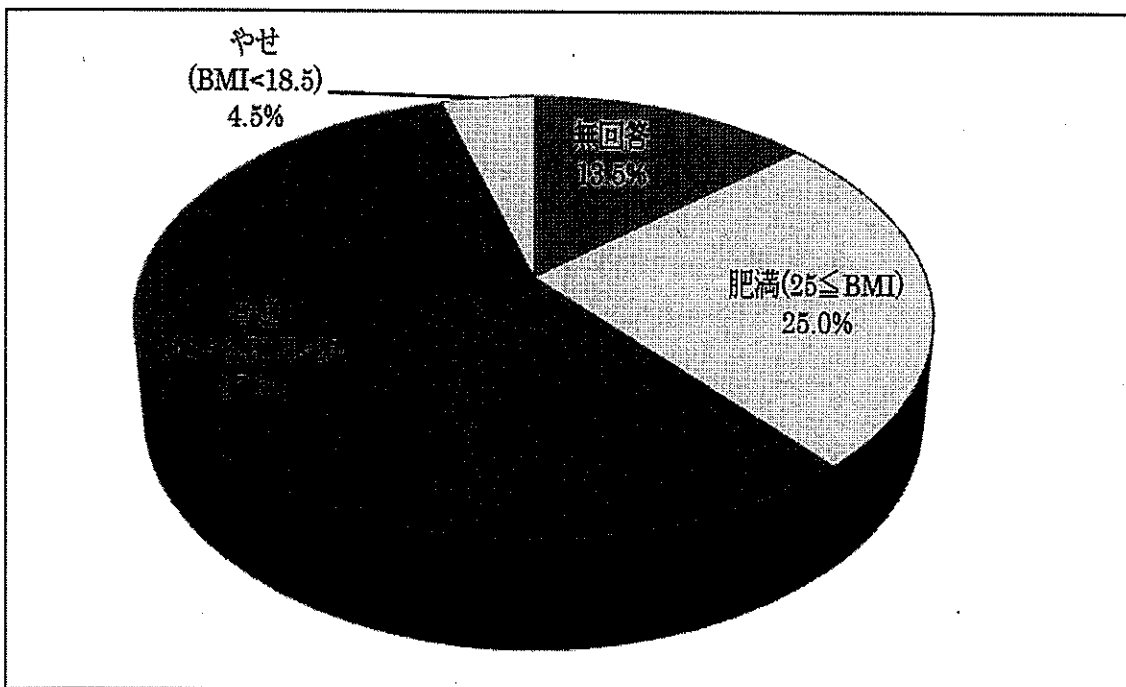
図1 体重の減少(回答者1,633人)



問2 身長と体重をお答えください(BMI)。(1つに○)

「普通($18.5 \leq \text{BMI} < 25$) (57.0%)」が最も多く、次いで「肥満($25 \leq \text{BMI}$) (25.0%)」の順となっている。

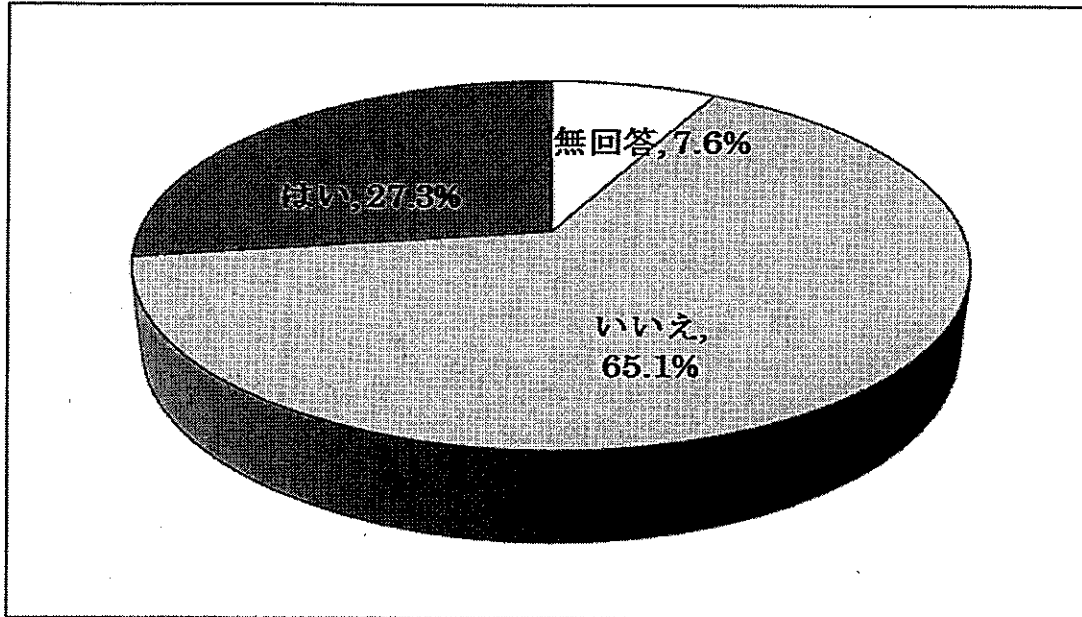
図2 BMI(回答者1,633人)



問3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

「はい(27.3%)」より「いいえ(65.1%)」と答えた人が多くなっている。

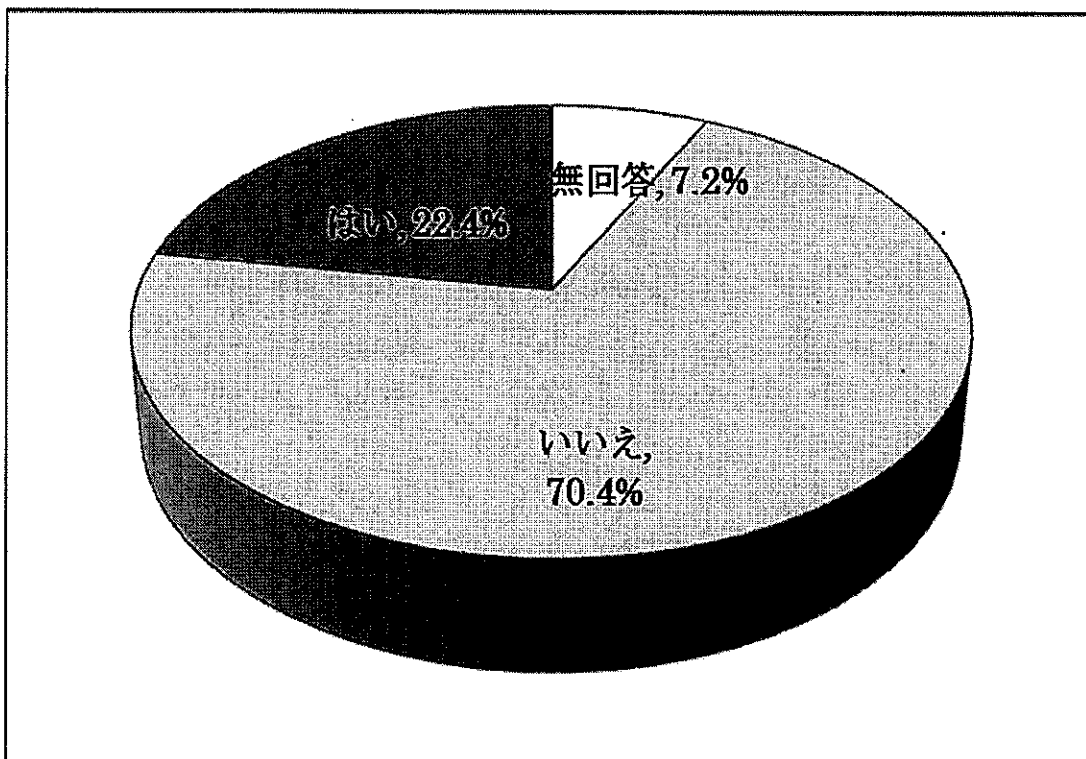
図3 固いものが食べにくくなった (回答者1,633人)



問4 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

「はい(22.4%)」より「いいえ(70.4%)」と答えた人が多くなっている。

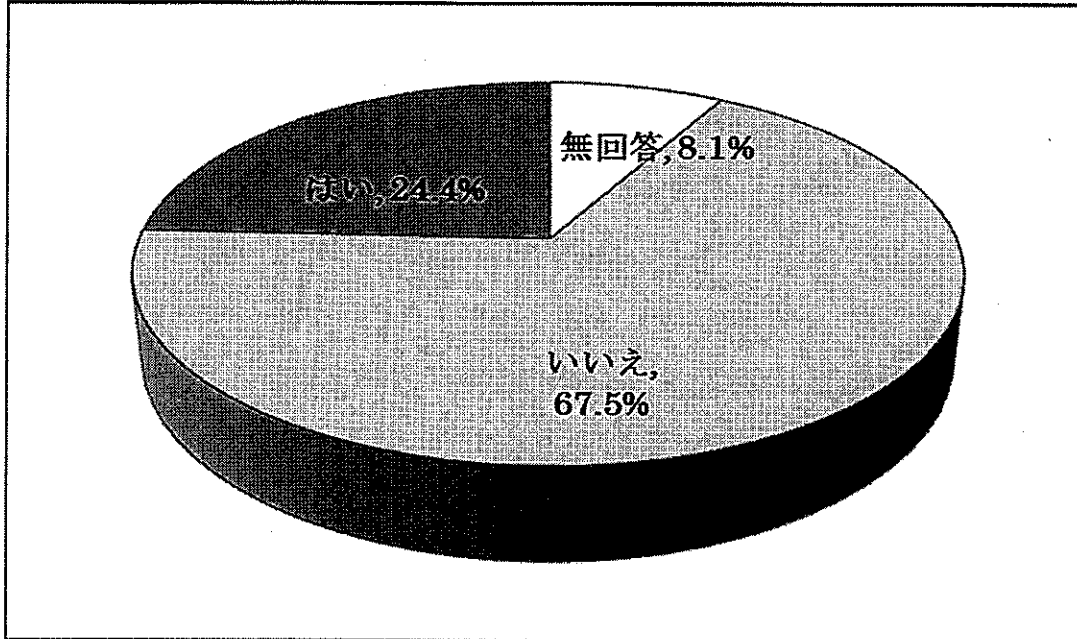
図4 汁物でむせることがありますか (回答者1,633人)



問5 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

「はい(24.4%)」より「いいえ(67.5%)」と答えた人が多くなっている。

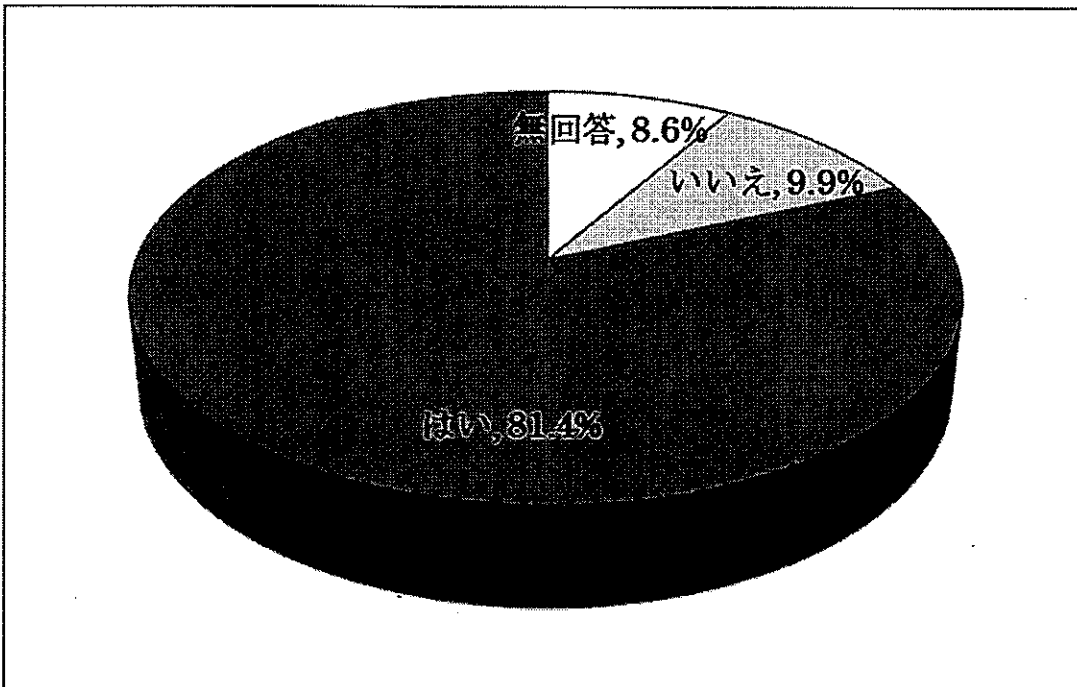
図5 口の渇き(回答者1,633人)



問6 歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日していますか。(1つに○)

「いいえ(9.9%)」より「はい(81.4%)」と答えた人が多くなっている。

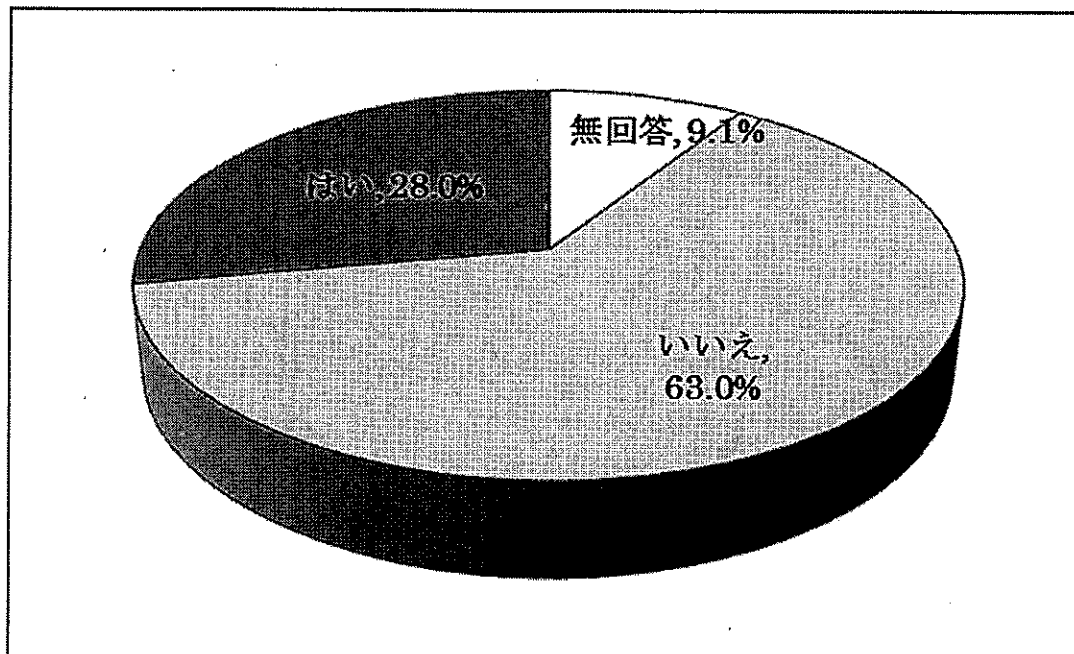
図6 歯磨き(回答者1,633人)



問7 定期的に歯科受診（検診を含む）をしていますか。（1つに○）

「はい(28.0%)」より「いいえ(63.0%)」と答えた人が多くなっている。

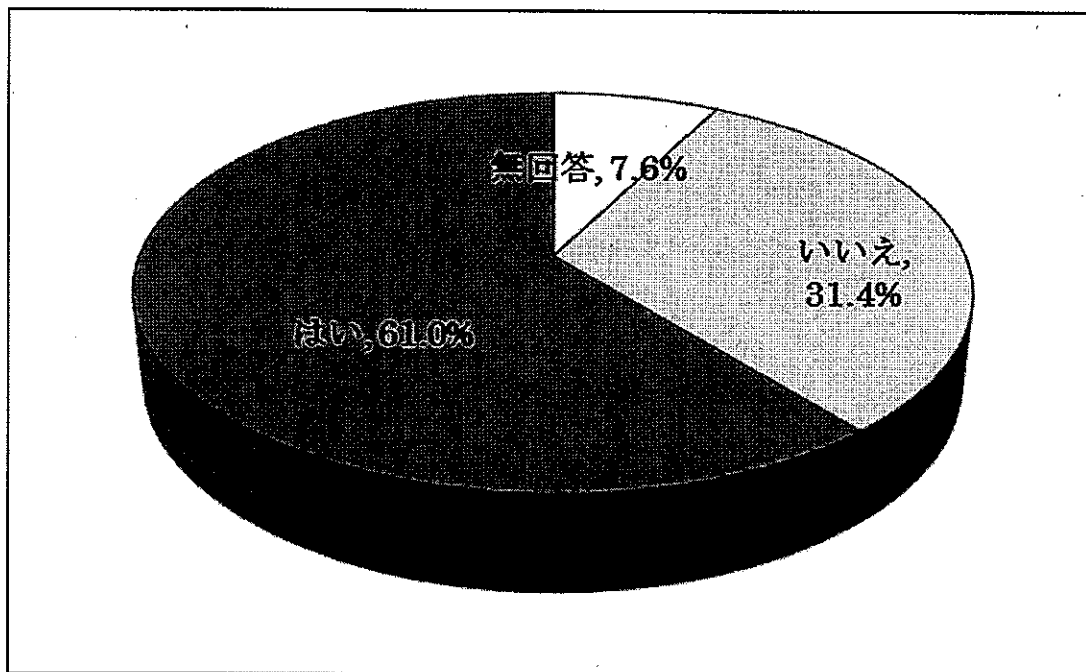
図7 歯科受診(1,633人)



問8 入れ歯を使用していますか。（1つに○）

「いいえ(31.4%)」より「はい(61.0%)」と答えた人が多くなっている。

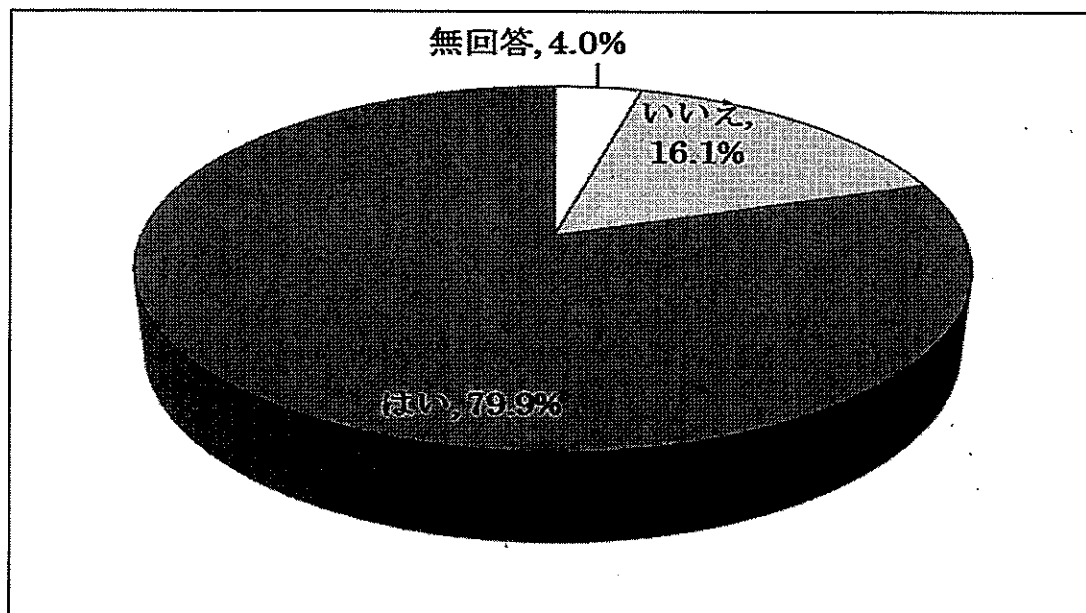
図8 入れ歯(1,633人)



問8-1 (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

「いいえ(16.1%)」より「はい(79.9%)」と答えた人が多くなっている。

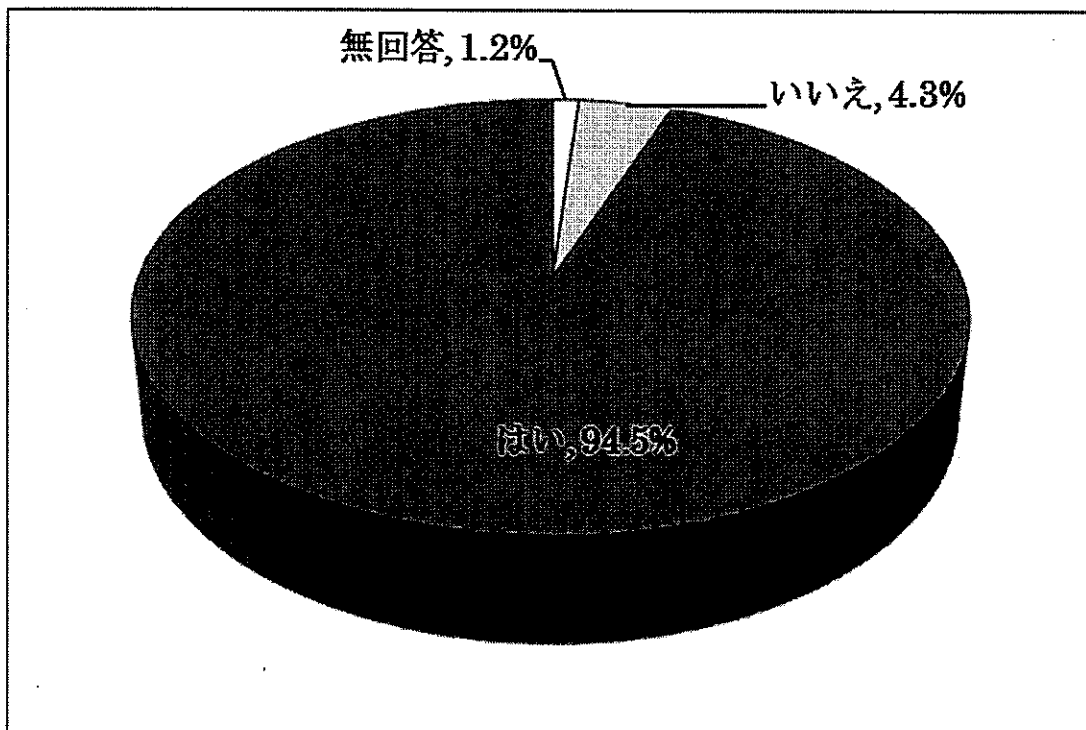
図8-1 入れ歯の噛み合わせ(996人)



問8-2 (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

「いいえ(4.3%)」より「はい(94.5%)」と答えた人が多くなっている。

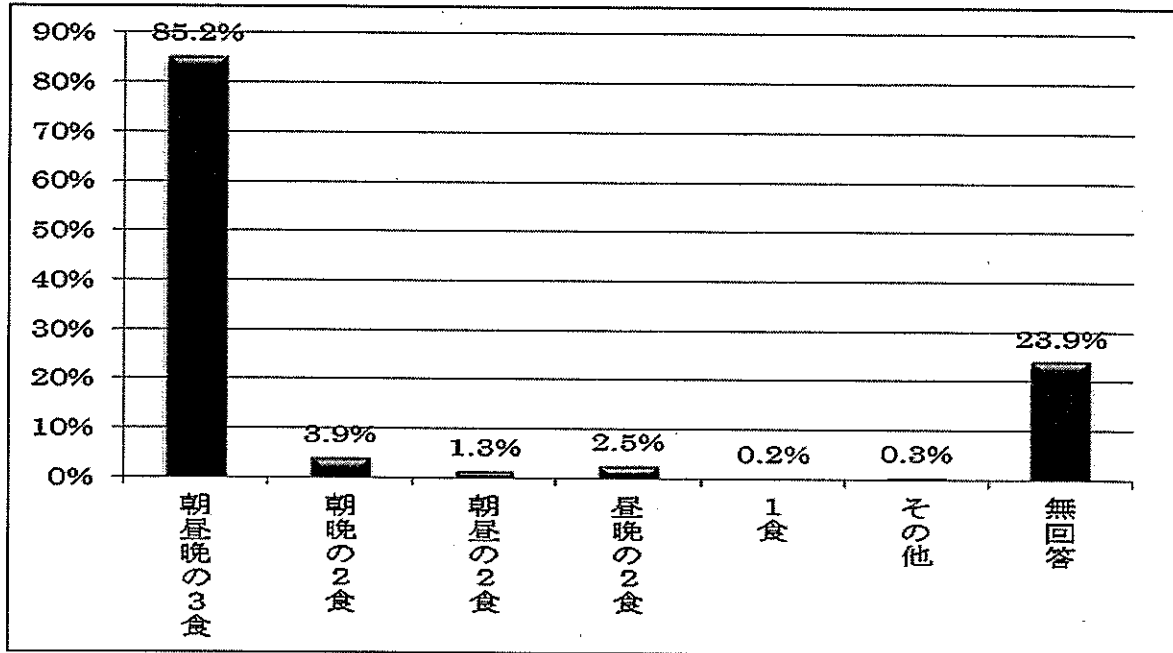
図8-2 入れ歯の手入れ(996人)



問9 1日の食事の回数は何回ですか。(1つに○)

「朝昼晩の3食(85.2%)」が圧倒的に多くなっている。

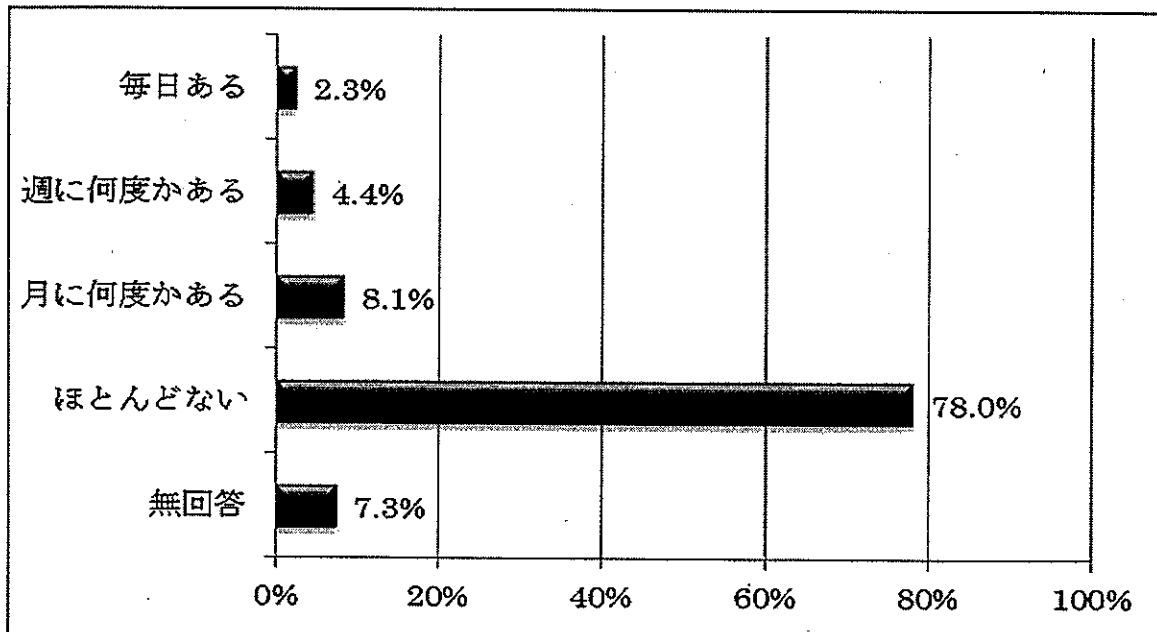
図9 食事回数(1,633人)



問10 食事を省くことがありますか。(1つに○)

「ほとんどない(78.0%)」が最も多く、次いで「月に何度かある(8.1%)」の順となっている。

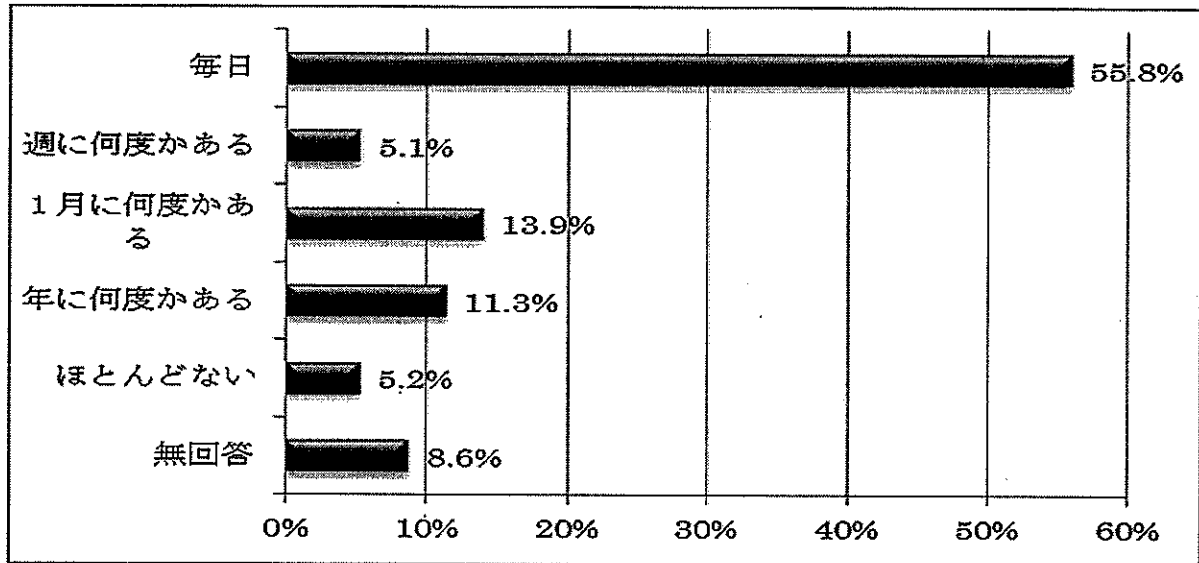
図10 食事を省くことがありますか(回答者1,633人)



問 11 自分1人でなく、どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つに○)

「毎日(55.8%)」が最も多く、次いで「月に何度かある(13.9%)」、「年に何度かある(11.3%)」に比べて多くなっている。

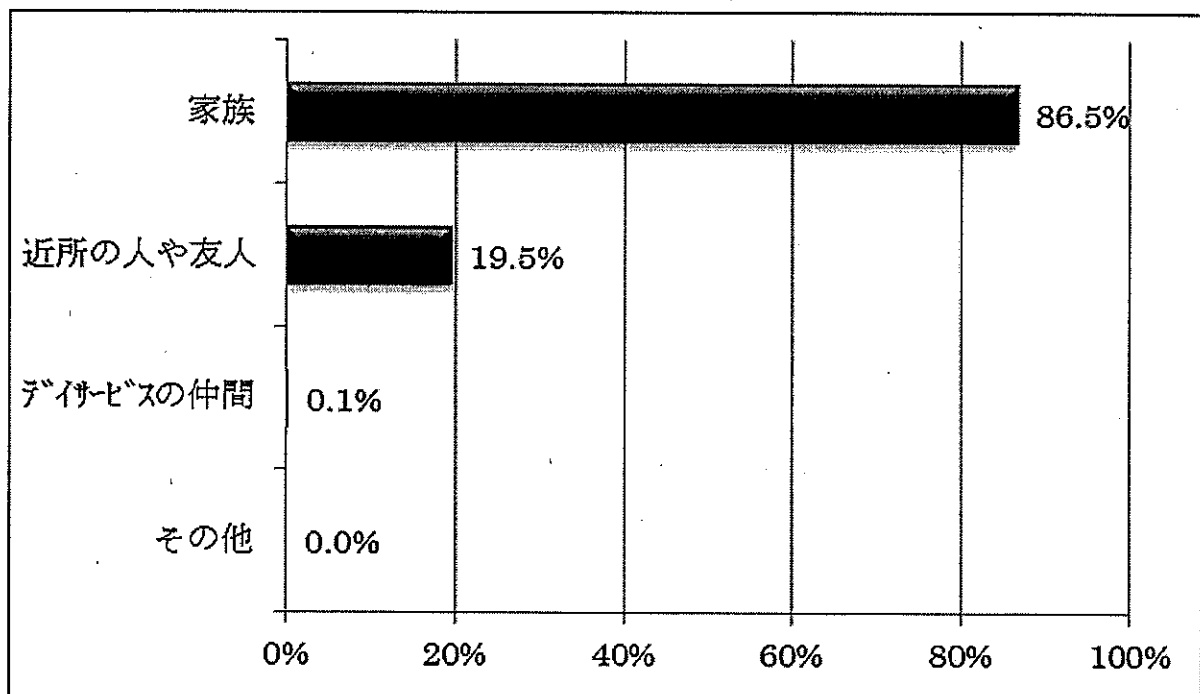
図 11 他人と食事をする機会 (回答者 1,633 人)



問 11-1 (どなたかと食事をともにする機会のある方のみ)食事をともにする人はどなたですか。(1つに○)

「家族(86.5%)」が最も多く、次いで「近所の人や友人(19.5%)」の順となっている。

図 11-1 食事をともにする人 (回答者 1,407 人)

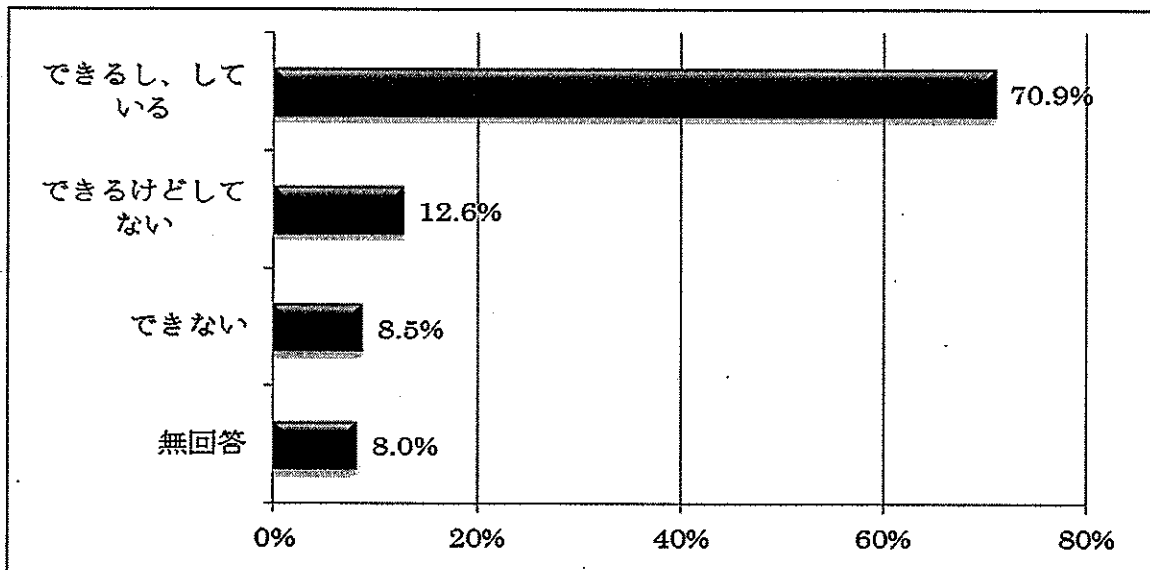


(5) 日常生活について

問1 バスや汽車で1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)

「できるし、している(70.9%)」が最も多く、次いで「できるけどしてない(12.6%)」、「できない(8.5%)」の順となっている。

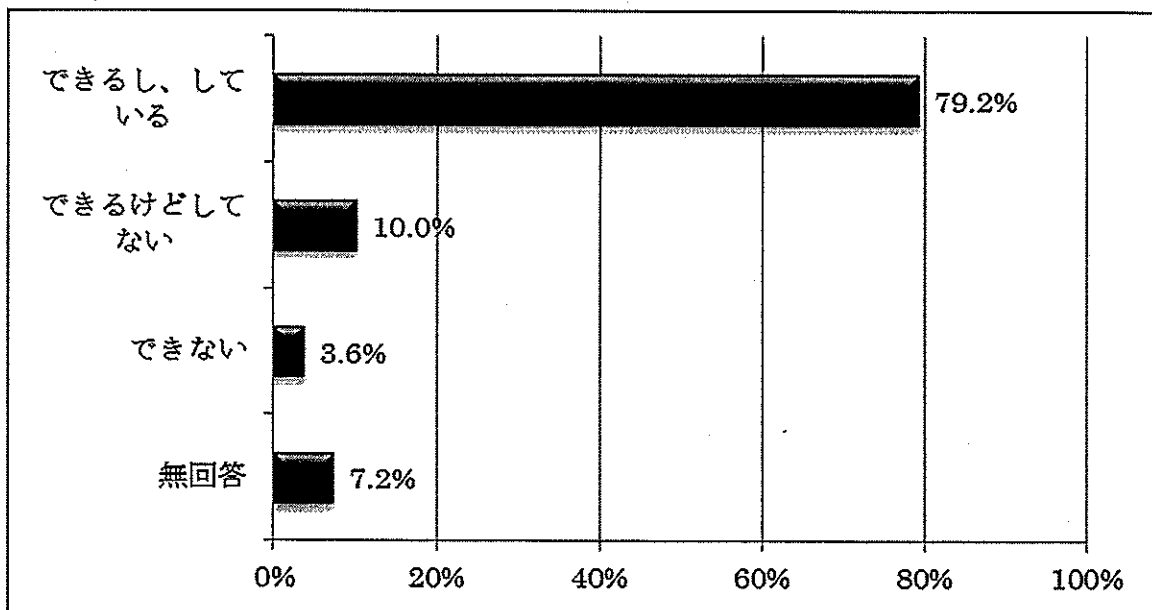
図1 外出(回答者1,633人)



問2 日用品の買物をしていますか。(1つに○)

「できるし、している(79.2%)」が最も多く、次いで「できるけどしてない(10.0%)」、「できない(3.6%)」の順となっている。

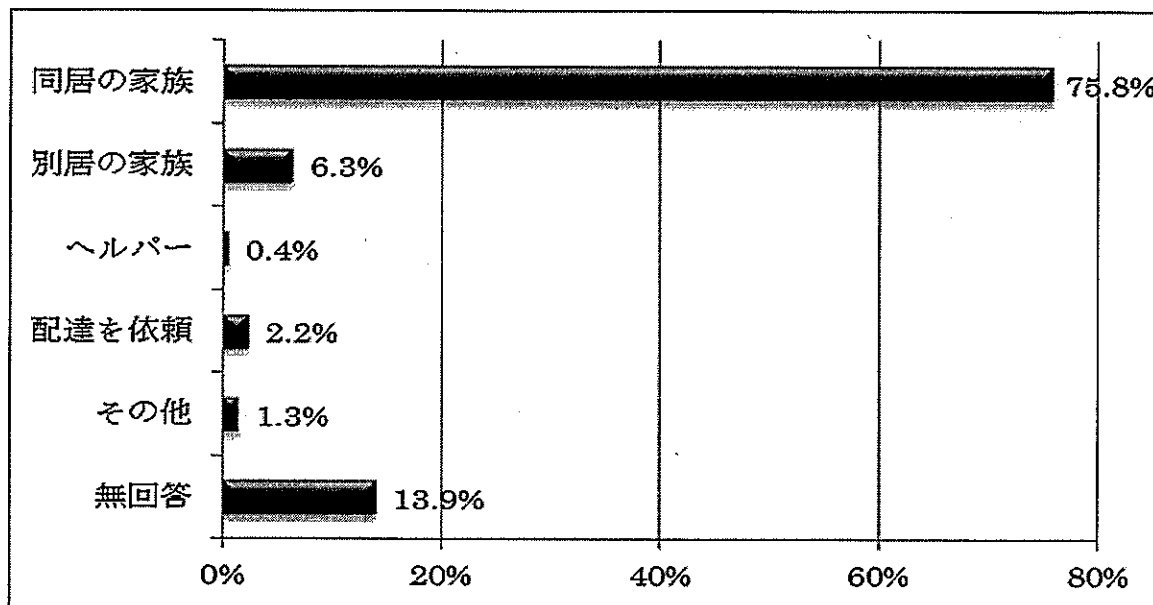
図2 日用品の買物(回答者1,633人)



問2-1 (日用品の買物をしていない・できない人のみ)日用品の買物をする人は主にどなたですか。(1つに○)

「同居の家族(75.8%)」が最も多く、次いで「別居の家族(6.3%)」の順となっている。

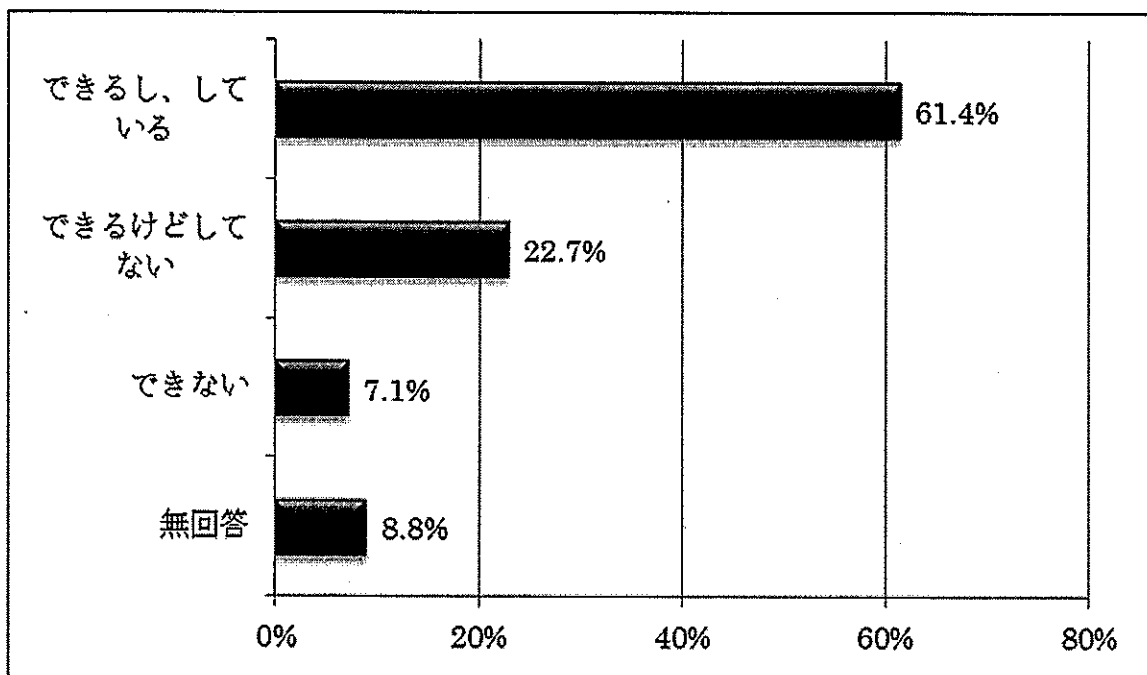
図2-1 主に日用品の買物をする人(回答者223人)



問3 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

「できるし、している(61.4%)」が最も多く、次いで「できるけどしてない(22.7%)」、「できない(7.1%)」の順となっている。

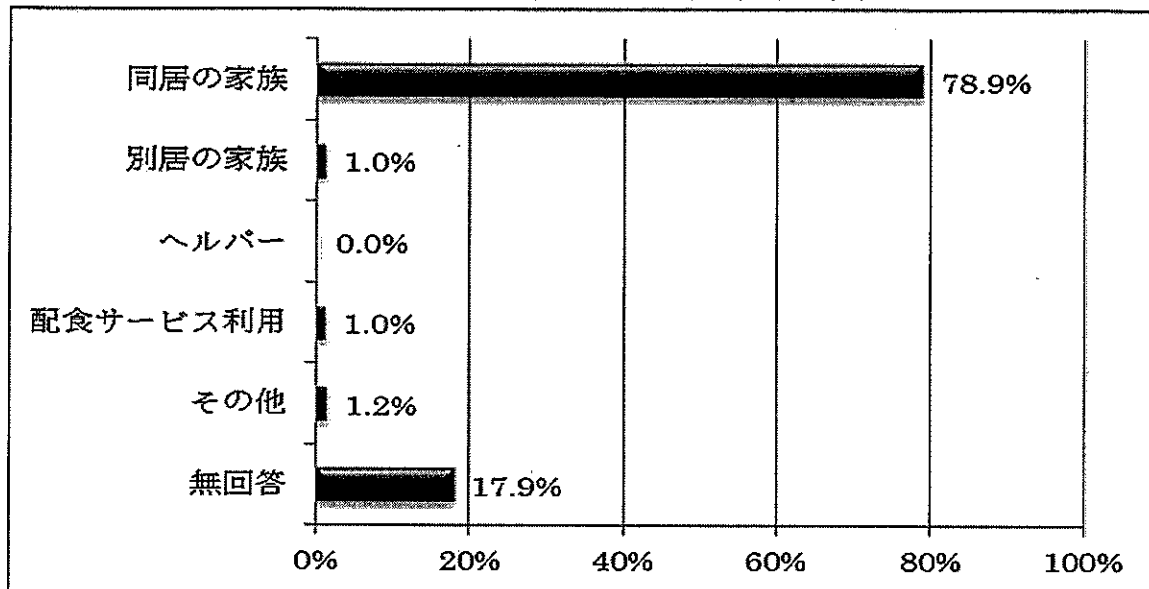
図3 食事の用意(回答者1,633人)



問3-1 (自分で食事の用意をしていない・できない方のみ)食事を用意する人は主にどなたですか。(1つに○)

「同居の家族(78.9%)」が最も多く、次いで「その他(1.2%)」、「別居の家族(1.0%)」と「配食サービス利用(1.0%)」となっている。

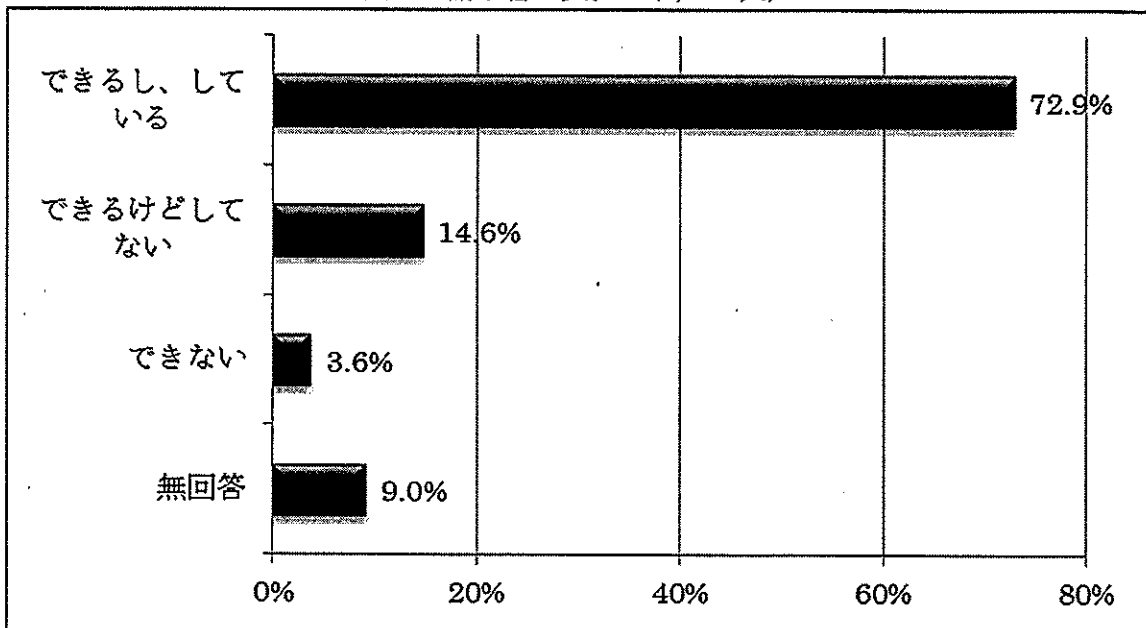
図3-1 主に食事の用意をする人(487人)



問4 請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

「できるし、している(72.9%)」が最も多く、次いで「できるけどしてない(14.6%)」、「できない(3.6%)」の順となっている。

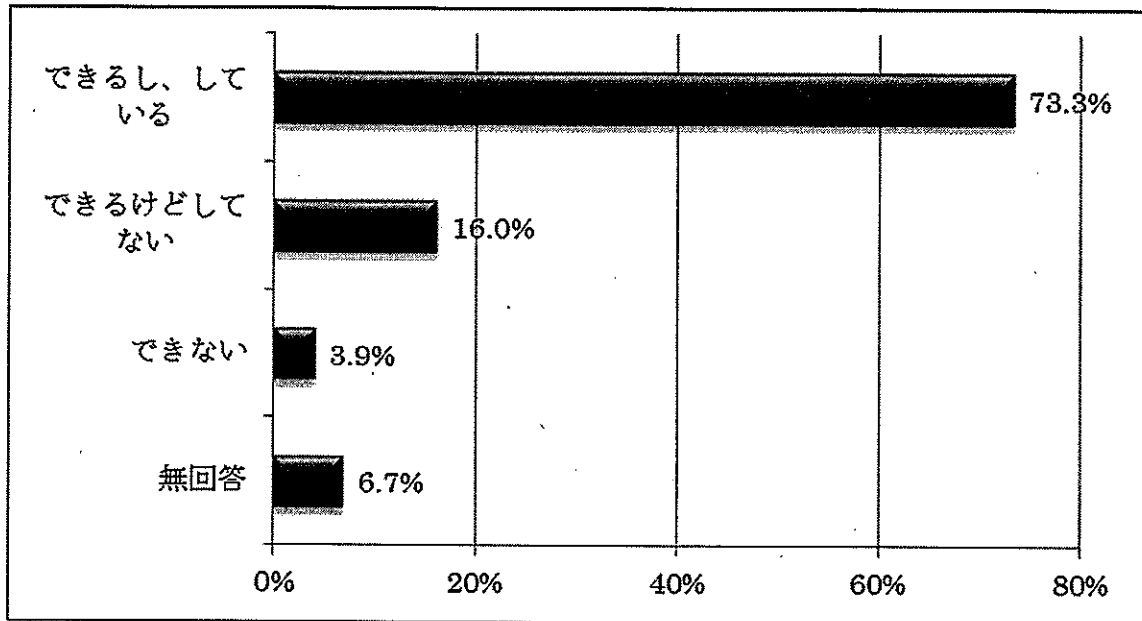
図4 請求書の支払い(1,633人)



問5 預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

「できるし、している(73.3%)」が最も多く、次いで「できるけどしてない(16.0%)」、「できない(3.9%)」の順となっている。

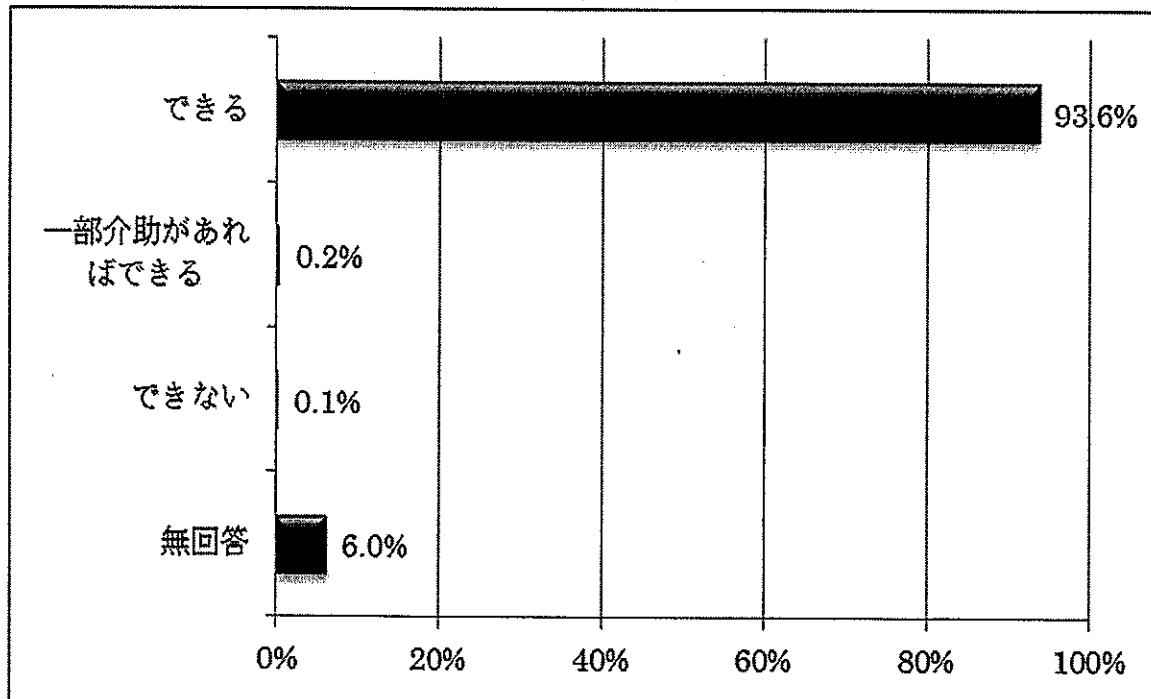
図5 預貯金の出し入れ (1,633人)



問6 食事は自分で食べられますか。(1つに○)

「できる(93.6%)」と答えた方が9割を超えている。

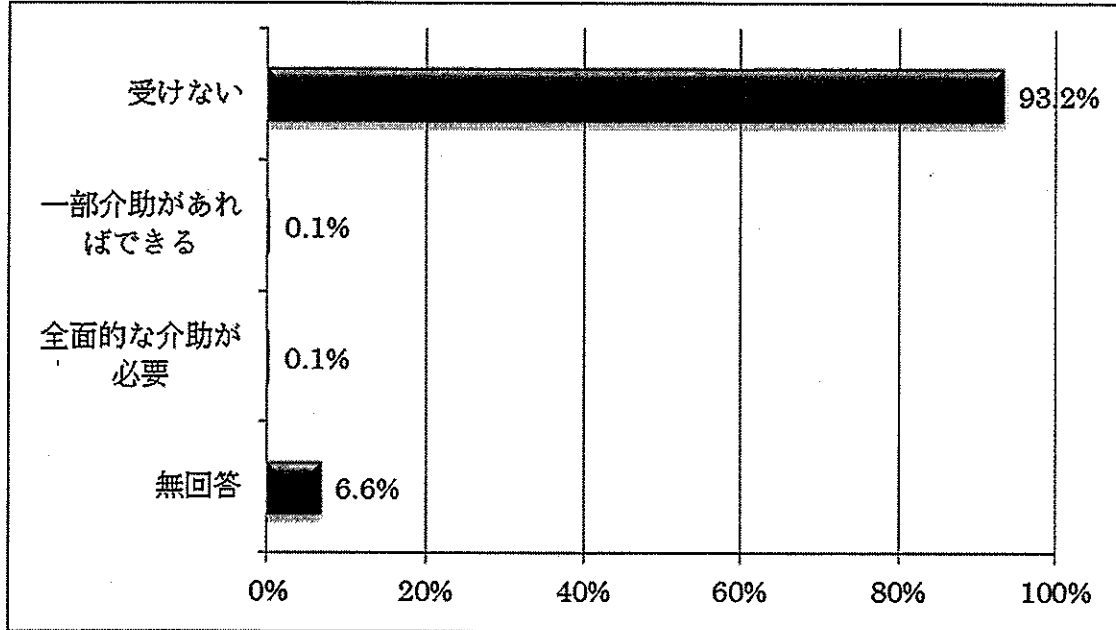
図6 食事(1,633人)



問7 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。(1つに○)

「できる(90.6%)」と答えた方が9割を超えている。

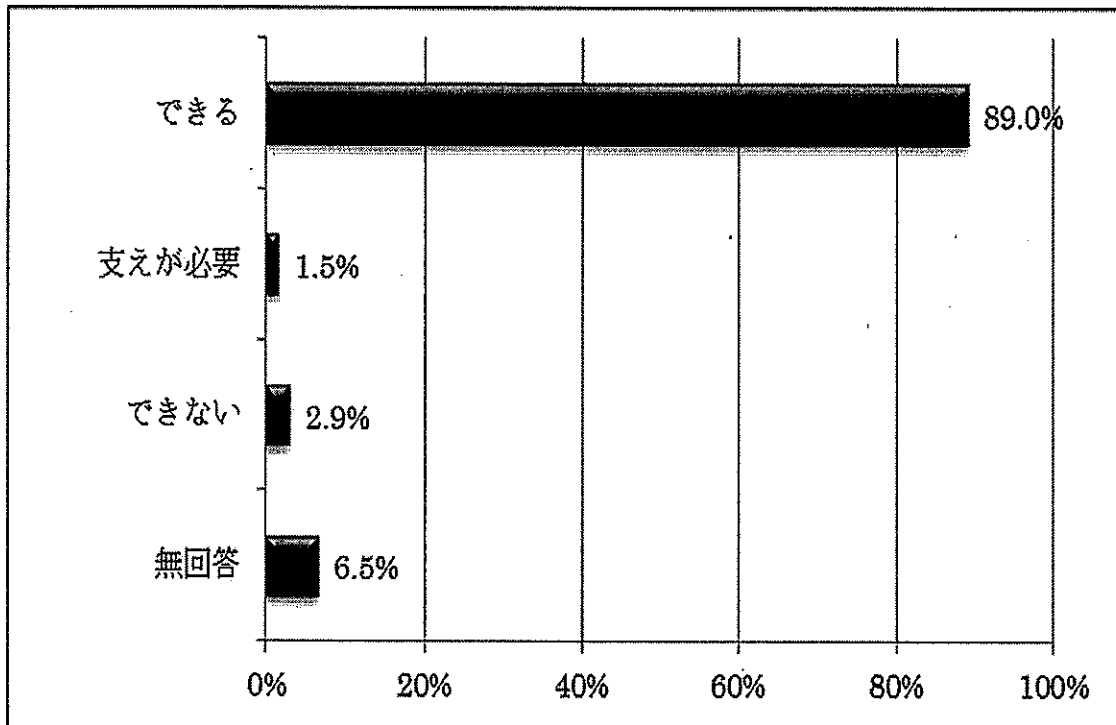
図7 寝床までの介助(1,633人)



問8 座っていることができますか。(1つに○)

「できる(89.0%)」と答えた方が最も多くなっている。

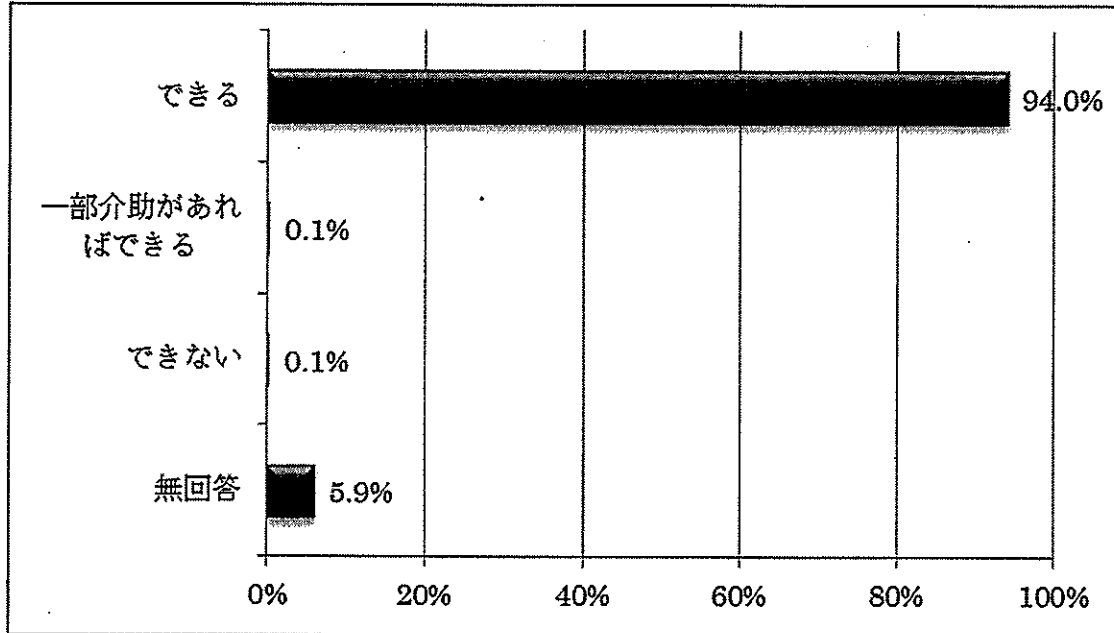
図8 座っていることができるか(1,633人)



問9 自分で洗面や歯磨きができますか。(1つに○)

「できる(90.6%)」と答えた方が9割を超えている。

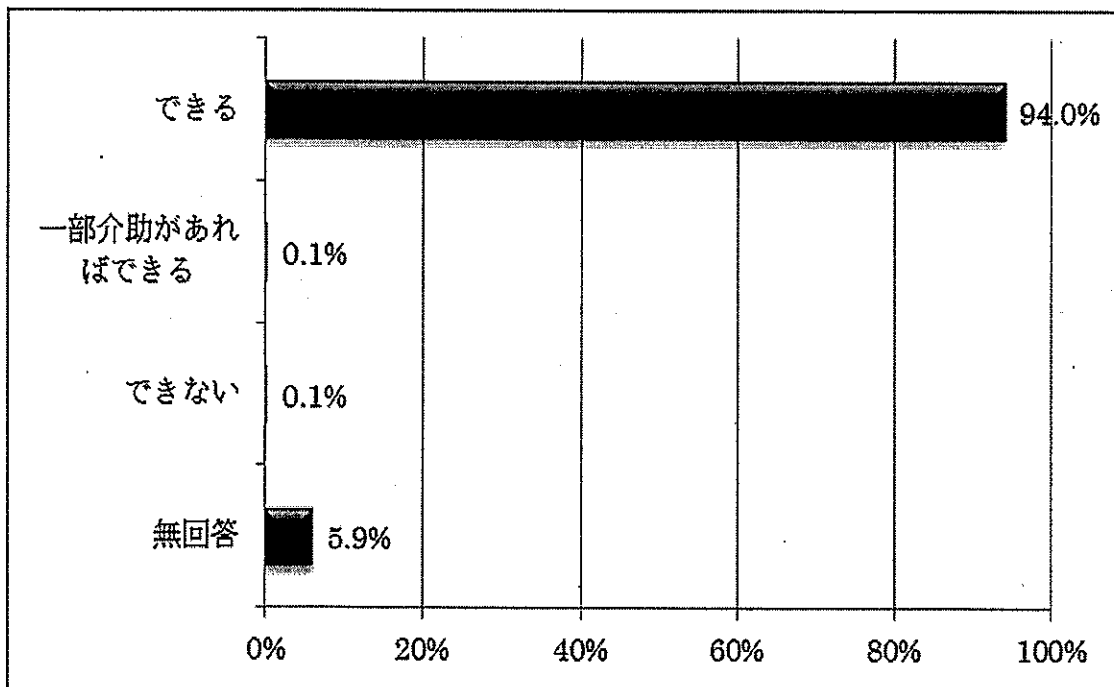
図9 洗面や歯磨き(1,633人)



問10 自分でトイレができますか。(1つに○)

「できる(90.6%)」と答えた方が9割を超えている。

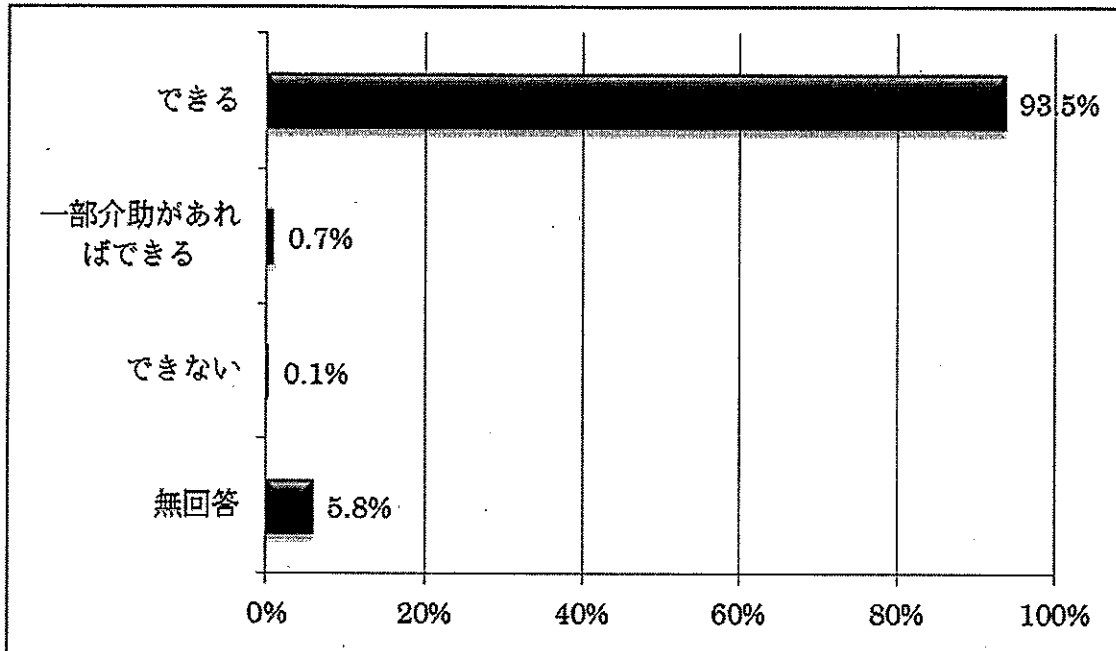
図10 椅子からの立ち上がり(1,633人)



問 11 自分で入浴ができますか。(1つに○)

「できる(90.6%)」と答えた方が9割を超えている。

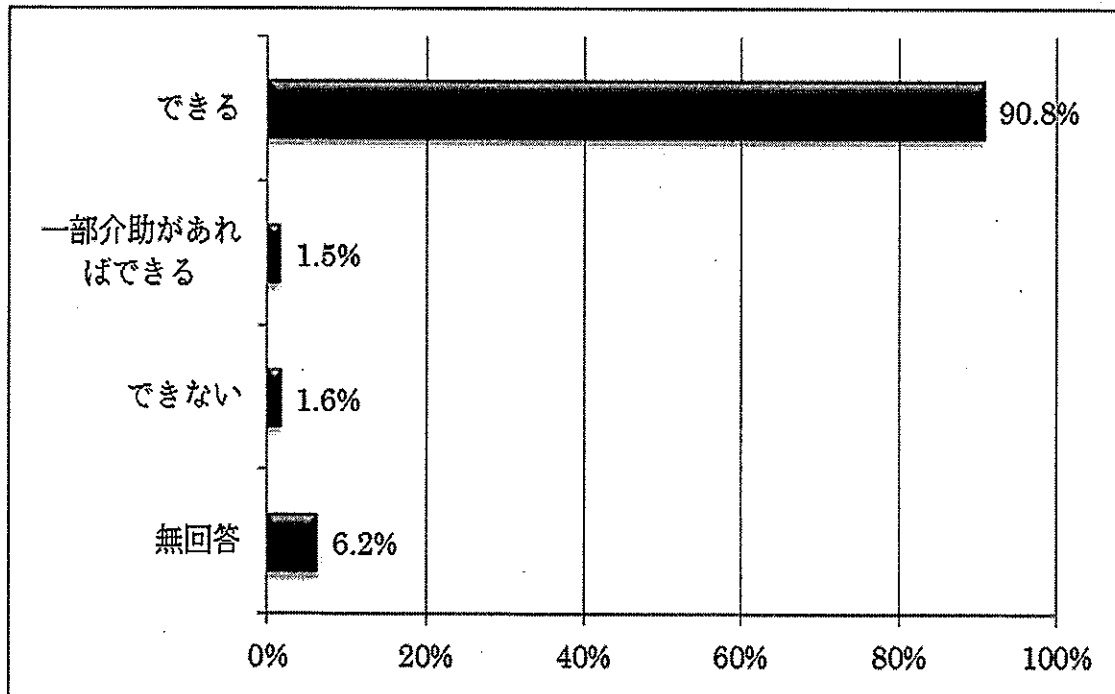
図 11 入浴(1,633人)



問 12 50m以上歩けますか。(1つに○)

「できる(90.6%)」と答えた方が9割を超えている。

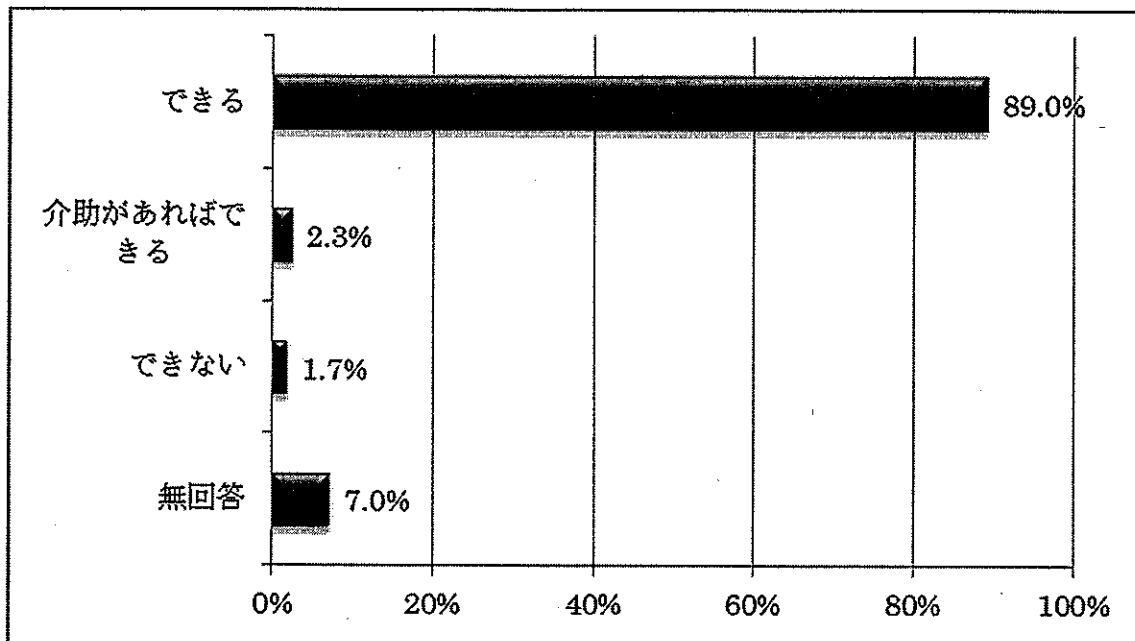
図 12 歩行(1,633人)



問 13 階段を昇り降りできますか。(1つに○)

「できる(89.0%)」と答えた方が最も多くなっている。

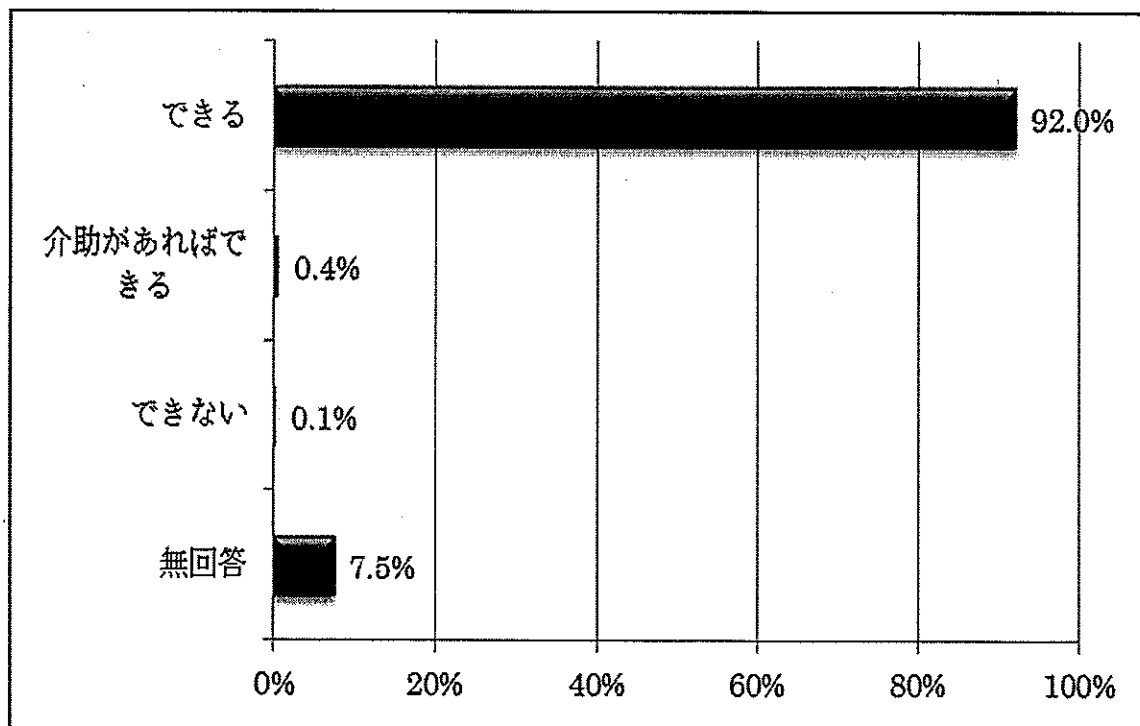
図 13 階段の昇り降り(1,633人)



問 14 自分で着替えができますか。(1つに○)

「できる(92.0%)」と答えた方が9割を超えている。

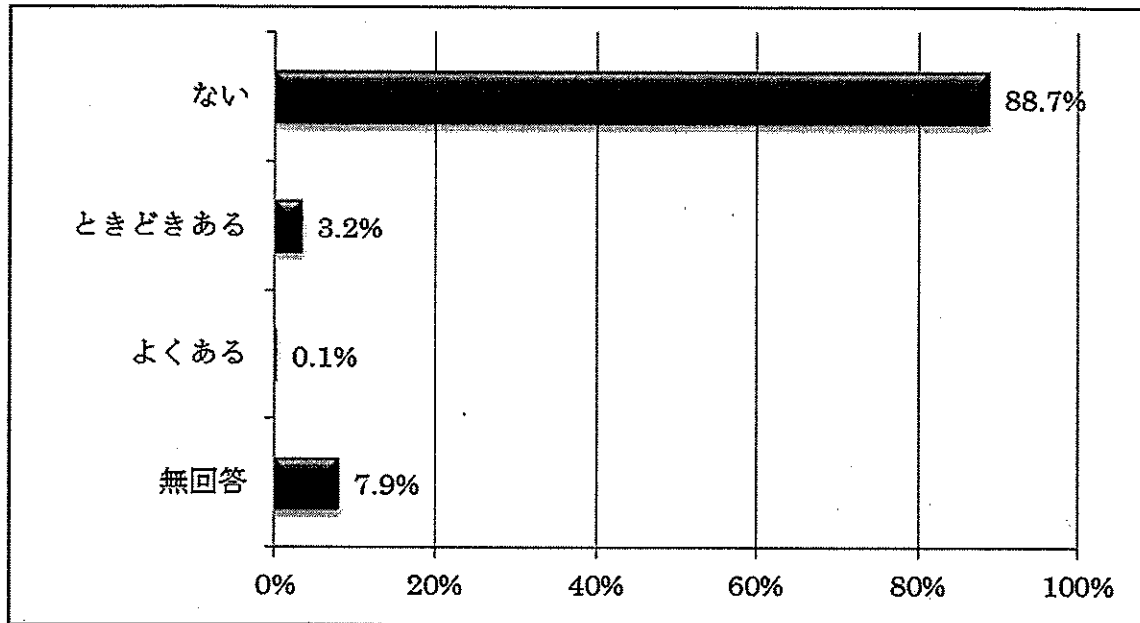
図 14 着替え(1,633人)



問 15 大便の失敗がありますか。(1つに○)

「ない(88.7%)」と答えた方が最も多くなっている。

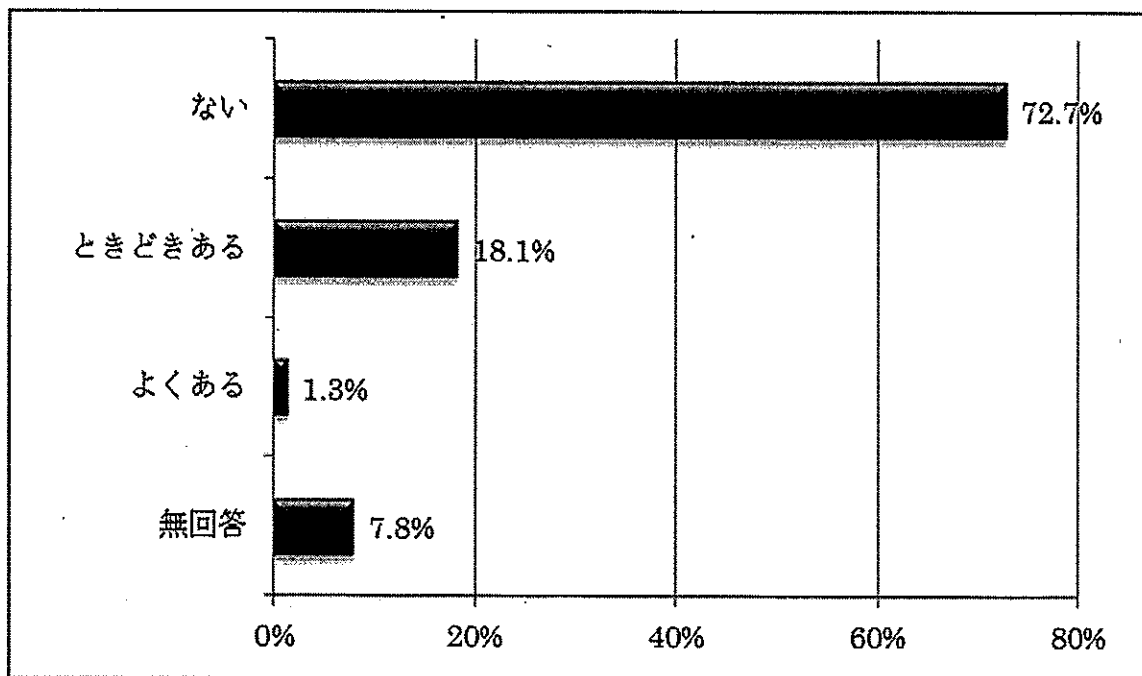
図 15 大便の失敗(1,633 人)



問 16 尿漏れや失禁等がありますか。(1つに○)

「ない(72.7%)」が最も多く、次いで「ときどきある(18.1%)」、「よくある(1.3%)」の順となっている。

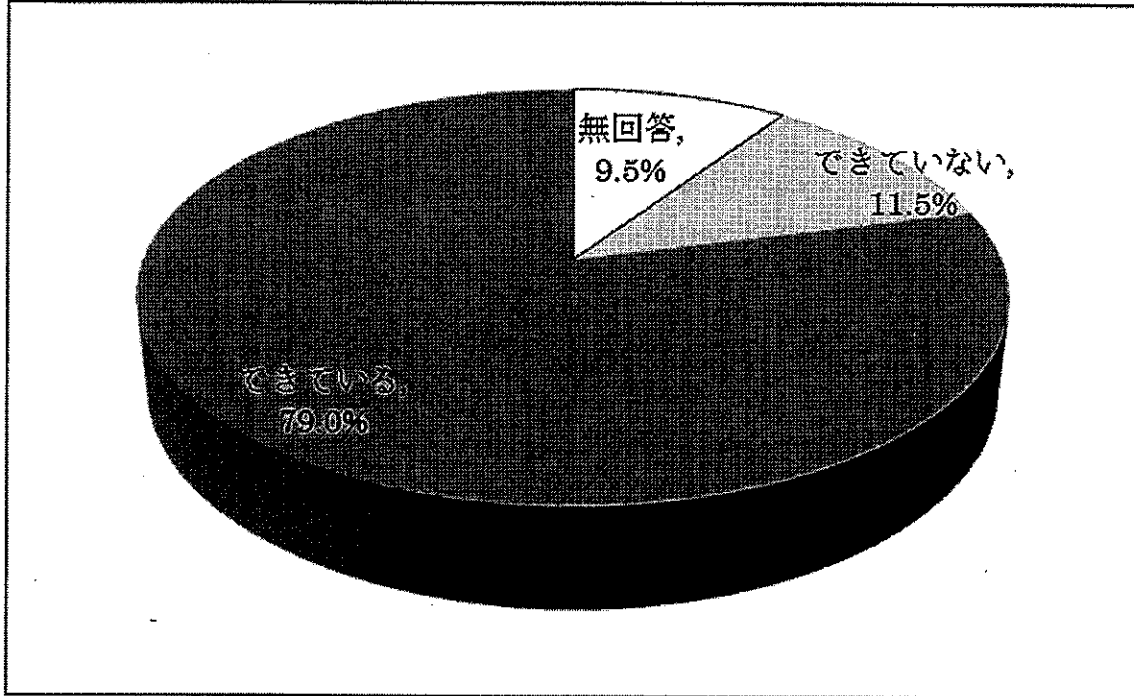
図 16 尿漏れや失禁(1,633 人)



問 17 家事全般ができていますか。(1つに○)

「できていない(11.5%)」よりも「できている(79.0%)」の方が多くなっている。

図 17 家事全般(1,633人)

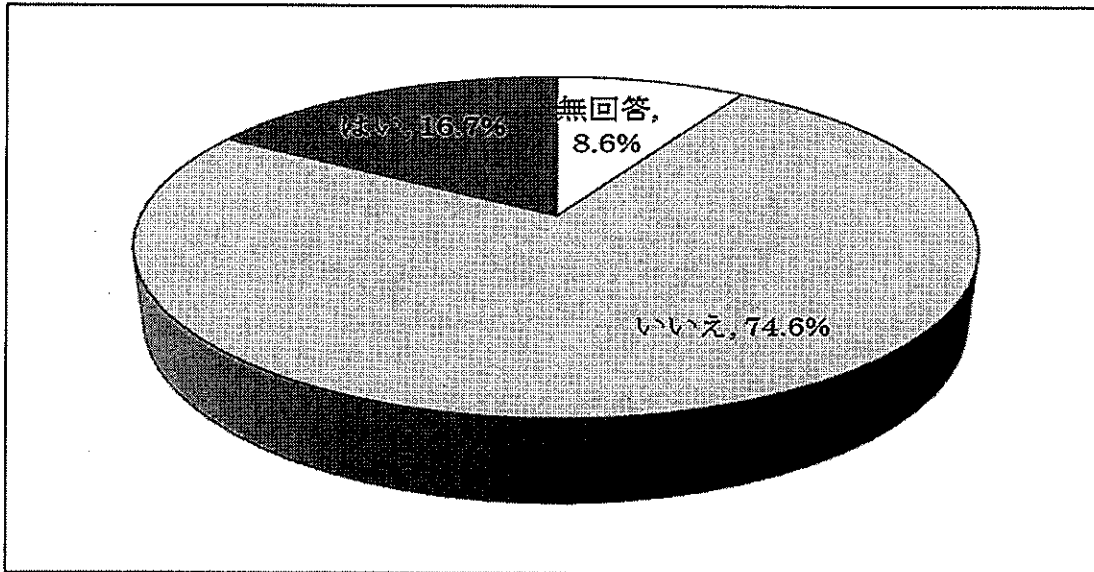


(6) 物忘れについて

問1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか。(1つに○)

「はい(16.7%)」よりも「いいえ(74.6%)」の方が多くなっている。

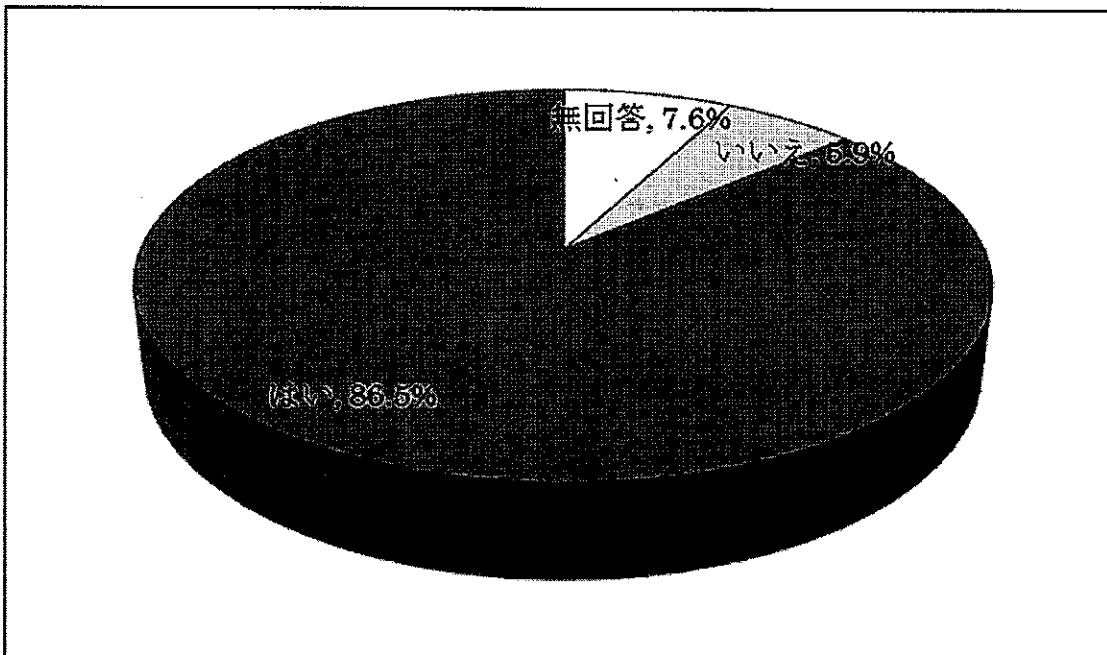
図1 物忘れ(1,633人)



問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)

「はい(16.7%)」よりも「いいえ(74.6%)」の方が多くなっている。

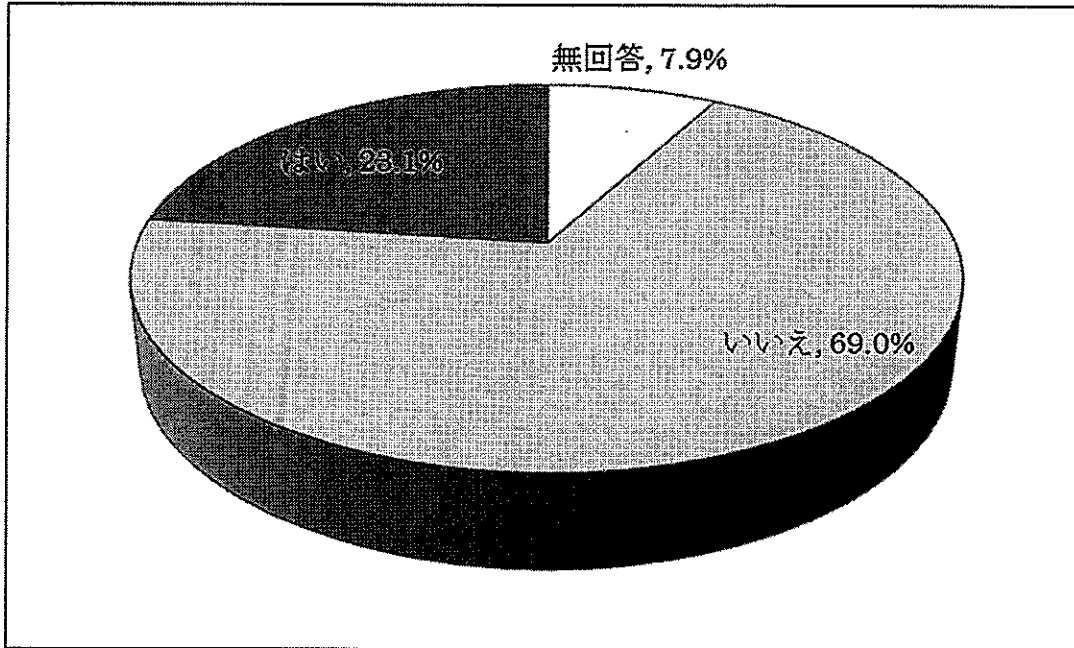
図2 電話番号の検索(1,633人)



問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)

「はい(23.1%)」よりも「いいえ(69.0%)」の方が多くなっている。

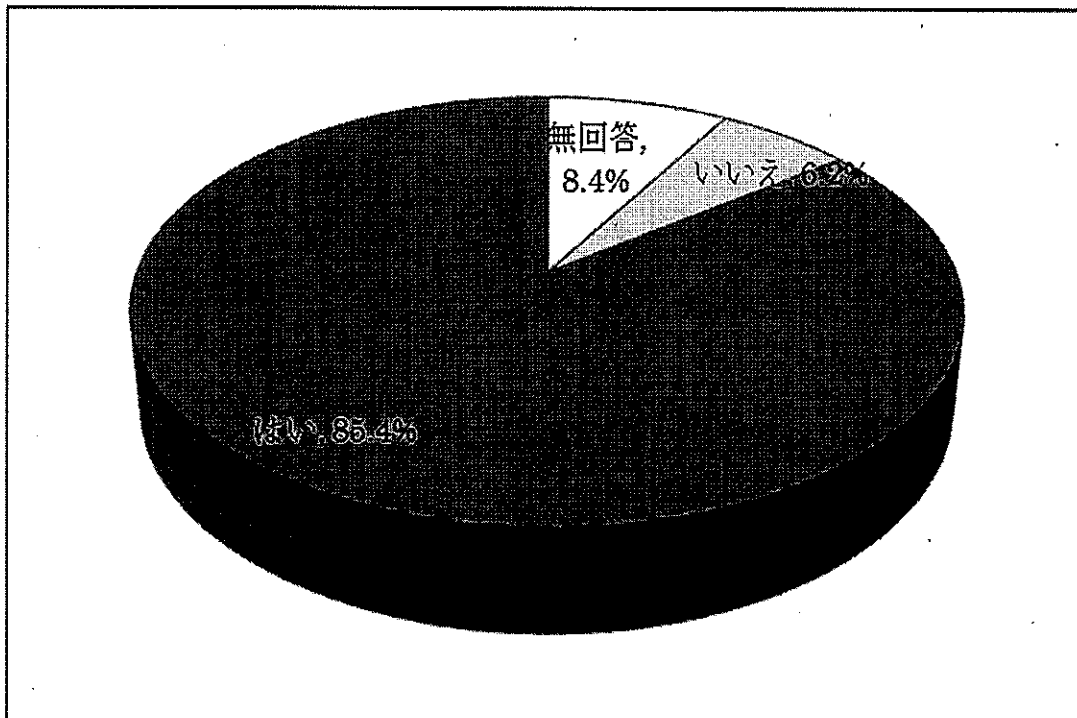
図3 月日の把握(1,633人)



問4 5分前のことが思い出せますか。(1つに○)

「いいえ(6.2%)」よりも「はい(85.4%)」の方が多くなっている。

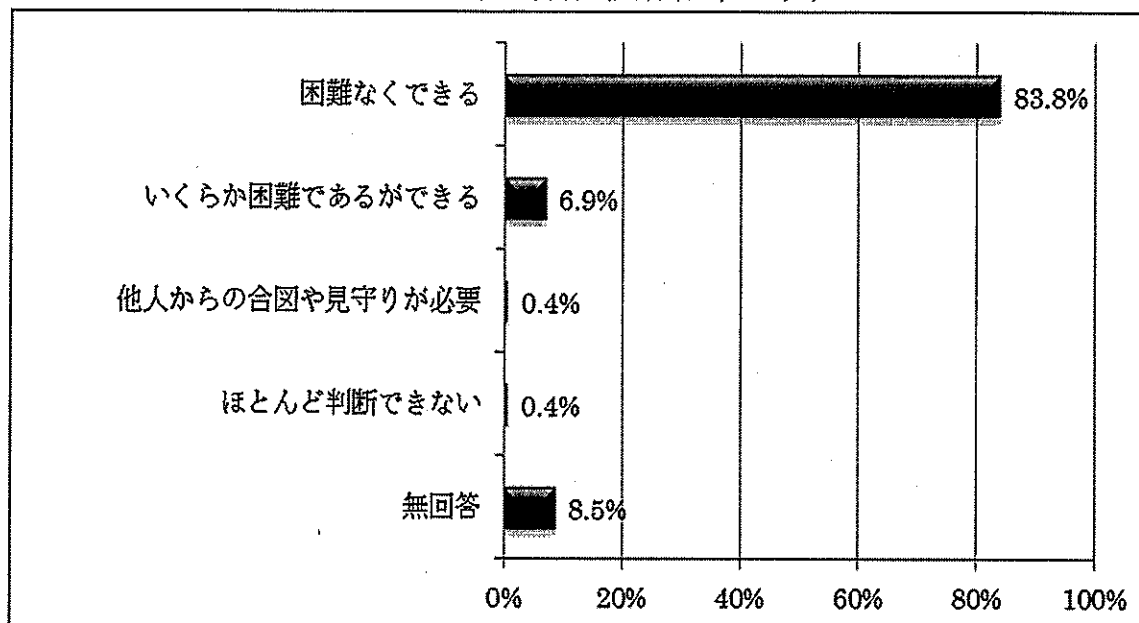
図4 5分前の記憶(1,633人)



問5 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶ）を自分で判断できますか。（1つに○）

「困難なくできる(83.8%)」が最も多く、次いで「いくらか困難であるができる(6.9%)」の順となっている。

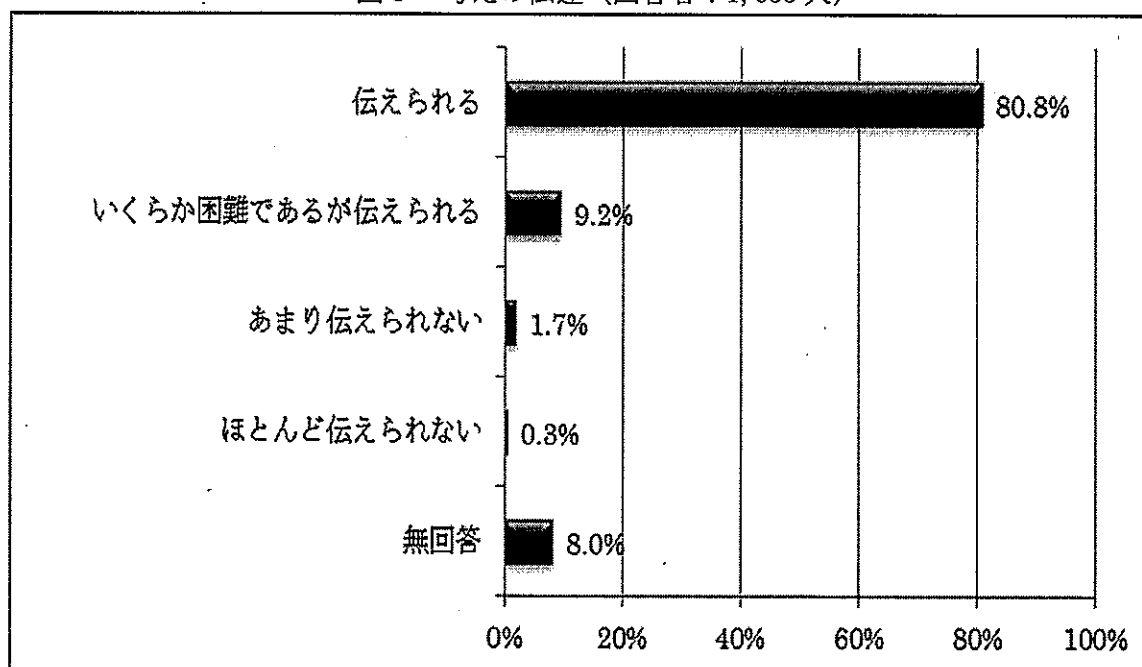
図5 活動の判断（回答者 1,633 人）



問6 人に自分の考えをうまく伝えられますか。（1つに○）

「伝えられる(80.8%)」が最も多く、次いで「いくらか困難であるが伝えられる(9.2%)」の順となっている。

図6 考えの伝達（回答者：1,633 人）

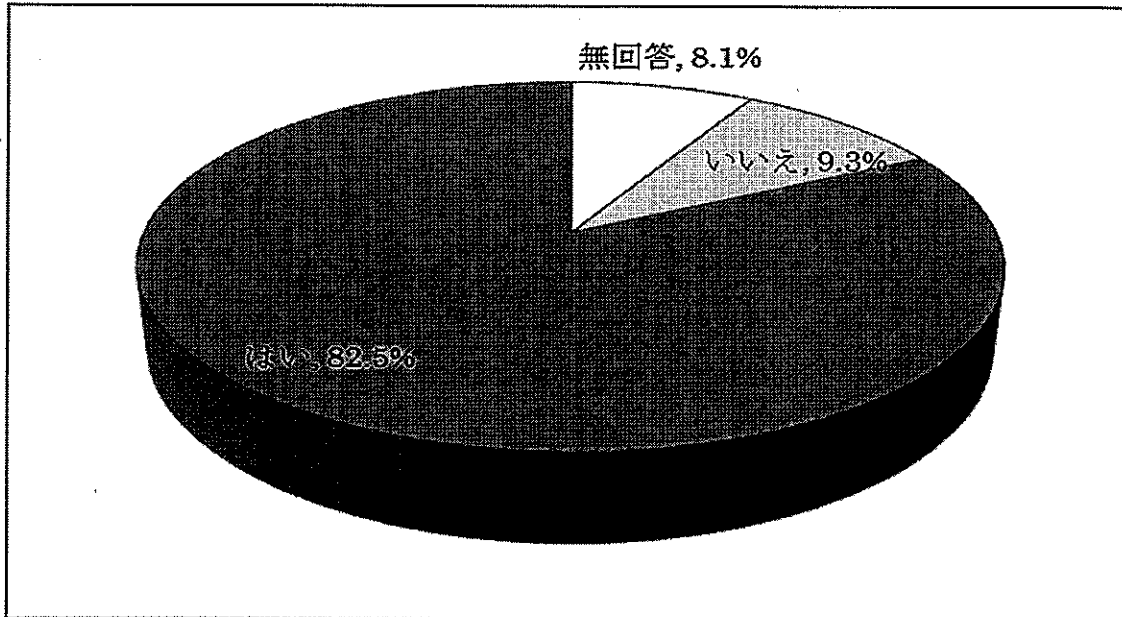


(7) 社会参加について

問1 年金などの書類（役場や病院に出す書類）が書けますか。（1つに○）

「いいえ(9.3%)」よりも「はい(82.5%)」の方が多くなっている。

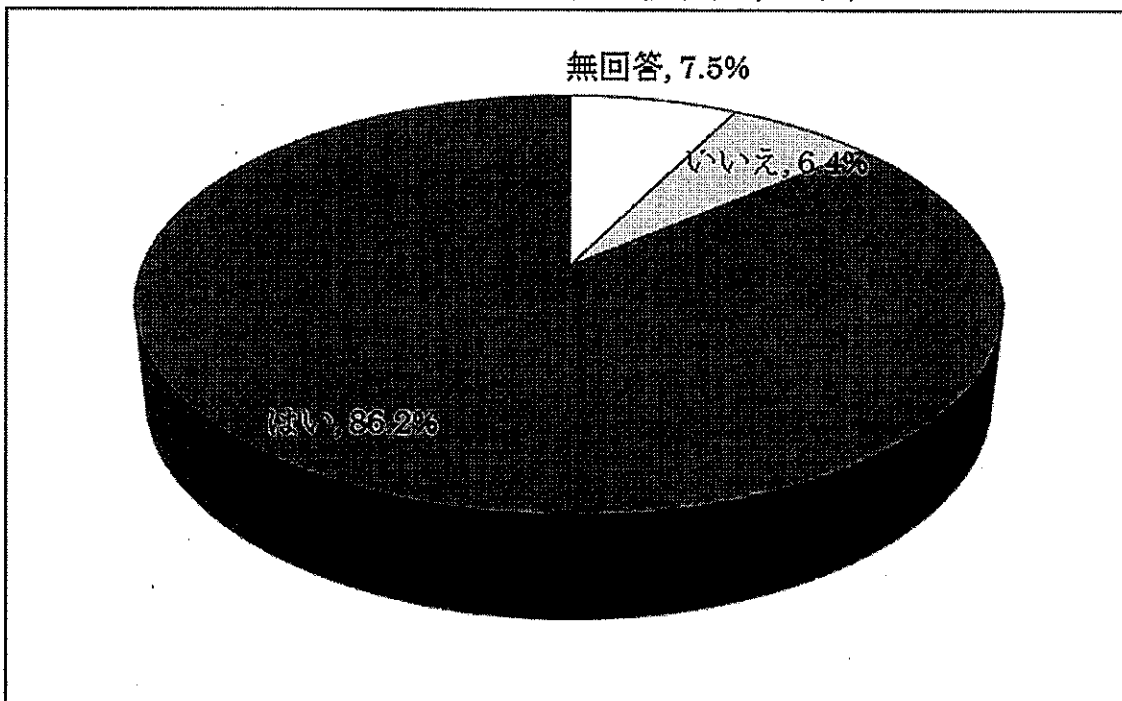
図1 書類の記入（回答者 1,633 人）



問2 新聞を読んでいますか。（1つに○）

「いいえ(6.4%)」よりも「はい(86.2%)」の方が多くなっている。

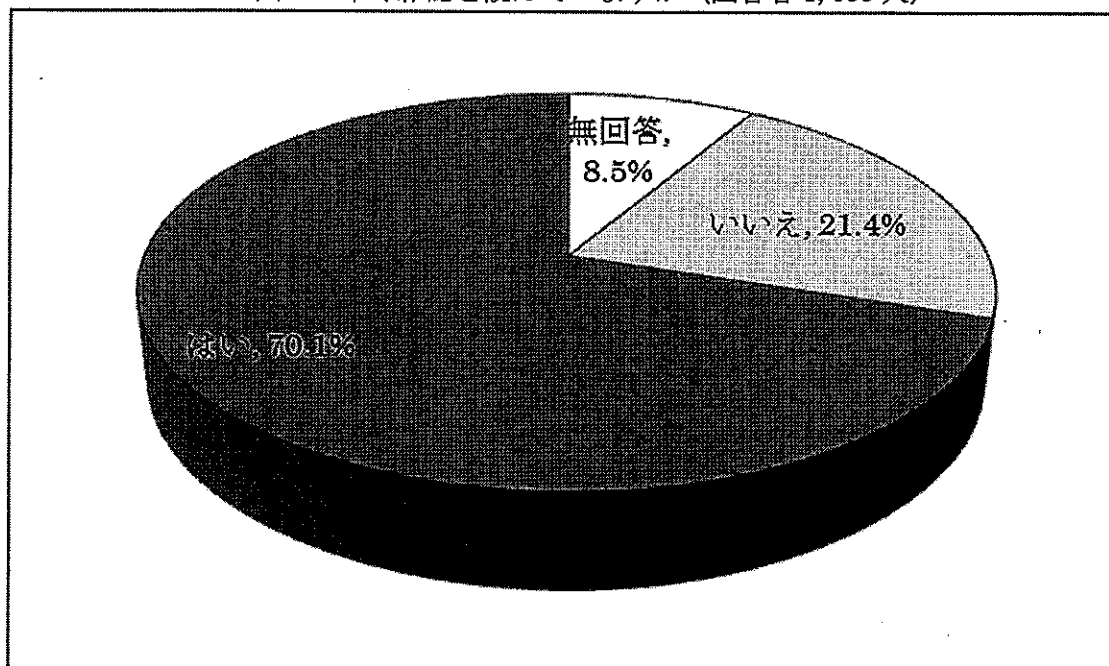
図2 新聞を読んでいますか（回答者 1,633 人）



問3 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

「いいえ(21.4%)」よりも「はい(70.1%)」の方が多くなっている。

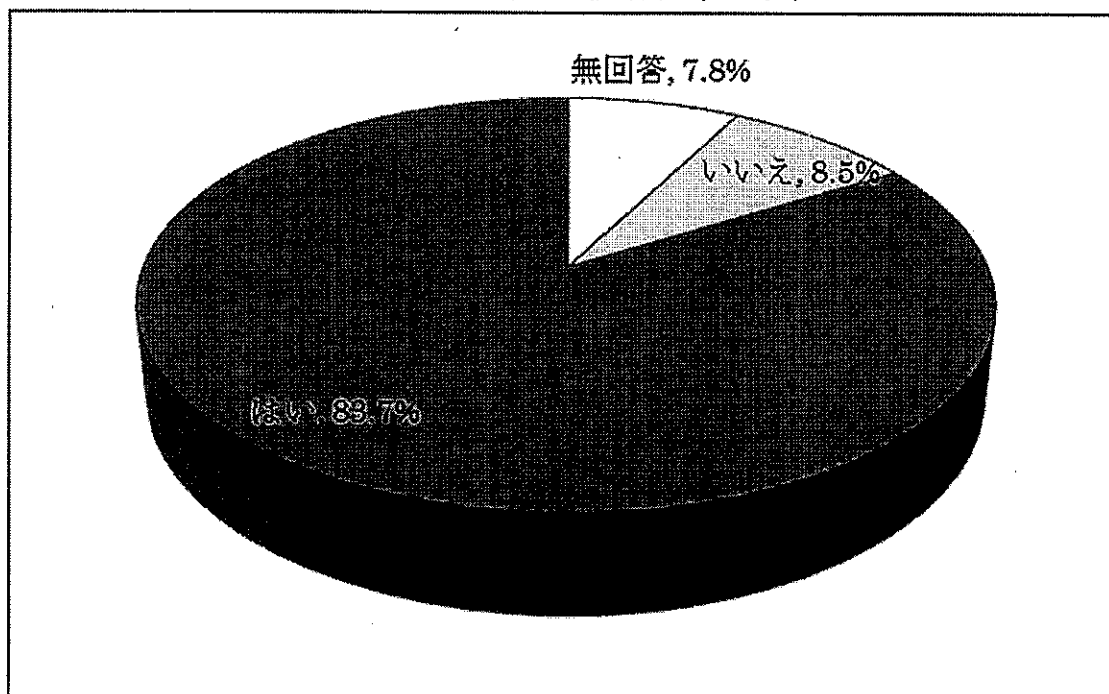
図3 本や雑誌を読んでいますか(回答者1,633人)



問4 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

「いいえ(8.5%)」よりも「はい(83.7%)」の方が多くなっている。

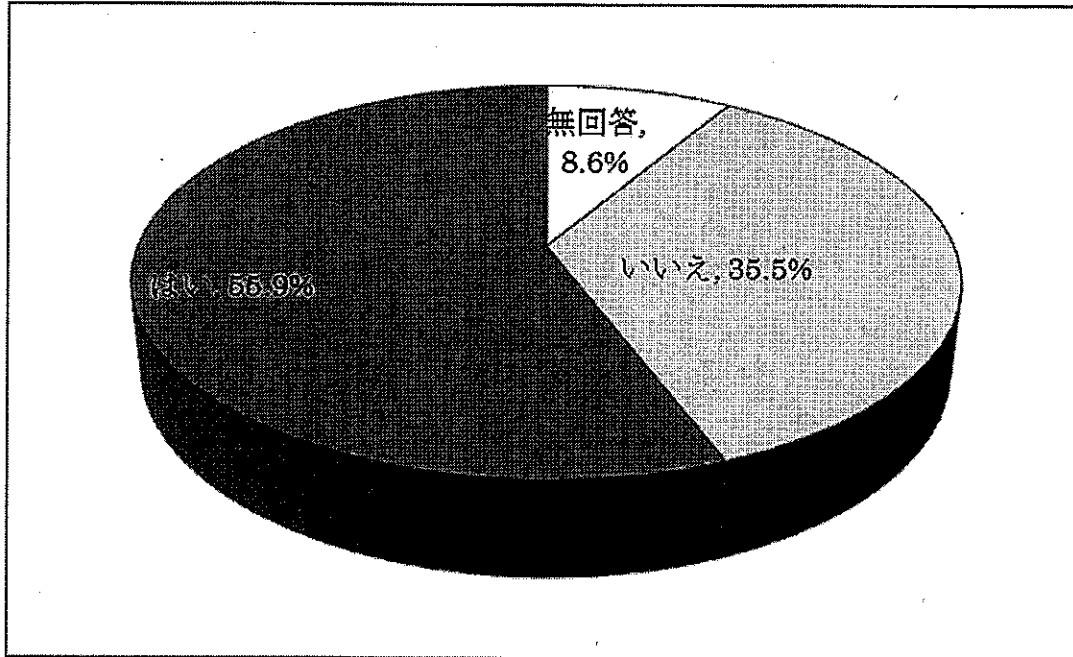
図4 健康への関心(回答者1,633人)



問5 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

「いいえ(35.5%)」よりも「はい(55.9%)」の方が多くなっている。

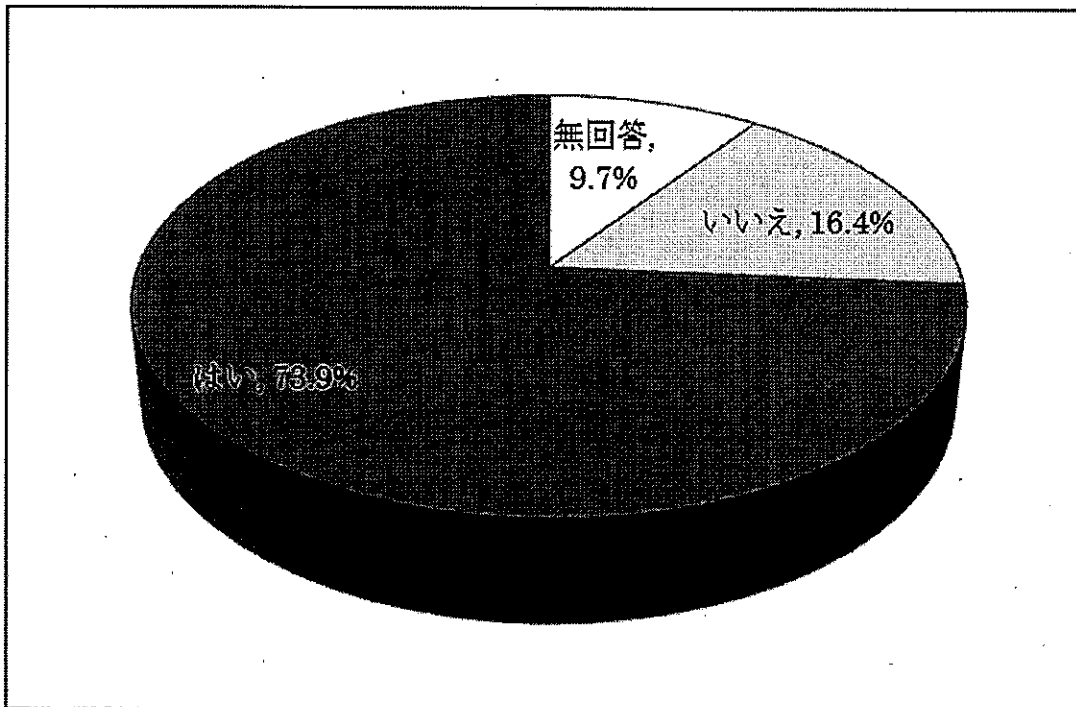
図5 友人宅への訪問(回答者1,633人)



問6 家族や友人の相談に乗っていますか。(1つに○)

「いいえ(16.4%)」よりも「はい(73.9%)」の方が多くなっている。

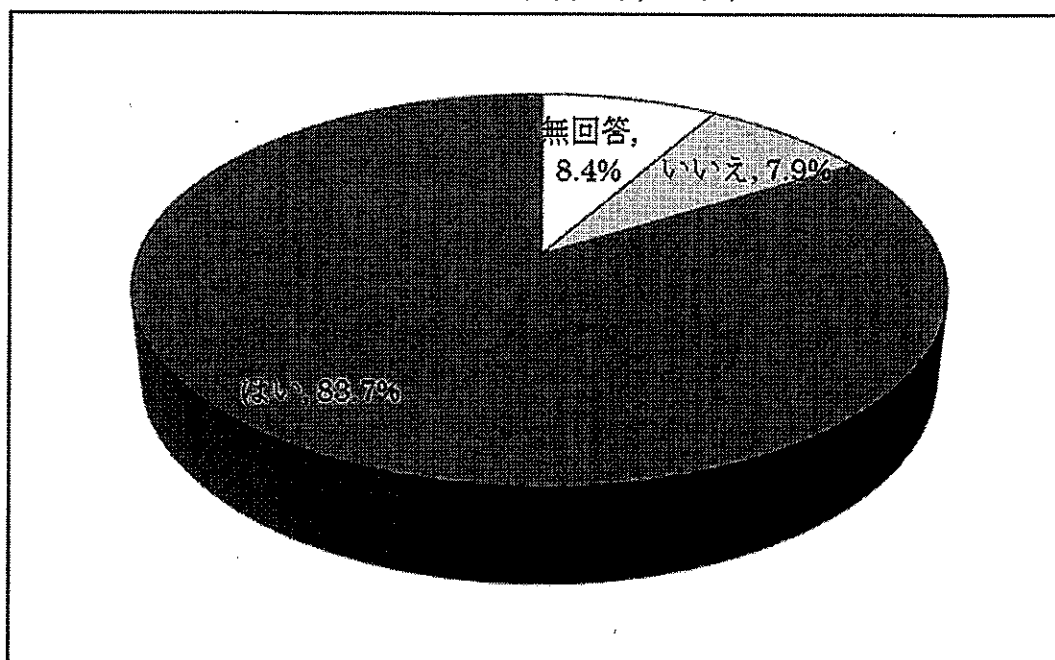
図6 家族や友人の相談(回答者1,633人)



問7 病人を見舞うことがありますか。(1つに○)

「いいえ(7.9%)」よりも「はい(83.7%)」の方が多くなっている。

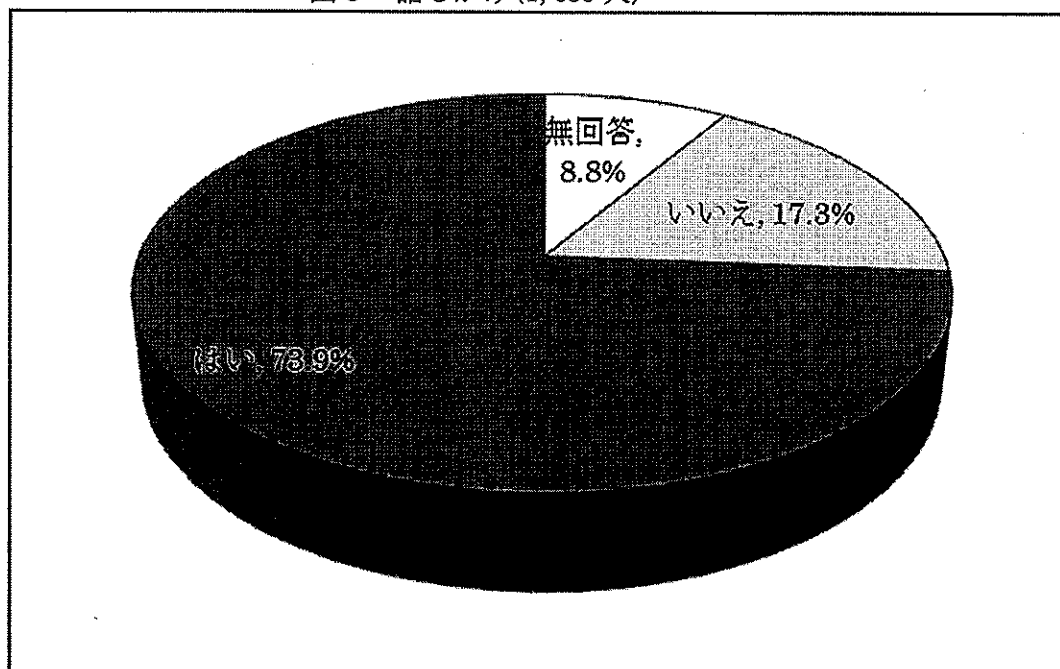
図7 病人の見舞い(1,633人)



問8 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)

「いいえ(17.3%)」よりも「はい(73.9%)」の方が多くなっている。

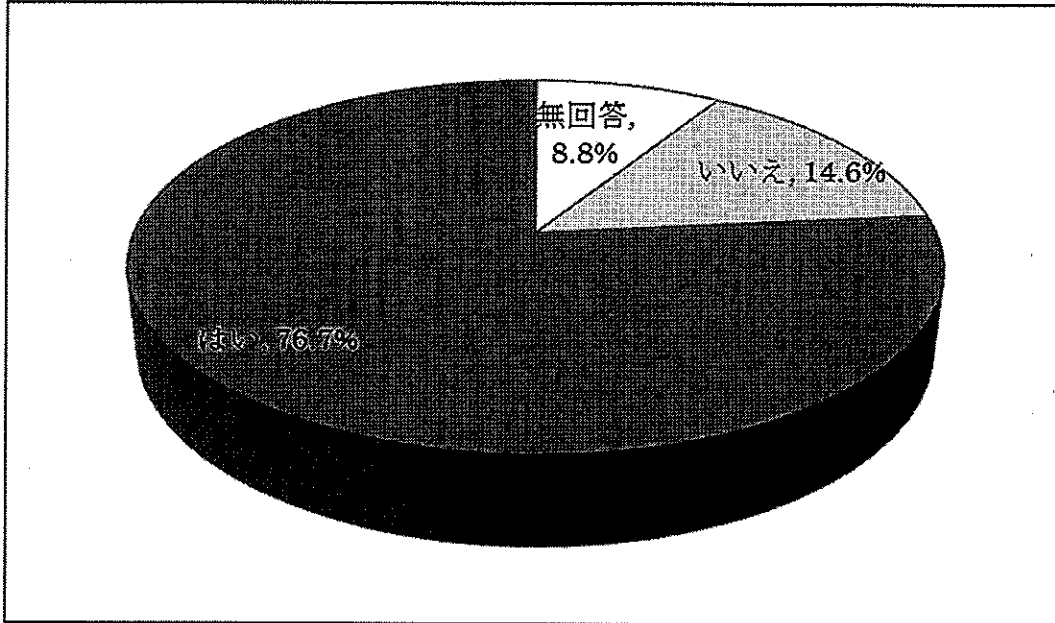
図8 話しかけ(1,633人)



問9 趣味はありますか。(1つに○)

「いいえ(14.6%)」よりも「はい(76.7%)」の方が多くなっている。

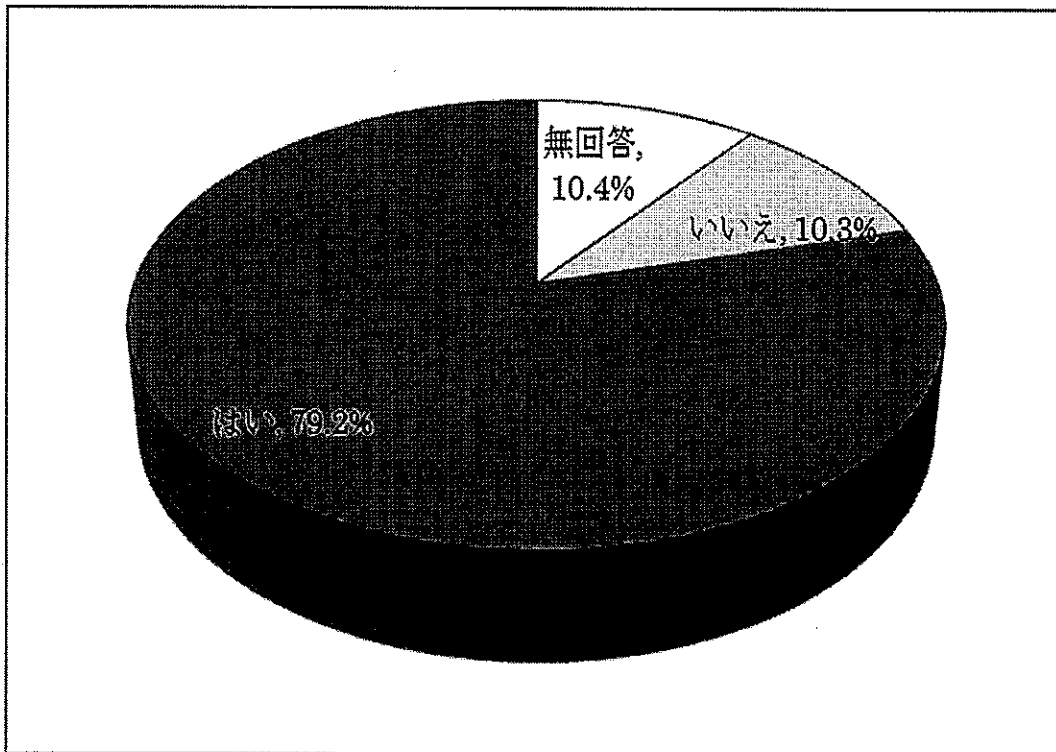
図9 趣味(1,633人)



問10 生きがいがありますか。(1つに○)

「いいえ(10.3%)」よりも「はい(79.2%)」の方が多くなっている。

図10 生きがい(1,633人)

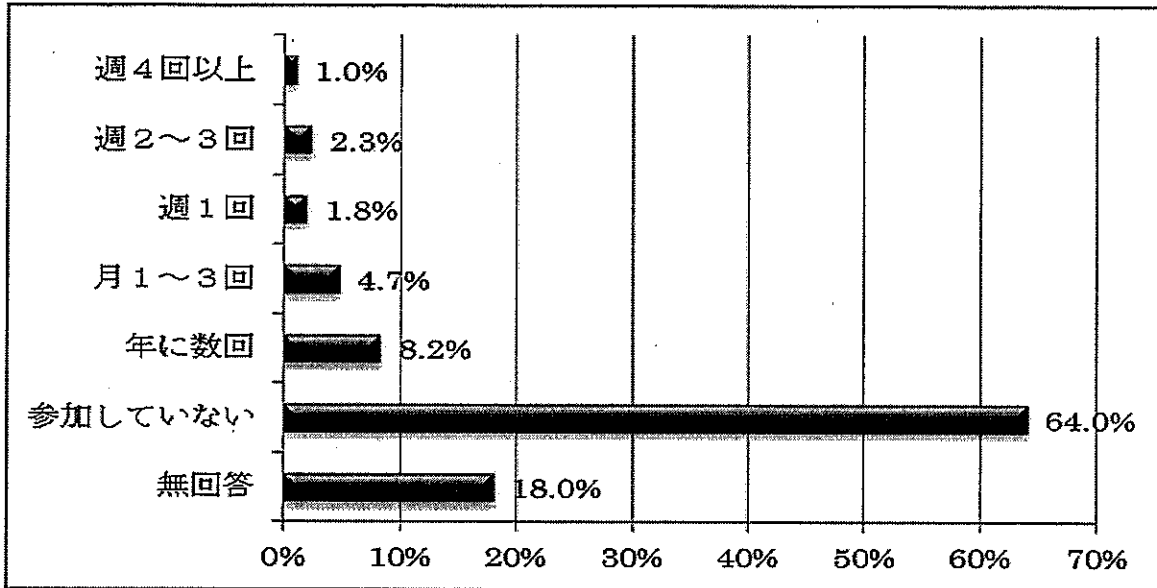


問 11 以下のような会やグループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(1つに○)

① ボランティアのグループ

「参加していない(64.0%)」が最も多く、次いで「年に数回(8.2%)」、「月に1～3回(4.7%)」の順となっている。

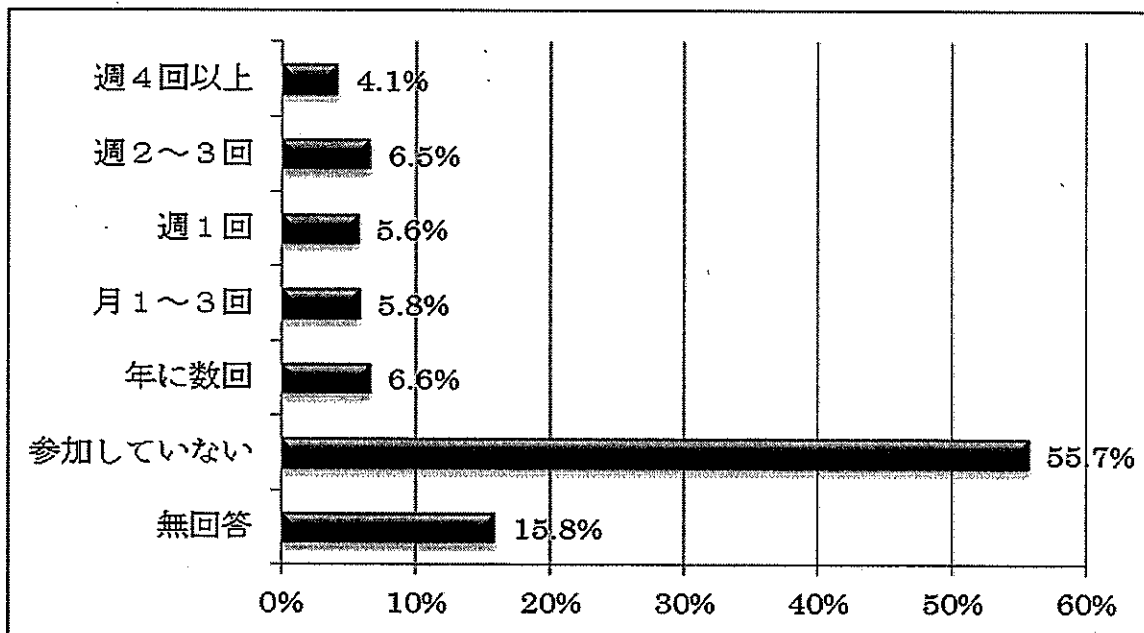
図 11-① ボランティアのグループ(1,633 人)



② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない(55.7%)」が最も多く、次いで「年に数回(6.6%)」、「週に2～3回(6.5%)」の順となっている。

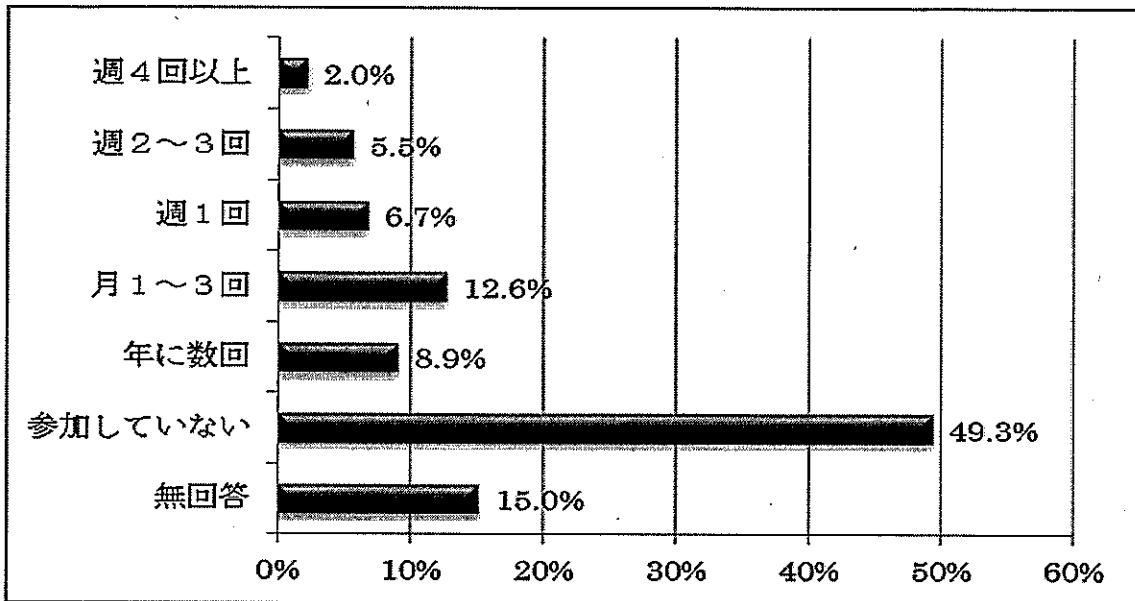
図 11-② スポーツ関係のグループやクラブ(1,633 人)



③ 趣味関係のグループ

「参加していない(49.3%)」が最も多く、次いで「月に1～3回(12.6%)」、「年に数回(8.9%)」の順となっている。

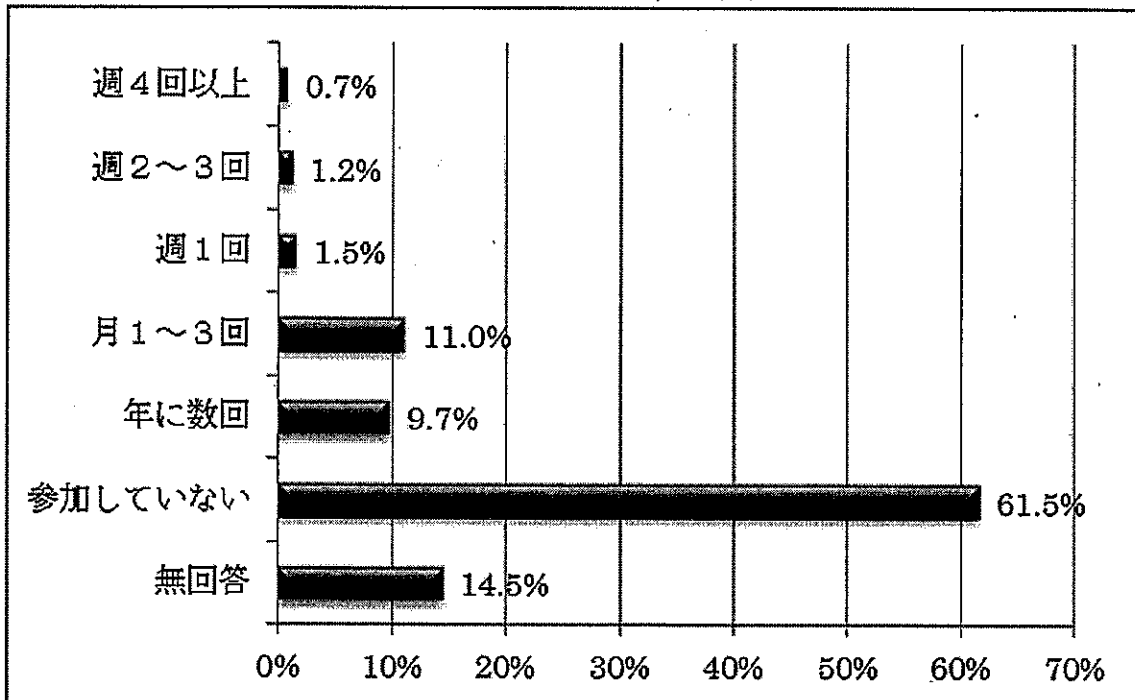
図 11-③ 趣味関係のグループ(1,633 人)



④ 老人クラブ

「参加していない(61.5%)」が最も多く、次いで「月に1～3回(11.0%)」、「年に数回(9.7%)」の順となっている。

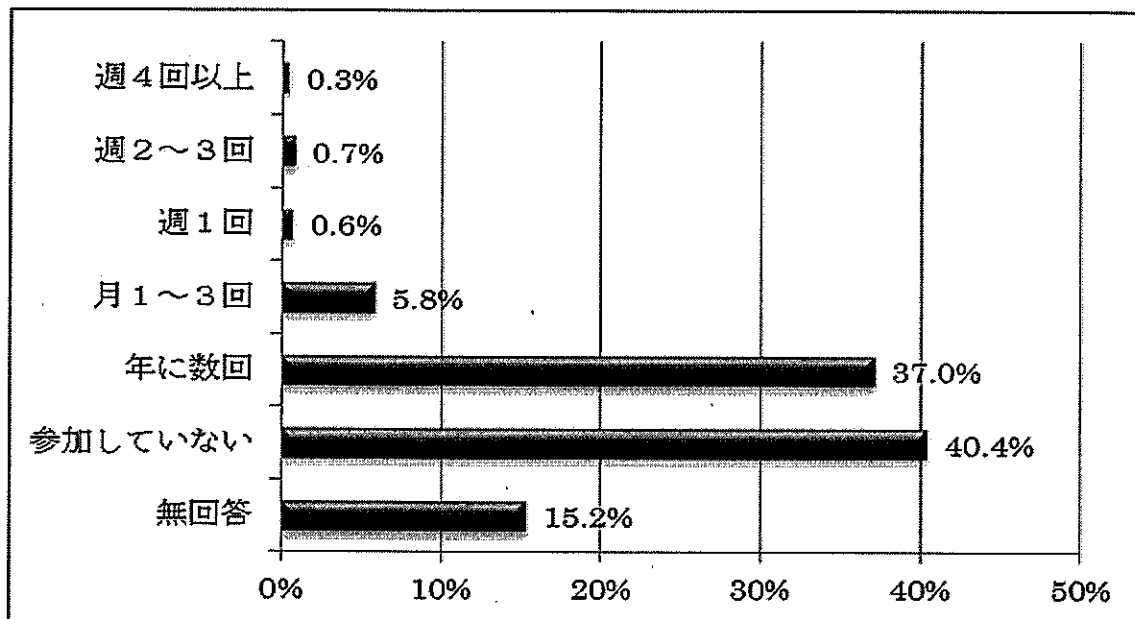
図 11-④ 老人クラブ(1,633 人)



⑤ 町内会・自治会

「参加していない(40.4%)」が最も多く、次いで「年に数回(37.0%)」、「月に1～3回(5.8%)」の順となっている。

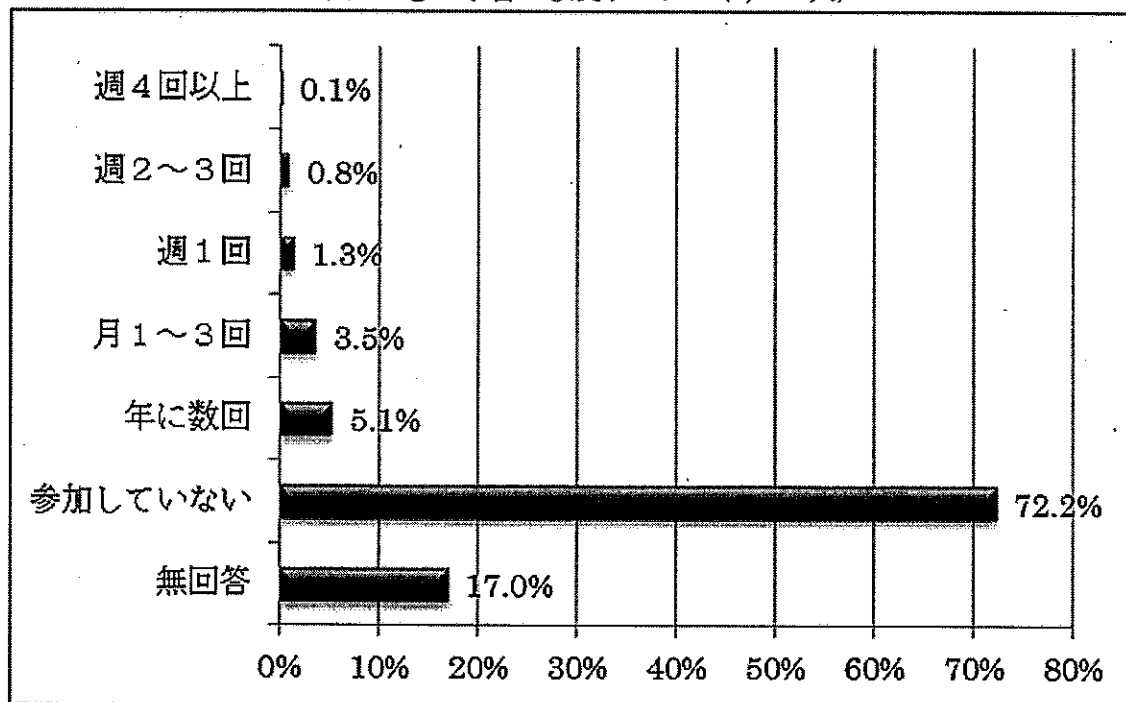
図 11-⑤ 町内会・自治会(1,633 人)



⑥ 学習・教養サークル

「参加していない(72.2%)」が最も多く、次いで「年に数回(5.1%)」、「月に1～3回(3.5%)」の順となっている。

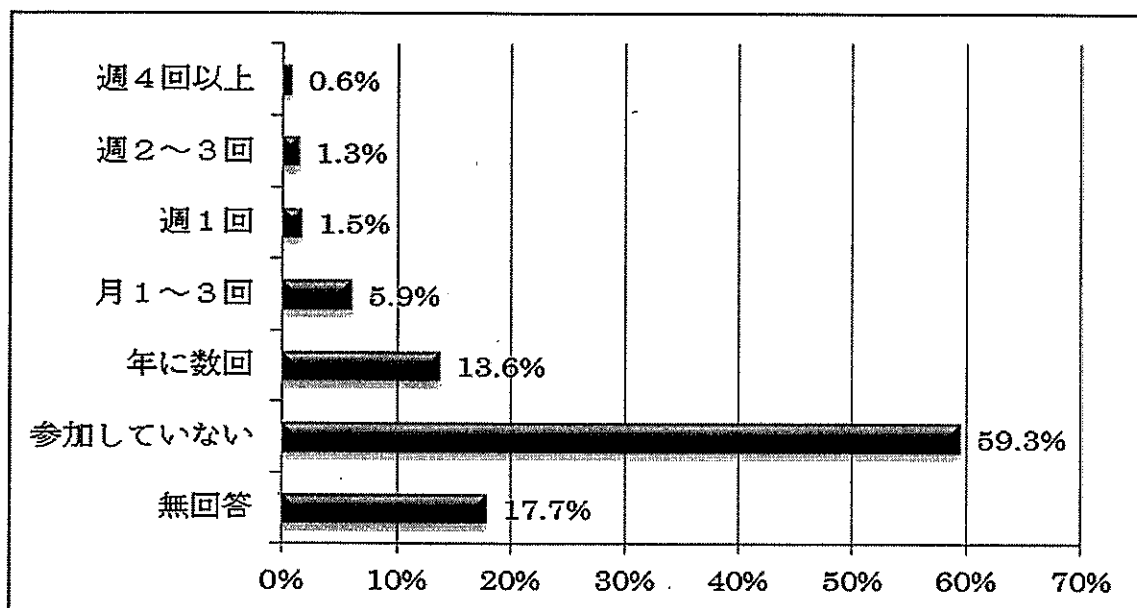
図 11-⑥ 学習・教養サークル(1,633 人)



⑦ その他の団体や会

「参加していない(72.2%)」が最も多く、次いで「年に数回(5.1%)」、「月に1～3回(3.5%)」の順となっている。

図 11-⑦ その他の団体や会(1,633 人)

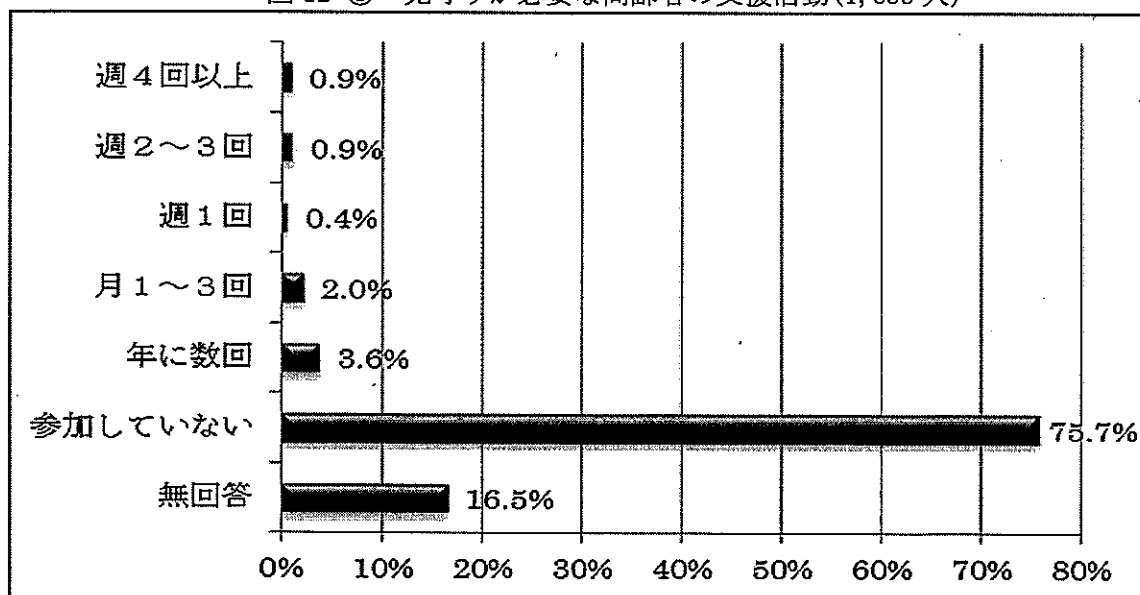


問 12 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。（1つに○）

① 見守りが必要な高齢者を支援する活動

「参加していない(75.7%)」が最も多く、次いで「年に数回(3.6%)」、「月に1～3回(2.0%)」の順となっている。

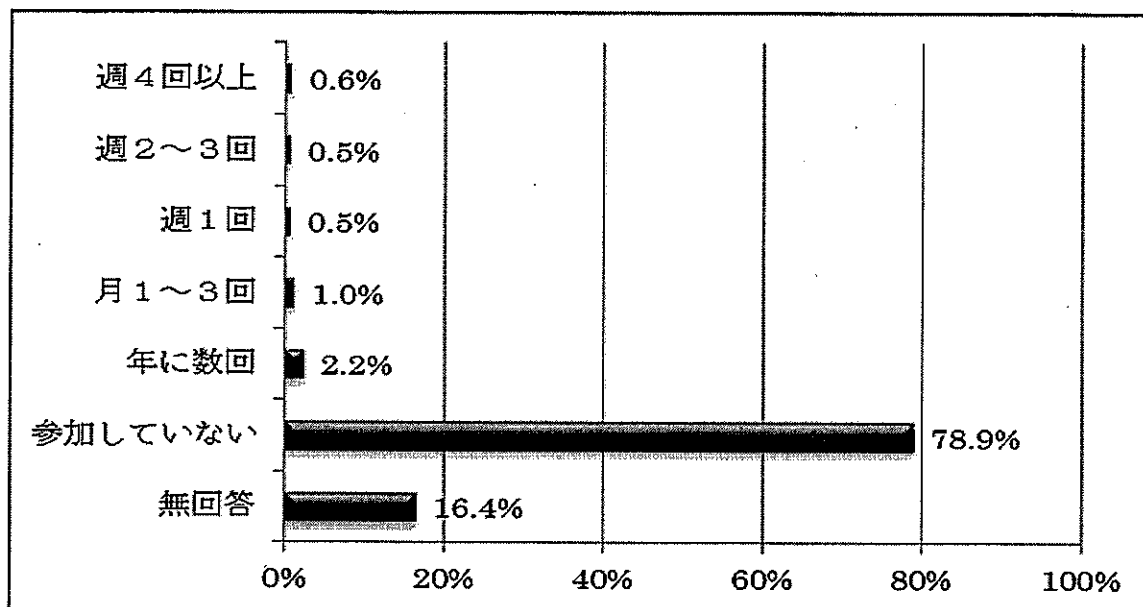
図 12-① 見守りが必要な高齢者の支援活動(1,633 人)



② 介護が必要な高齢者を支援する活動

「参加していない(78.9%)」が最も多く、次いで「年に数回(2.2%)」、「月に1～3回(1.0%)」の順となっている。

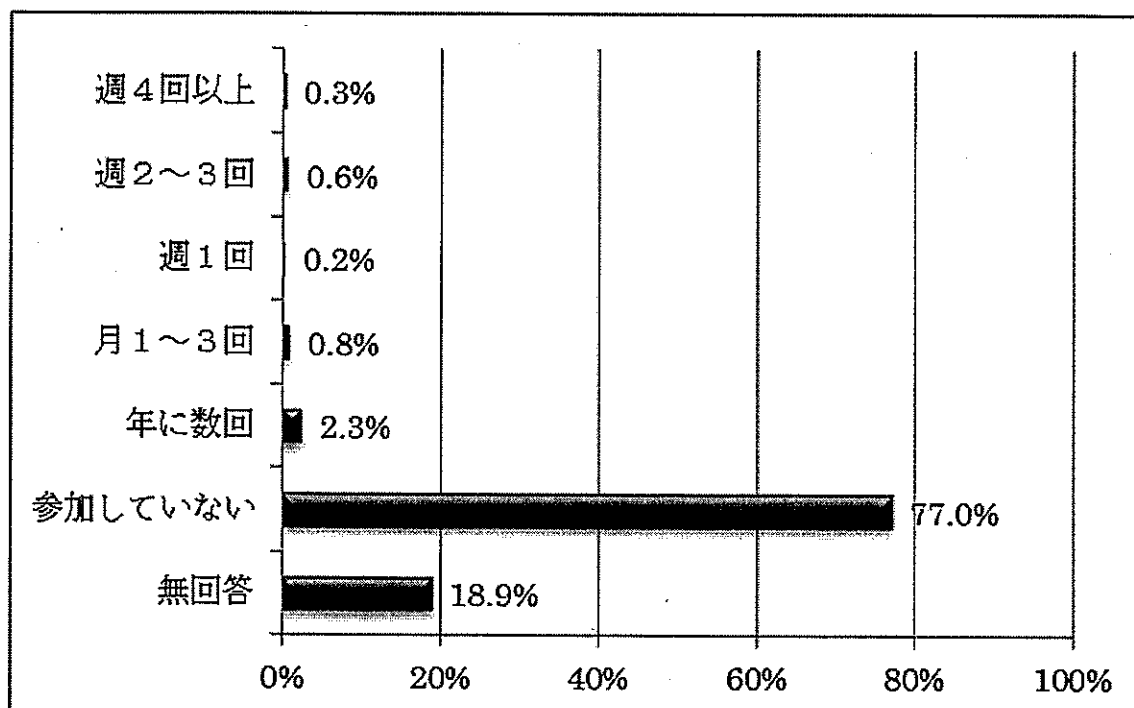
図 12-② 介護が必要な高齢者の支援活動(1,633 人)



③ 子どもを育てている親を支援する活動

「参加していない(77.0%)」が最も多く、次いで「年に数回(2.3%)」、「月に1～3回(0.8%)」の順となっている。

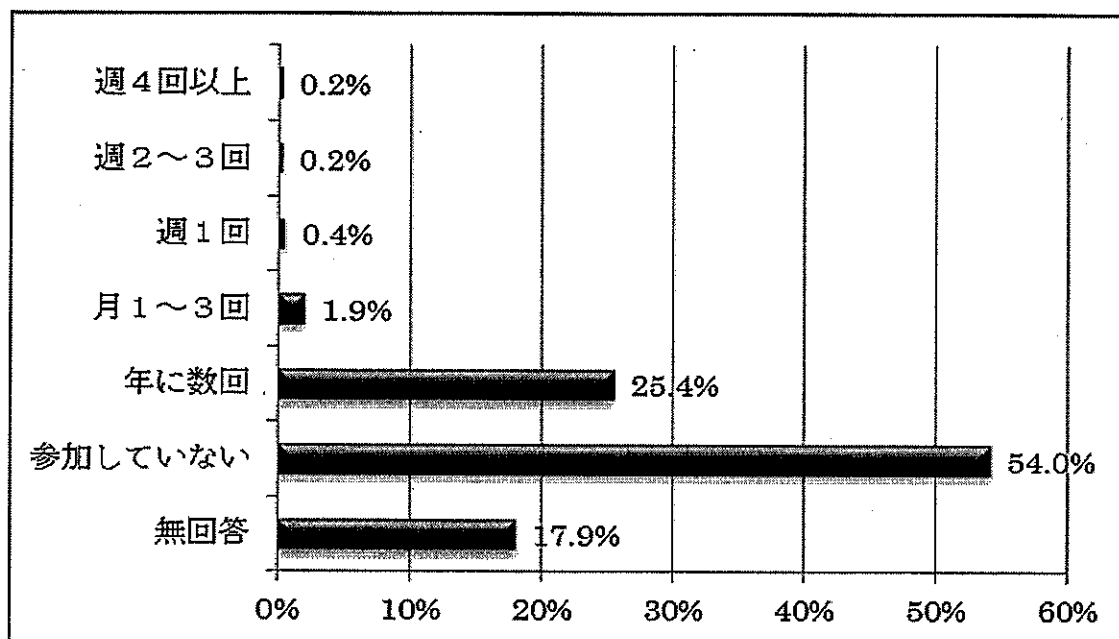
図 12-③ 子どもを育てている親の支援活動(1,633 人)



④ 地域の生活環境の改善（美化）活動

「参加していない(54.0%)」が最も多く、次いで「年に数回(25.4%)」、「月に1～3回(1.9%)」の順となっている。

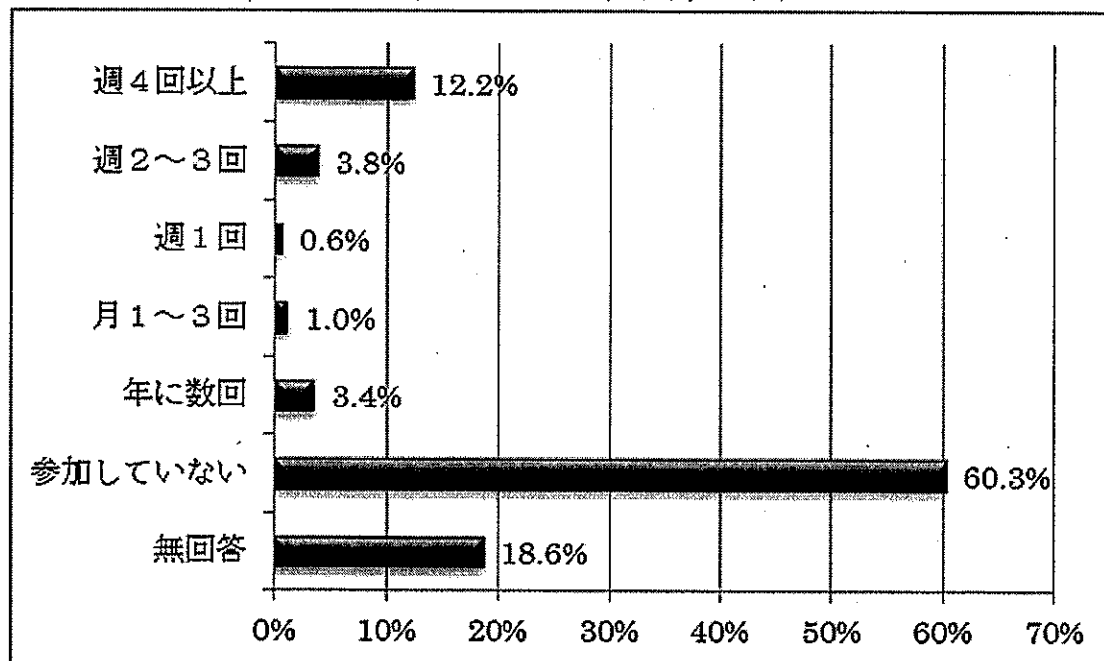
図 12-④ 地域の生活環境の改善(美化)活動(1,633 人)



⑤ 収入のある仕事

「参加していない(60.3%)」が最も多く、次いで「週に4回以上(12.2%)」、「週に2～3回(3.8%)」の順となっている。

図 12-⑤ 収入のある仕事(1,633 人)

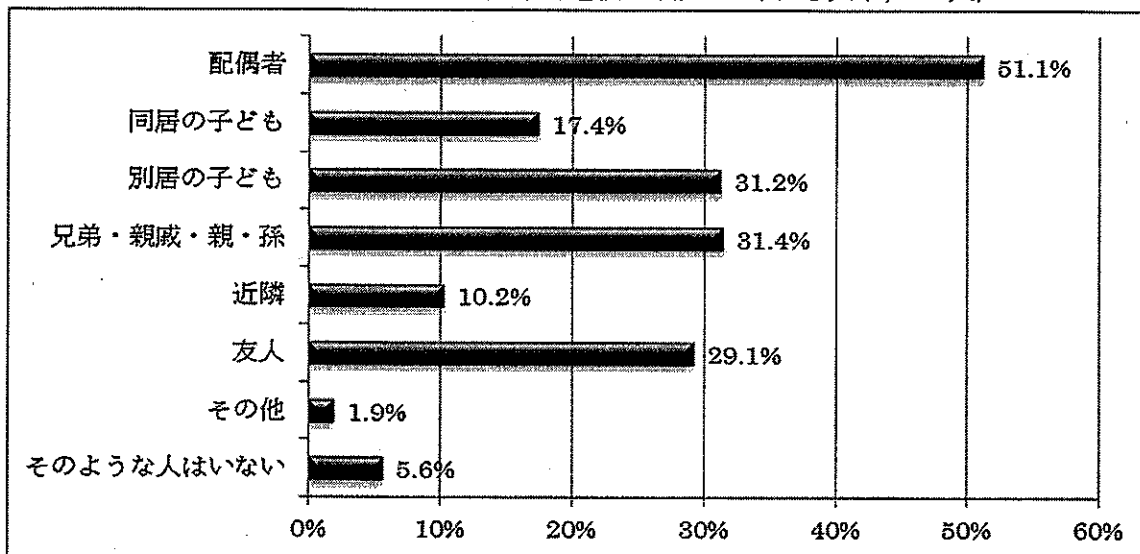


問 13 あなたとまわりの人の「たすけあい」について伺います。あてはまるもの全てに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8 そのような人はいない」に○をつけてください。

① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

「配偶者(51.1%)」が最も多く、次いで「兄弟・親戚・親・孫(31.4%)」、「別居の子ども(31.2%)」、「友人(29.1%)」の順となっている。

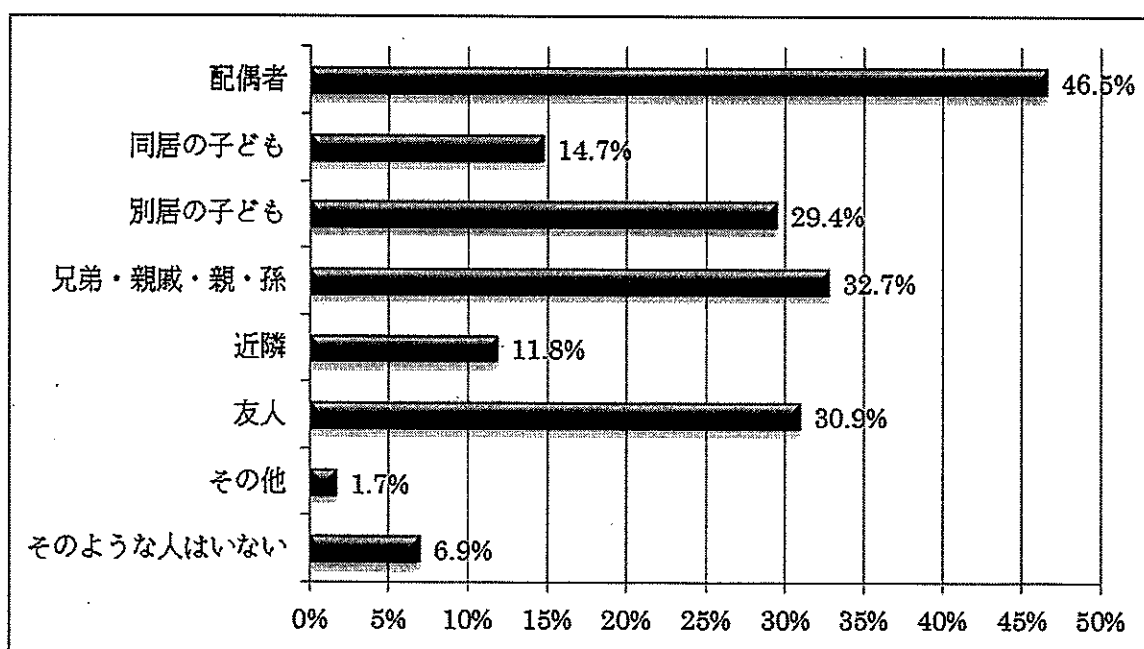
図 13-① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(1,633 人)



② 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

「配偶者(46.5%)」が最も多く、次いで「兄弟・親戚・親・孫(32.7%)」、「友人(30.9%)」、「別居の子ども(29.4%)」の順となっている。

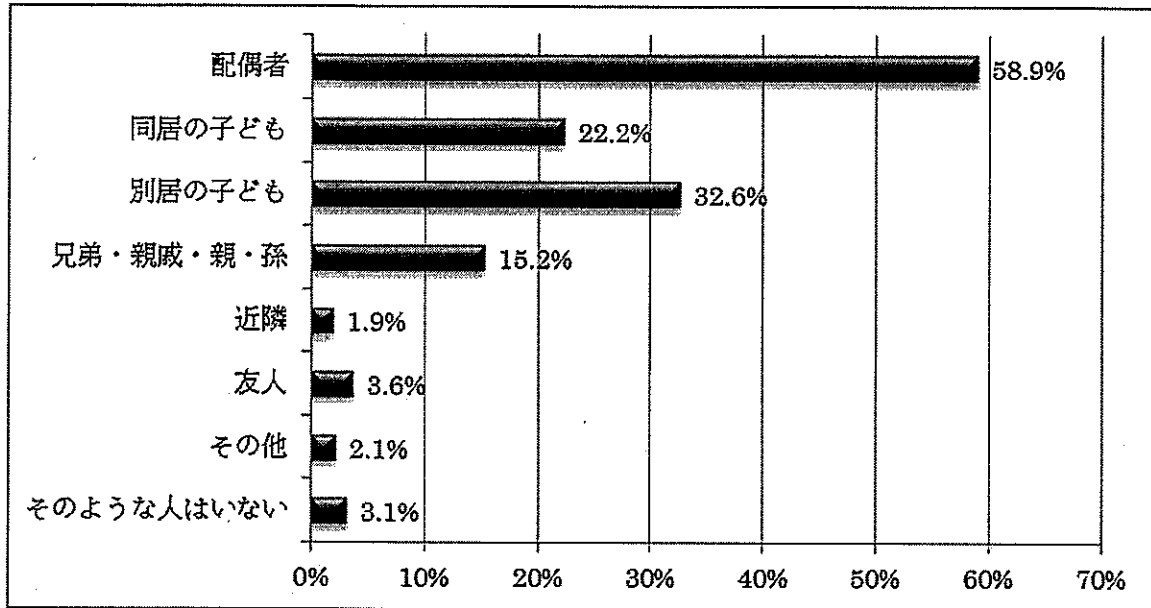
図 13-② あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(1,633 人)



③ あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人

「配偶者(58.9%)」が最も多く、次いで「別居の子ども(32.6%)」、「同居の子ども(22.2%)」、「兄弟・親戚・親・孫(15.2%)」の順となっている。

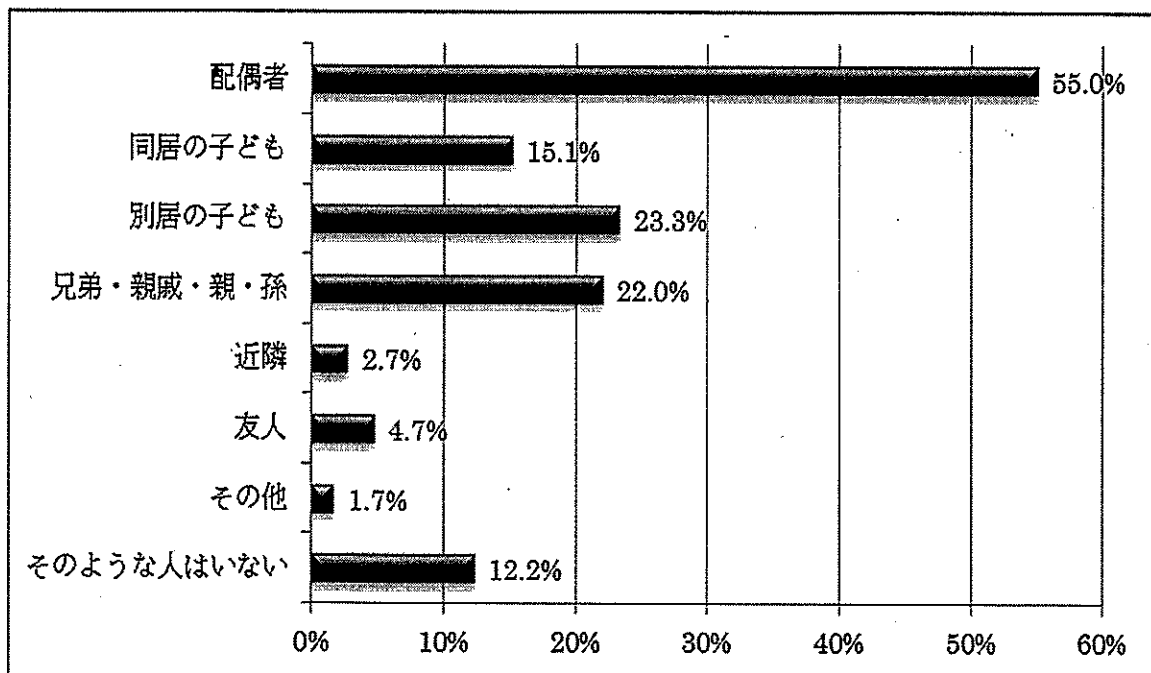
図 13-③ 看病や世話をしてくれる人(1,633 人)



④ 反対に看病や世話をしてあげる人

「配偶者(55.0%)」が最も多く、次いで「別居の子ども(23.3%)」、「兄弟・親戚・親・孫(22.0%)」、「同居の子ども(15.1%)」の順となっている。

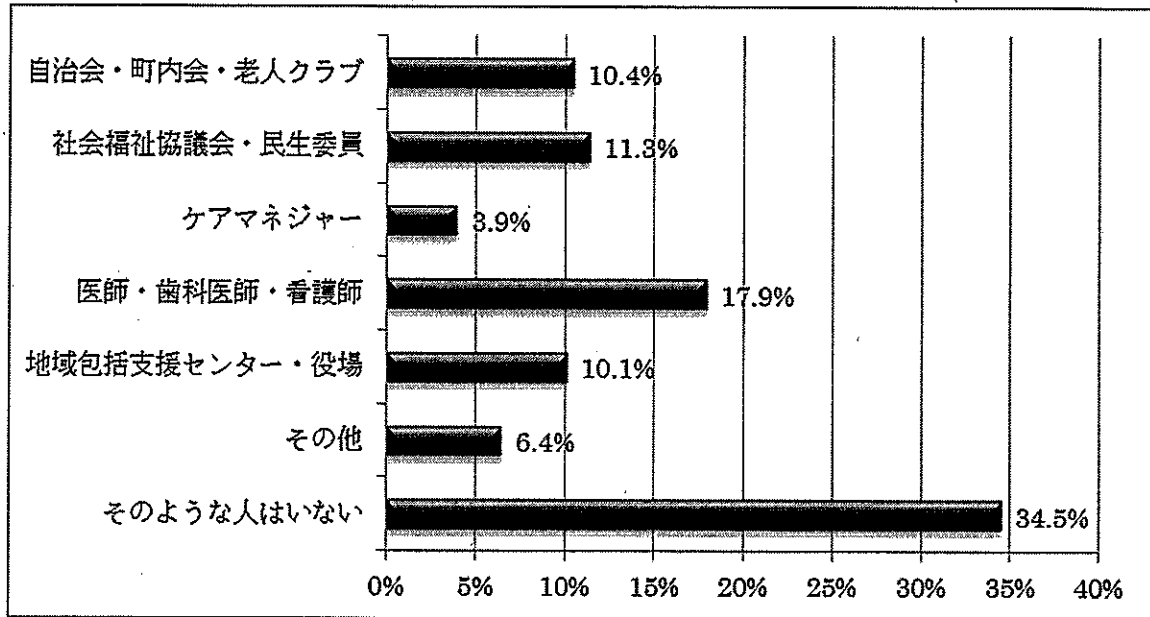
図 13-④ 看病や世話をしてあげる人(1,633 人)



問 14 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

「そのような人はいない(34.5%)」が最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師(17.9%)」、「社会福祉協議会・民生委員(11.3%)」の順となっている。

図 14 相談する相手(1,633 人)

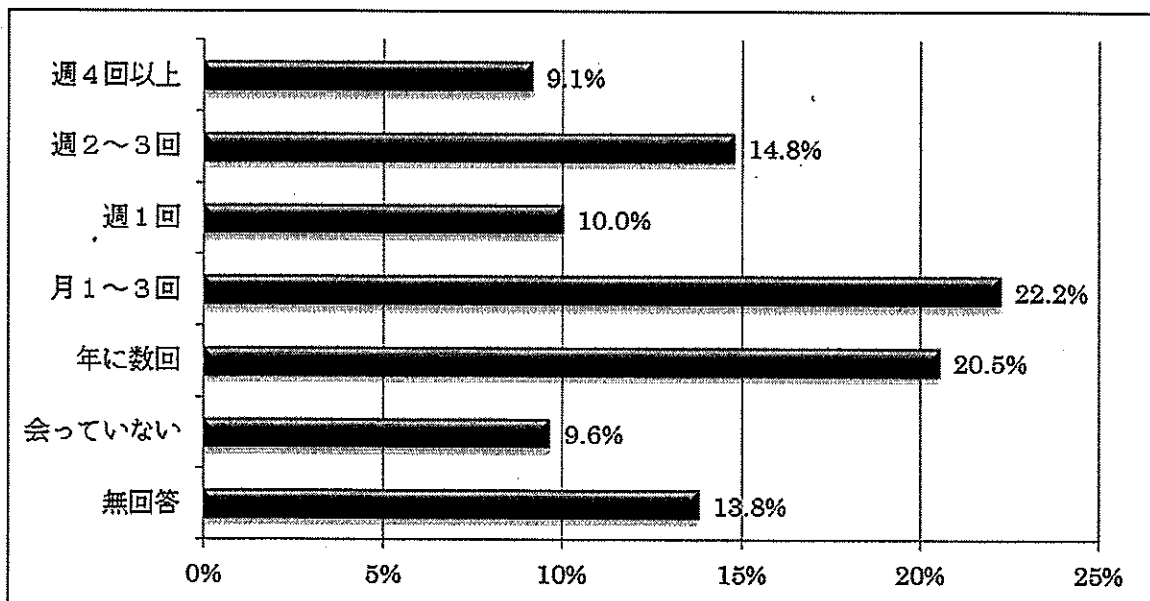


問 15 友人関係について伺います。(1つに○)

① 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

「月1～3回(22.2%)」が最も多く、次いで「年に数回(20.5%)」、「週に2～3回(14.8%)」の順となっている。

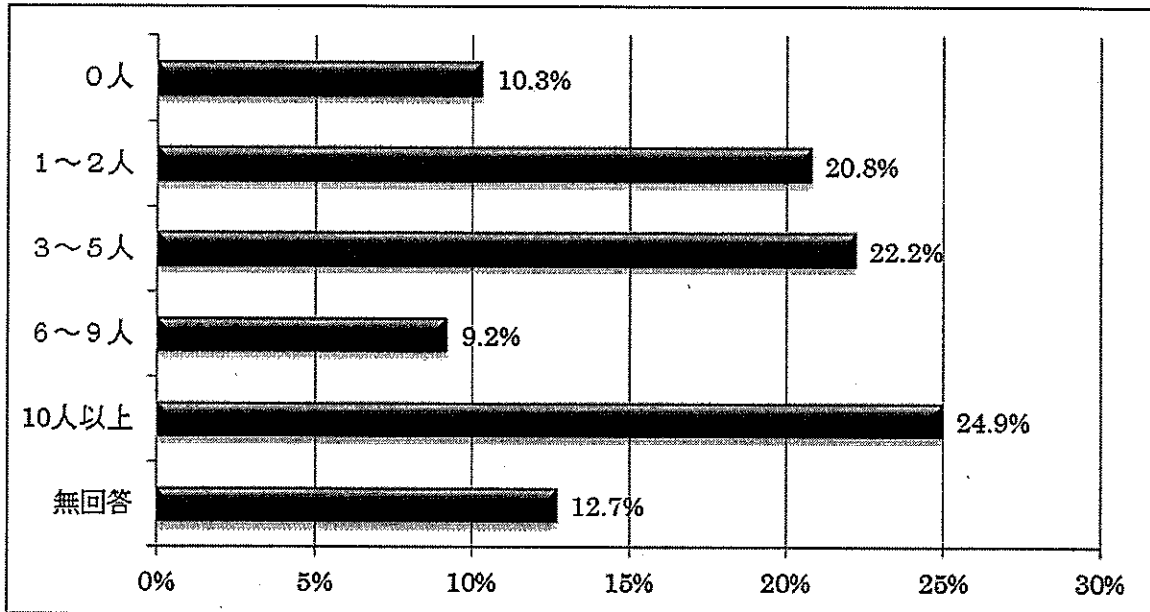
図 15-① 友人・知人と会う頻度(1,633 人)



② この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

「10人以上(24.9%)」が最も多く、次いで「3～5人(22.2%)」、「1～2人(20.8%)」の順となっている。

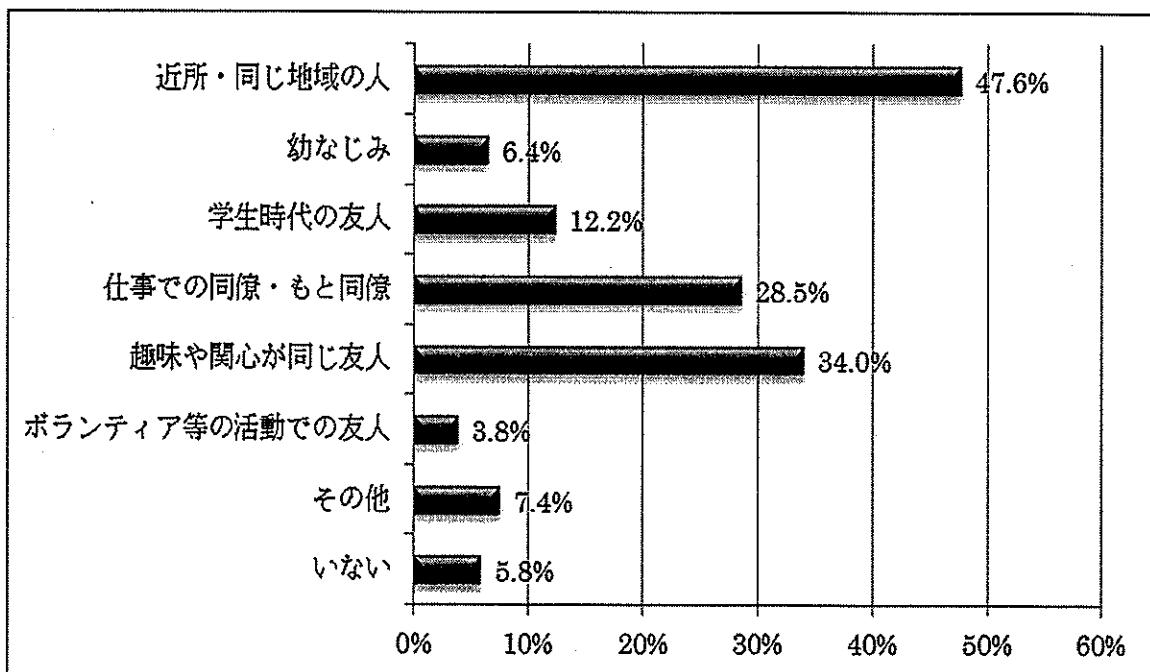
図 15-② この1か月間に会った人数(1,633人)



③ よく会う友人・知人はどんな関係ですか。

「近所・同じ地域の人(47.6%)」が最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人(34.0%)」、「仕事での同僚・もと同僚(28.5%)」の順となっている。

図 15-③ 友人・知人との関係(1,633人)

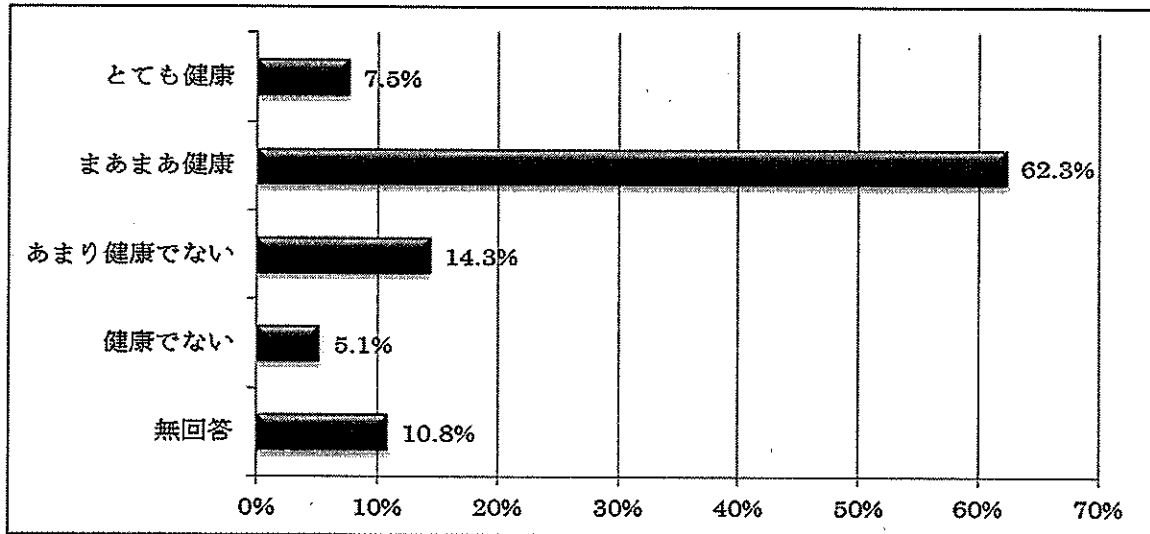


(8) 健康について

問1 普段、自分で健康だと思いますか。(1つに○)

「まあまあ健康(62.3%)」が最も多く、「あまり健康でない(14.3%)」の順となっている。

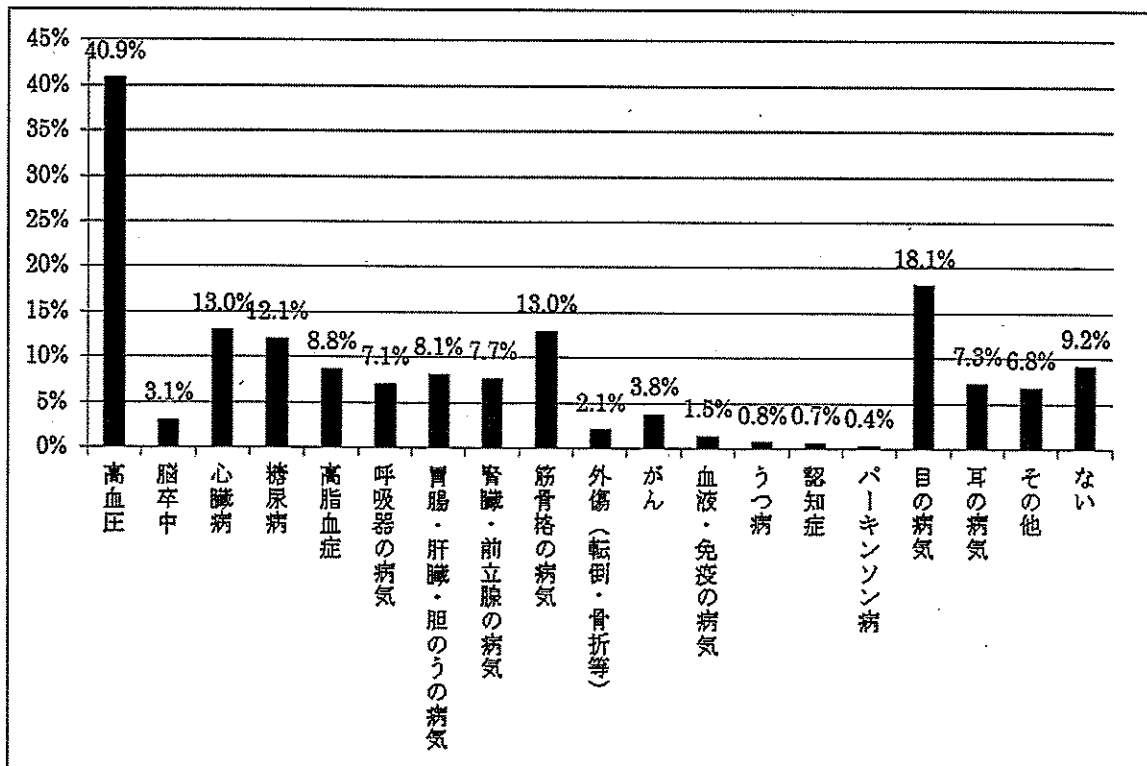
図1 健康状態(1,633人)



問2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるもの全てに○)

「高血圧(40.9%)」が最も多く、「目の病気(18.1%)」、「心臓病(13.0%)」と「筋骨格の病気(13.0%)」の順となっている。

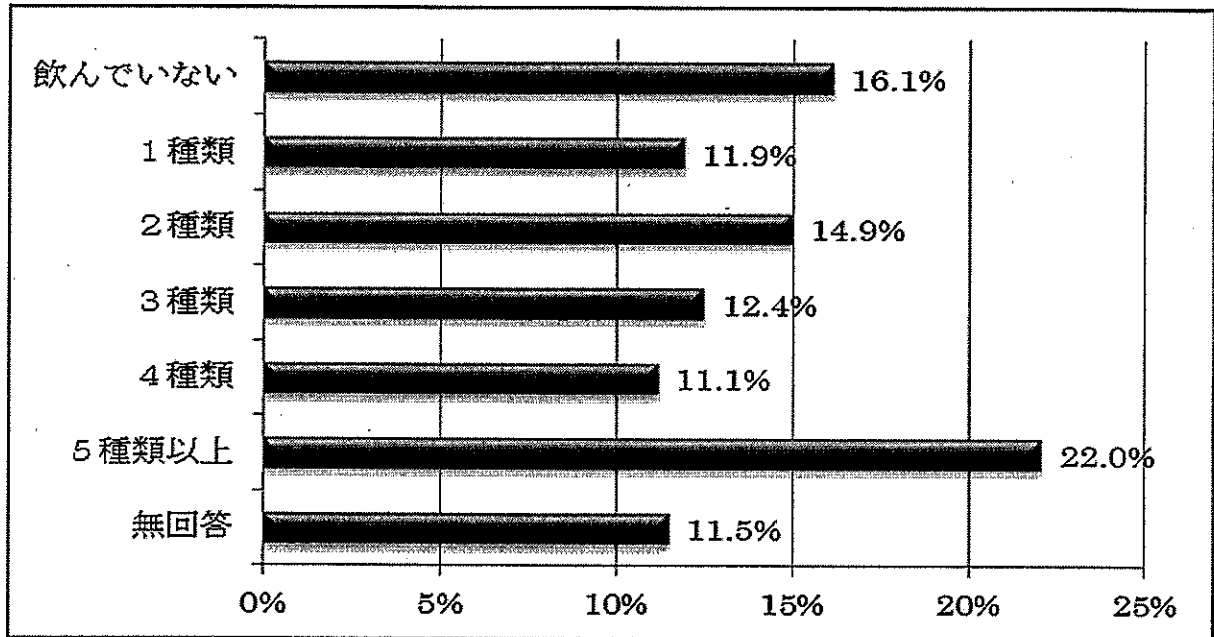
図2 現在の治療や後遺症(1,633人)



問3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(1つに○)

「5種類以上(22.0%)」が最も多く、次いで「飲んでいない(16.1%)」、「2種類(14.9%)」の順となっている。

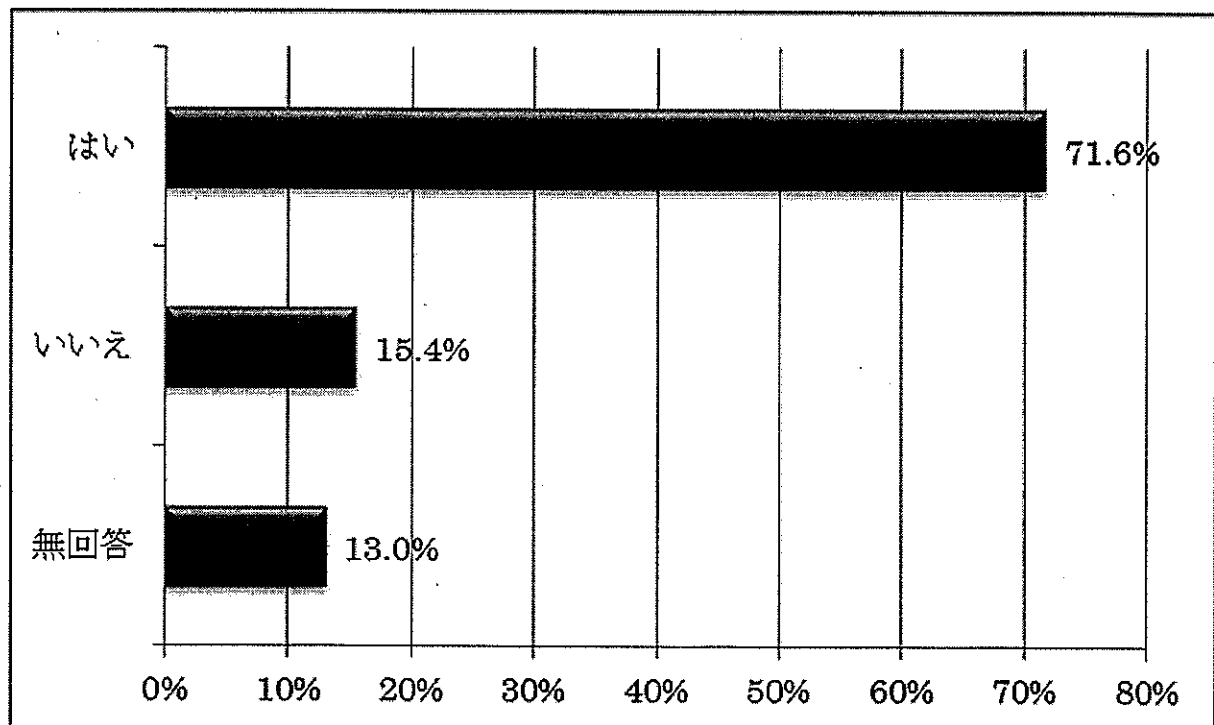
図3 服薬(1,633人)



問4 現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していますか。(1つに○)

「いいえ (15.4%)」より「はい(71.6%)」と答えた方が多くなっている。

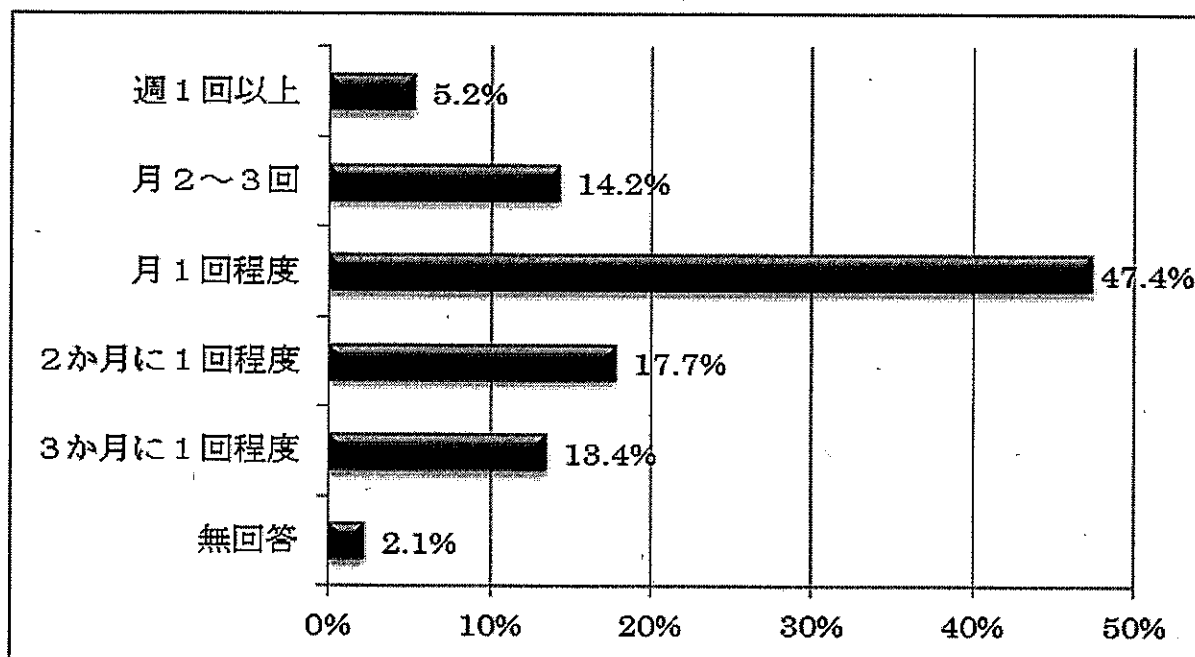
図4 通院状況(1,633人)



問4-1 (通院している方のみ) その頻度はどのくらいですか。(1つに○)

「月1回程度(47.4%)」が最も多く、次いで「2か月に1回程度(17.7%)」、「月に2～3回程度(14.2%)」の順となっている。

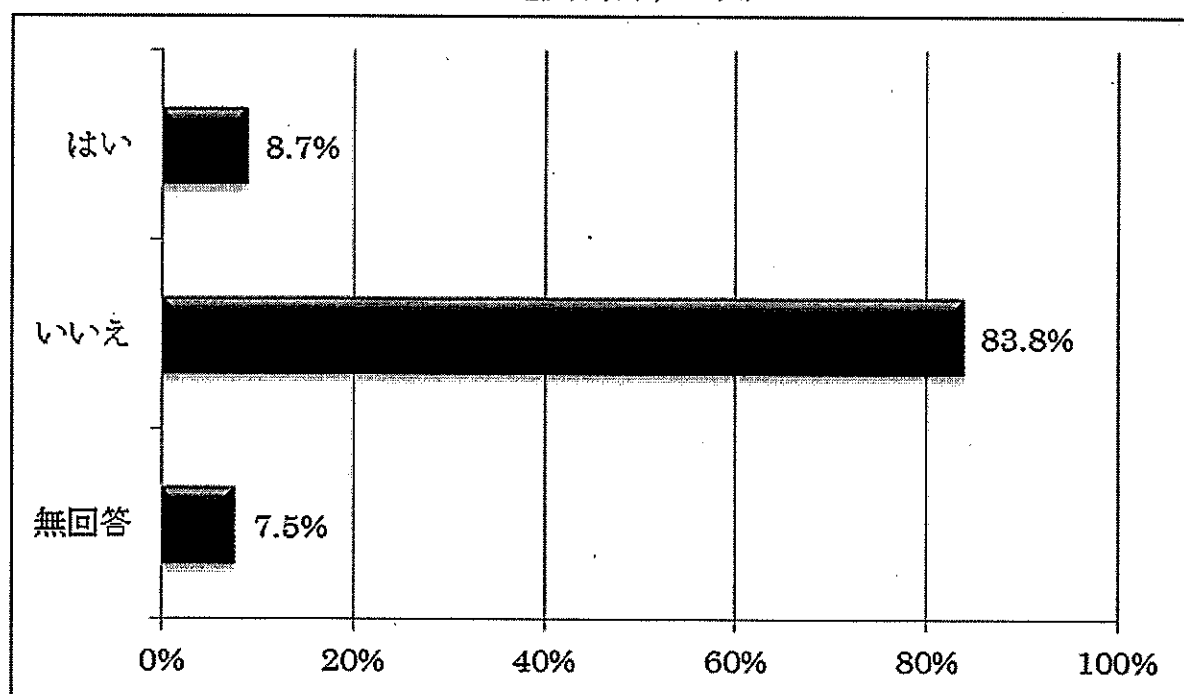
図4-1 通院頻度(1,170人)



問4-2 (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。(1つに○)

「はい(8.7%)」より「いいえ(83.8%)」と答えた方が多くなっている。

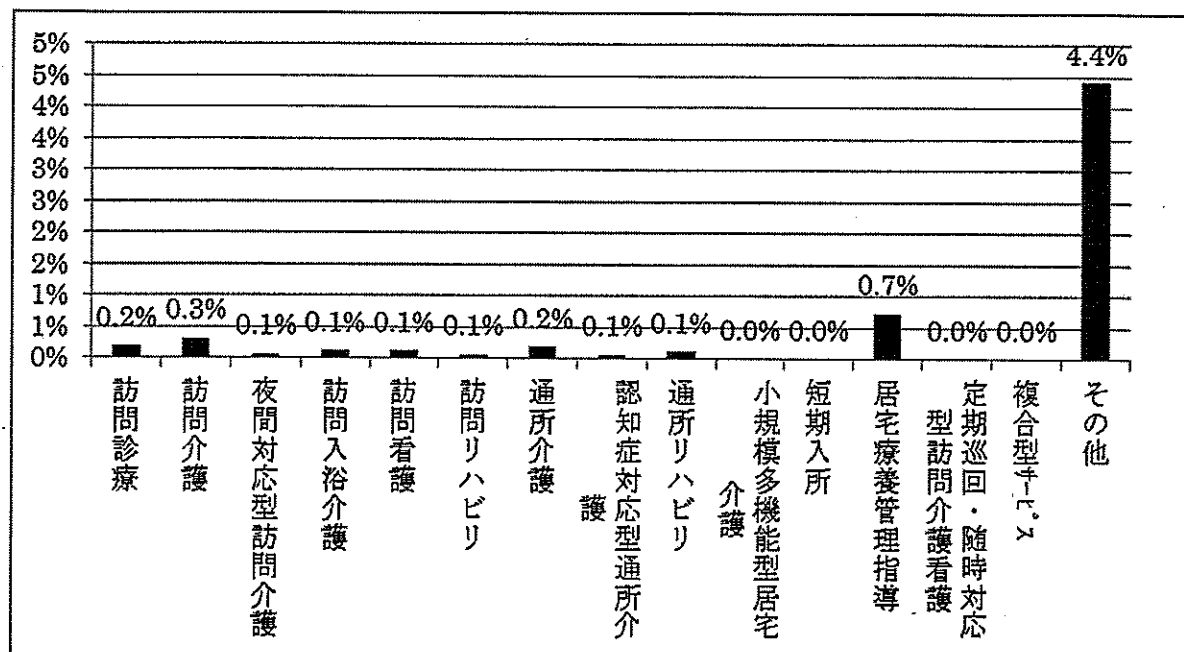
図4-2 通院介助(1,170人)



問5 以下の在宅サービスを利用していますか。(あてはまるもの全てに○)

「その他(4.4%)」が最も多くなっている。

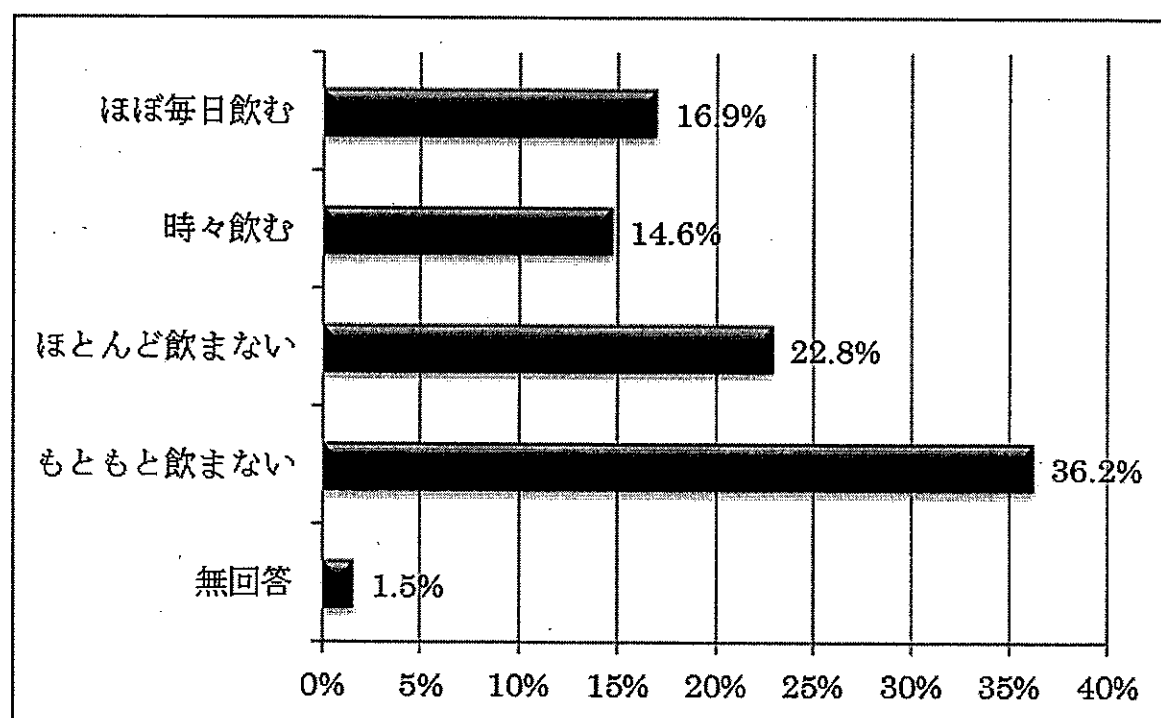
図5 在宅サービスの利用状況(1,633人)



問6 お酒は飲みますか。(1つに○)

「もともと飲まない(36.2%)」が最も多く、「ほとんど飲まない(22.8%)」、「ほぼ毎日飲む(16.9%)」の順となっている。

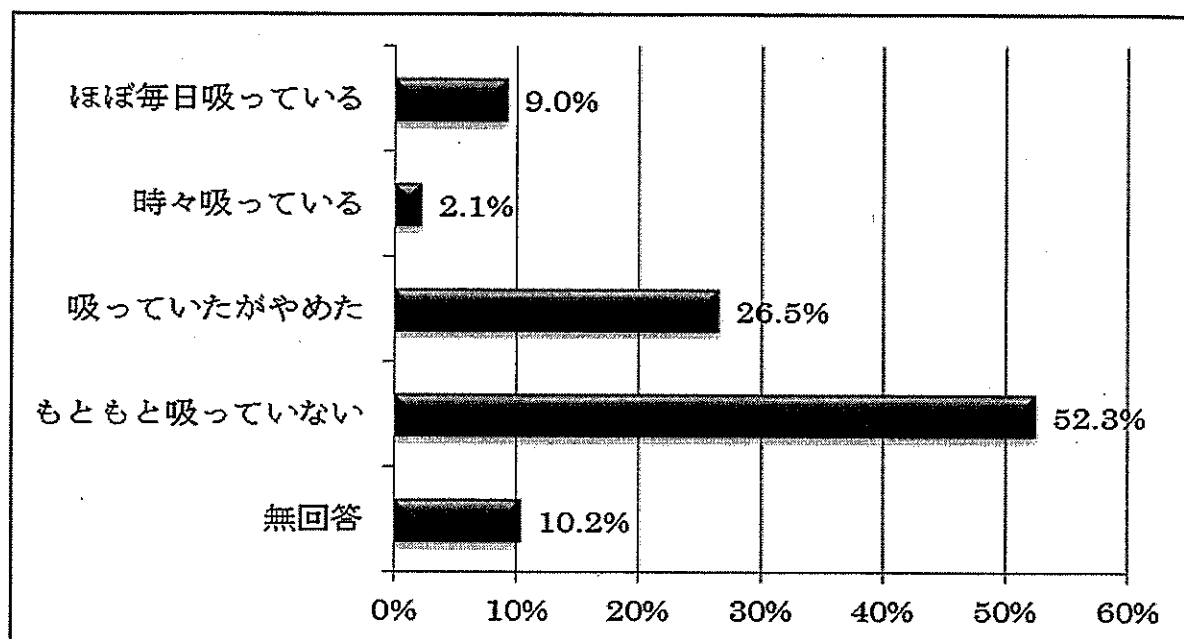
図6 飲酒(1,633人)



問7 タバコは吸いますか。(1つに○)

「もともと吸っていない(52.3%)」が最も多く、次いで「吸っていたがやめた(26.5%)」、「ほぼ毎日吸っている(9.0%)」の順となっている。

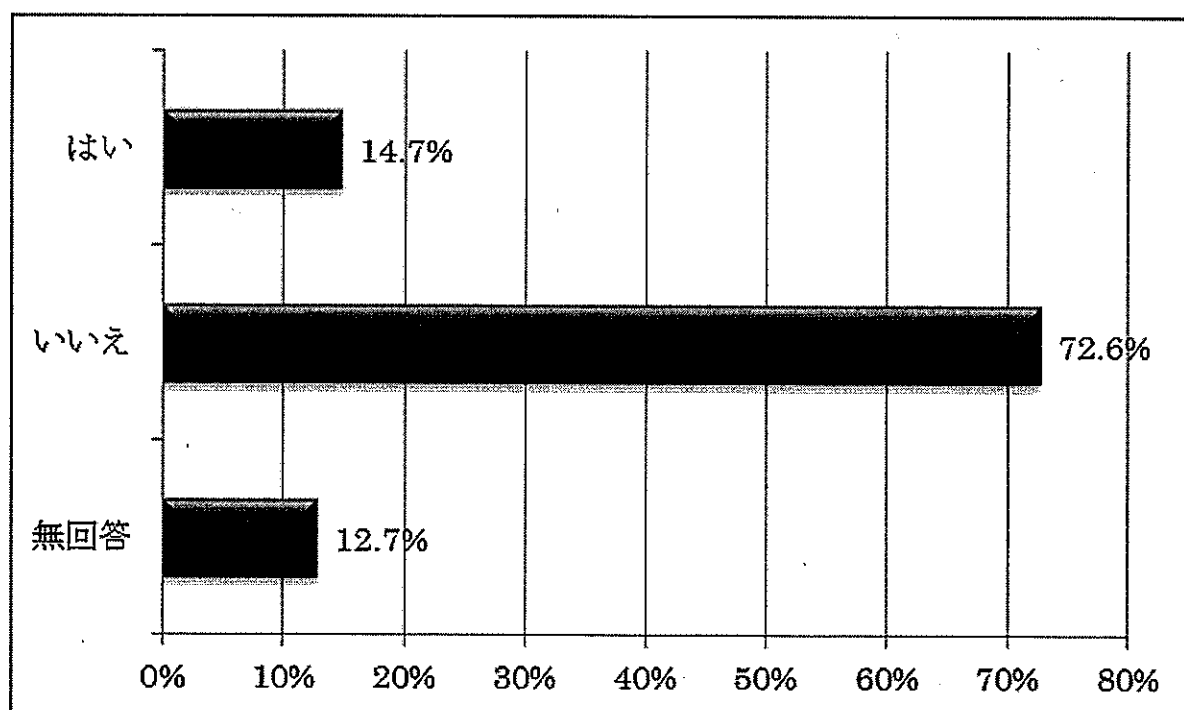
図7 喫煙(1,633人)



問8 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。(1つに○)

「はい(14.7%)」より「いいえ(72.6%)」と答えた方が多くなっている。

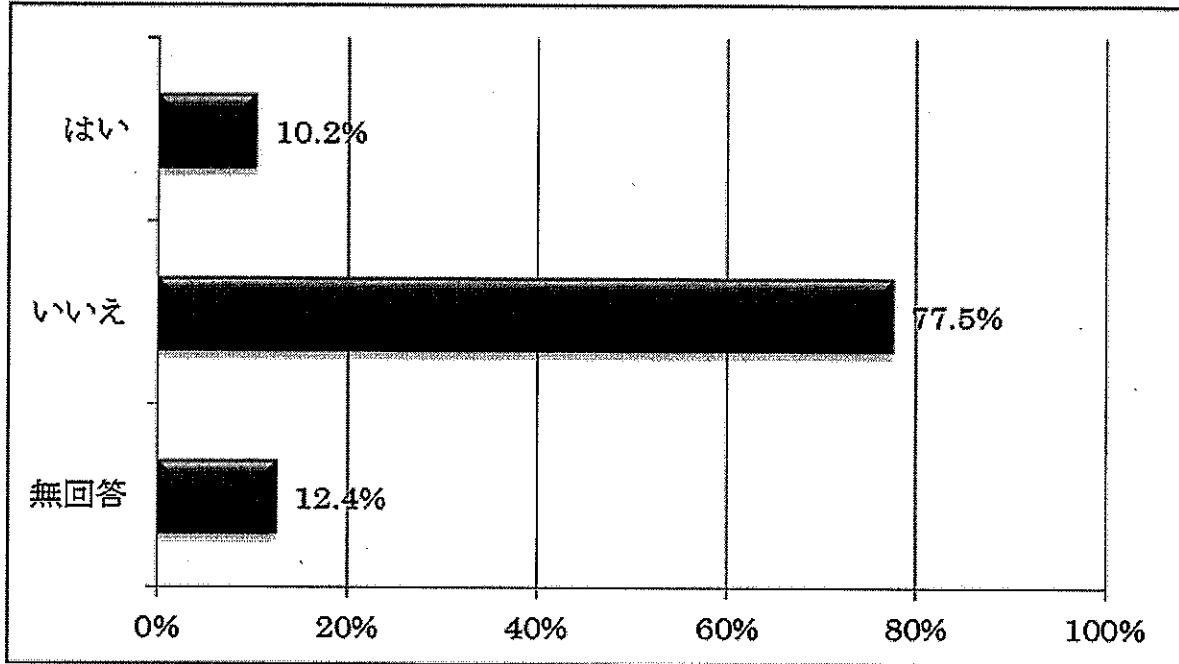
図8 生活の充実感(1,633人)



問9 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。(1つに○)

「はい(10.2%)」より「いいえ(77.5%)」と答えた方が多くなっている。

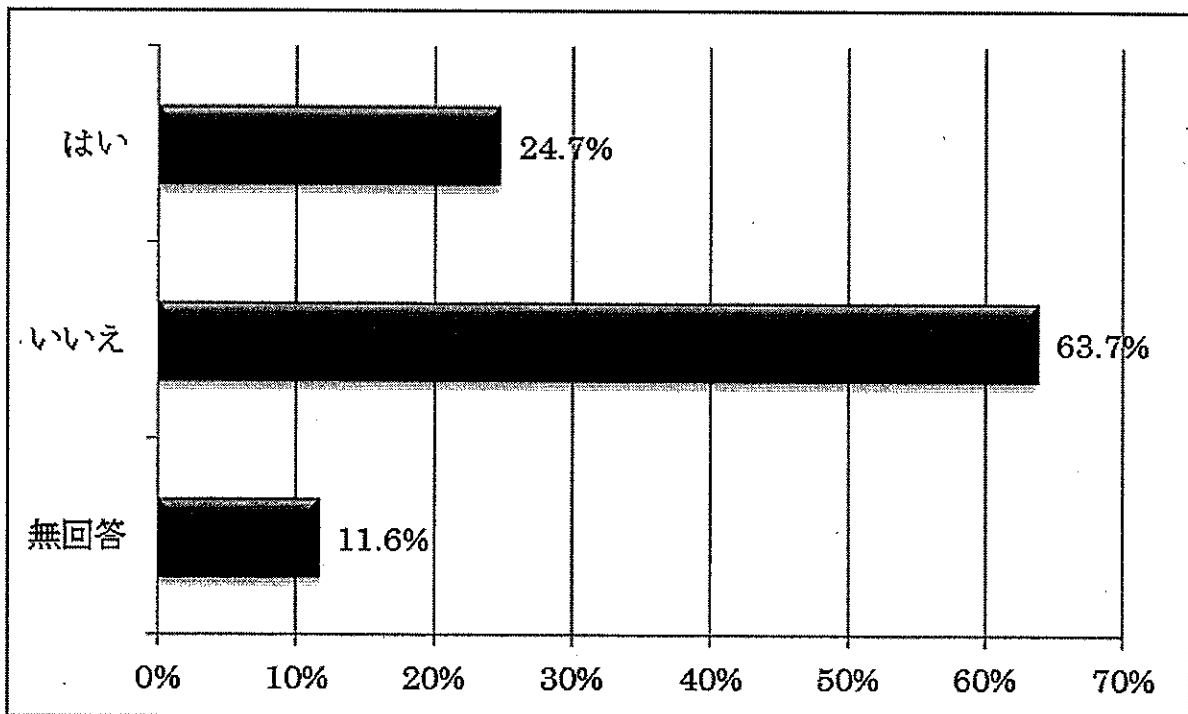
図9 楽しめなくなった(1,633人)



問10 (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。(1つに○)

「はい(24.7%)」より「いいえ(63.7%)」と答えた方が多くなっている。

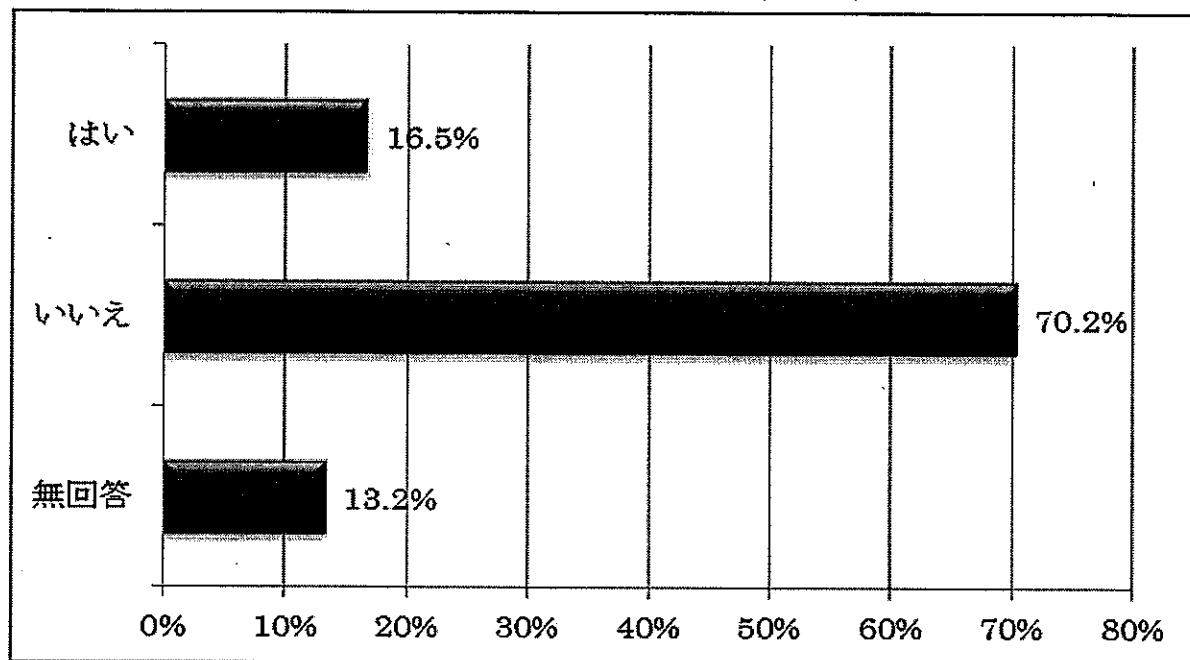
図10 おっくうに感じられる(1,633人)



問 11 (ここ 2 週間) 自分が役に立つ人間だと思えない。(1 つに○)

「はい(16.5%)」より「いいえ(70.2%)」と答えた方が多くなっている。

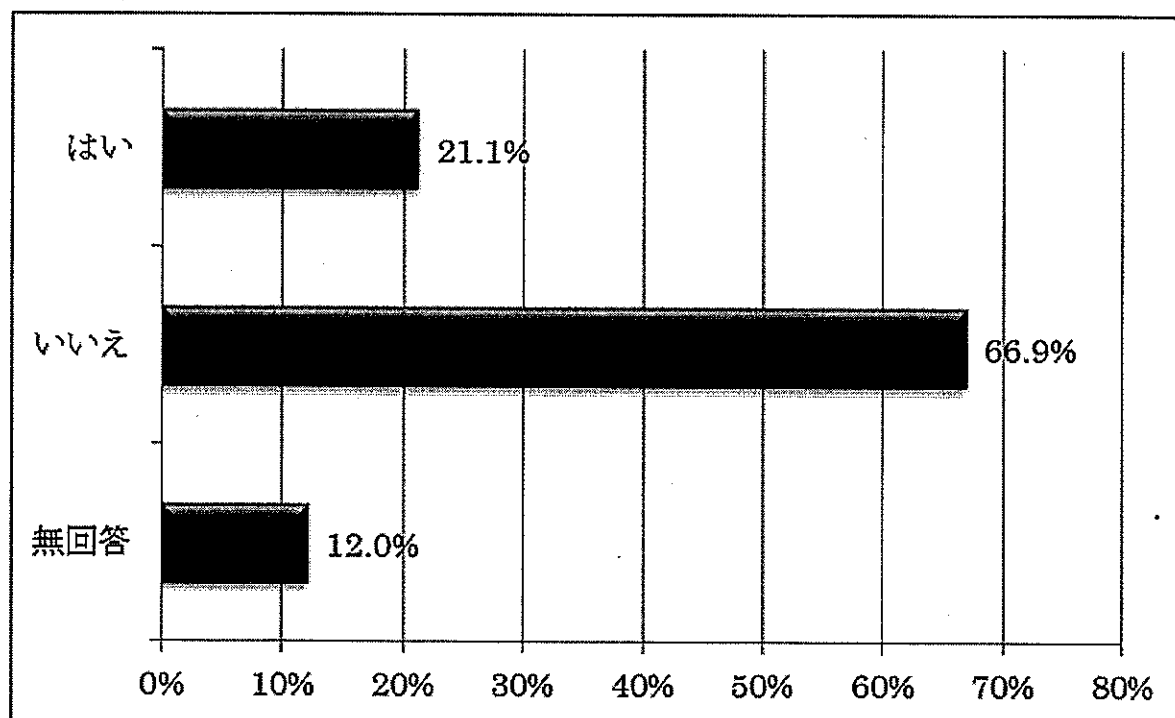
図 11 役に立つ人間だと思えない(1,633 人)



問 12 (ここ 2 週間) わけもなく疲れたような感じがする。(1 つに○)

「はい(21.1%)」より「いいえ(66.9%)」と答えた方が多くなっている。

図 12 疲れたような感じがする(1,633 人)

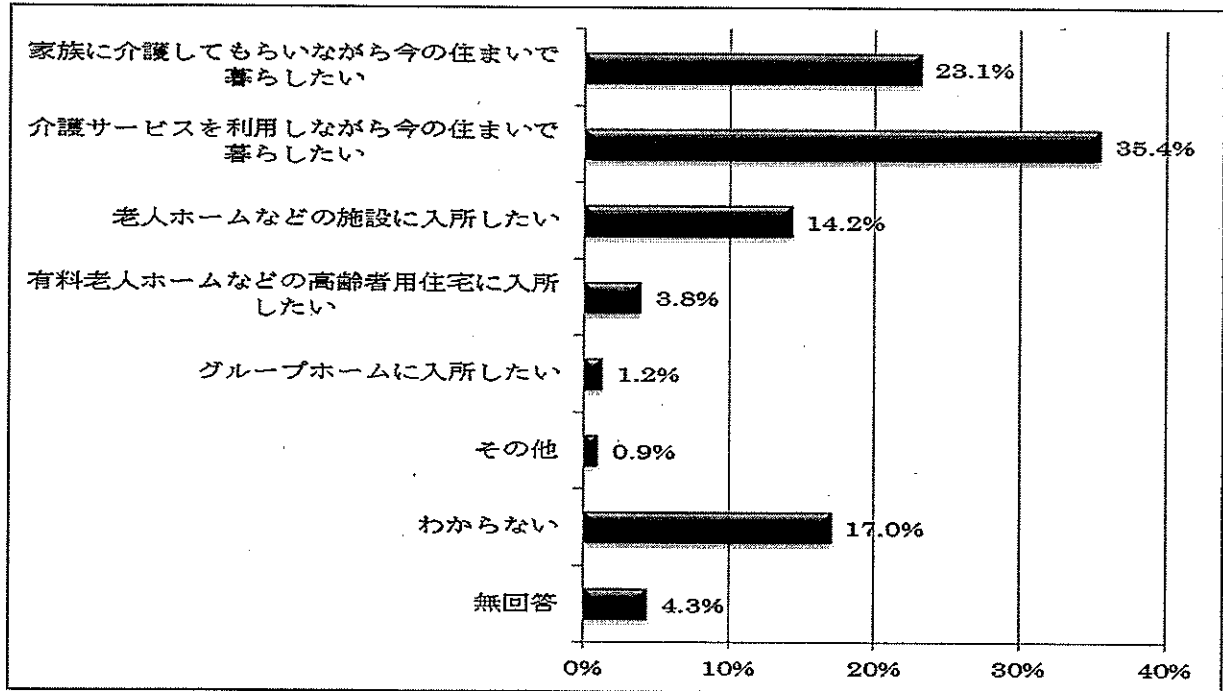


(9) 介護保険制度について

問1 将来、あなたが介護が必要になった場合にどのような暮らしを希望しますか。(1つに○)

「介護サービスを利用しながら今の住まいで暮らしたい(35.4%)」が最も多く、「家族に介護してもらいながら今の住まいで暮らしたい(23.1%)」の順となっている。

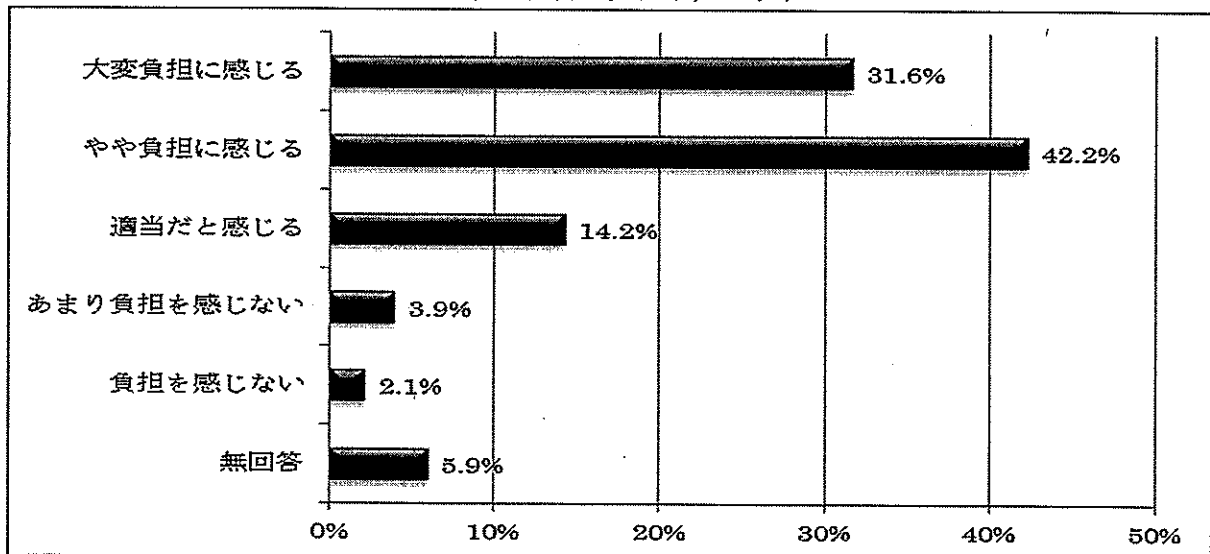
図1 将来の介護の希望先(1,633人)



問2 介護保険の保険料に負担を感じますか。(1つに○)

「やや負担を感じる(42.2%)」が最も多く、「大変負担を感じる」の順となっている。

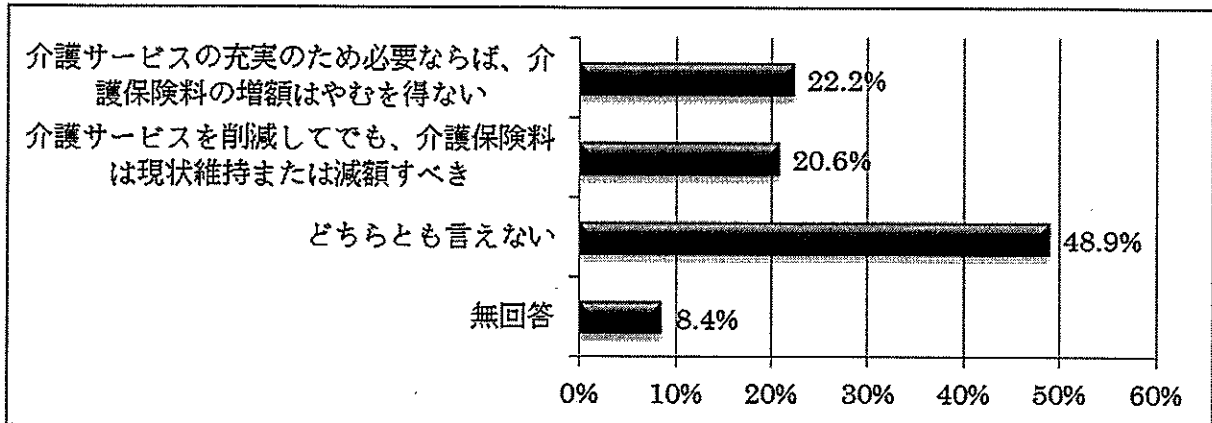
図2 介護保険料の負担(1,633人)



問3 今後の介護保険料と介護サービスの在り方についてどのように感じますか。(1つに○)

「どちらとも言えない(34.7%)」が最も多く、次いで「介護サービスの充実のため必要ならば、介護保険料の増額はやむを得ない(22.2%)」の順となっている。

図3 保険料と介護サービスの在り方(1,633人)



～ 自由意見・要望 ～

自由意見は172件で、回答数の10.5%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●介護保険制度・サービスに関すること

- ・介護保険料を納めていても実際に必要になったときにそれをどのように対応してくれるのか心配しています。
- ・介護保険制度は廃止すべきである。他人の介護は大変な負担になる。人間の顔がひとりひとり違いがあるように介護の仕方も違ってくると思います。人生の週末は家族で行うべき。他人に頼るべきではない。
- ・消費税は全額福祉のためと言いながら全く実行されていない。
- ・この制度が当たり前と思わせる風潮がおかしい。すべて無償とすべき。日本の介護保険制度自体冷静に見つめなおす必要がある。
- ・老人2人で暮らしているので、どちらかが動けなくなったときはよろしくお願いします。
- ・家族の中で介護者が出た時点で家族で介護できるものがある場合、国から何らかを助成してくれる制度ができるようになれば、介護する人もされる人も気遣いなく出来るのでは。人手不足・医療費削減になるかと思っています。
- ・高齢者が安心して老後が暮らせる制度であってほしい。
- ・介護という大変な仕事をされている方たちがもっと気持ちよく仕事を頑張れるために、仕事に見合ったお給料をもらえるようにしてほしい。
- ・これからの介護保険制度を継続するにあたっては、①介護サービスの削減です。「福祉用具購入費」や「住宅改修費」のサービスを取りやめ、純粋に身体に関する介護サービスのみにする。②「要支援」も取りやめる。③受益者負担を「1割」から「2割」に引き上げ、現役並み所得者、資産家は「3割」に。思い切った改革をしなければ、もう介護保険制度は「保険の体」をなしていないと思います。
- ・国は介護事業を施設から在宅へ、また介護認定も厳しく改正しようとしています。でも少子高齢化、核家族化、年金の減額が進む中でどのようになっていくのか不安を覚えます。
- ・自分の親の介護をしているが、実際自分が介護を受けるようになった時、子供は遠方にいるた

め地域の様々な介護を利用することになり、もっと地域の介護体制の充実を願います。

・老老介護の増加傾向は社会的問題として重視すべきと思う。公的支援策も重要であるが、近隣地域内における相互扶助のつながりが最も重要と考えます。異世代間の価値観のズレを減少する努力と「拝金主義」からの脱出が近道では。

●介護保険料などお金に関すること

- ・少ない年金から今の保険料や物価の上昇大変です。
- ・国民年金に対して介護保険料が高すぎる。
- ・「少子高齢化」傾向が益々進行する中、介護や福祉に関する自己負担の増額はやむを得ないと思います。
- ・年金が段々減らされ生活が苦しく楽しく出来ないと思うので介護保険料を少なくしてほしい。
- ・受給者負担の原則を周知させるべきである。
- ・誰しものが高齢者になりますが、介護を必要とすることには予防の気持ちが働いていると思います。介護保険制度を利用することなく達者な方は友人にもいますが、努力し自らの足で毎日を送っている方たちには聞き取りも大事ですが、個人に対して還付などの仕組みも励ましの言葉もあるべきだと思います。
- ・消費税を福祉にあてるべき。介護保険料は2000年に2,075円が、5,273円と倍になっている。
- ・低年金者の介護保険料を免除するか、又は段階的な負担額に検討してほしい。
- ・サービスを利用している人もしない人も介護保険料を同じにしてもらいたくない。利用に応じた納め方も必要ではないだろうか。車の任意の保険のように利用しない人はだんだん料金をさげてはどうでしょうか。
- ・現在はまだ働いていますが、将来年金のみになった時、国保や介護保険料が重くなってくることが不安です。
- ・介護を使わない人には、保険料の割引があっても良いのではないのでしょうか。

●介護施設に関すること

- ・将来自立できなくなった時、年金で賄える金額での老人ホームにスムーズに入居出来るようになってほしい。
- ・あまりにも介護施設が多すぎる。特にいいかげんなものが、もっと目配りすること。
- ・福祉の充実、特養の待機者が出ないよう特養の入居改善を望む。
- ・老人ホーム、グループホームなど一度見学してみたいものです。

●予防に関すること

- ・財政難で国の政策が後退していく中、個人の努力により健康を保っていく事が必要と思います。
- ・介護にならないような予防が大切だと思います。
- ・全て日常的に予防が大切だと思います。近隣センター等を利用しての運動や趣味、特技など遠くに出かけなくてもできるような事が必要。時々、保健師の健康チェックや会話、食事など楽しむことなどあればよいですね。

●その他

- ・実態をもっと周知する必要があるのでは。
- ・独居老人の対策を急ぐべきでは。孤独死になる以前の調査などを行政で周知しているか。
- ・介護施設で週2～3日仕事をしています。将来は自分の住む地域で老人に関わるサロンのような場で何かお手伝いをできればと思っています。

2-1 介護保険利用状況実態調査

(在宅サービス利用者：要支援 1・2

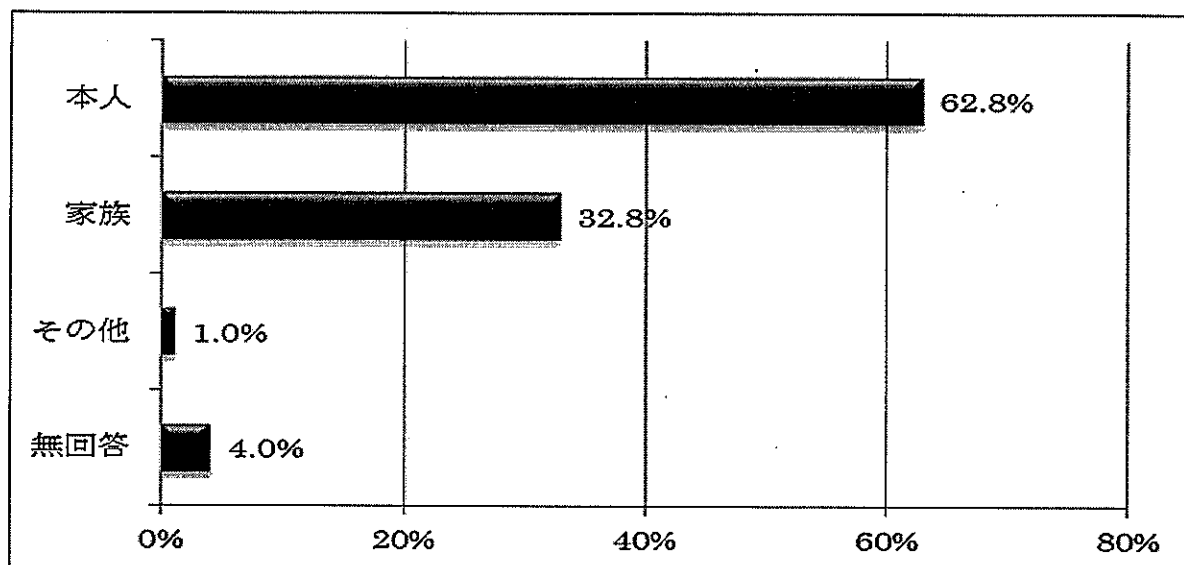
要介護 1)

2-1 介護保険利用状況実態調査（要支援1、2、要介護1）

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（1つに○）

「本人(62.8%)」が最も多く、次いで「家族(32.8%)」の順となっている。

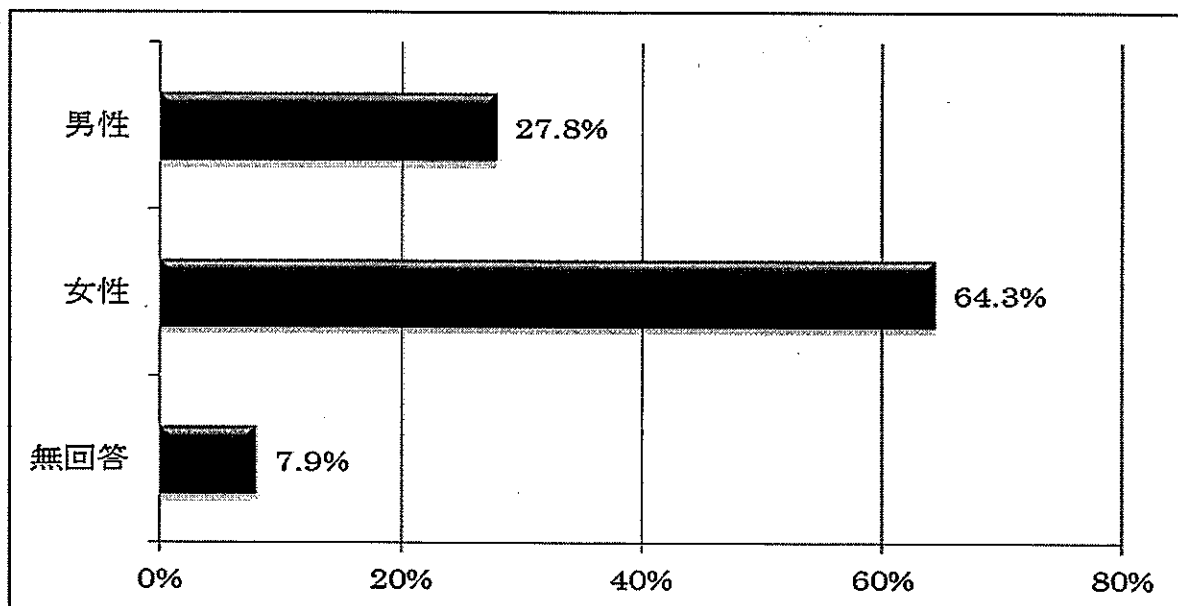
図1 調査回答者（回答者479人）



問2 性別をお答えください。（1つに○）

「男性(27.8%)」より「女性(64.3%)」の方が多くなっている。

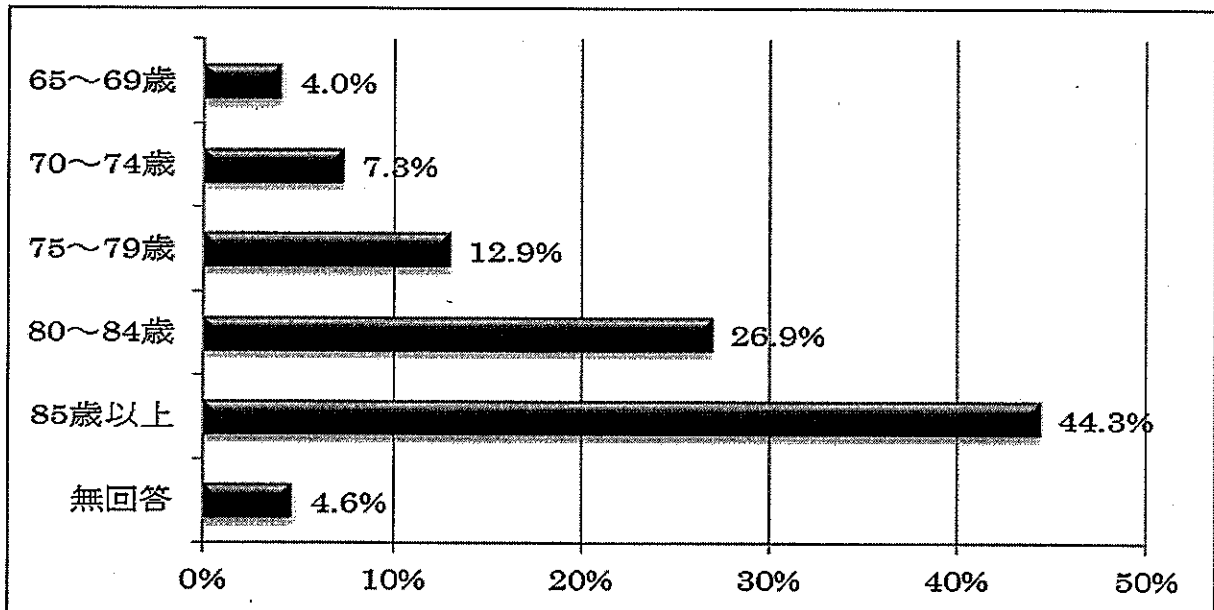
図2 性別（回答者479人）



問3 年齢をお答えください。(1つに○)

「85歳以上(44.3%)」が最も多く、次いで「80～84歳(26.9%)」、「75～79歳(12.9%)」の順となっている。前期高齢者(65～74歳)は11.3%、後期高齢者(75歳以上)は84.1%となっている。

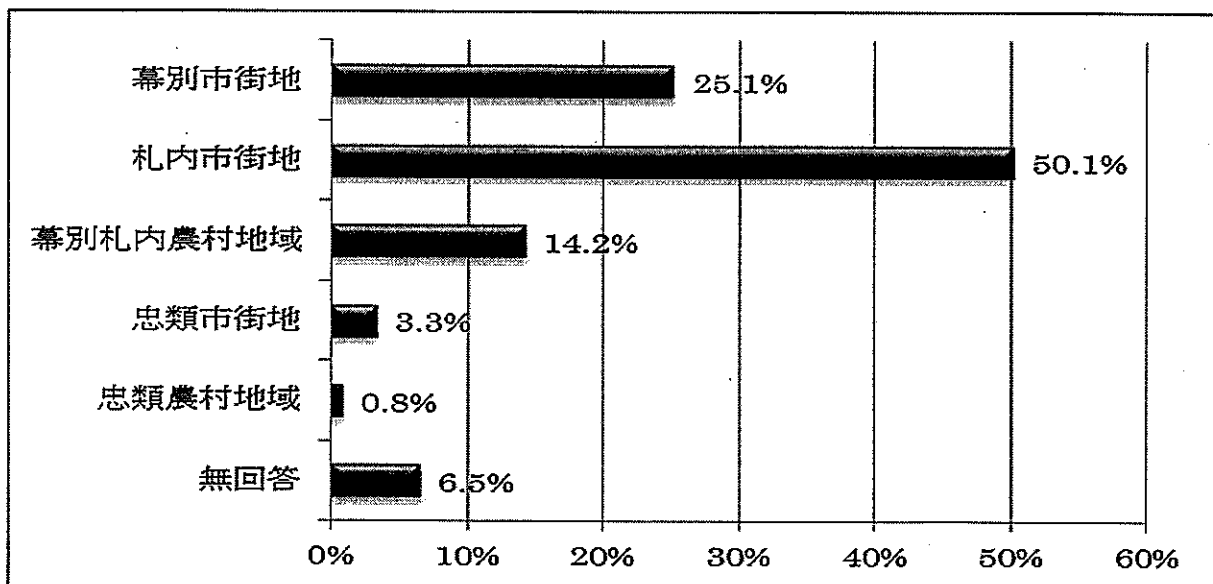
図3 年齢(回答者479人)



問4 お住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「札幌市街地(50.1%)」が最も多く、次いで「札幌市街地(25.1%)」、「札幌市農村地域(14.2%)」の順となっている。

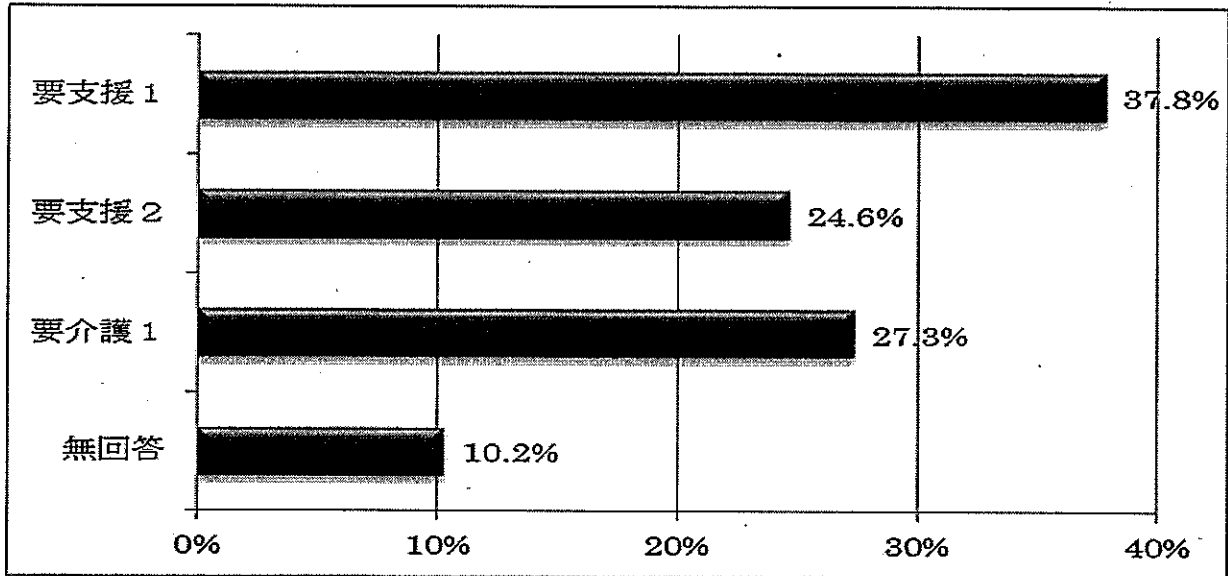
図4 居住地域(回答者479人)



問5 要介護度をお答えください。(1つに○)

「要支援1 (37.8%)」が最も多く、次いで「要介護1 (27.3%)」、「要支援2 (24.6%)」の順となっている。

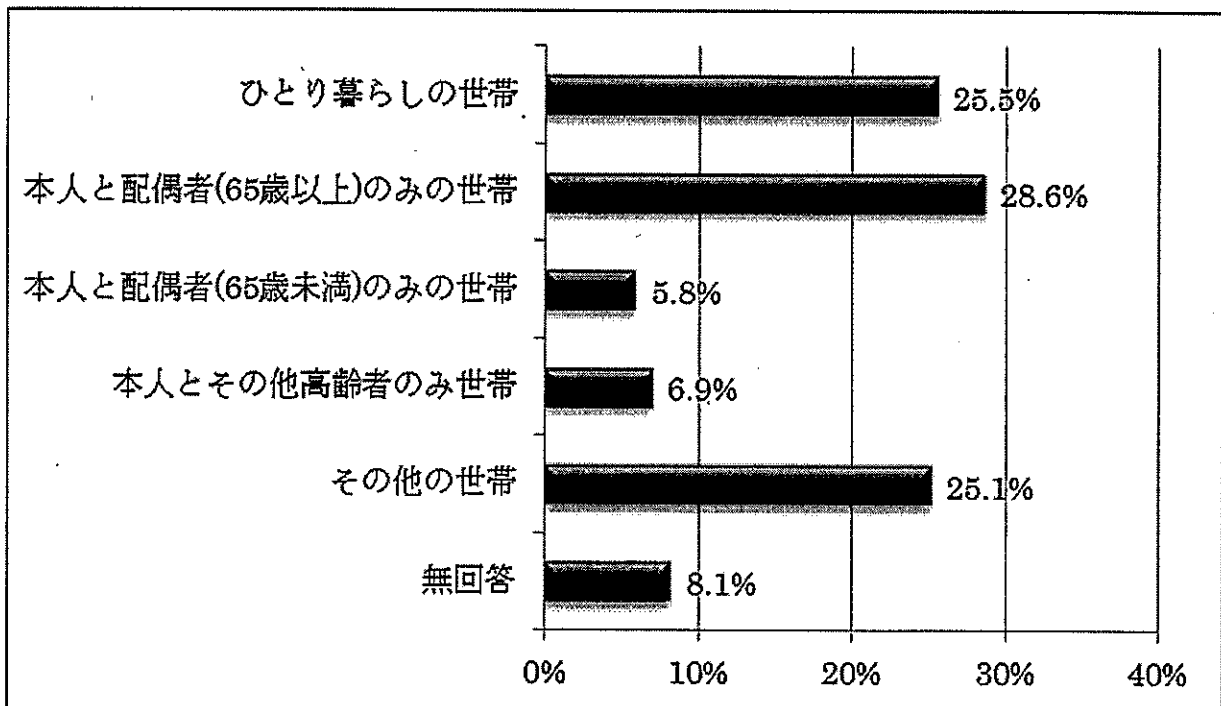
図5 要介護度 (回答者 479 人)



問6 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

「本人と配偶者(65歳以上)のみの世帯(28.6%)」が最も多く、次いで「ひとり暮らし (25.5%)」、「その他の世帯(25.1%)」の順となっている。

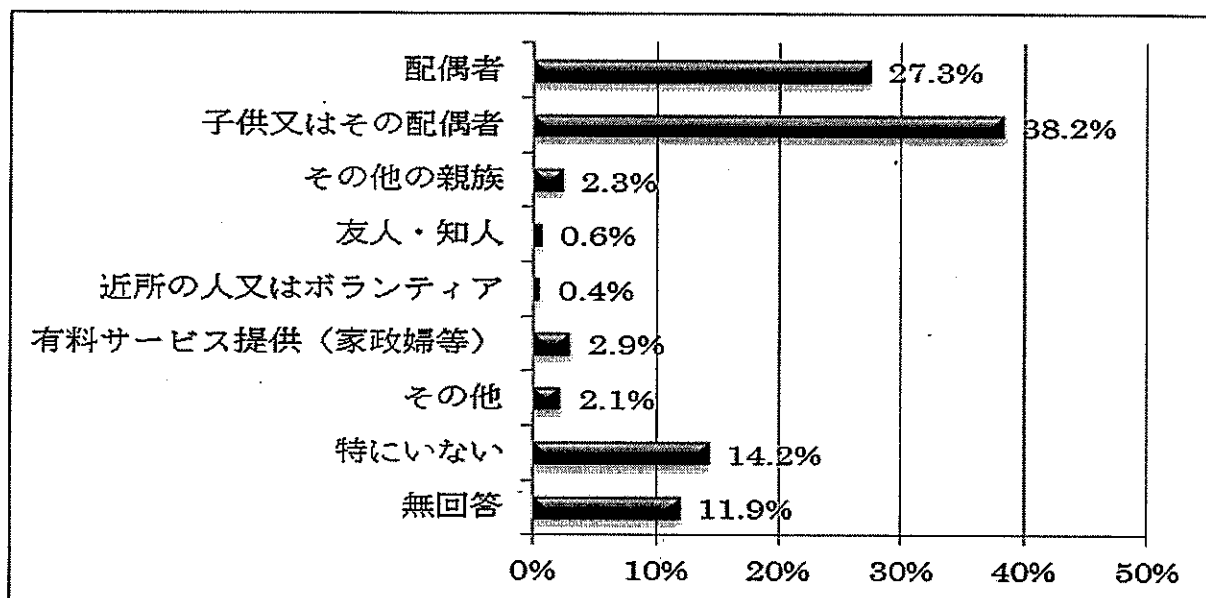
図6 世帯構成 (回答者 479 人)



問7 ふだん主に本人を介護している方はどなたですか。(1つに○)

「子供又はその配偶者(38.2%)」が最も多く、次いで「配偶者(27.3%)」、「特にいない(14.2%)」の順となっている。

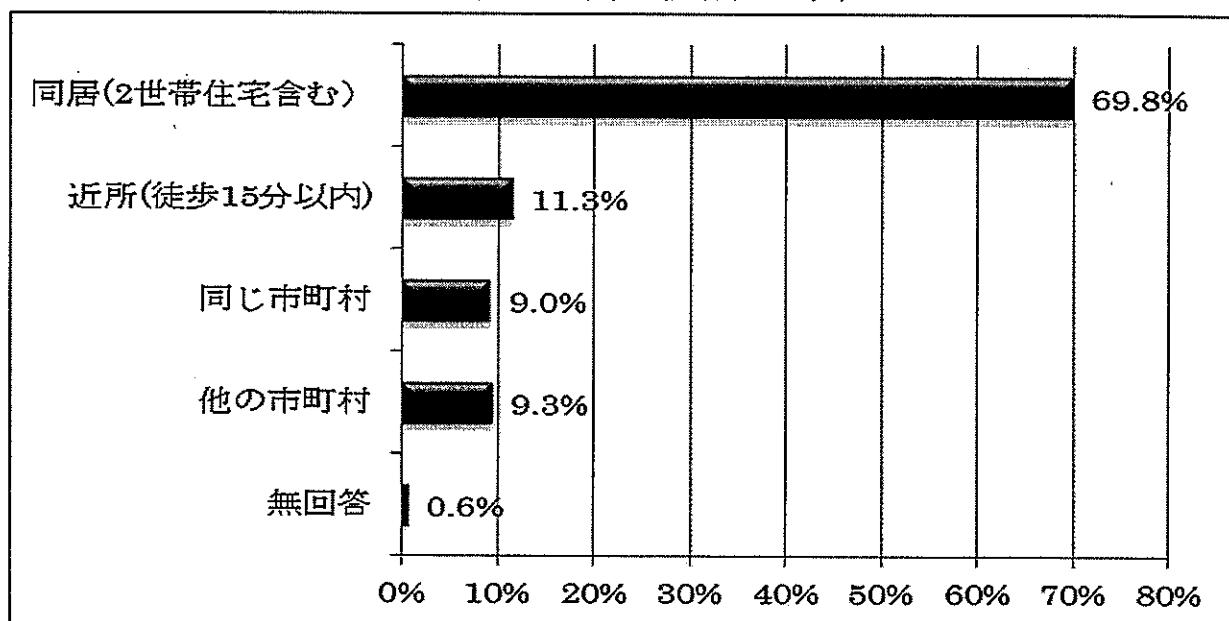
図7 ふだん主に介護されている方(回答者479人)



問8 問7で1～7のいずれかに○をつけた方にお尋ねします。主な介護者はどこにお住まいですか。(1つに○)

「同居(2世帯住宅含む)(69.8%)」が最も多く、次いで「近所(徒歩15分以内)(11.3%)」の順となっている。

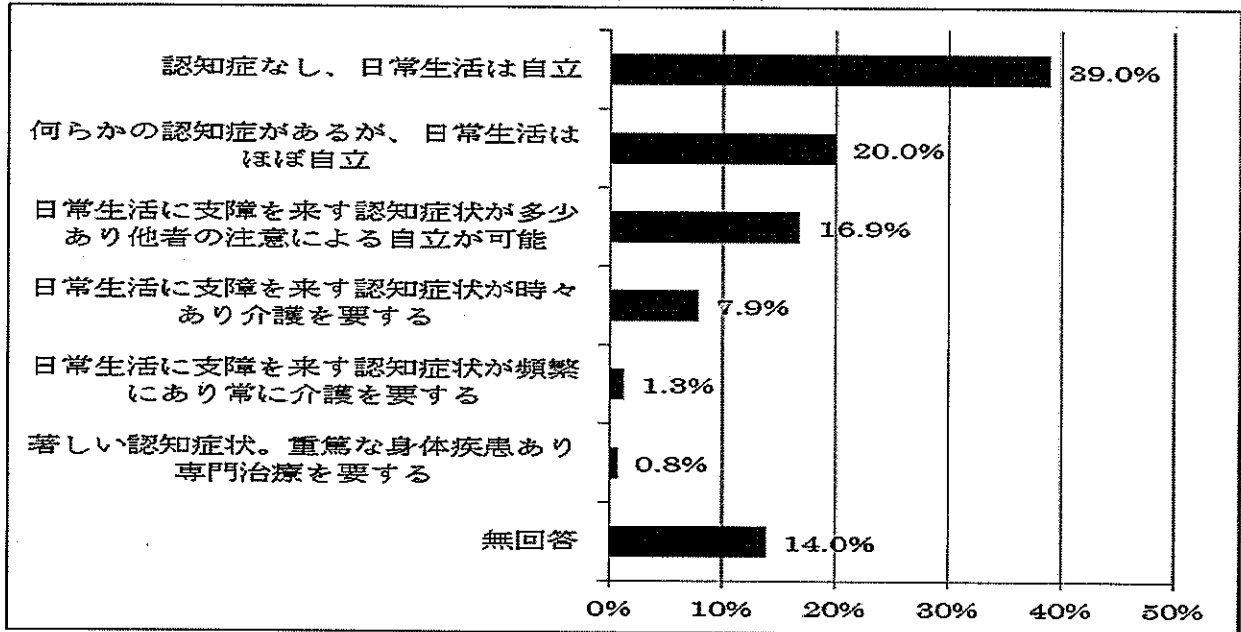
図8 介護者の居住先(回答者354人)



問9 本人の心身の状況についてお答えください。(1つに○)

「認知症なし、日常生活は自立(39.0%)」が最も多く、次いで「何らかの認知症があるが、日常生活はほぼ自立(20.0%)」、「日常生活に支障を来す認知症状が多少あり、他者の注意による自立が可能(16.9%)」となっており、他者が注意していれば自立できると答えた方が7割を超えている。

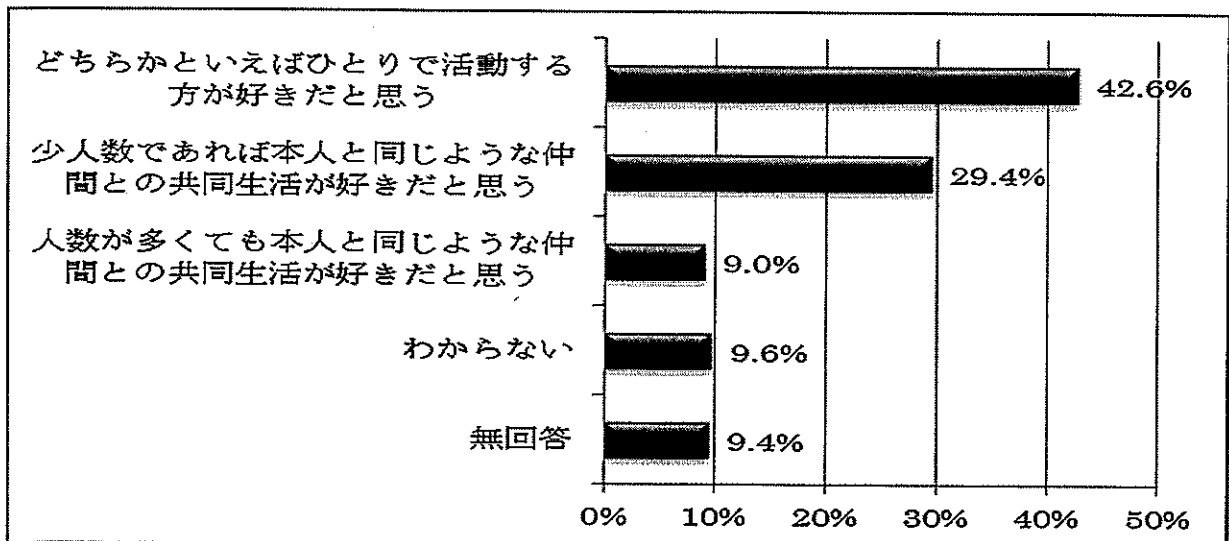
図9 心身の状況(479人)



問10 本人の志向についてお答えください。(1つに○)

「どちらかといえばひとりで活動する方が好きだと思う(24.7%)」が最も多く、次いで「少人数であれば本人と同じような仲間との共同生活が好きだと思う(29.4%)」の順となっている。

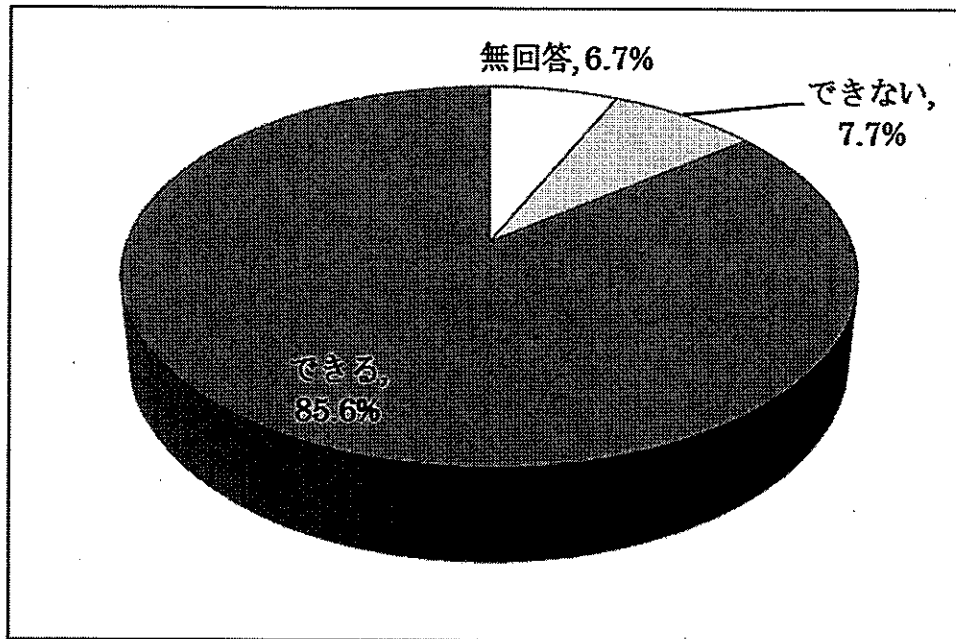
図10 生活志向(479人)



問 11-1 日常生活動作についてお答えください。歩行は1人でできますか。(1つに○)

「できる(85.6%)」と答えた方が8割を超えている。

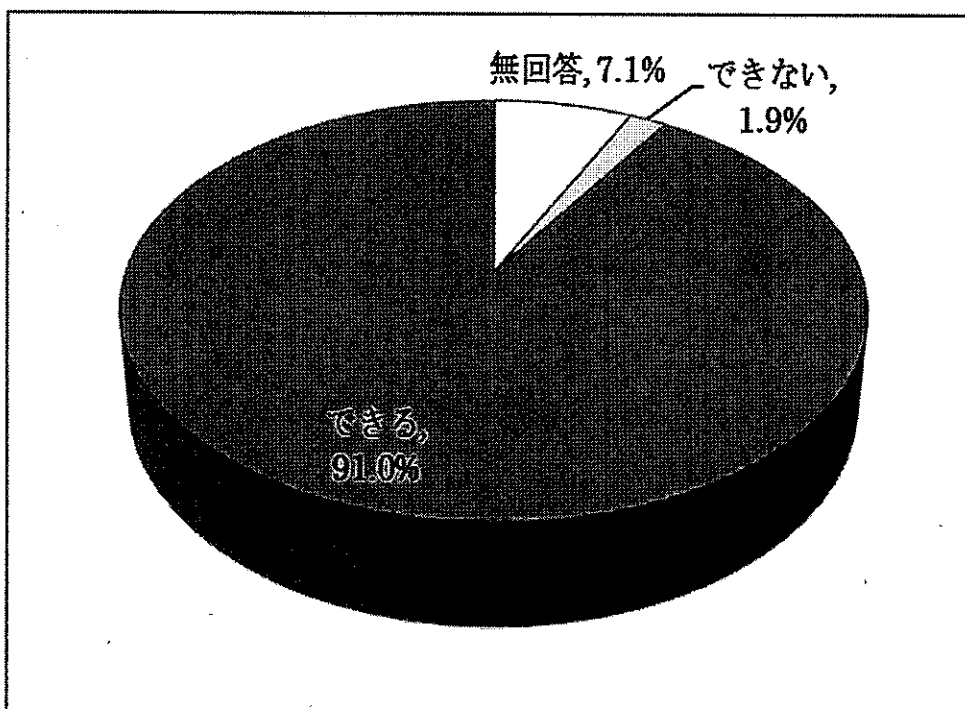
図 11-1 日常生活動作(歩行は1人でできますか)(479人)



問 11-2 日常生活動作についてお答えください。食事は1人でできますか。(1つに○)

「できる(91.0%)」と答えた方が9割を超えている。

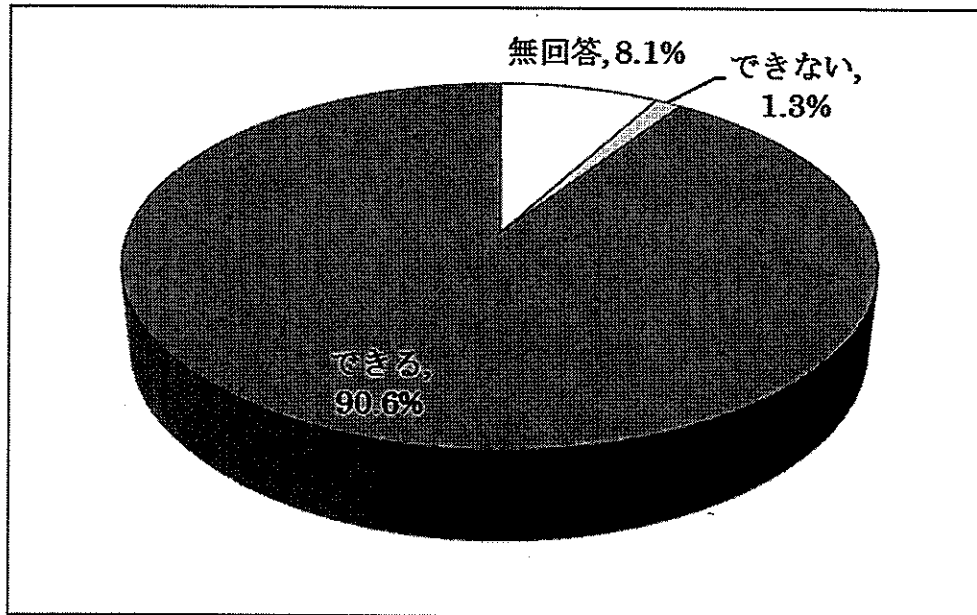
図 11-2 日常生活動作(食事は1人でできますか)(479人)



問 11-3 日常生活動作についてお答えください。トイレは1人でできますか。(1つに○)

「できる(90.6%)」と答えた方が9割を超えている。

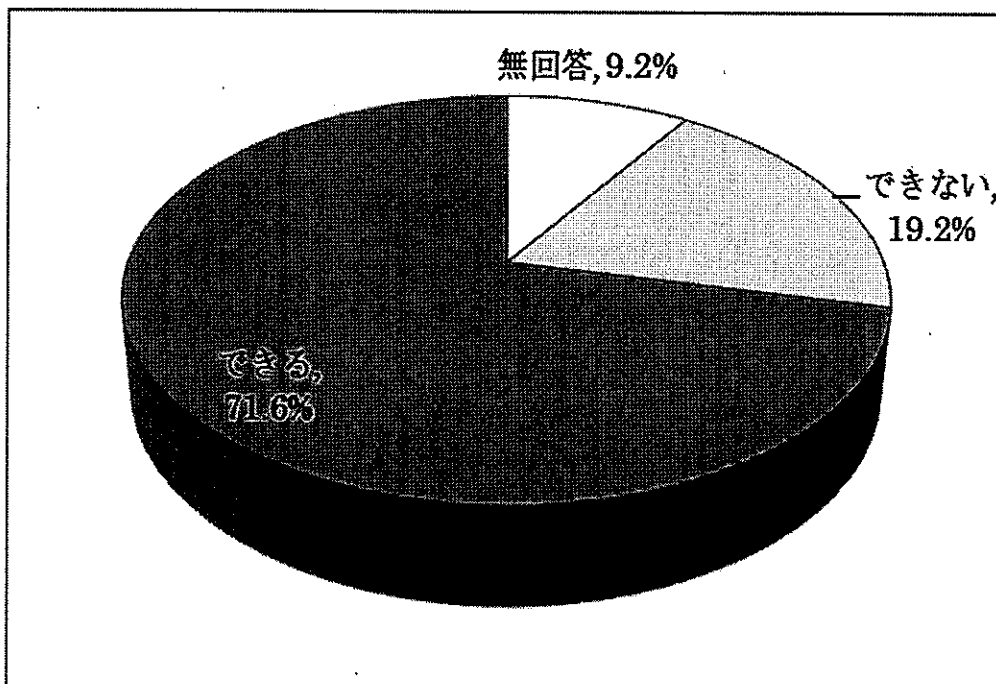
図 11-3 日常生活動作(トイレは1人でできますか)(479人)



問 11-4 日常生活動作についてお答えください。入浴は1人でできますか。(1つに○)

「できる(71.6%)」と答えた方が7割を超えている。

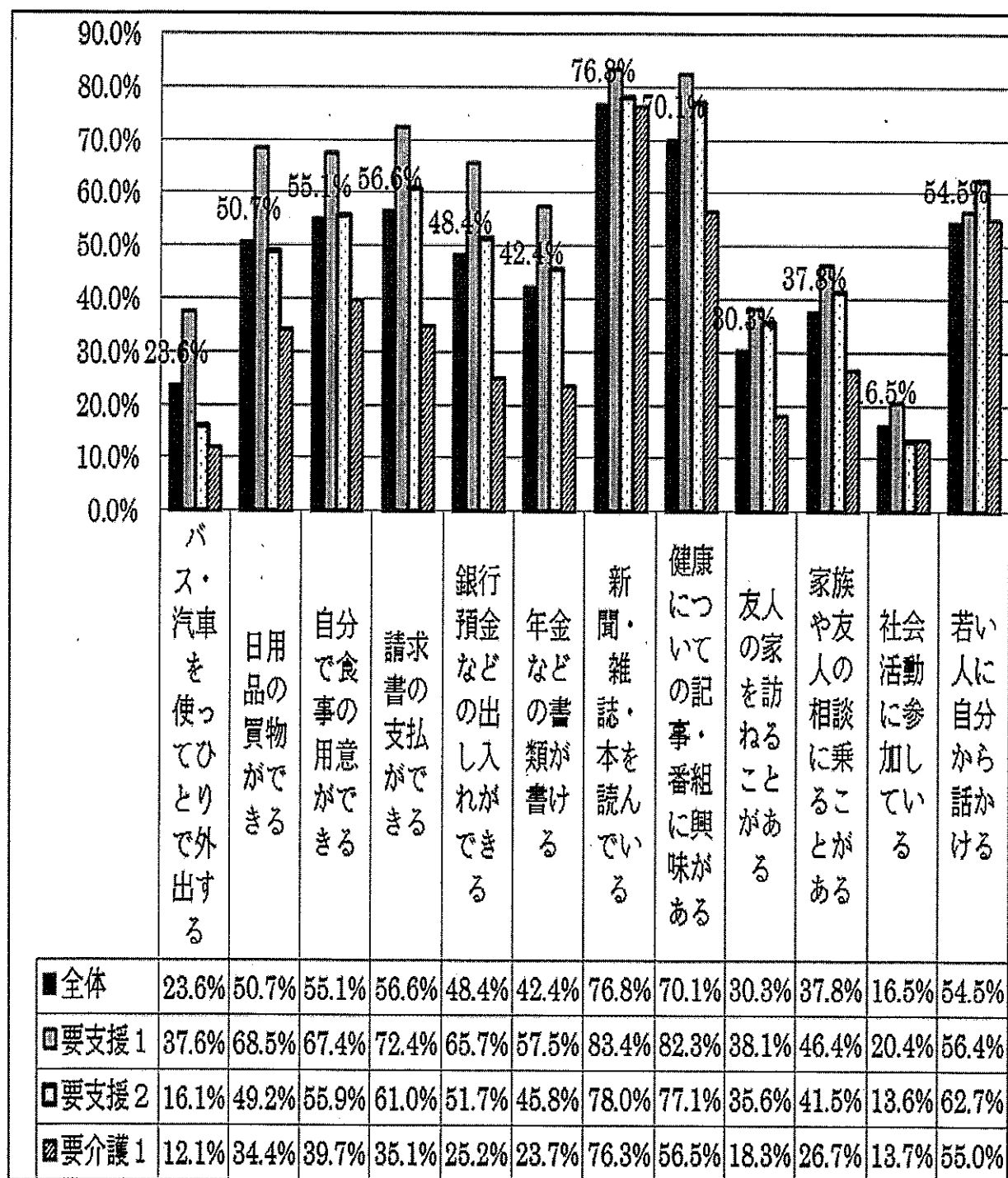
図 11-4 日常生活動作(入浴は1人でできますか)(479人)



問12 毎日の生活行動のうち、次のそれぞれについてお答えください。(1つに○)

全体では「新聞・雑誌・本を読んでいる(76.8%)」と答えた人が最も多く、次いで「健康についての記事・番組に興味がある(70.1%)」、「請求書の支払ができる(56.6%)」の順となっている一方で、「社会活動に参加している(16.5%)」、「バス・汽車を使ってひとりで外出できる(23.6%)」と答えた方の割合が低くなっている。

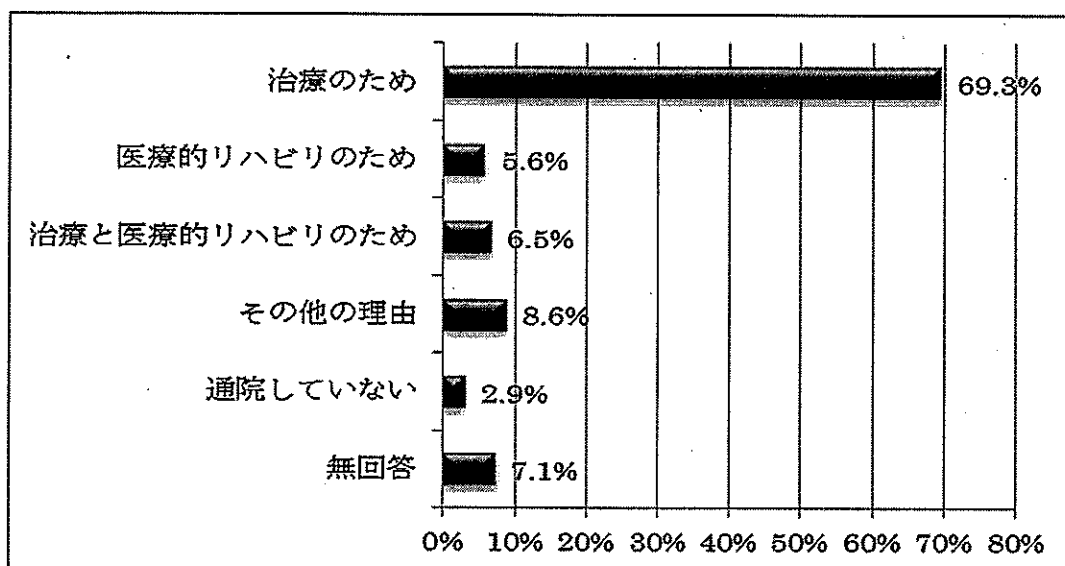
図12 毎日の生活行動(479人)



問 13-1 現在、通院していますか。(1つに○)

9割の方が通院しており、通院の理由としては、「治療のため(17.2%)」が最も多く、次いで「医療的リハビリのため(14.2%)」、「治療と医療的リハビリのため(10.0%)」の順となっており、「通院していない(2.9%)」と答えた方はわずかであった。

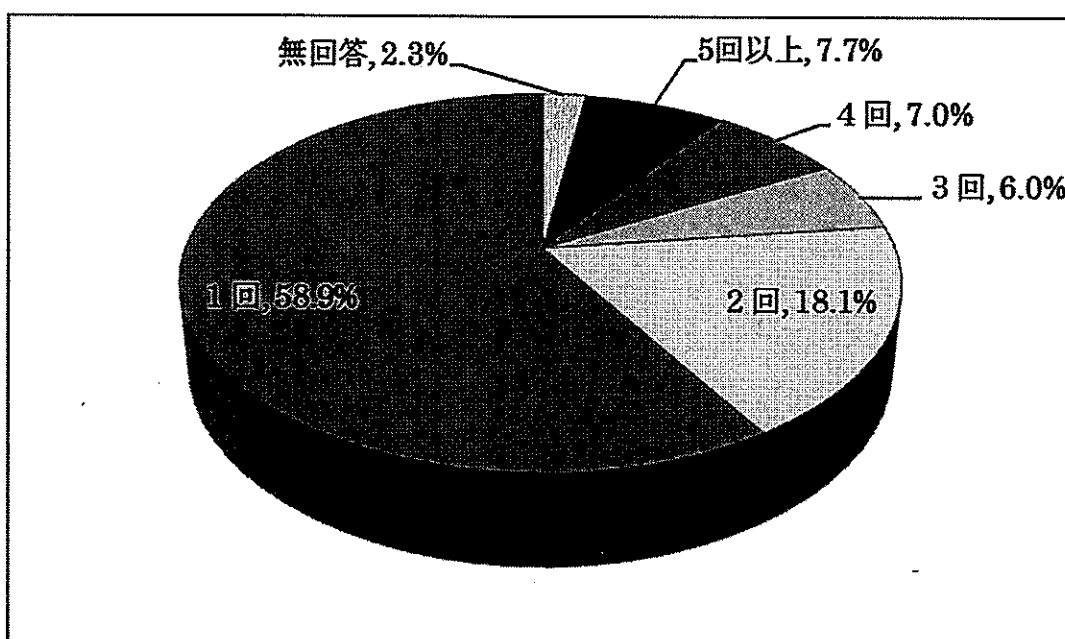
図 13-1 通院状況(479人)



問 13-2 1月あたりの通院回数はどのくらいですか。(1つに○)

1月あたりの通院回数は、「1回(58.9%)」が最も多く、次いで「2回(18.1%)」の順となっている。

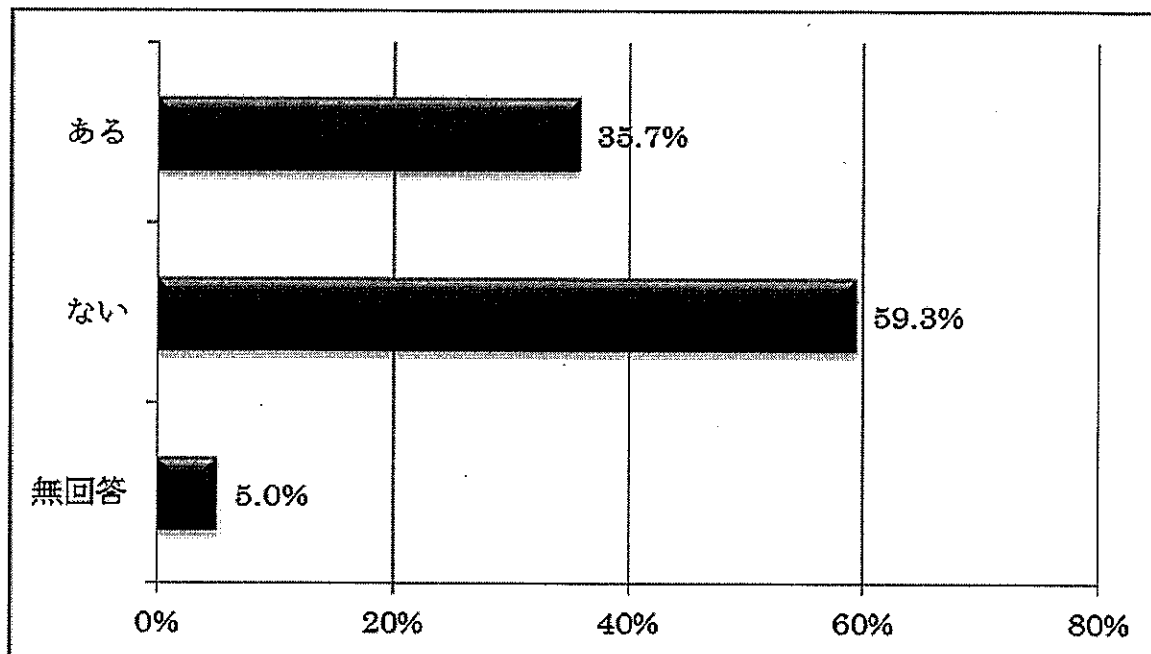
図 13-2 1月あたりの通院回数(431人)



問 14 過去1年間に病気・手術・けがなどでの入院経験がありますか。(1つに○)

「ある(35.7%)」より「ない(59.3%)」が多くなっている。

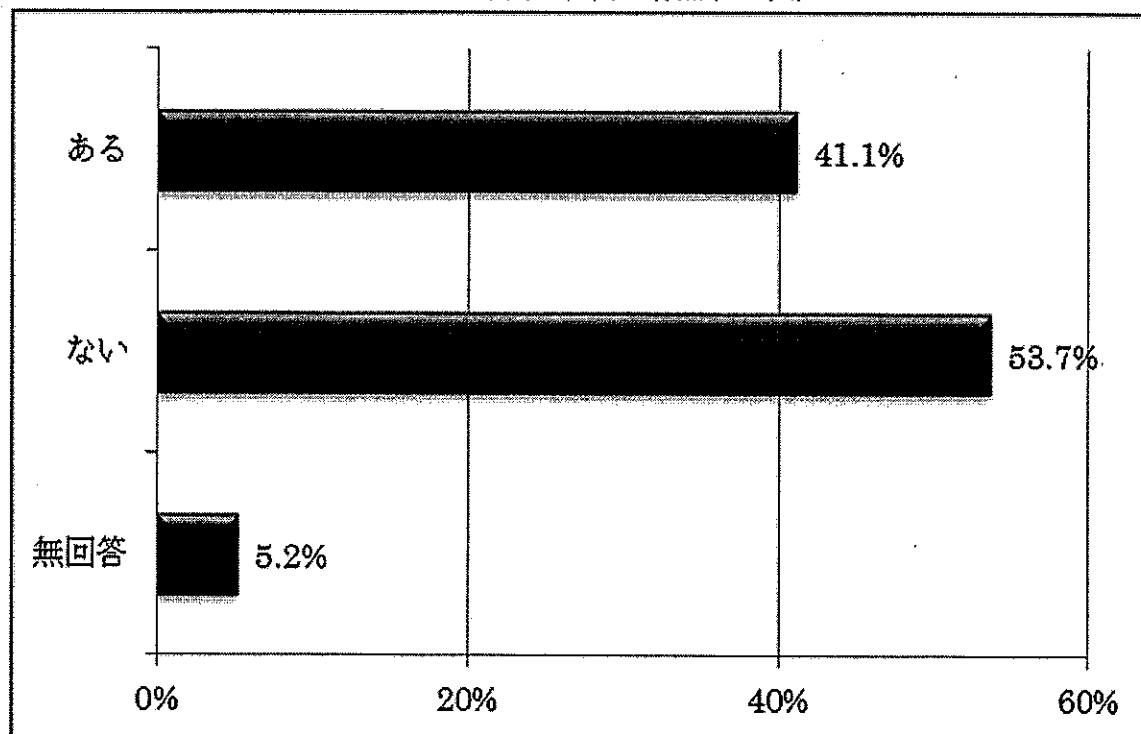
図 14 過去1年間の入院経験の有無(479人)



問 15 過去1年間に転倒したことはありますか。(1つに○)

「ある(41.4%)」より「ない(53.7%)」が多くなっている。

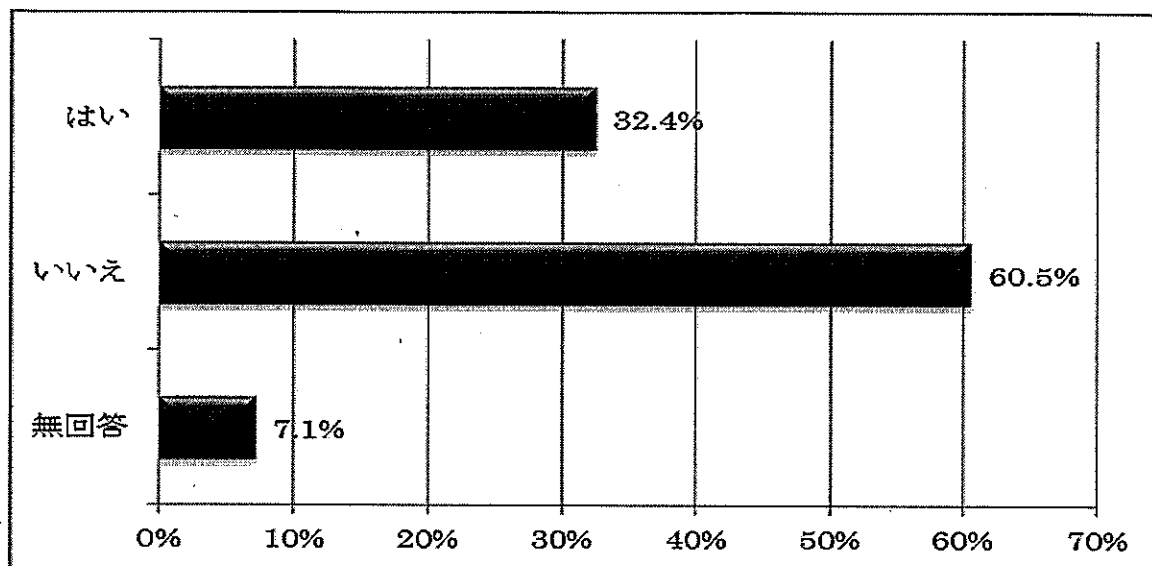
図 15 過去1年間の転倒の有無(479人)



問 16 ここ6か月で体重が減少している、若しくは筋肉や脂肪が落ちてきたと感
じますか。(1つに○)

「はい(32.4%)」より「いいえ(60.5%)」が多くなっている。

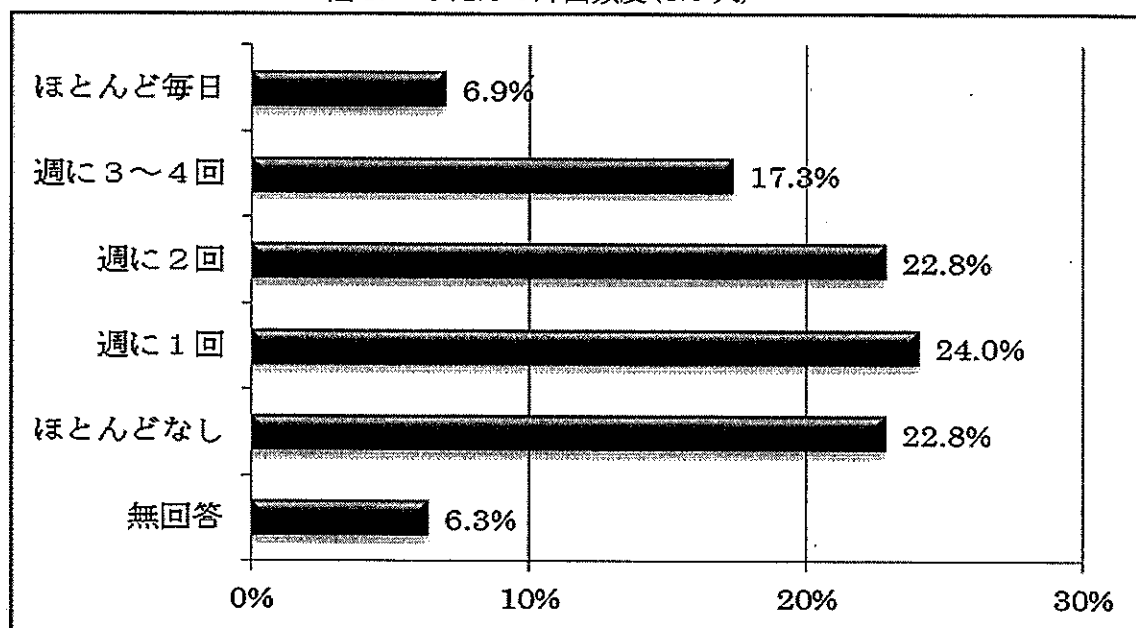
図 16 体重の減少等(479 人)



問 17 ふだんの外出回数はどのくらいですか。(1つに○)

「週に1回(24.0%)」と答えた方が最も多く、次いで「週に2回(22.8%)」となっており、7割の方が外出している一方で、「ほとんどなし(22.8%)」と2割の方が外出していない状況となっている。

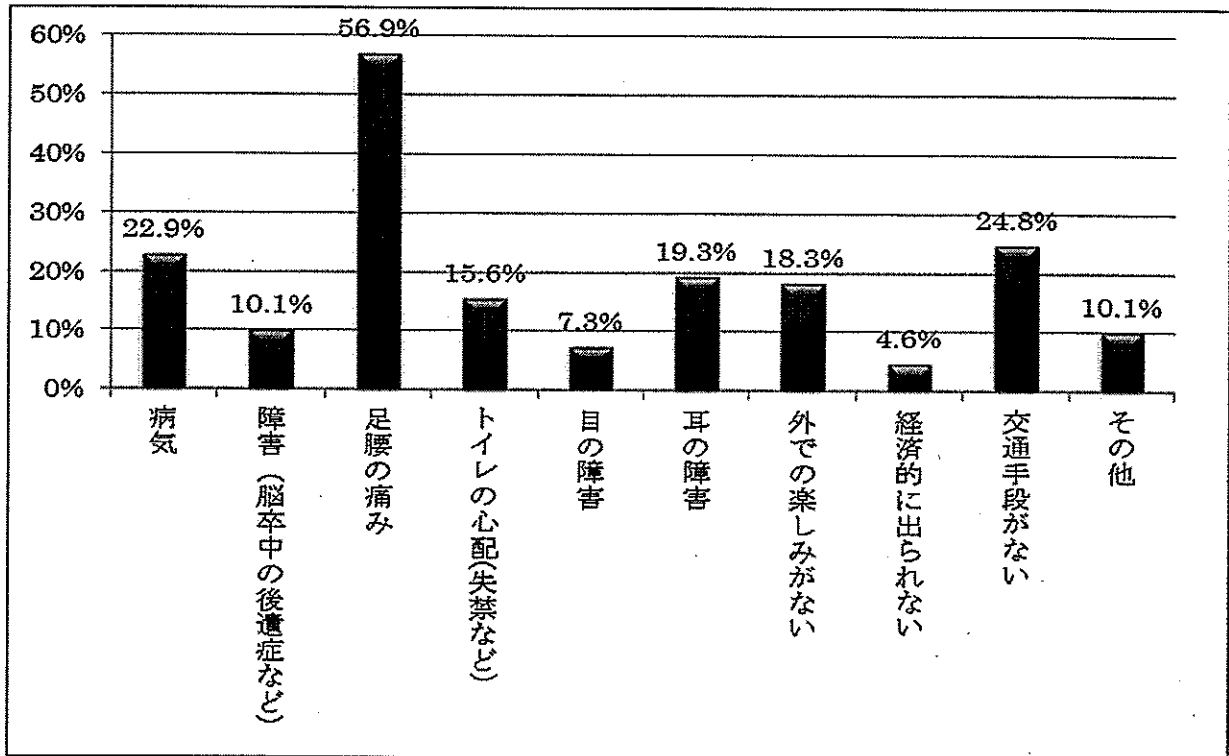
図 17 ふだんの外出頻度(479 人)



問 17-1 問 17 で「5 ほとんどなし」と答えた方にお尋ねします。外出がほとんどない理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「足腰の痛み(56.9%)」が最も多く、次いで「交通手段がない(24.8%)」、「病気(22.9%)」の順となっている。

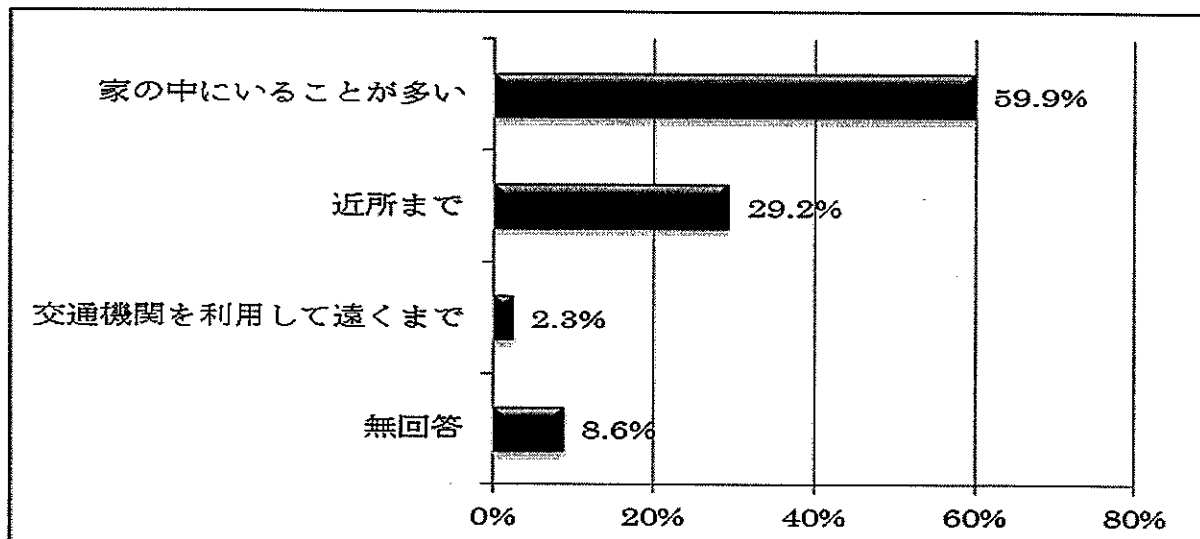
図 17-1 外出しない理由(109 人)



問 18 ふだんの行動の範囲はどの程度になりますか。(1つに○)

「家の中にいることが多い(59.9%)」が最も多く、次いで「近所まで(29.2%)」の順となっている。

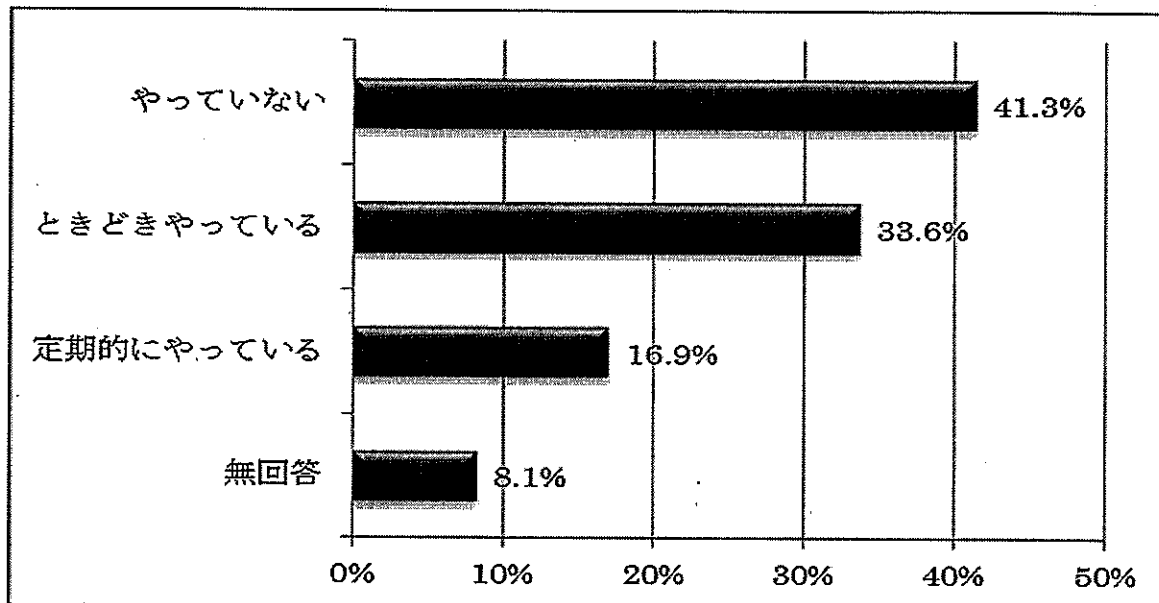
図 18 行動範囲(479 人)



問 19 趣味・楽しみ・好きでやっていることはありますか。(1つに○)

「やっていない(41.3%)」が最も多く、次いで「ときどきやっている(33.6%)」、「定期的
にやっている(16.9%)」の順となっている。

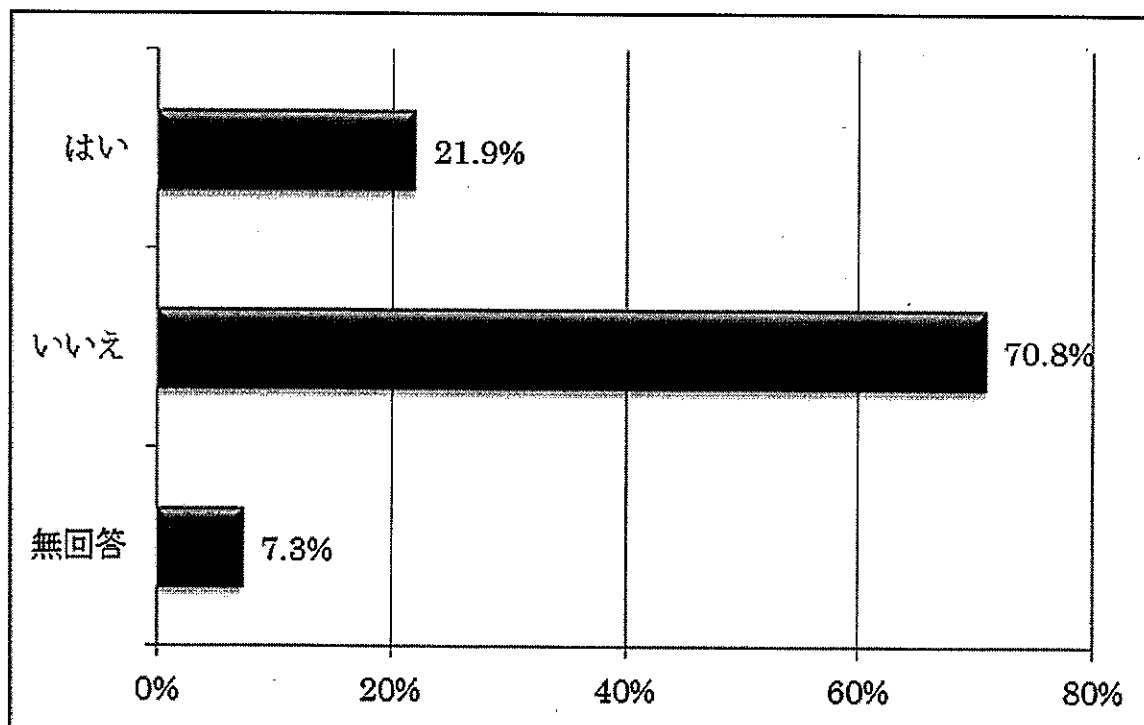
図 19 趣味・楽しみ・好きでやっていること(479 人)



問 20 現在、足の指や爪が痛みますか。(1つに○)

「はい(21.9%)」より「いいえ(70.8%)」が多くなっている。

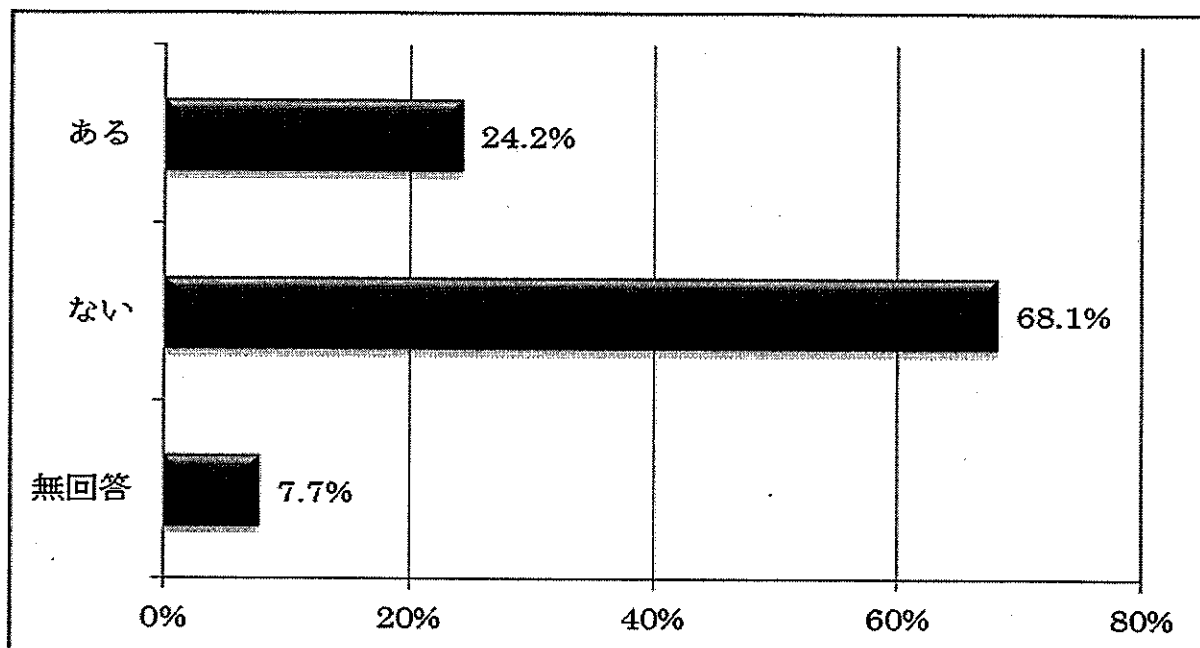
図 20 足の指や爪の痛み(479 人)



問 21 今までに、足の指や爪が痛いことにより、立ち上がりや歩行が辛いと感じたことがありますか。(1つに○)

「ある(24.2%)」より「ない(68.1%)」が多くなっている。

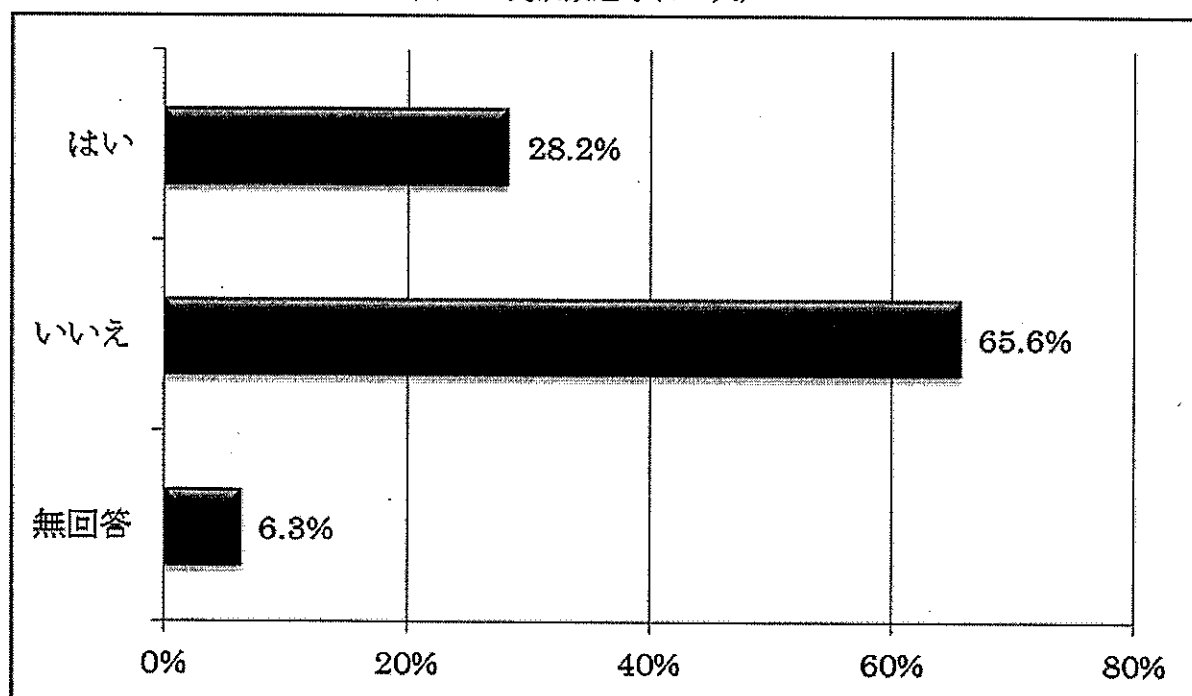
図 21 立ち上がりや歩行の辛さ(479 人)



問 22 最近、食べる量が減ったり、食欲が減退したりしていますか。(1つに○)

「はい(28.2%)」より「いいえ(65.9%)」が多くなっている。

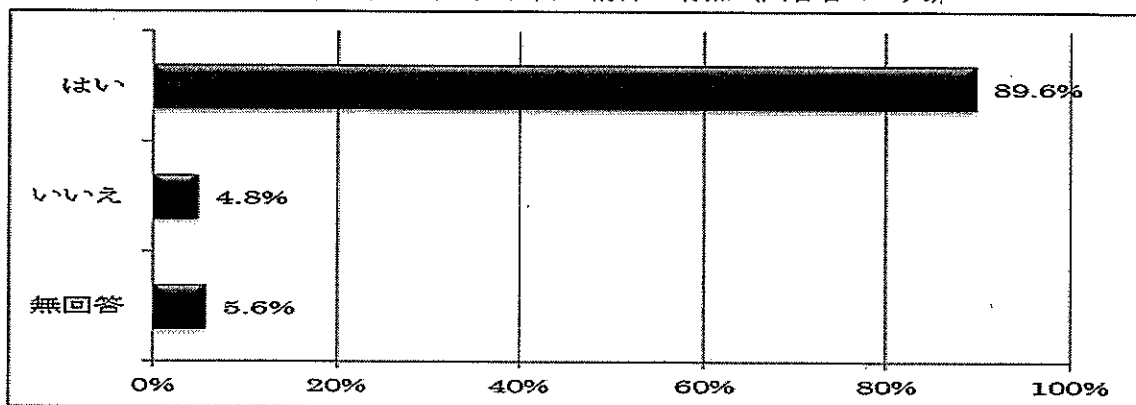
図 22 食欲減退等(479 人)



問 23 歯磨きをしている、若しくは入れ歯を清掃していますか。(1つに○)

「はい(89.6%)」と答えた方が圧倒的に多くなっている。

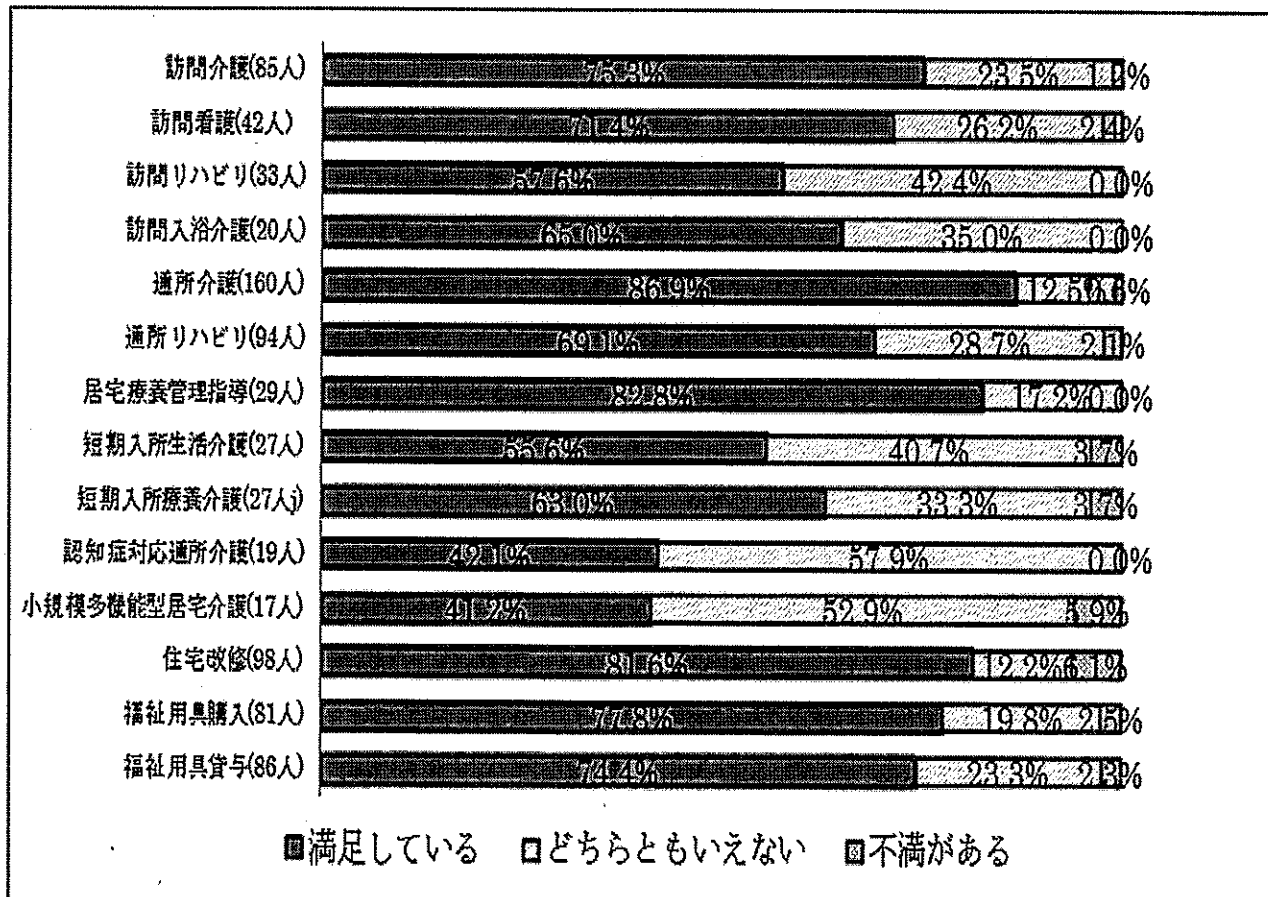
図 23 歯磨き若しくは入れ歯の清掃の有無 (回答者 479 人)



問 24 現在利用している介護サービスの満足度についてお答えください。(それぞれ1つに○)

全体としておおむね満足しているが、「認知症対応型通所介護(42.1%)」、「小規模多機能型居宅介護(41.2%)」の満足度が5割以下となっている。

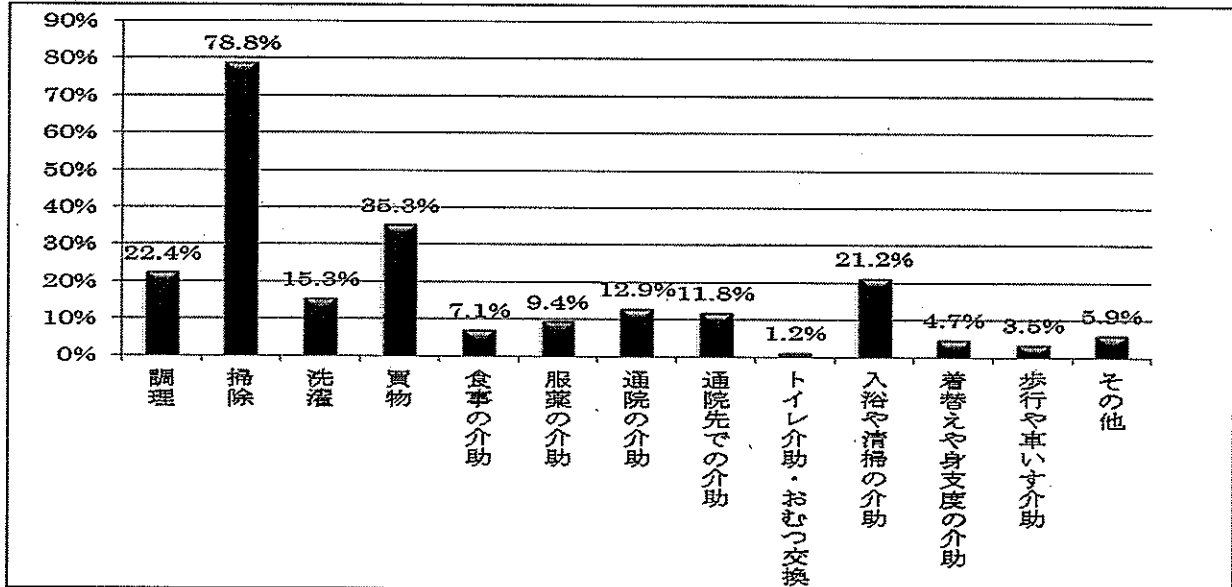
図 24 介護サービスの満足度 (回答者：サービス別利用者数)



問 25 介護(予防)訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している方にお尋ねします。具体的にどのようなサービスを利用していますか。(1つに○)

「掃除(78.8%)」が最も多く、次いで「買物(35.3%)」、「調理(22.4%)」、「入浴や清掃の介助(21.2%)」の順となっている。

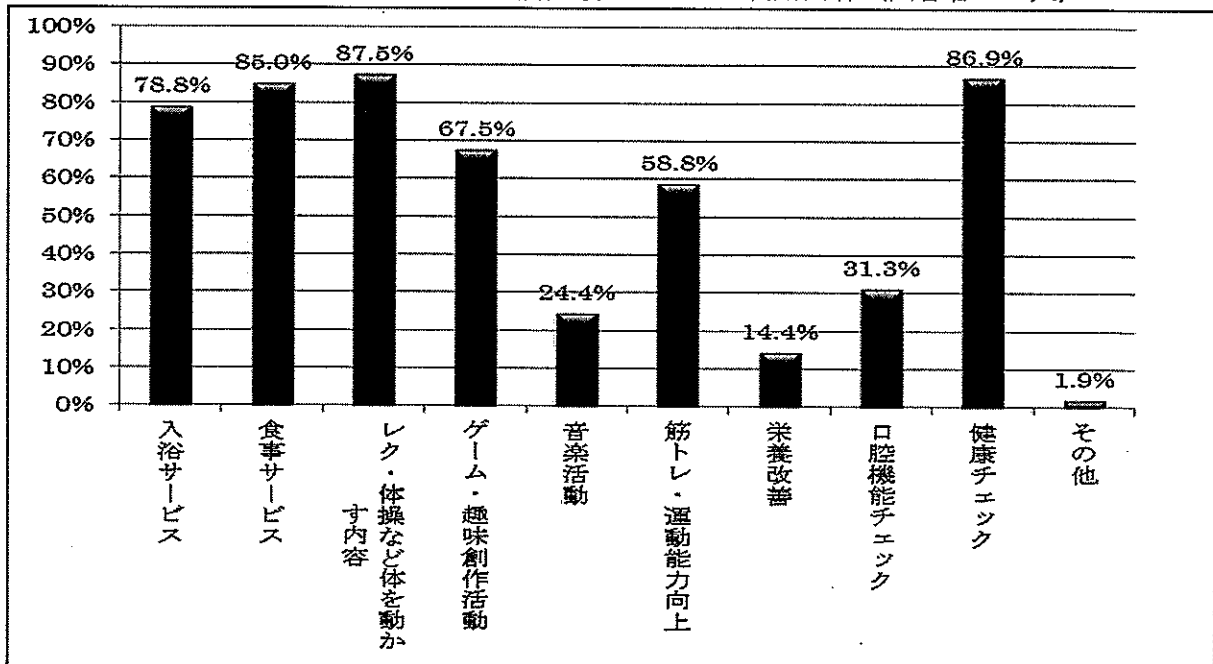
図 25 介護(予防)訪問介護サービスの利用内容 (回答者 85 人)



問 26 介護(予防)通所介護(デイサービス)を利用している方にお尋ねします。具体的にどのようなサービスを利用していますか。(1つに○)

「レク・体操などの体を動かす内容(87.5%)」が最も多く、次いで「健康チェック(86.9%)」、「食事サービス(85.0%)」、「入浴サービス(78.8%)」の順となっている。

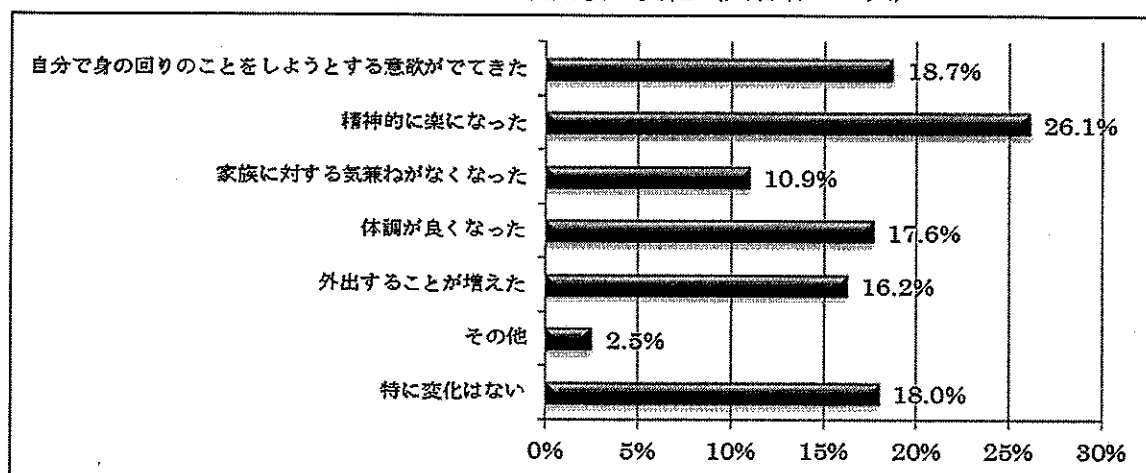
図 26 介護(予防)通所介護サービスの利用内容 (回答者 160 人)



問 27 介護(予防)サービスを利用することにより利用者の生活にどのような変化がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

「精神的に楽になった(26.1%)」が最も多く、次いで「自分で身の回りのことをしようとする意欲がでてきた(18.7%)」、「特に変化はない(18.0%)」の順となっている。

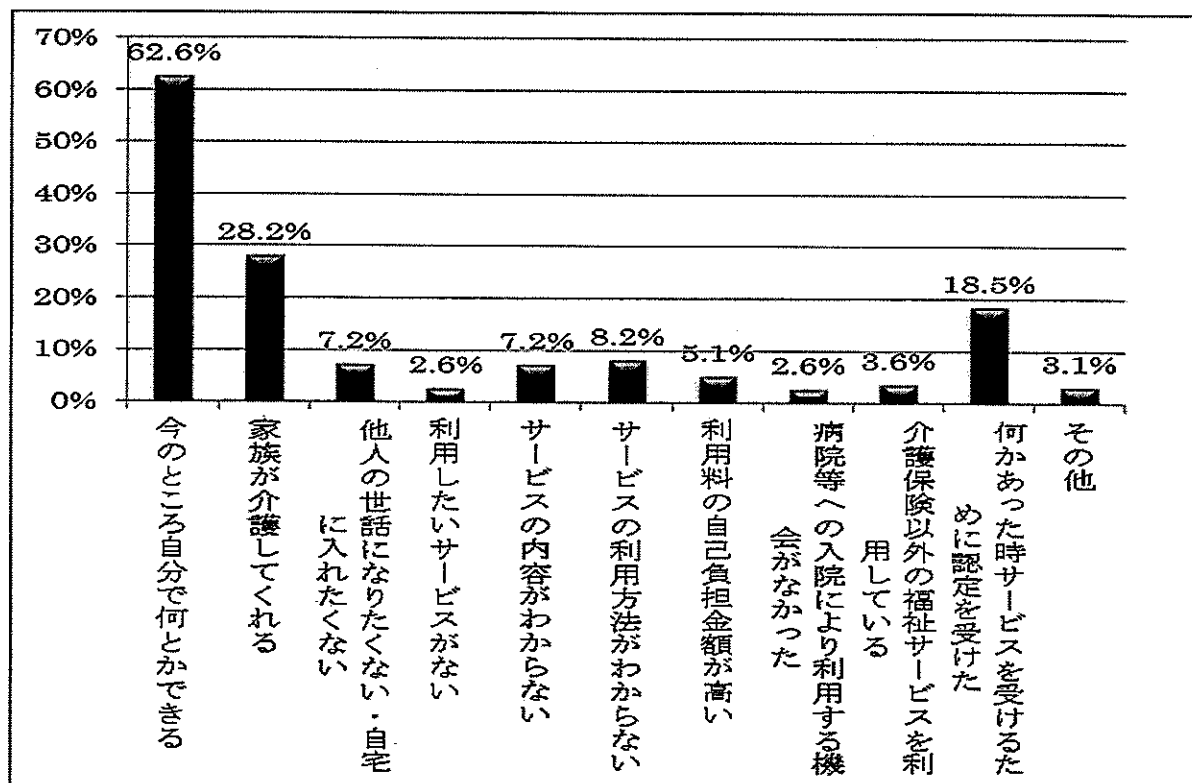
図 27 介護(予防)サービス利用後の変化 (回答者 284 人)



問 28 現在、介護保険サービスを利用していない方にお尋ねします。サービスを利用していない理由をお答えください。(1つに○)

「今のところ自分で何とかできる(62.6%)」が最も多く、次いで「家族が介護してくれる(28.2%)」の順となっている。

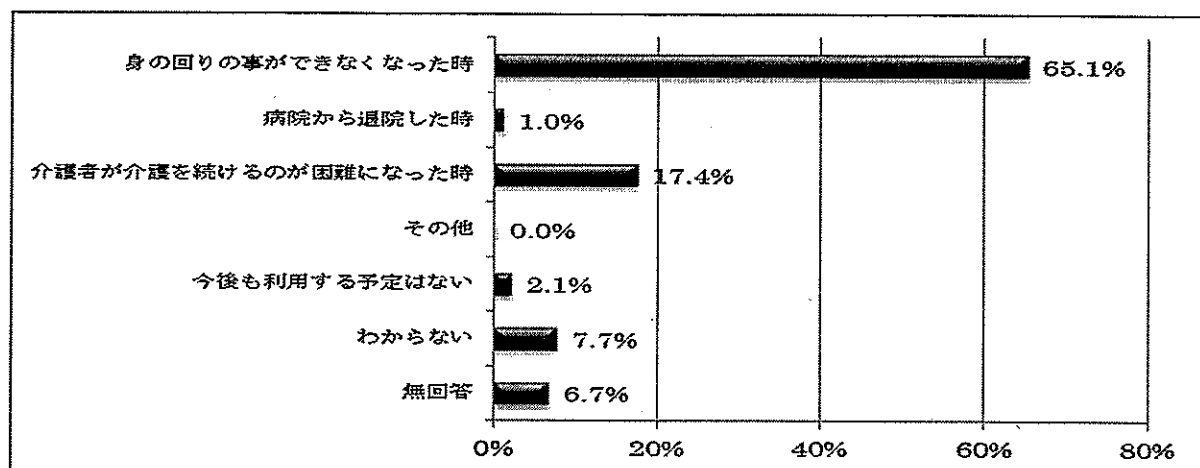
図 28 介護サービスを利用しない理由 (回答者 195 人)



問 29 今後どのような状態になったときに、介護保険サービスを利用することを考えていますか。(1つに○)

「身の回りのことができなくなった時(65.1%)」が最も多く、次いで「介護者が介護を続けるのが難しくなった時(17.4%)」の順となっている。

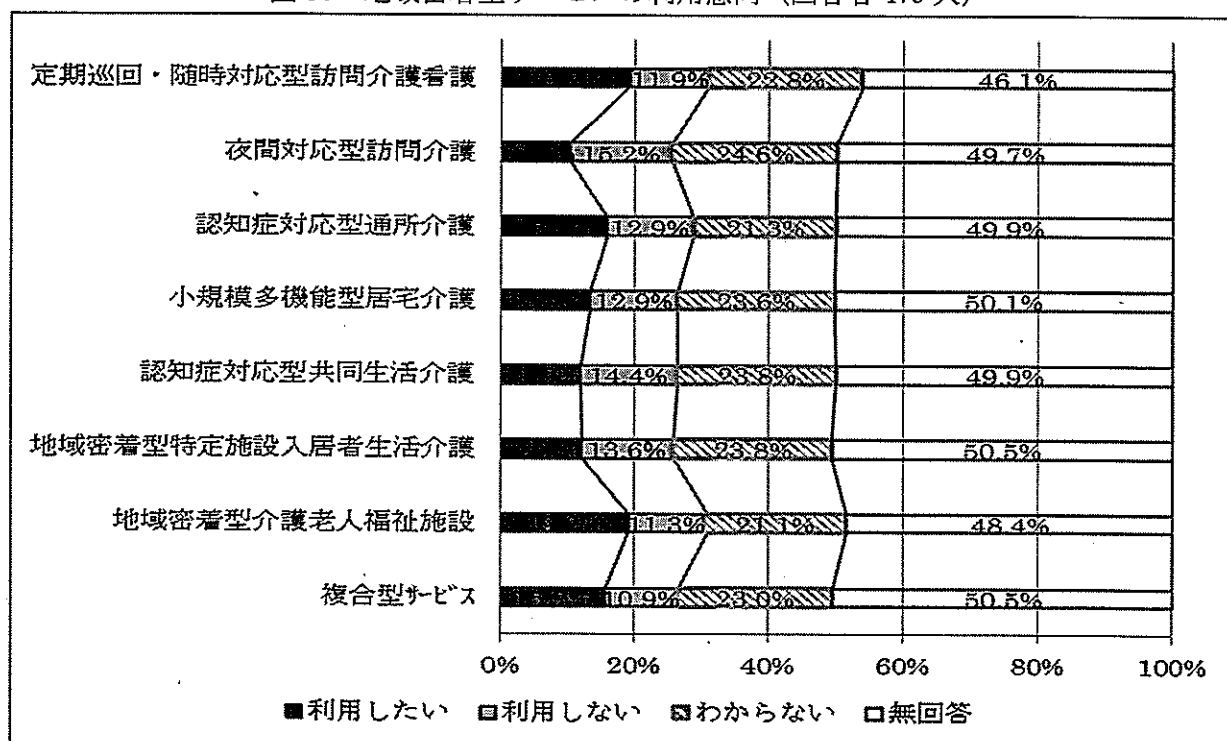
図 29 今後の介護サービスの利用 (回答者 195 人)



問 30 「地域密着型サービス」について、それぞれのサービスを利用したいかお答えください (1つに○)

「利用しない・わからない」の答えが多いが、利用したいという回答では「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(19.2%)」、「地域密着型介護老人福祉施設(19.2%)」の割合が多くなっている。

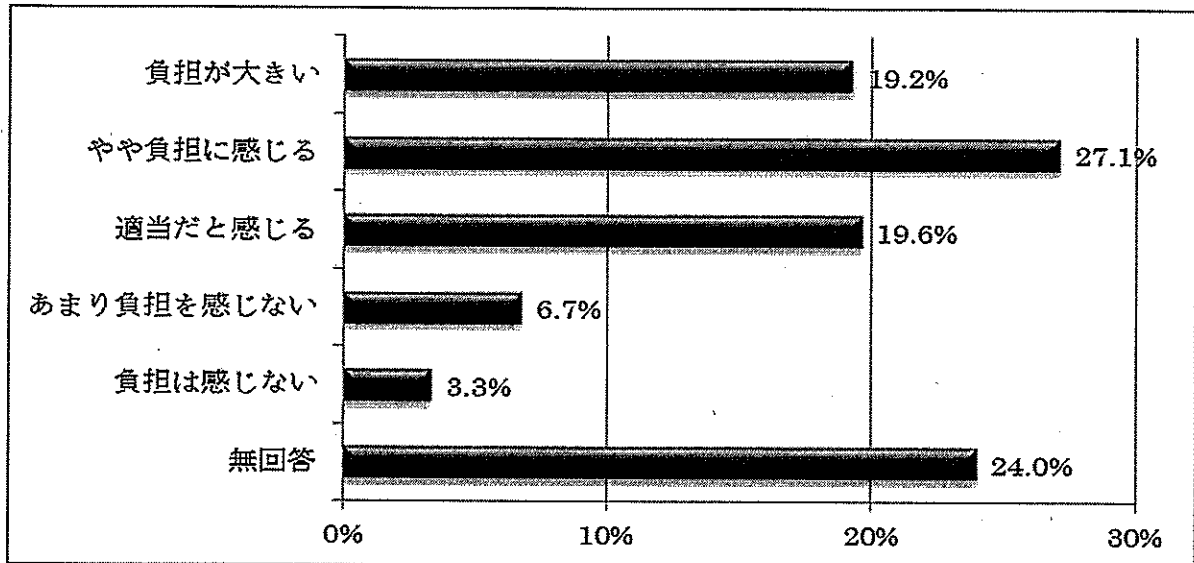
図 30 地域密着型サービスの利用意向 (回答者 479 人)



問 31 介護保険の保険料に負担を感じますか。(1つに○)

「やや負担を感じる(27.1%)」が最も多く、次いで「相当だと感じる(19.6%)」、「負担が大きい(19.2%)」の順となっている。

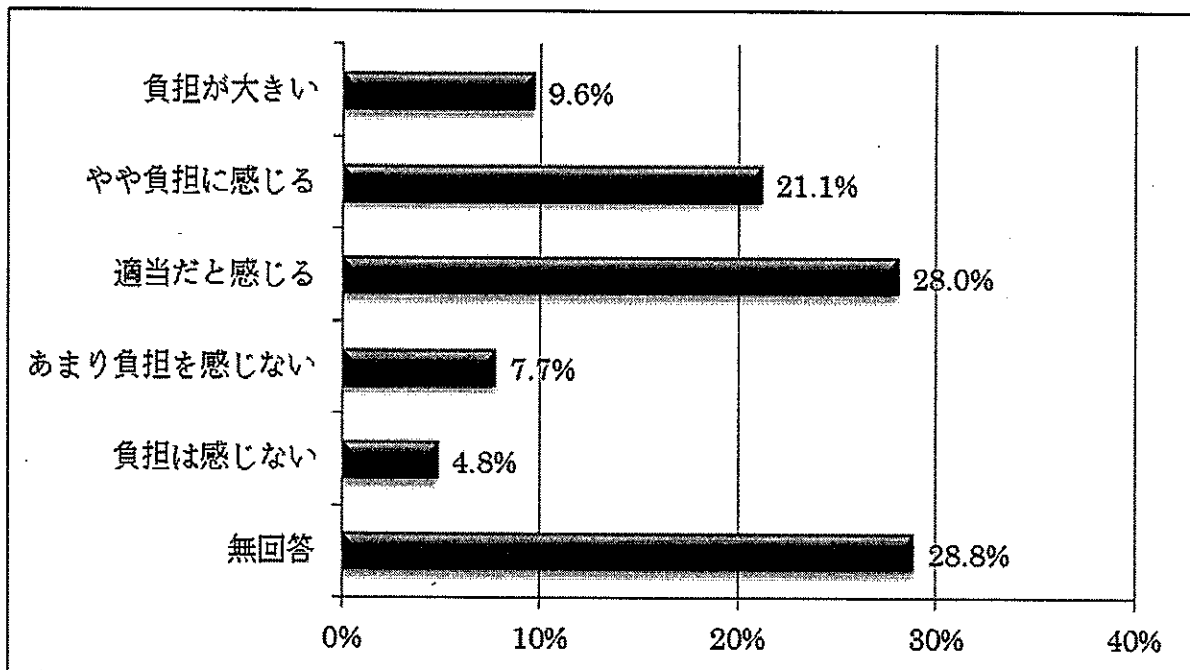
図 31 介護保険料の負担(479 人)



問 32 介護サービスの利用者負担額(1割)に負担を感じますか。(1つに○)

「相当だと感じる(28.0%)」が最も多く、次いで「やや負担を感じる(21.1%)」の順となっている。

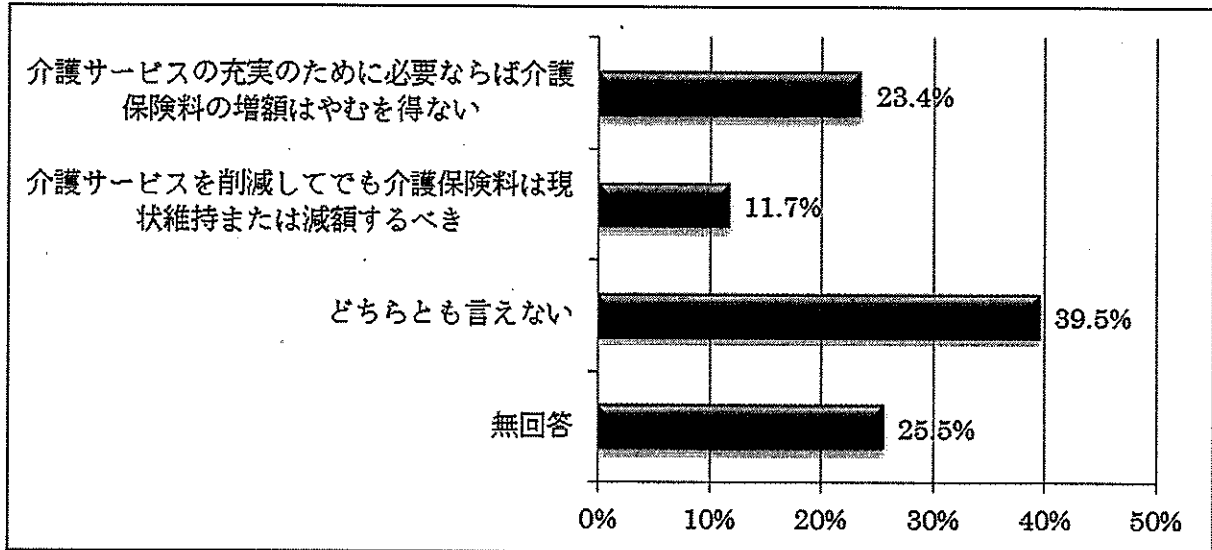
図 32 介護サービス利用者負担額(1割負担)の負担(479 人)



問 33 今後の介護保険料と介護サービスの在り方についてどのように考えますか。1つに○)

「どちらとも言えない(39.5%)」が最も多く、次いで「介護サービスの充実のために必要ならば介護保険料の増額はやむを得ない(23.4%)」が最も多くなっている。

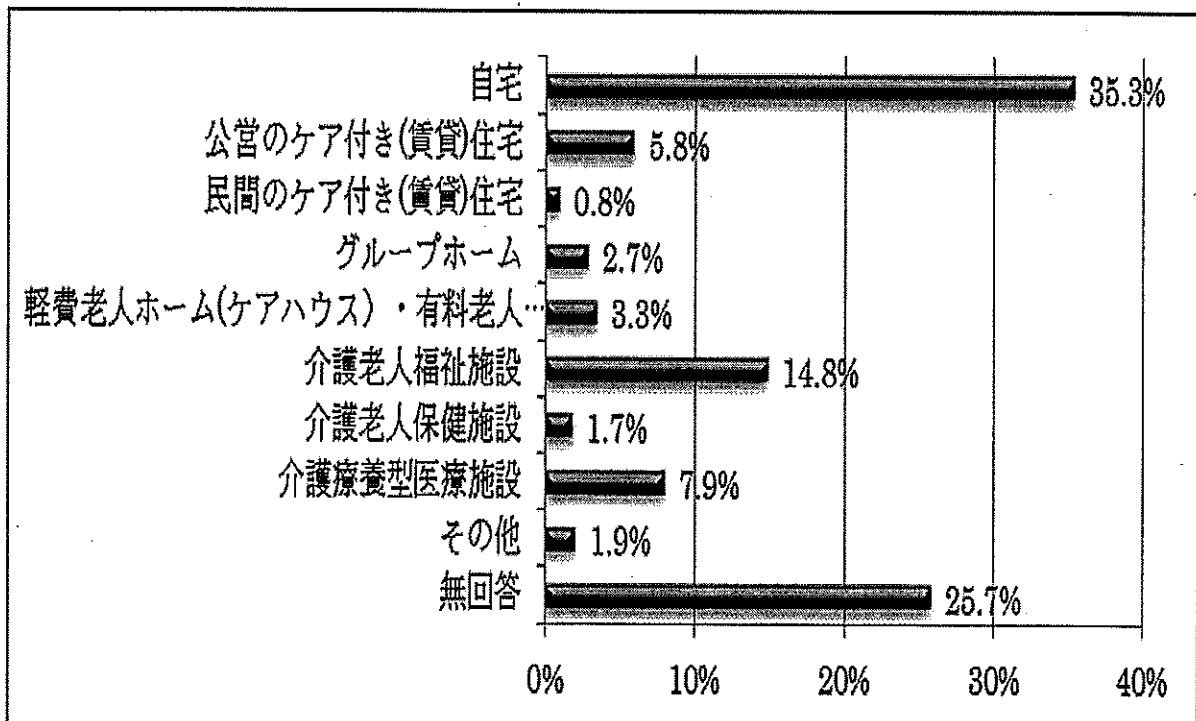
図 33 介護保険料と介護サービスの在り方 (479 人)



問 34 今後の希望として、どこで介護を受けたいと思いますか。(1つに○)

「自宅(35.3%)」が最も多く、次いで「介護老人福祉施設(14.8%)」の順となっている。

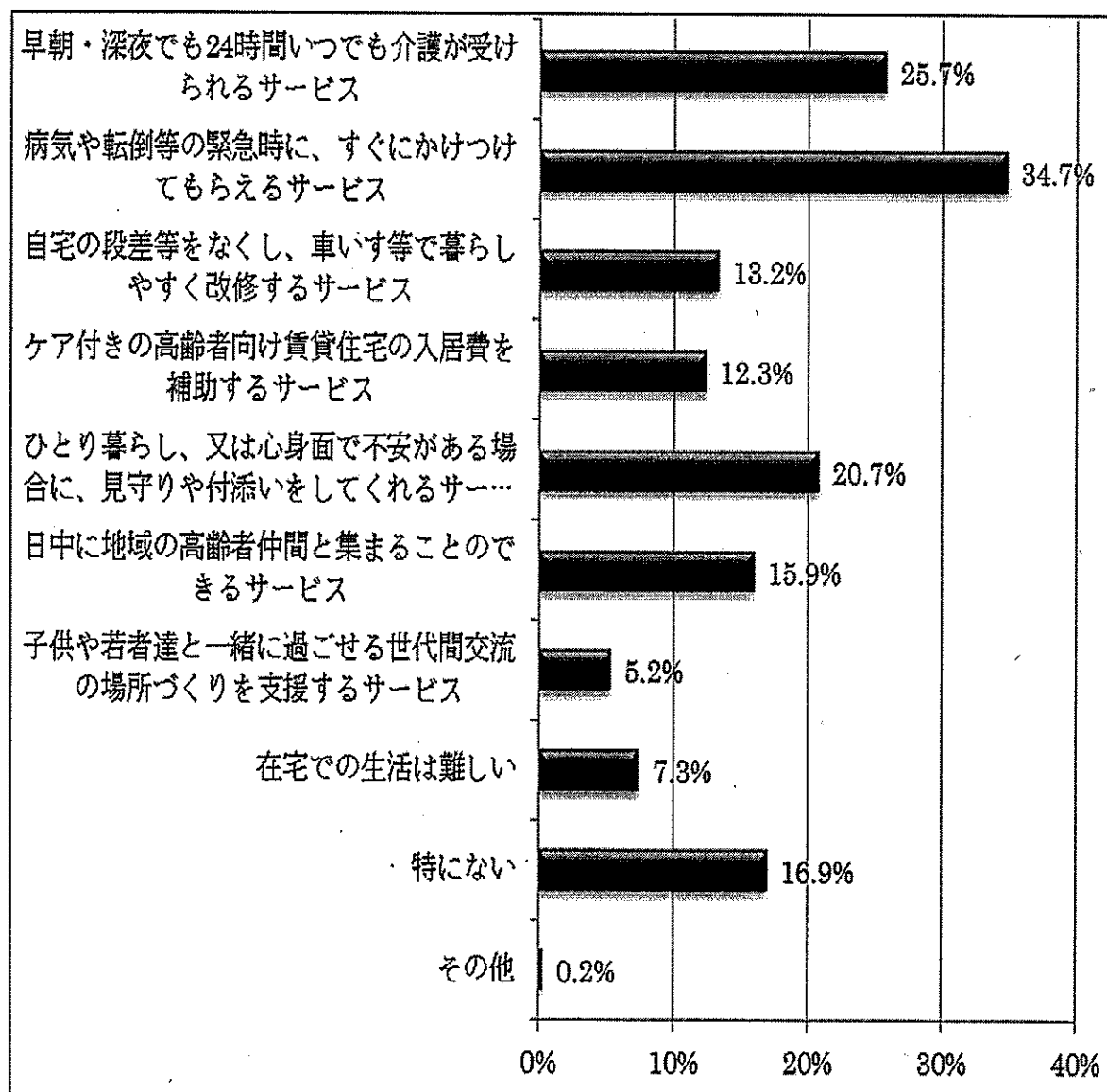
図 34 介護を受けるうえでの今後の希望先 (479 人)



問 35 在宅での生活をするために必要なサービスをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「病気や転倒等の緊急時にすぐにつけてもらえるサービス(34.7%)」が最も多く、次いで「早朝・深夜でも24時間いつでも介護が受けられるサービス(25.7%)」、「ひとり暮らし、又は心身面で不安がある場合に、見守りや付添いをしてくれるサービス(20.7%)」の順となっている。

図 35 在宅生活をするために必要なサービス(479人)



～ 自由意見・要望 ～

自由意見は31件で、回答数の6.5%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●モニタリング・プランニングと評価に関すること

- ・予防通所介護を利用していますが、長期目標と毎月の目標に従い、毎月達成できたか説明がある。細かな指導もあり職員も親切で満足している。
- ・個人個人がどう望んでいるかを理解していただき、納得できる範囲で心が通っていれば十分です。

●情報提供・相談体制

- ・認知症の母と同居しているが、どこまで正常でどこからが異常なのか今ひと理解できない。認知症について学べる施設があったら良い。新聞・テレビでの情報と我が家で体験するのとでは全く様子が違うようで困っている。
- ・定期的な訪問で日常の困りごとを聞いて考える行政の働きかけがほしい。電話で連絡をいただけるように言われるが、電話で話せないことも多い。質問するためには訪問していただければと思っている。
- ・本人、家族が介護に関して知識があって利用者側の本当に必要な在宅サービスが受けられるのではないかと。本人や家族が抱える悩み、利用サービスへの率直な疑問を受け止めてくれる相談員が必要です。

●介護保険料

- ・保険料が高いです。
- ・介護保険料を2人分納め、介護度が上がるたびに利用料も高くなり、お金のない人は介護も受けられなくなるのではないのでしょうか。

●介護サービスの整備

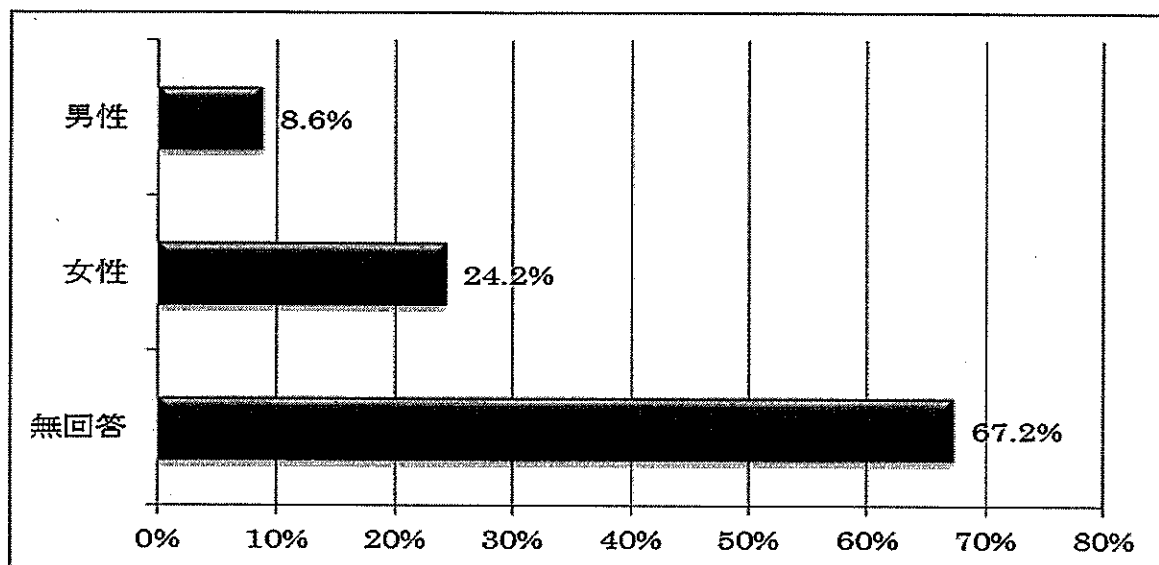
- ・札内地区に小規模多機能、小規模特養がない。人口が少ない本町ばかり整備されていて不満である。人口比率にあわせた整備をする必要がある。国では中学校区を考慮して整備とされているのに、過去の計画にその状況が反映されていなかったのも、次の計画ではその点を重要視してほしい。

介護者に対する調査結果

問 37-1 主に介護されている方の性別をお答えください。(1つに○)

「男性(8.6%)」より「女性(24.2%)」が多くなっている。

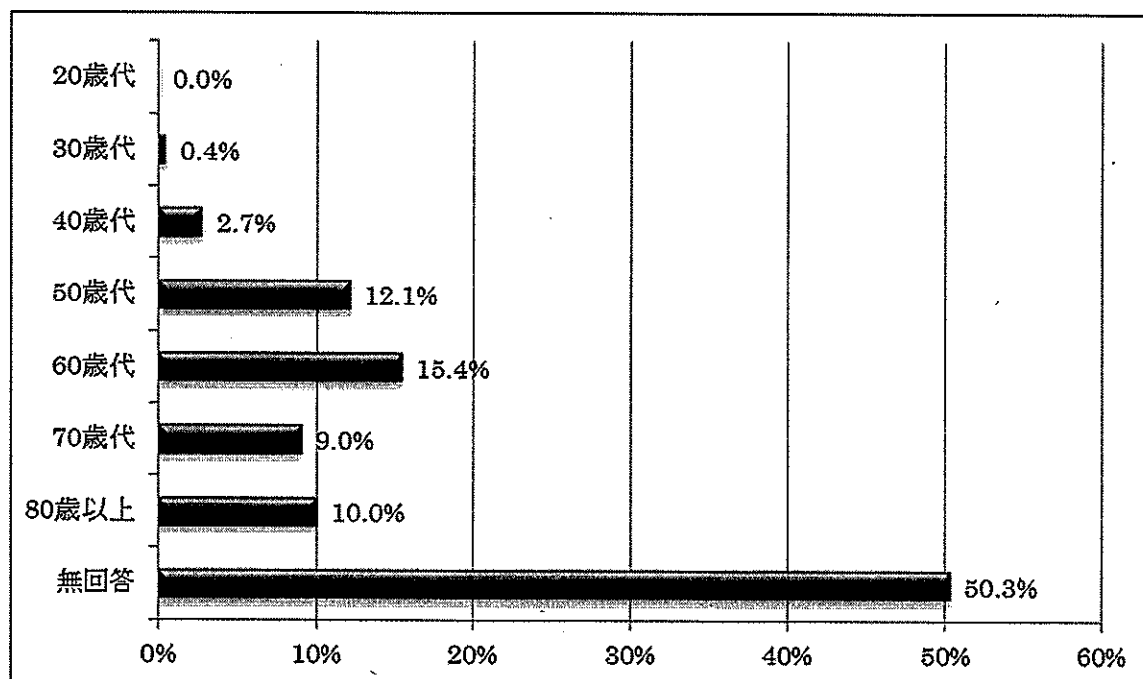
図 37-1 性別 (479 人)



問 37-2 主に介護されている方の年齢をお答えください。(1つに○)

「60歳代(15.4%)」が最も多く、次いで「50歳代(12.1%)」、「80歳代(10.0%)」、「70歳代(9.0%)」の順となっている。

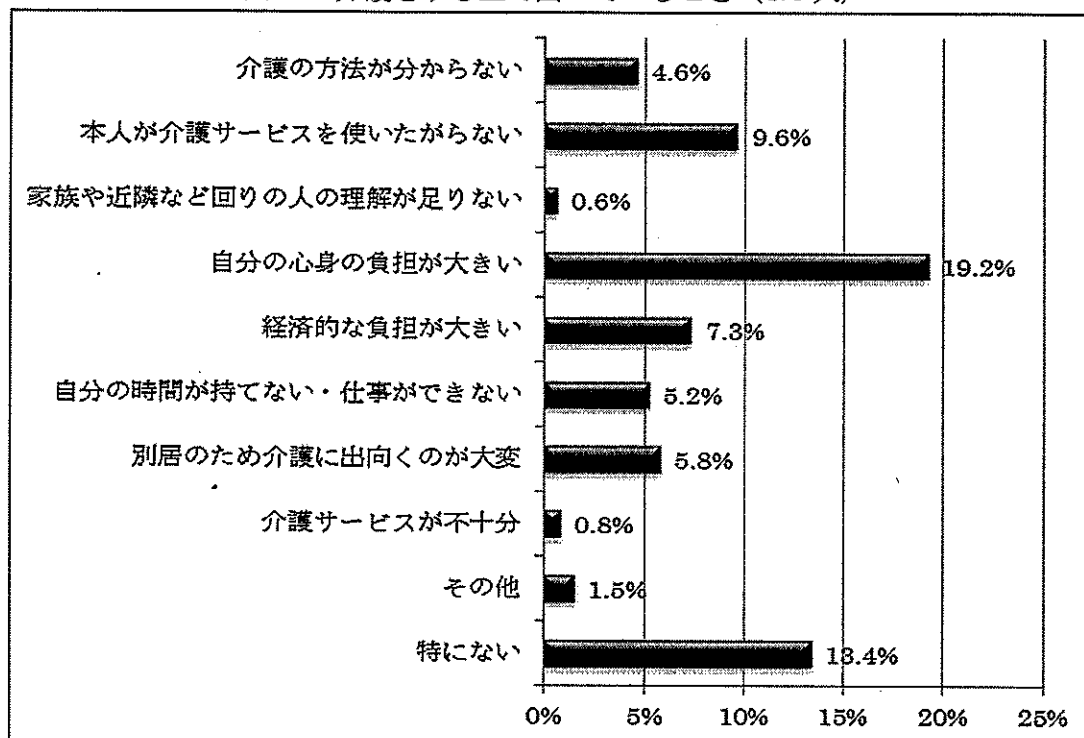
図 37-2 年齢(479 人)



問 38 介護をする上で困っていることをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「自分の心身の負担が大きい(19.2%)」が最も多く、次いで「特にない(13.4%)」、「本人がサービスを使いたがらない(9.6%)」の順となっている。

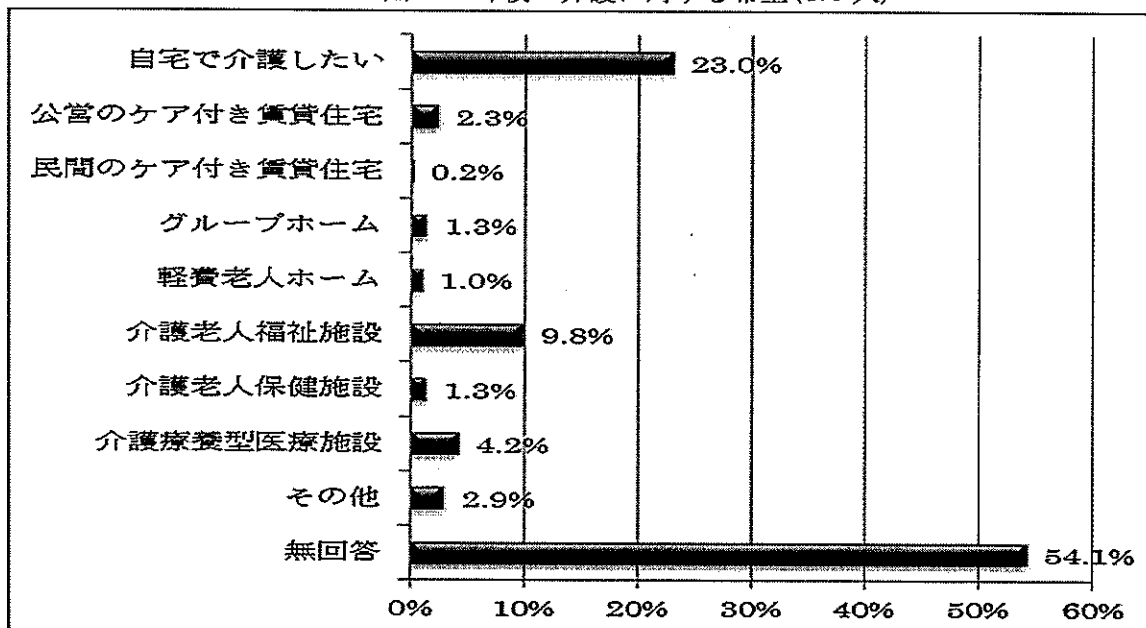
図 38 介護をする上で困っていること (479 人)



問 39 今後どのように介護をしたいと思いますか。(1つに○)

「自宅で介護したい(23.0%)」が最も多く、次いで「介護老人福祉施設(9.8%)」の順となっている。

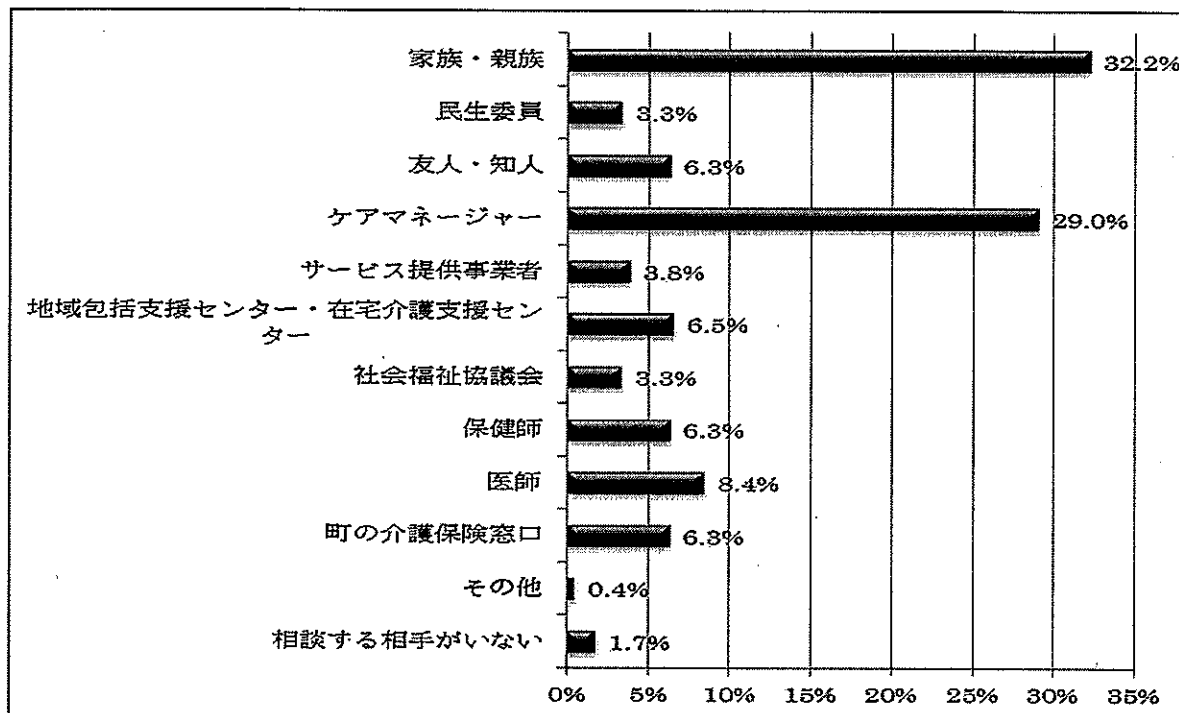
図 39 今後の介護に対する希望(479 人)



問 40 介護に困った時に誰に相談していますか。(あてはまるもの全てに○)

「家族・親族(32.2%)」が最も多く、次いで「ケアマネージャー(29.0%)」、「医師(8.4%)」の順となっている。

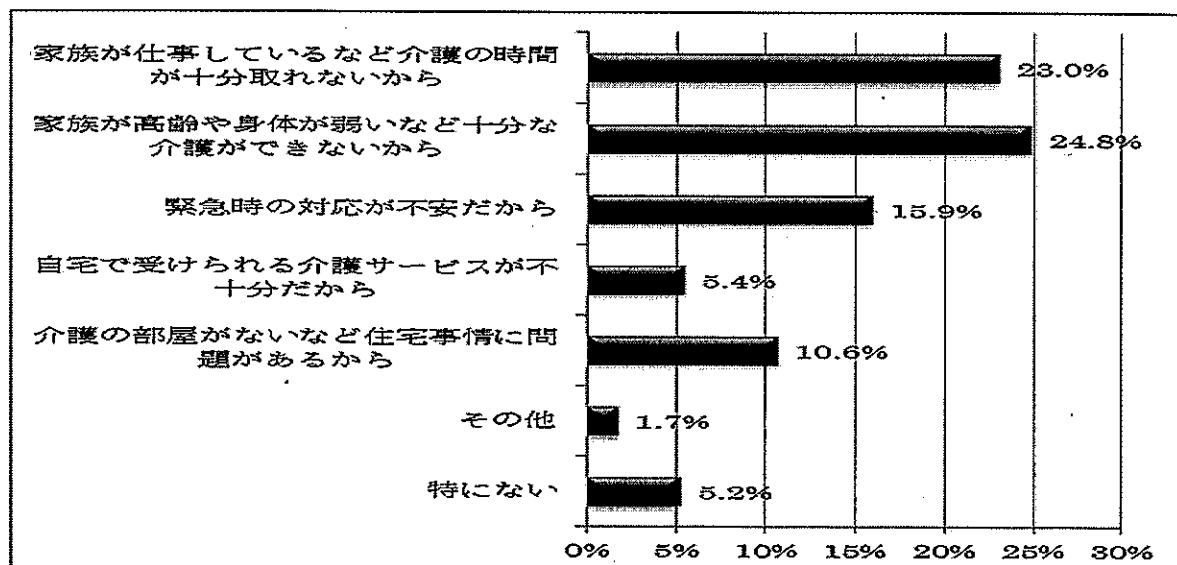
図 40 相談相手 (479 人)



問 41 自宅での介護は難しいと言われていますが、その理由は何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

「家族が高齢や身体が弱いなど十分な介護ができない(24.8%)」が最も多く、次いで「家族が仕事しているなど介護の時間が十分取れない(14.8%)」の順となっている。

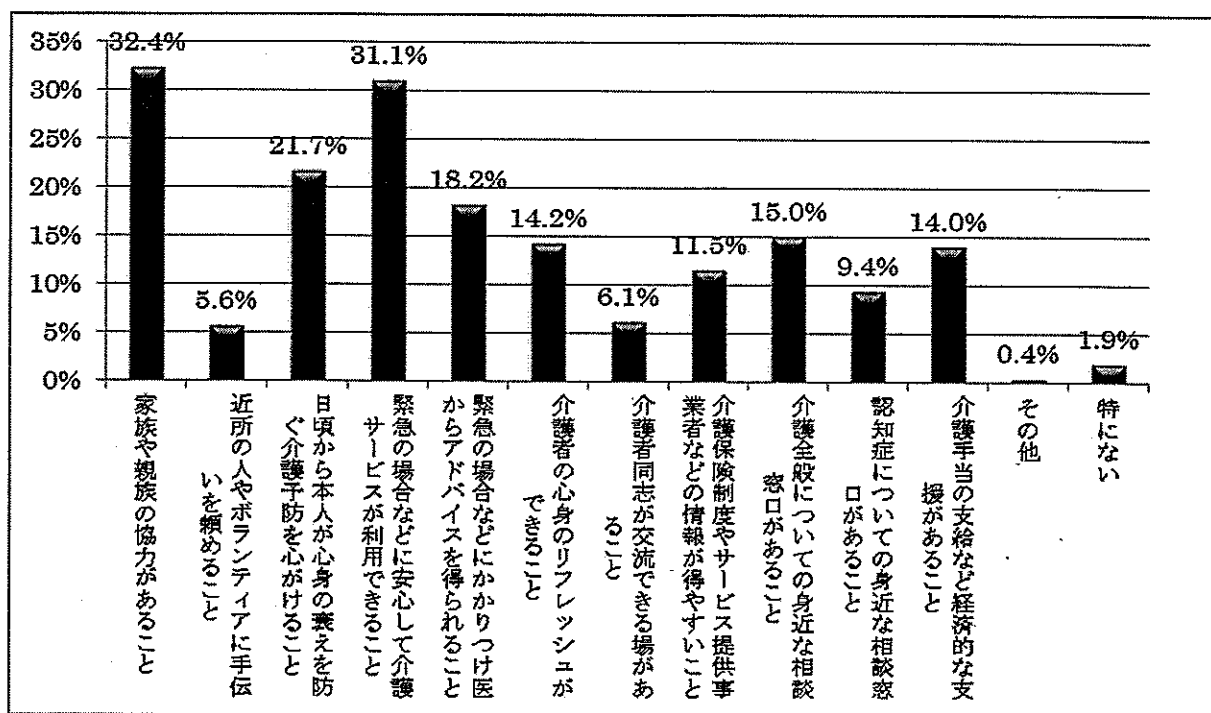
図 41 在宅介護が難しい理由(479 人)



問 42 在宅での介護を続けるために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「家族や親族の協力があること(32.4%)」が最も多く、次いで「緊急の場合等に安心して介護サービスが利用できること(31.1%)」の順となっている。

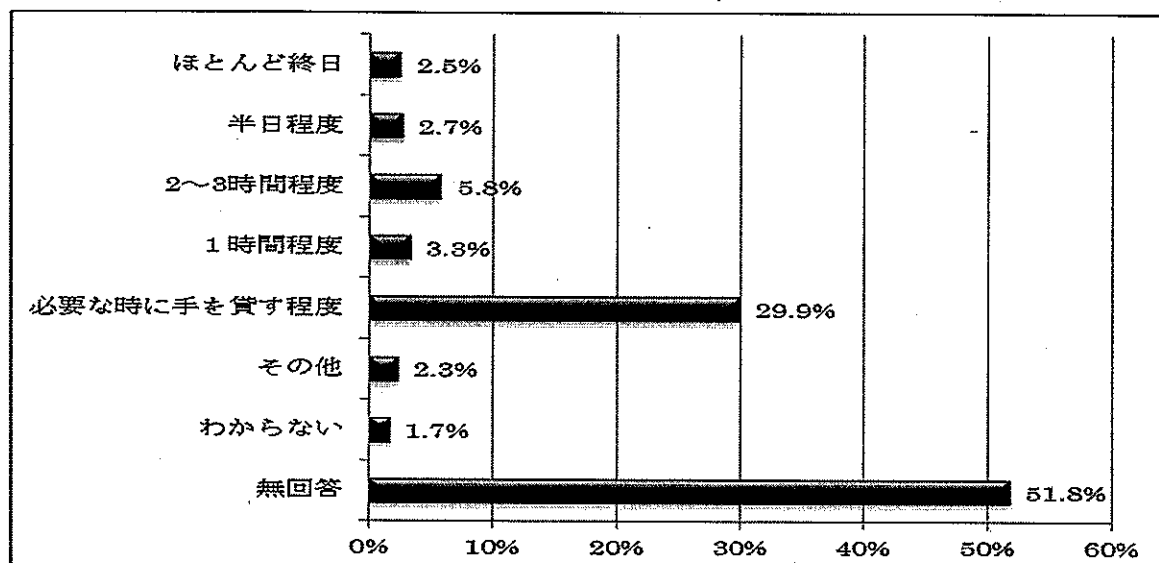
図 42 在宅介護に必要なこと (479 人)



問 43 1日の介護に要する時間はどのくらいですか。(1つに○)

「必要な時に手を貸す程度(31.1%)」が最も多く、次いで「2～3 時間程度(5.8%)」の順となっている。

図 43 1日の介護に要する時間(479 人)



～ 自由意見・要望 ～

自由意見は19件で、回答数の4.0%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●医療との連携

・近所のかかりつけ医師が最終的な看取りまでお付き合いできれば安心して地域で最後を迎えられ良いと思う。

●憩いの場所づくり

・池田町のコーヒーを楽しめるロココサロンのような居場所が出来れば家に閉じこもりがちな人にも利用しやすいのではと思う。

●情報提供・相談体制

- ・気軽に相談できる人、場所、等があると助かります。
- ・困ったとき、すぐにサービスが受けられ、自宅で介護できるように相談に乗ってほしい。どうサービスを受けたいのか、その先はどこでどうしたらいいのか教えてほしい。
- ・利用の仕方、仕組みは特に説明してくれる機関がないので困惑している。役場は手続き上の役割、介護認定も申請・認可の役割のみ、ケアマネも話を聞いてくれるだけの人、結局は全て家族が決定し行動することになるのですが、もう少し方向性や具体的アドバイスをしていただける何かが何処かにあると本人も家族も本当に助けてもらった、もらっていると実感できる行政に繋がるのではないかと思います。
- ・ケアマネさんは何も相談に乗ってくれませんでした。
- ・町内に新しい施設がいろいろと出来ているようですが、その情報が入ってきません。広報などでは施設の宣伝になってしまうので取り上げてないのかもしれませんが、知らせてくれるとありがたいです。

2-2 介護保険利用状況実態調査

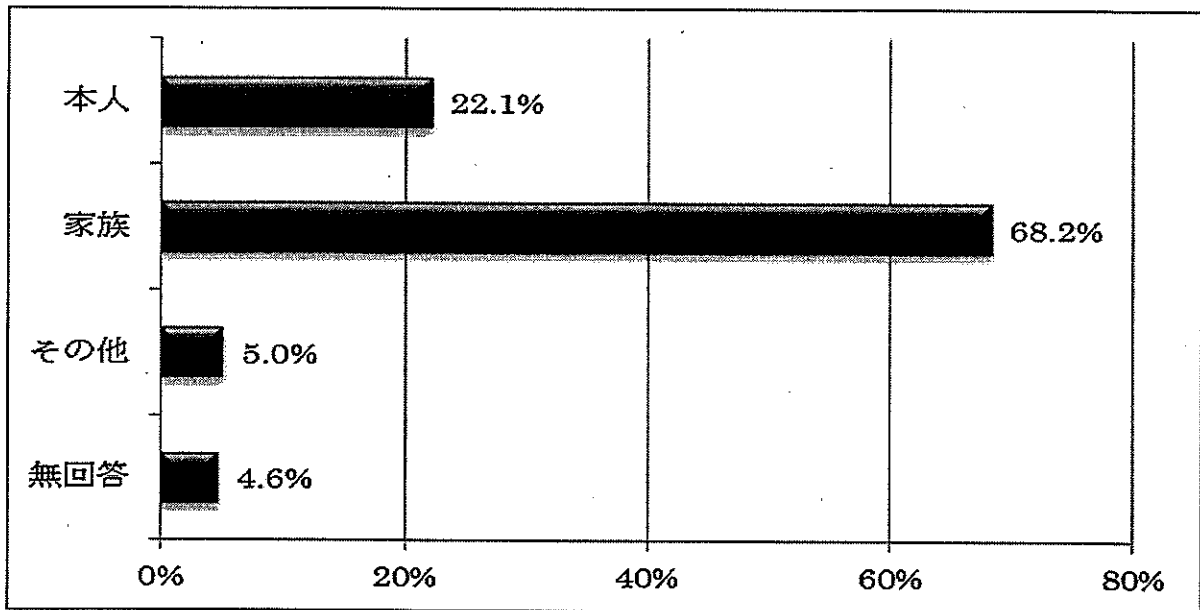
(在宅サービス利用者：要介護2以上)

2-2 介護保険利用状況実態調査（要介護2以上）

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（1つに○）

「家族(68.2%)」が最も多く、次いで「本人(22.1%)」の順となっている。

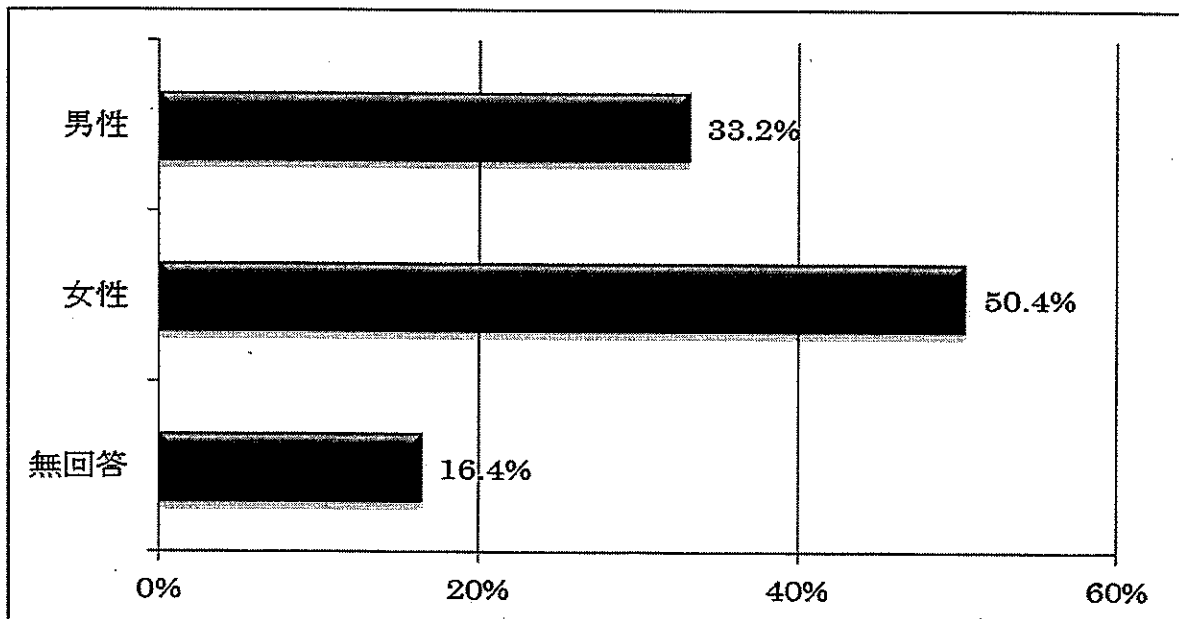
図1 調査回答者（回答者 280 人）



問2 性別をお答えください。（1つに○）

「男性(33.2%)」より「女性(50.4%)」が多くなっている。

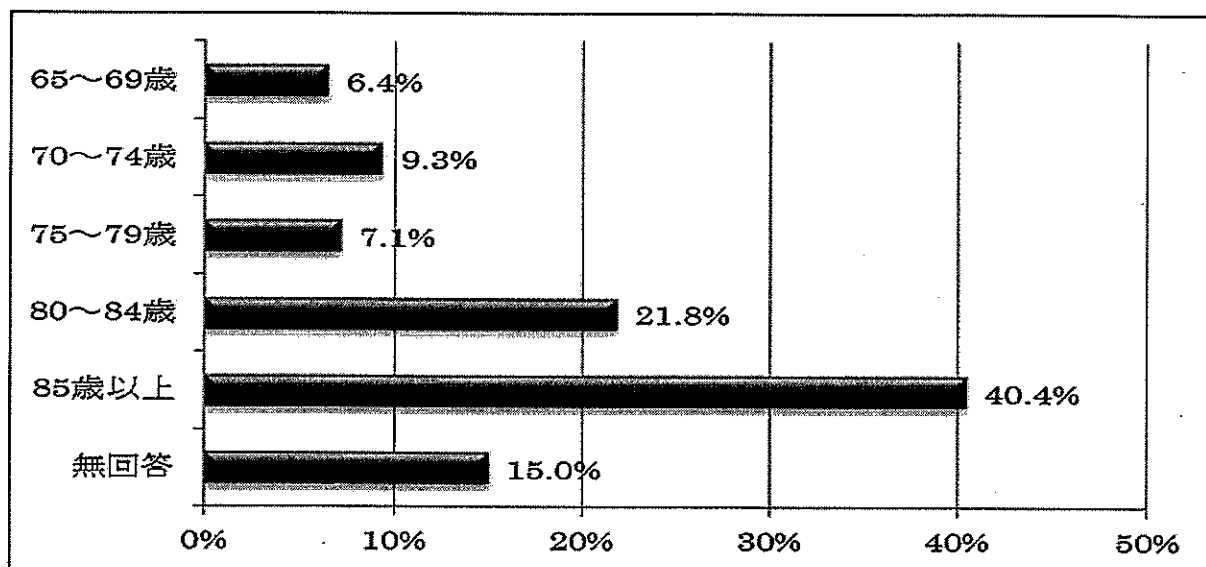
図2 性別（回答者 280 人）



問3 年齢をお答えください。(1つに○)

「85歳以上(40.4%)」が最も多く、次いで「80～84歳(21.8%)」、「70～74歳(9.3%)」の順となっている。前期高齢者(65～74歳)は15.7%、後期高齢者(75歳以上)は69.3%となっている。

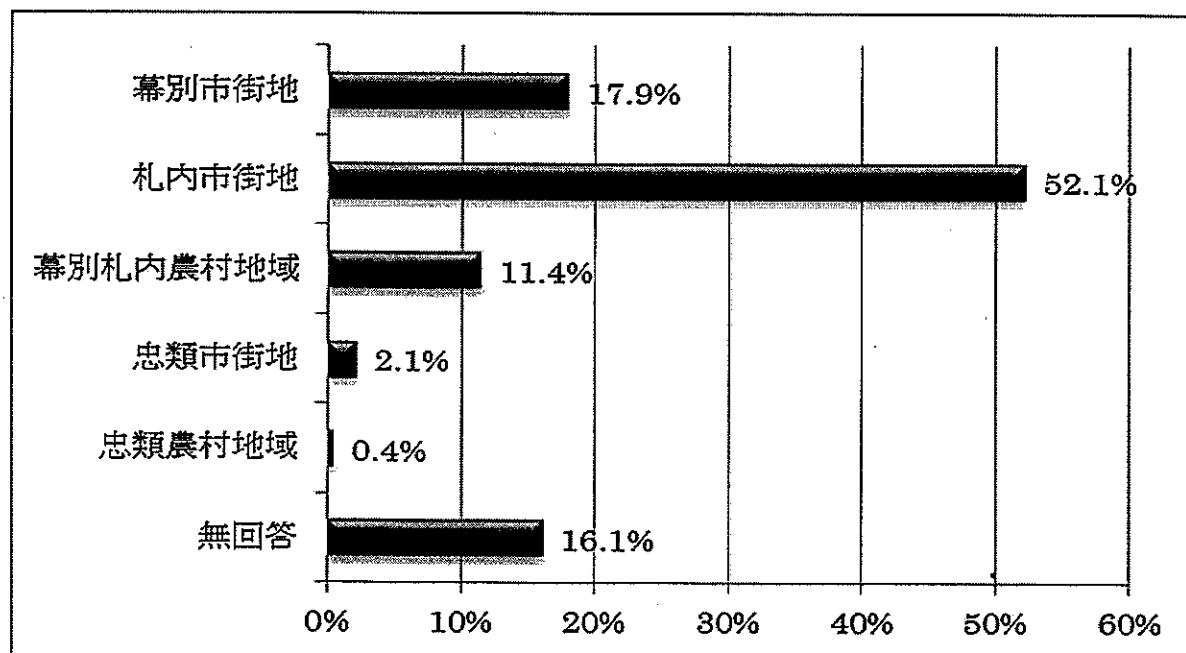
図3 年齢(回答者280人)



問4 お住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「札幌市街地(52.1%)」が最も多く、次いで「幕別市街地(17.9%)」、「幕別札幌農村地域(11.4%)」の順となっている。

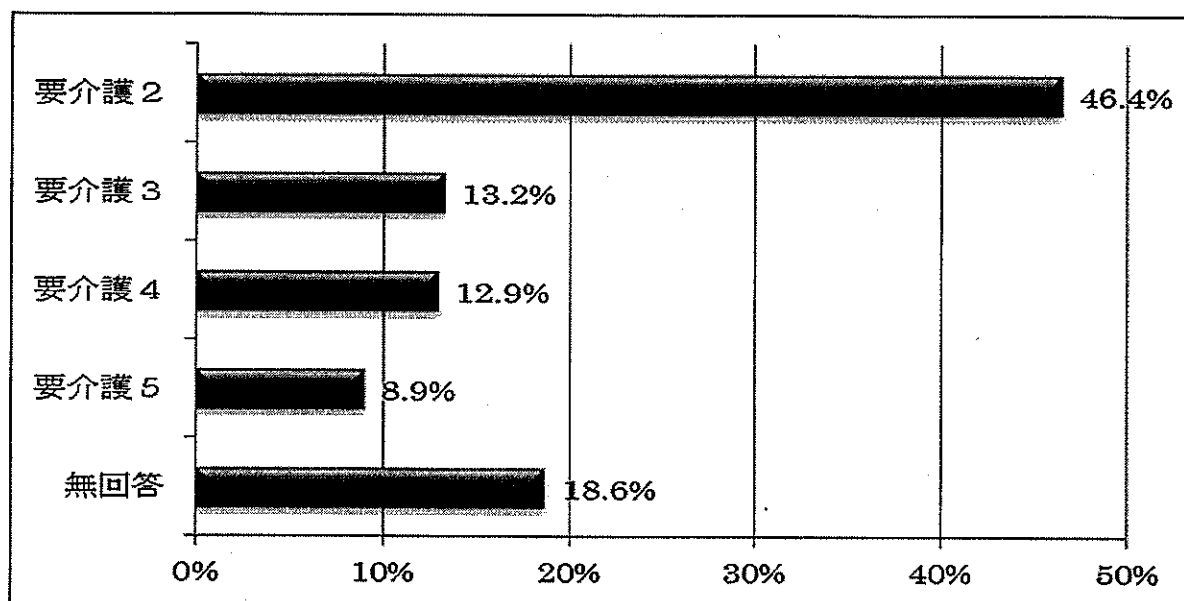
図4 居住地域(回答者280人)



問5 要介護度をお答えください。(1つに○)

「要介護2 (46.4%)」が最も多く、次いで「要介護3 (13.2%)」、「要介護4 (12.9%)」、「要介護5 (8.9%)」の順となっている。

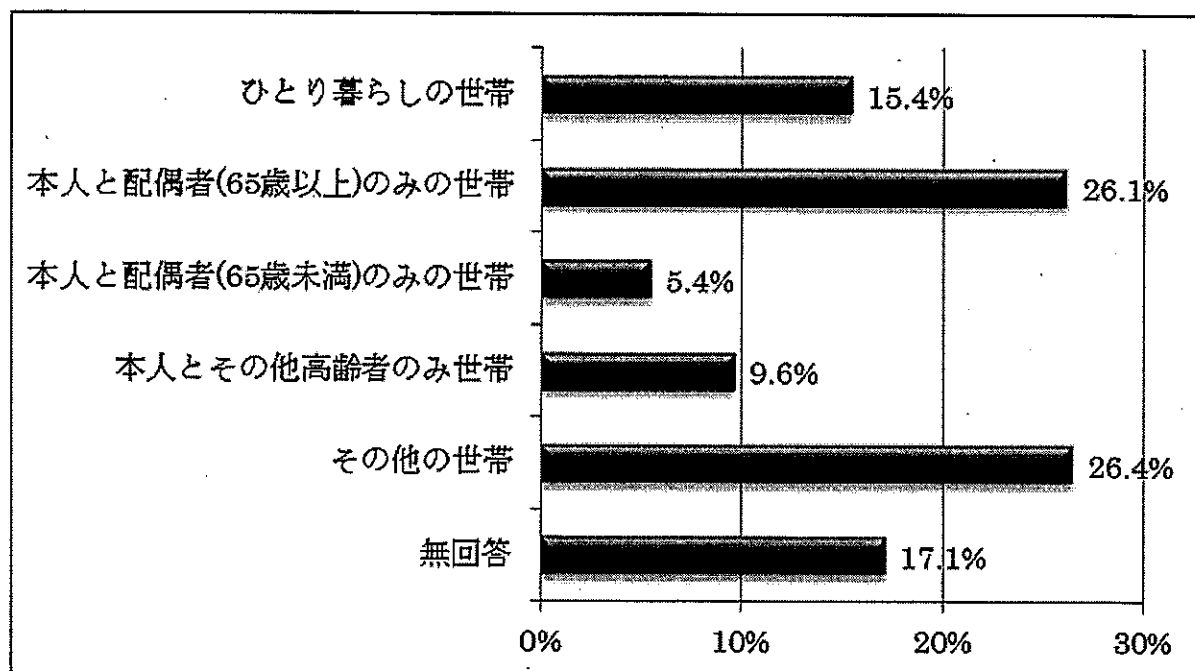
図5 要介護度 (回答者 280 人)



問6 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

「その他の世帯 (26.4%)」が最も多く、次いで「本人と高齢者 (65 歳以上) のみの世帯 (26.1%)」、「ひとり暮らしの世帯 (15.4%)」の順となっている。

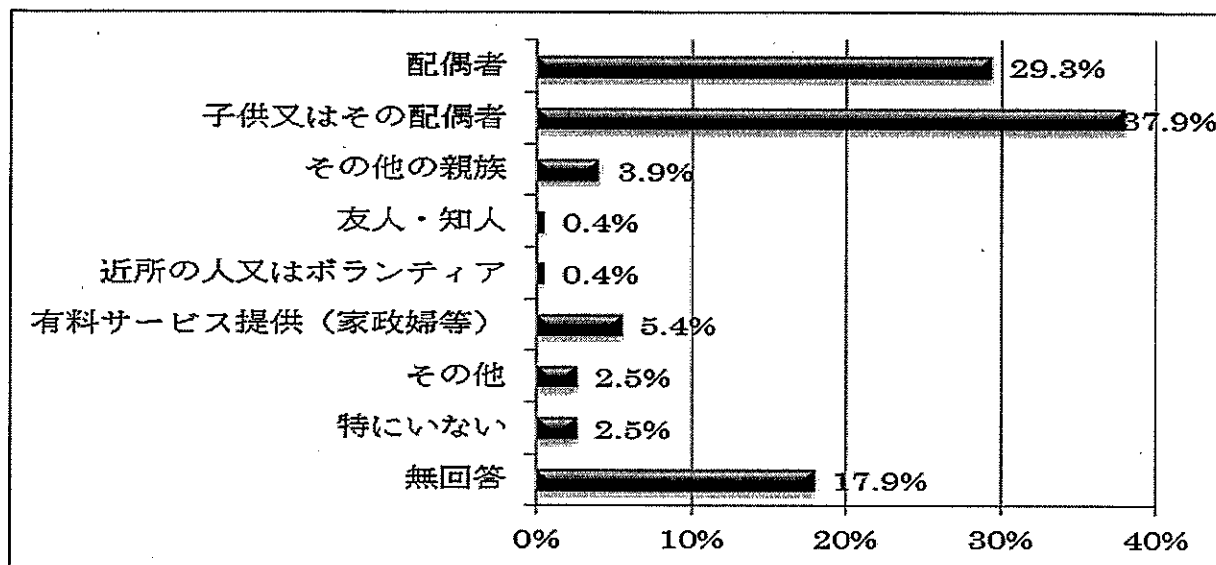
図6 世帯構成 (回答者 280 人)



問7 ふだん主に本人を介護している方はどなたですか。(1つに○)

「子供又はその配偶者(37.9%)」が最も多く、次いで「配偶者(29.3%)」、「有料サービスによる提供(家政婦等)(5.4%)」の順となっている。

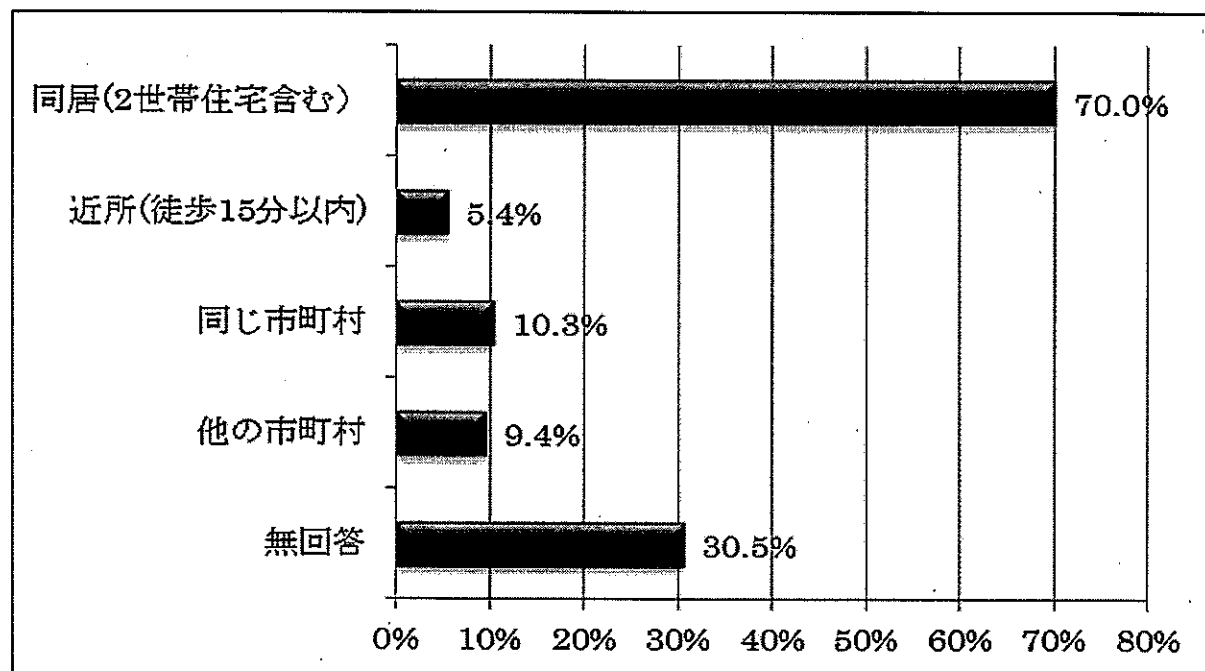
図7 ふだん主に介護されている方(回答者280人)



問8 問7で1～7のいずれかに○をつけた方にお尋ねします。主な介護者はどこにお住まいですか(1つに○)

「同居(2世帯住宅含む)(70.0%)」が最も多く、次いで「同じ市町村(10.3%)」の順となっている。

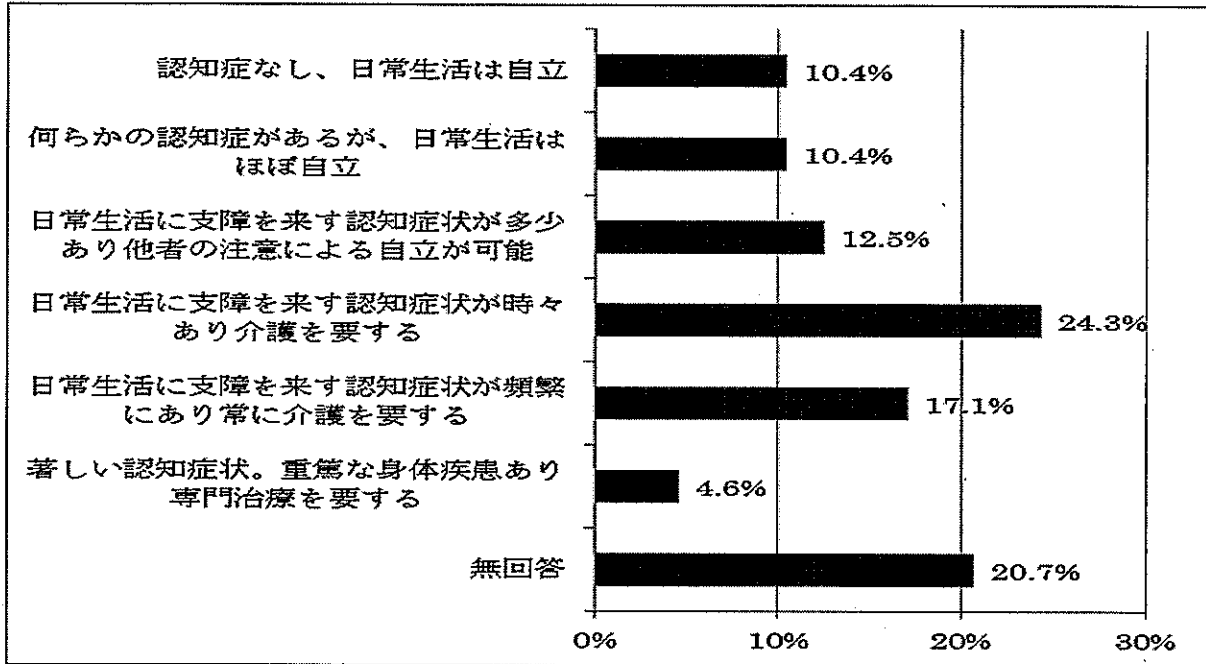
図8 介護者の居住先(回答者354人)



問9 本人の心身の状況についてお答えください。(1つに○)

「日常生活に支障を来す認知症状が時々あり介護を要する(24.3%)」が最も多く、次いで「日常生活に支障を来す認知症状が頻繁にあり常に介護を要する(17.1%)」、「日常生活に支障を来す認知症状が多少あり、他者の注意による自立が可能(16.9%)」となっており、何らかの介護を要する方が5割近くとなっている。

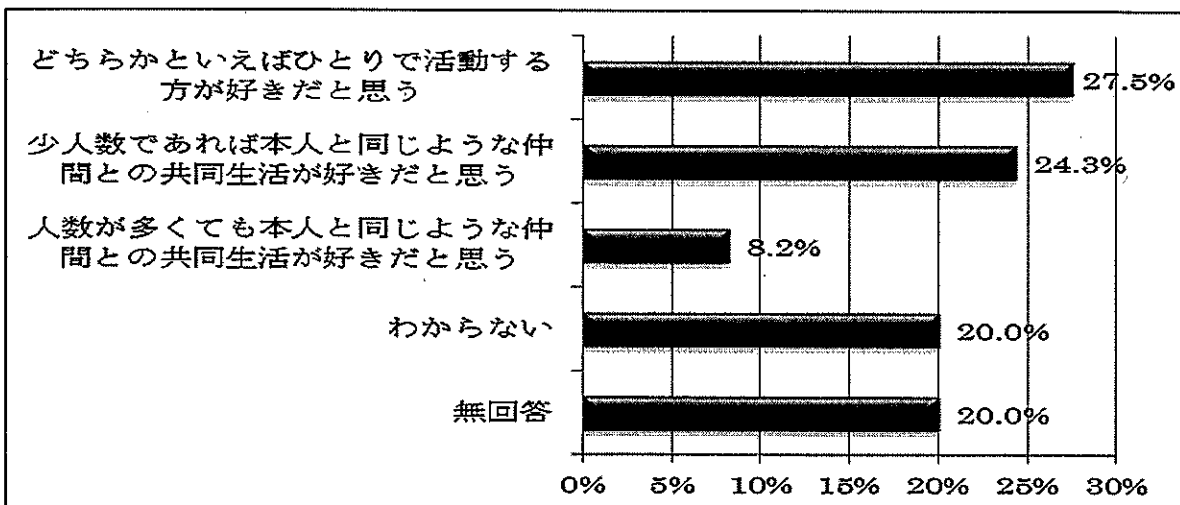
図9 心身の状況(280人)



問10 本人の志向についてお答えください。(1つに○)

「どちらかといえばひとりで活動する方が好きだと思う(27.5%)」が最も多く、次いで「少人数であれば本人と同じような仲間との共同生活が好きだと思う(24.3%)」の順となっている。

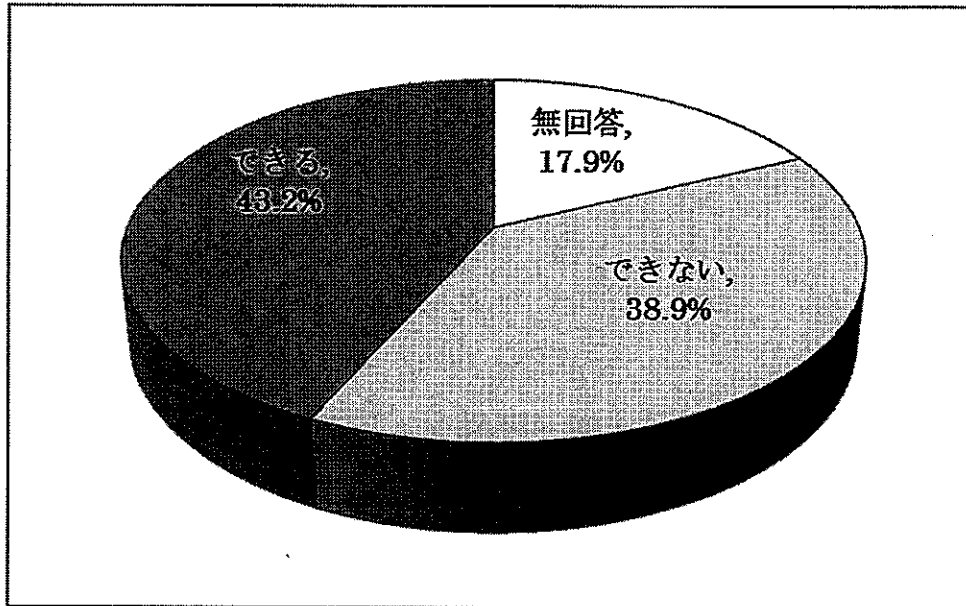
図10 生活志向(280人)



問 11-1 日常生活動作についてお答えください。歩行は1人でできますか (1つに○)

「できない(38.9%)」より「できる(43.2%)」と答えた方が多くなっている。

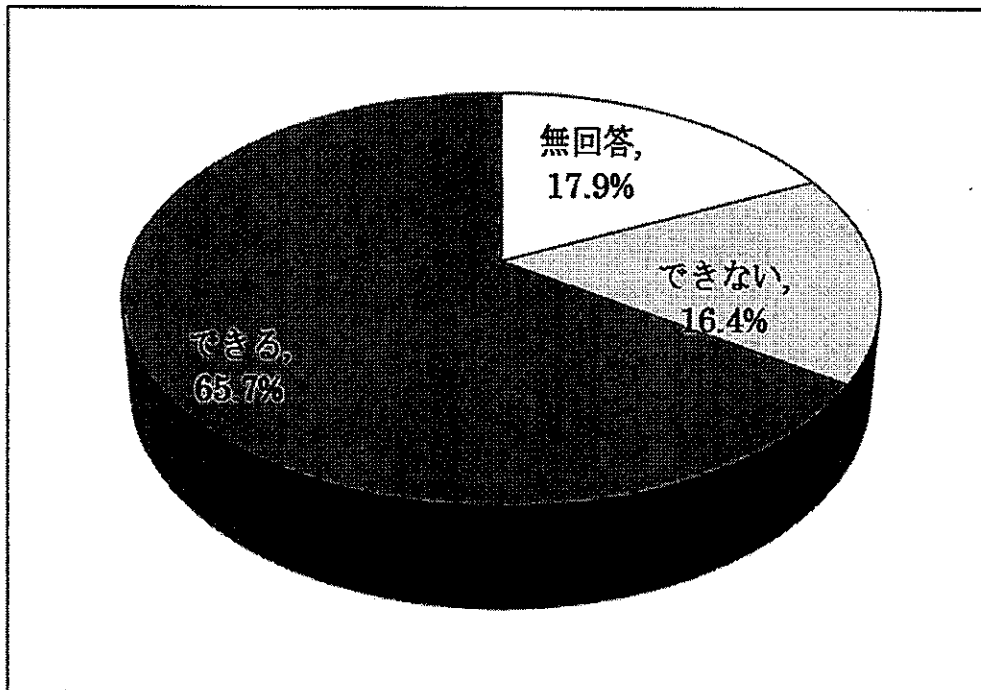
図 11-1 日常生活動作 (歩行は1人でできますか) (280人)



問 11-2 日常生活動作についてお答えください。食事は1人でできますか。(1つに○)

「できない(16.4%)」より「できる(65.7%)」と答えた方が多くなっている。

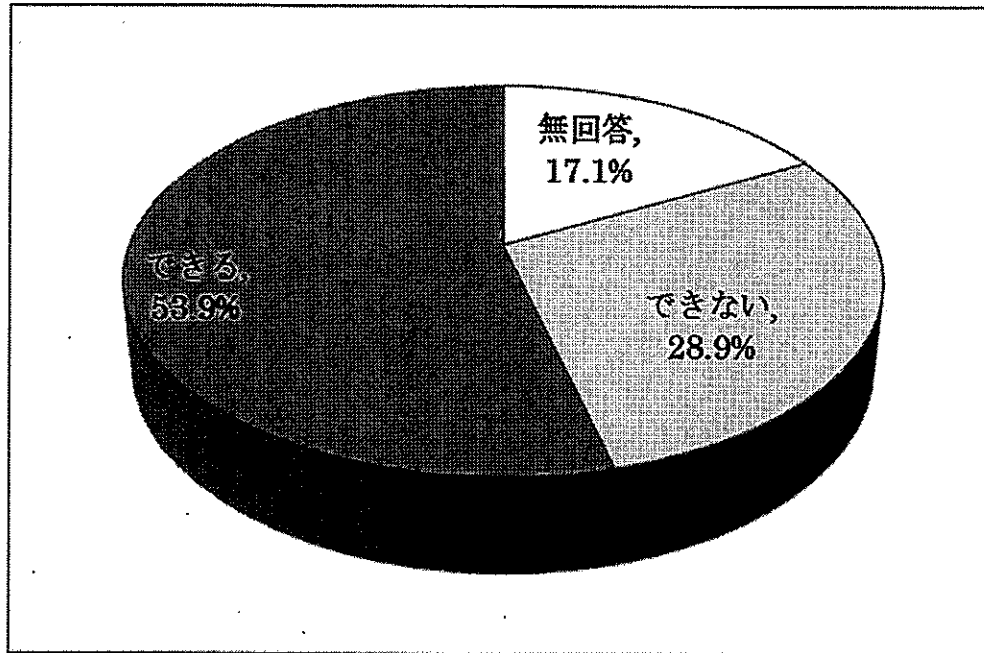
図 11-2 日常生活動作 (食事は1人でできますか) (280人)



問 11-3 日常生活動作についてお答えください。トイレは1人でできますか。(1つに○)

「できない(28.9%)」より「できる(53.9%)」と答えた方が多くなっている。

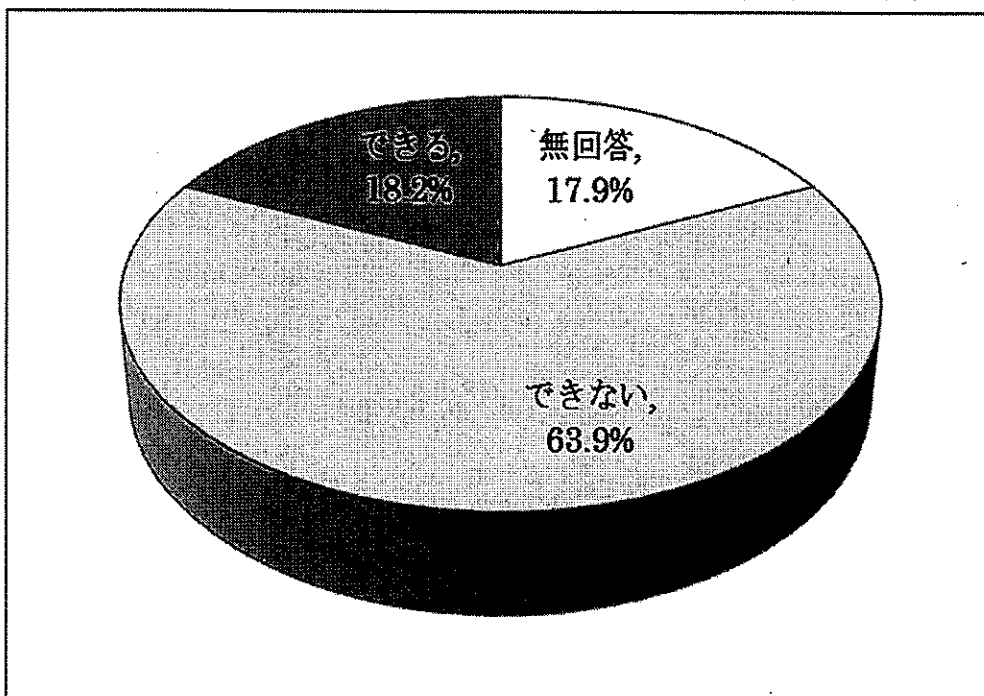
図 11-3 日常生活動作 (トイレは1人でできますか) (280 人)



問 11-4 日常生活動作についてお答えください。入浴は1人でできますか。(1つに○)

「できる(18.2%)」より「できない(63.9%)」と答えた方が多くなっている。

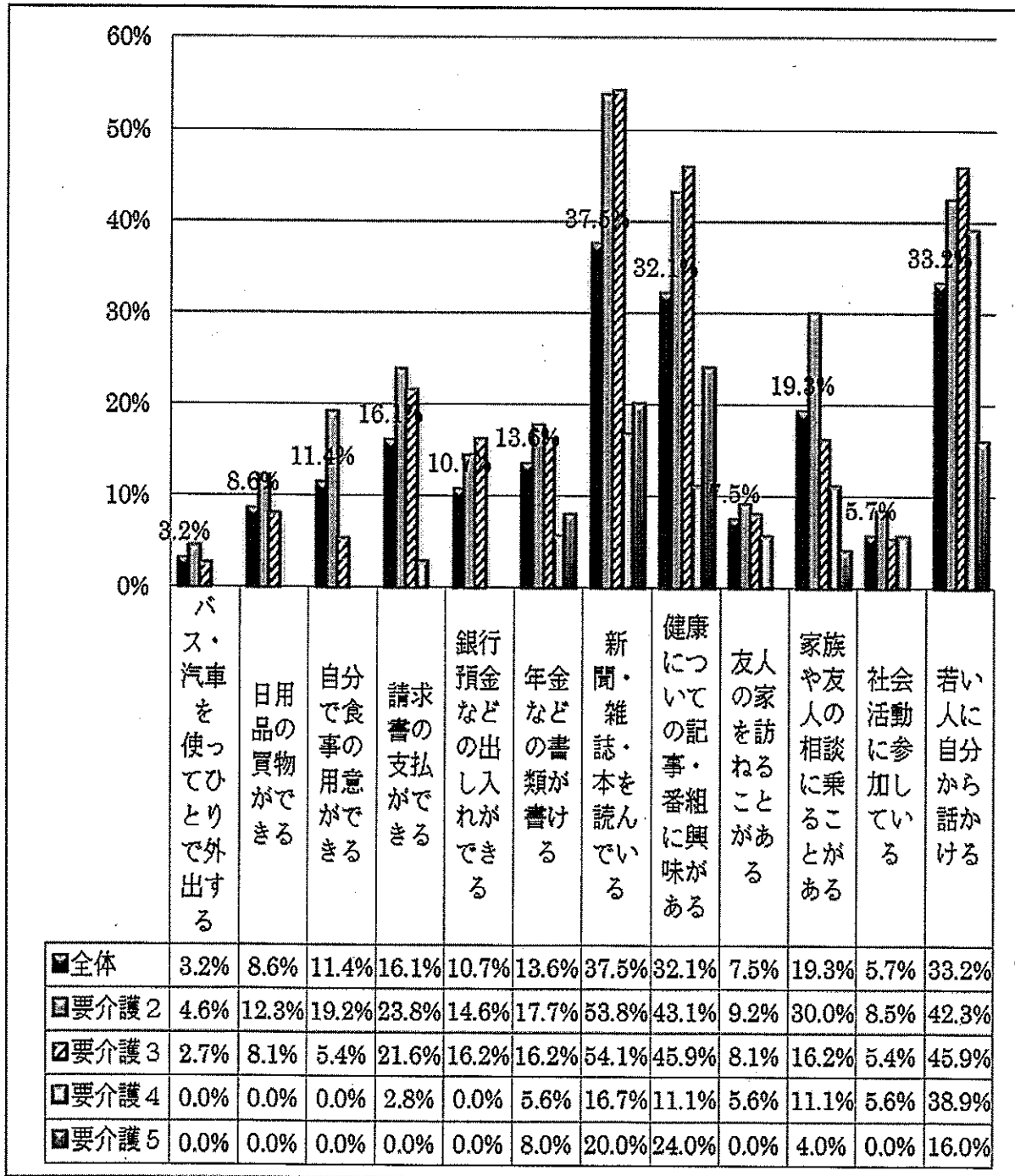
図 11-4 日常生活動作 (入浴は1人でできますか) (280 人)



問12 毎日の生活行動のうち、次のそれぞれについてお答えください。(1つに○)

全体では「新聞・雑誌・本を読んでいる(37.5%)」と答えた人が最も多く、次いで「若い人に自分から話かける(33.2%)」、「健康についての記事・番組に興味がある(32.1%)」の順となっている一方で、「バス・汽車を使ってひとりで外出できる(3.2%)」、「社会活動に参加している(5.7%)」と答えた方の1割未満となっている。

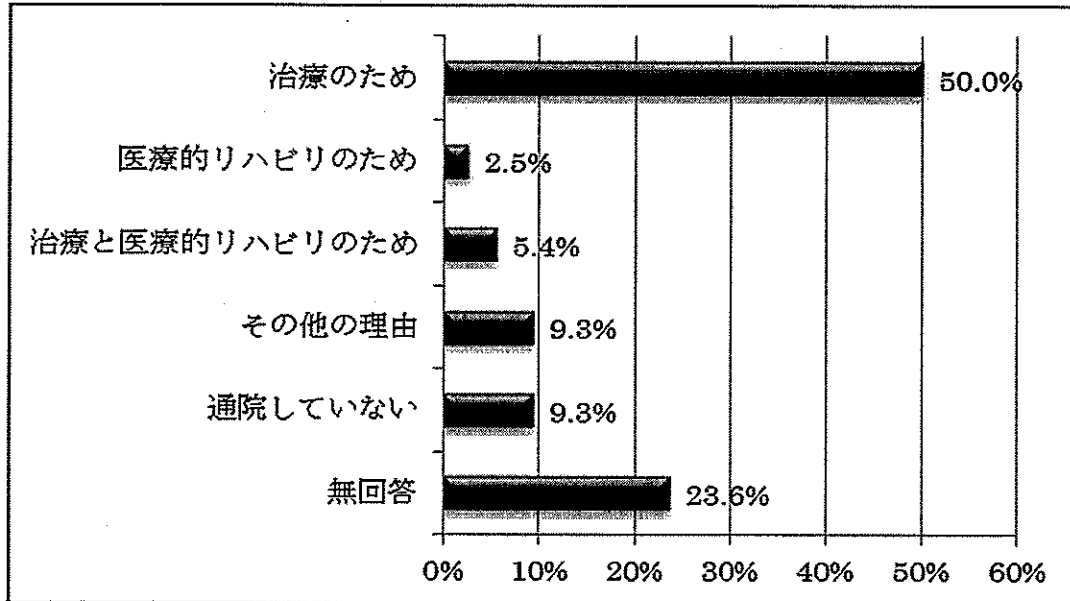
図12 毎日の生活行動(280人)



問 13-1 現在、通院していますか。(1つに○)

9割の方が通院しており、通院の理由としては、「治療のため(50.0%)」が圧倒的に多くなっている。「通院していない(2.9%)」と答えた方は約1割であった。

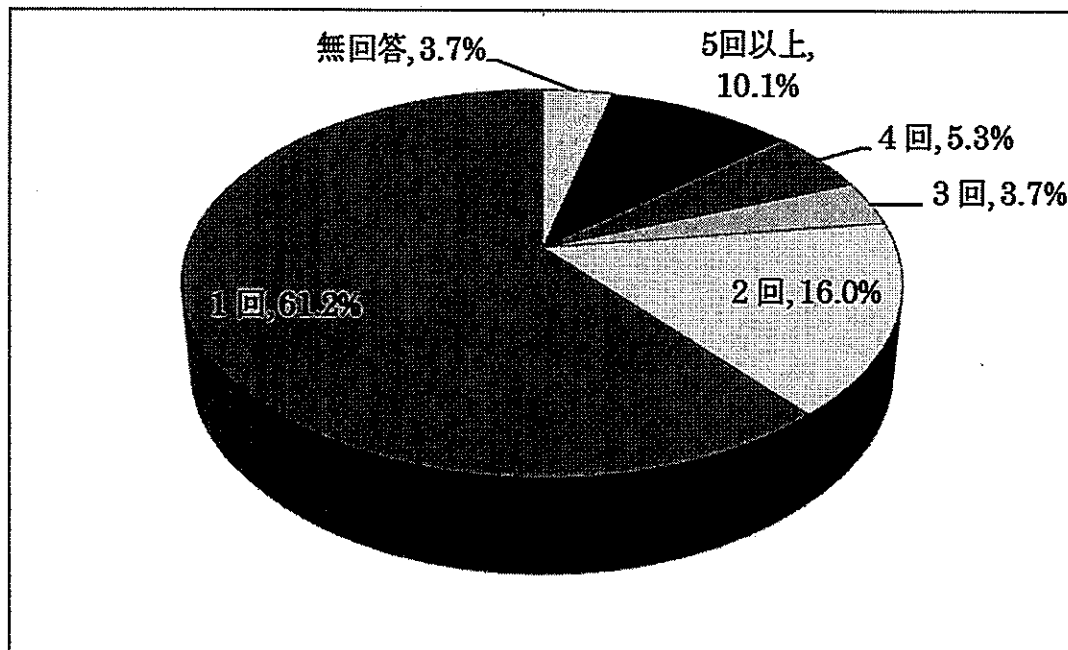
図 13-1 通院状況(280人)



問 13-2 1月あたりの通院回数はどのくらいですか。(1つに○)

1月あたりの通院回数は、「1回(61.2%)」が最も多く、次いで「5回以上(10.1%)」、「4回(5.3%)」の順となっている。

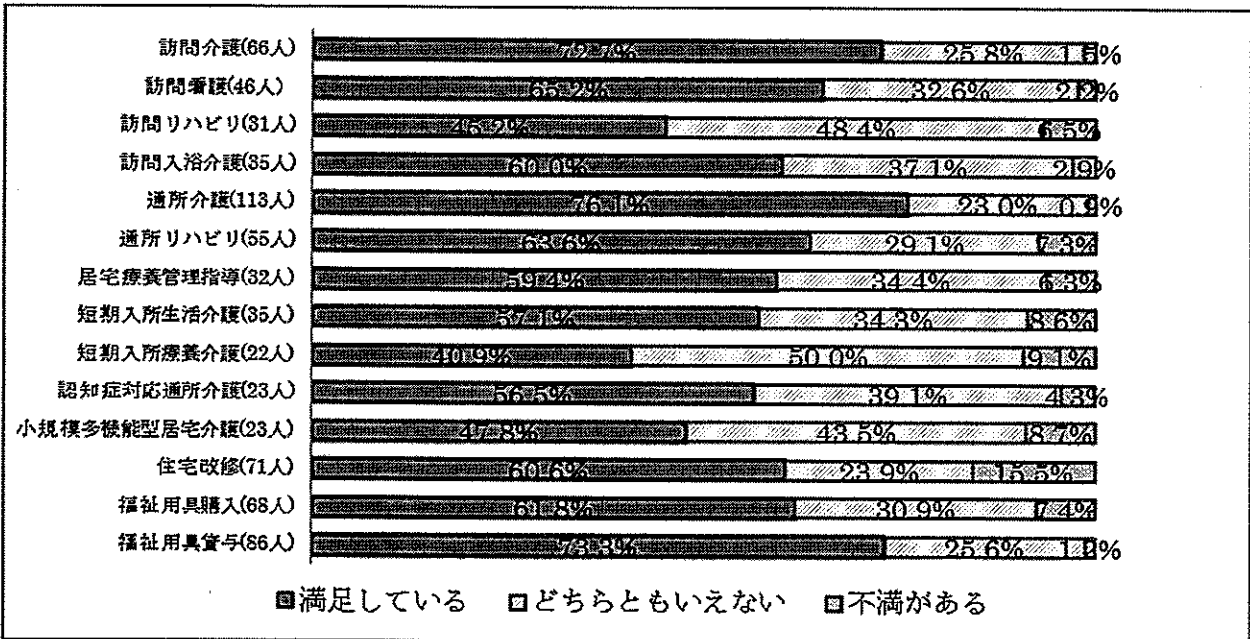
図 13-2 1月あたりの通院回数(188人)



問 14 現在利用している介護サービスの満足度についてお答えください。(それぞれ1つに○)

全体としておおむね満足しているが、「短期入所療養介護(40.9%)」、「訪問リハビリ(45.2%)」、「小規模多機能型居宅介護(47.8%)」の満足度が5割以下となっている。

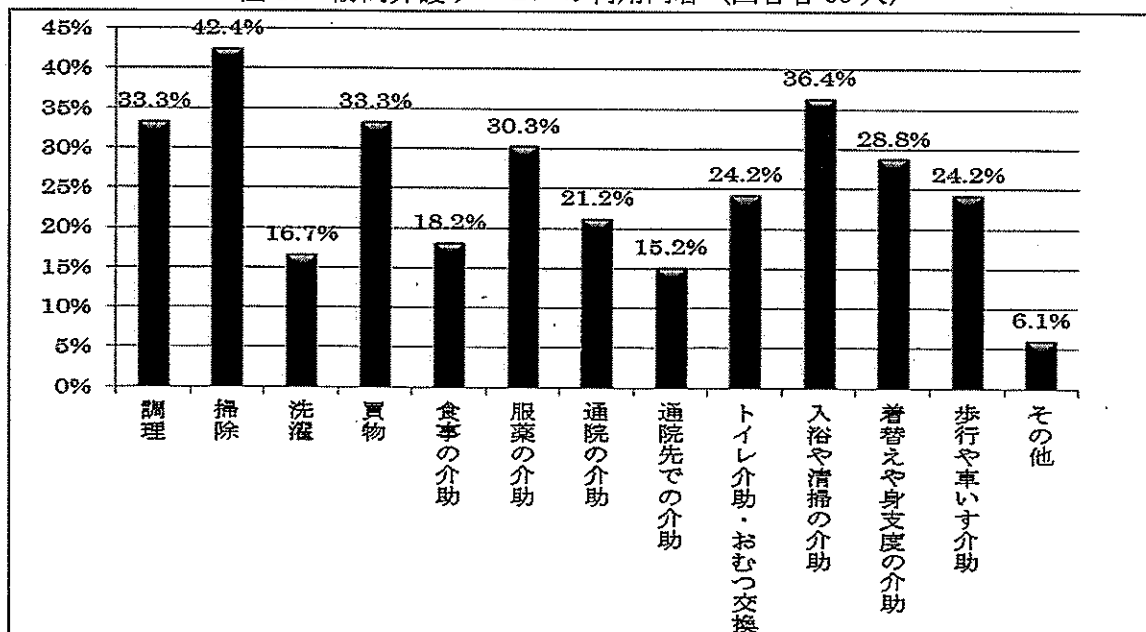
図 14 介護サービスの満足度 (回答者：サービス別利用者数)



問 15 訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している方にお尋ねします。具体的にどのようなサービスを利用していますか。(1つに○)

「掃除(42.4%)」が最も多く、次いで「入浴や清掃の介助(36.4%)」、「調理(33.3%)」、「買物(33.3%)」の順となっている。

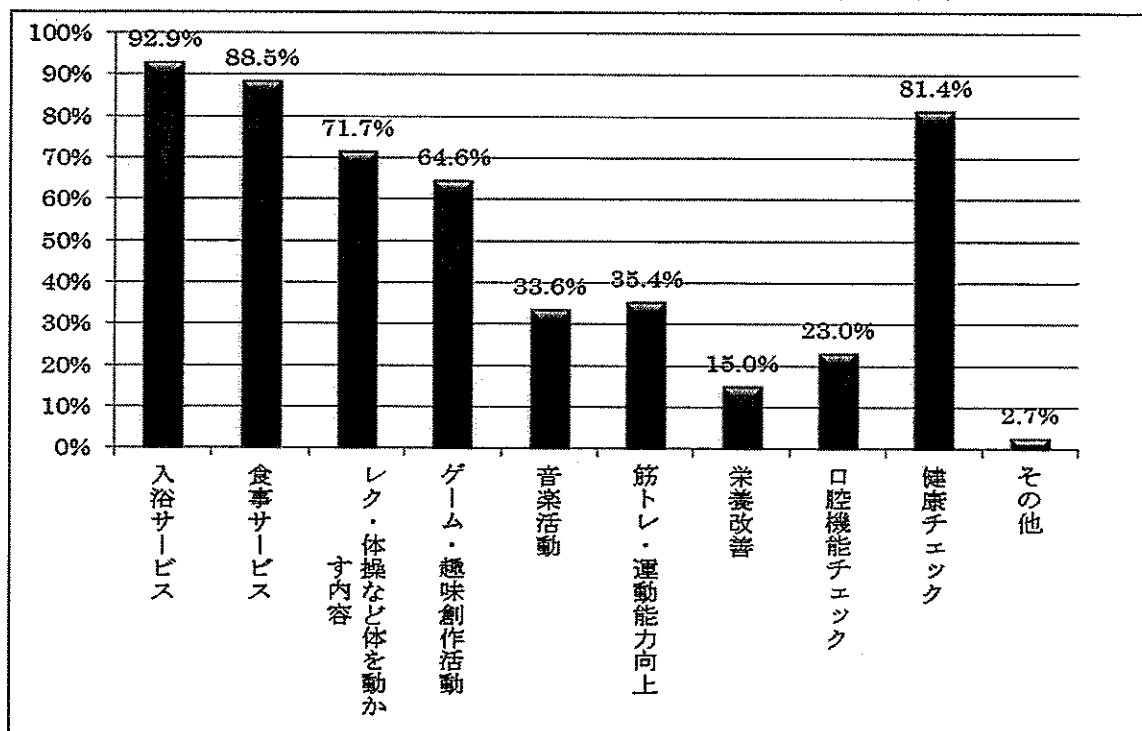
図 15 訪問介護サービスの利用内容 (回答者 66 人)



問 16 通所介護(デイサービス)を利用している方にお尋ねします。具体的にどのようなサービスを利用していますか。(1つに○)

「入浴サービス(92.9%)」が最も多く、次いで「食事サービス(88.5%)」、「健康チェック(81.4%)」、の順となっている。

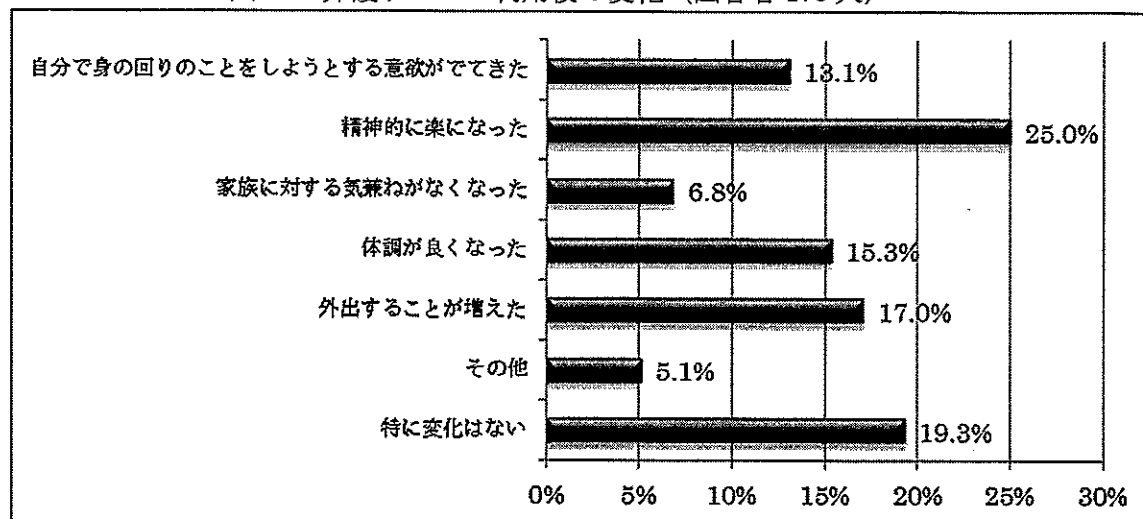
図 16 通所介護サービスの利用内容 (回答者 113 人)



問 17 介護サービスを利用することにより利用者の生活にどのような変化がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

「精神的に楽になった(25.0%)」が最も多く、次いで「特に変化はない(19.3%)」、「外出することが増えた(17.0%)」の順となっている。

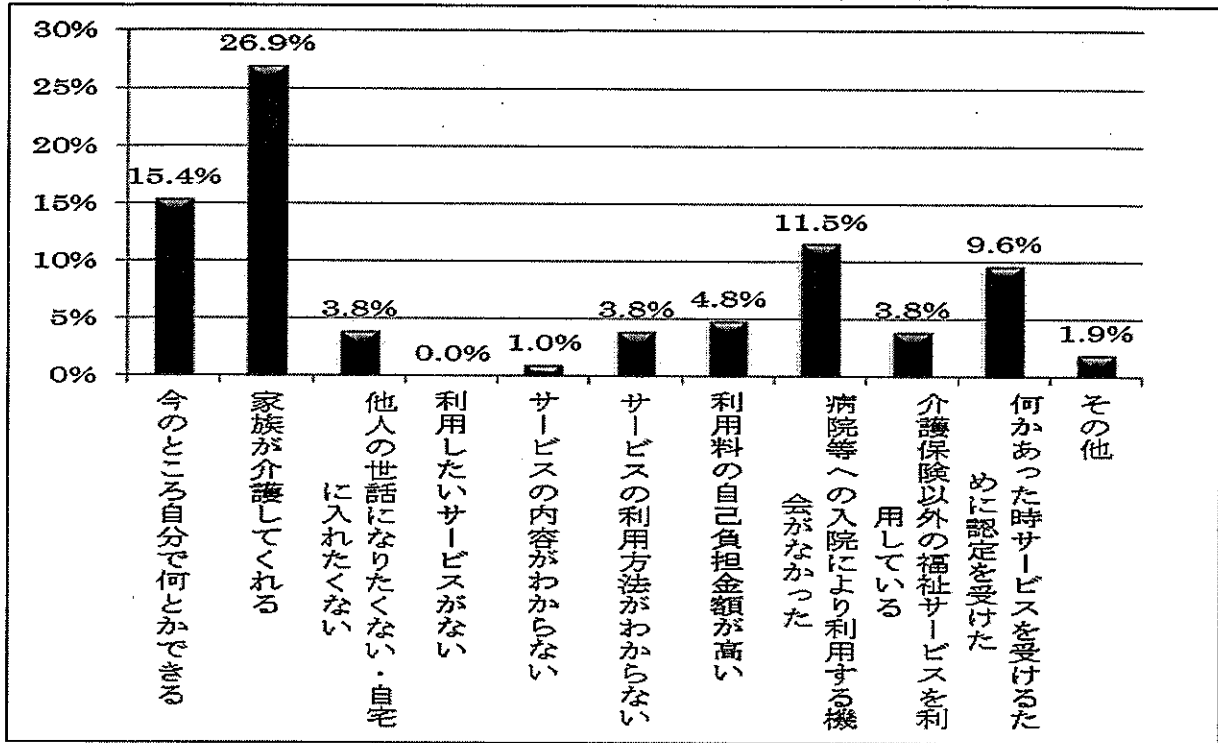
図 17 介護サービス利用後の変化 (回答者 176 人)



問 18 現在、介護保険サービスを利用していない方にお尋ねします。サービスを利用していない理由をお答えください。(1つに○)

「家族が介護してくれる(26.9%)」が最も多く、次いで「今のところ自分でなんとかできる(15.4%)」の順となっている。

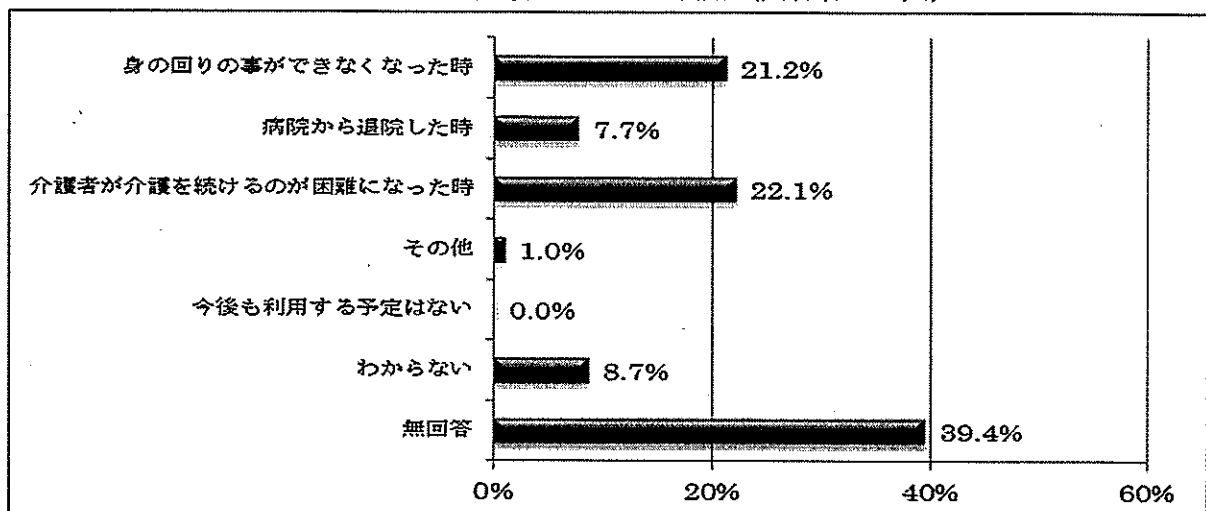
図 18 介護サービスを利用しない理由 (回答者 104 人)



問 19 今後どのような状態になったときに、介護保険サービスを利用することを考えていますか。(1つに○)

「家族が介護を続けるのが困難になった時(22.1%)」が最も多く、次いで「身の回りの事ができなくなった時(21.2%)」の順となっている。

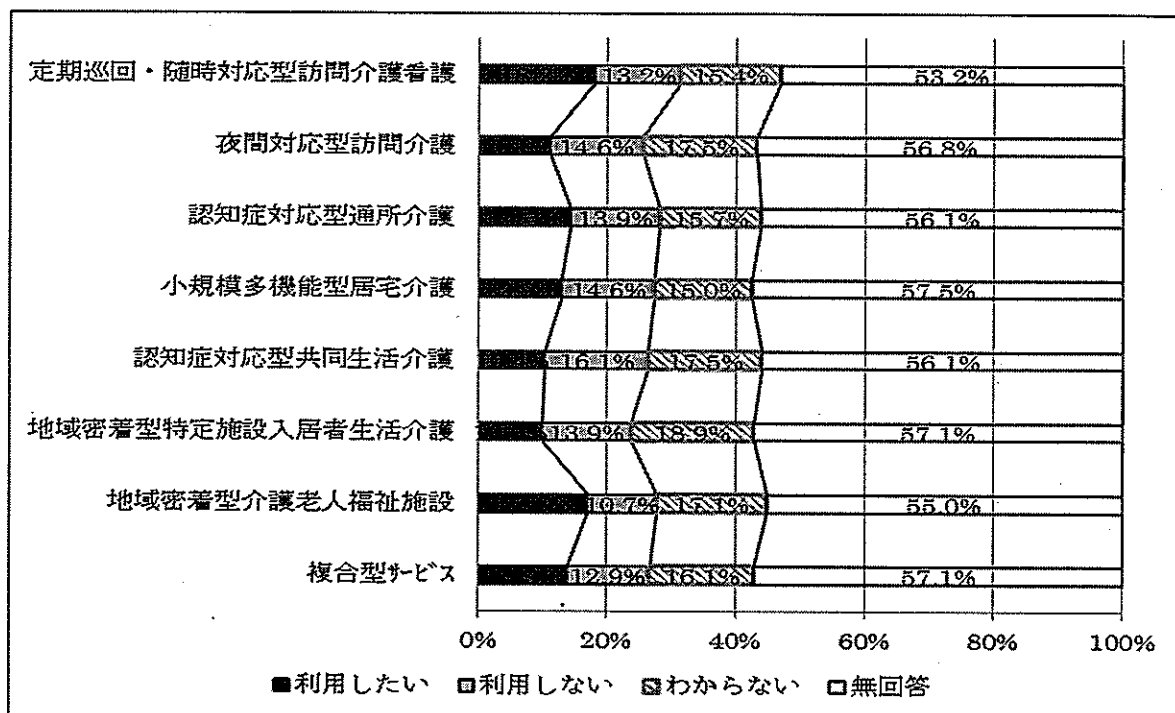
図 19 今後の介護サービスの利用 (回答者 104 人)



問 20 「地域密着型サービス」について、それぞれのサービスを利用したいかお答えください。(1つに○)

「利用しない・わからない」の答えが多いが、利用したいという回答では「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(18.2%)」、「地域密着型介護老人福祉施設(17.1%)」の割合が多くなっている。

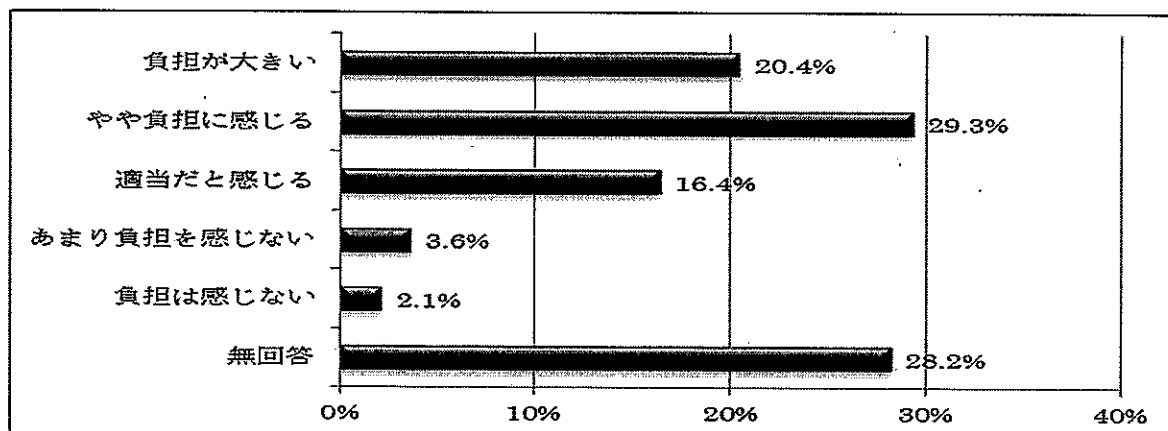
図 20 地域密着型サービスの利用意向 (回答者 280 人)



問 21 介護保険の保険料に負担を感じますか。(1つに○)

「やや負担を感じる(29.3%)」が最も多く、次いで「負担が大きい(20.4%)」の順となっている。

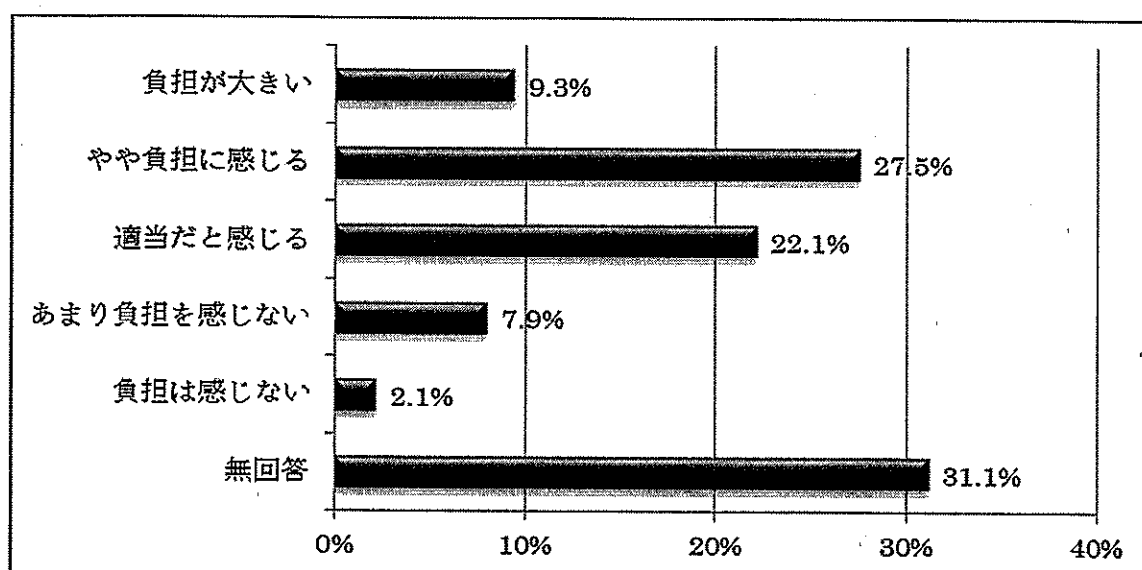
図 21 介護保険料の負担(280 人)



問 22 介護サービスの利用者負担額(1割)に負担を感じますか。(1つに○)

「やや負担を感じる(27.5%)」が最も多く、次いで「適当だと感じる(22.1%)」の順となっている。

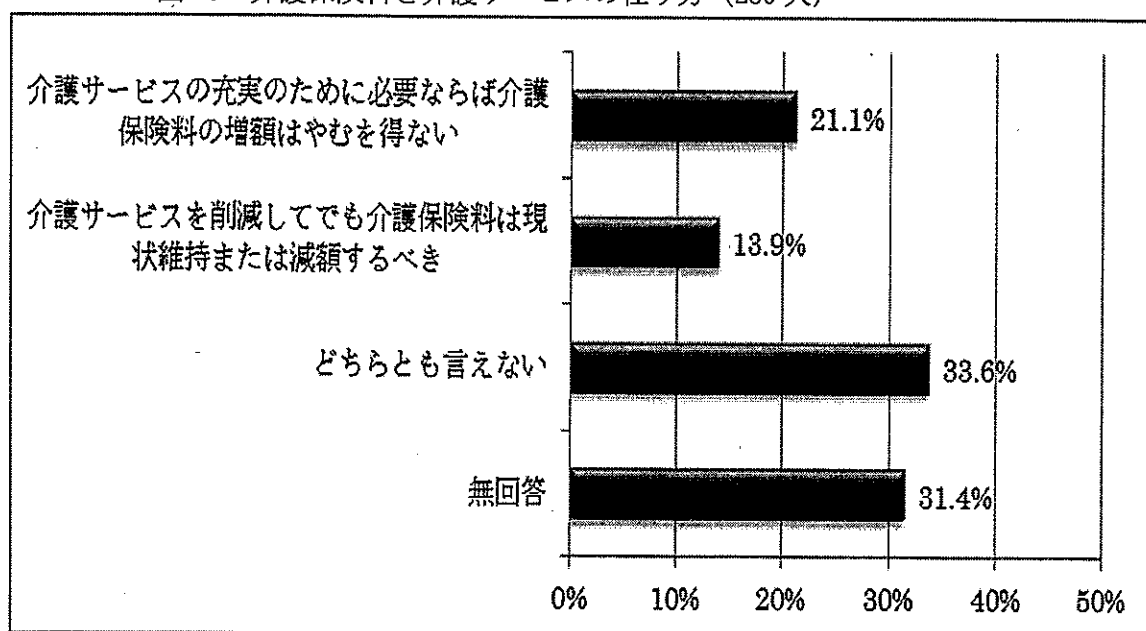
図 22 介護サービス利用者負担額(1割負担)の負担(280人)



問 23 今後の介護保険料と介護サービスの在り方についてどのように考えますか。1つに○)

「どちらとも言えない(33.6%)」が最も多く、次いで「介護サービスの充実のために必要ならば介護保険料の増額はやむを得ない(21.1%)」が最も多くなっている。

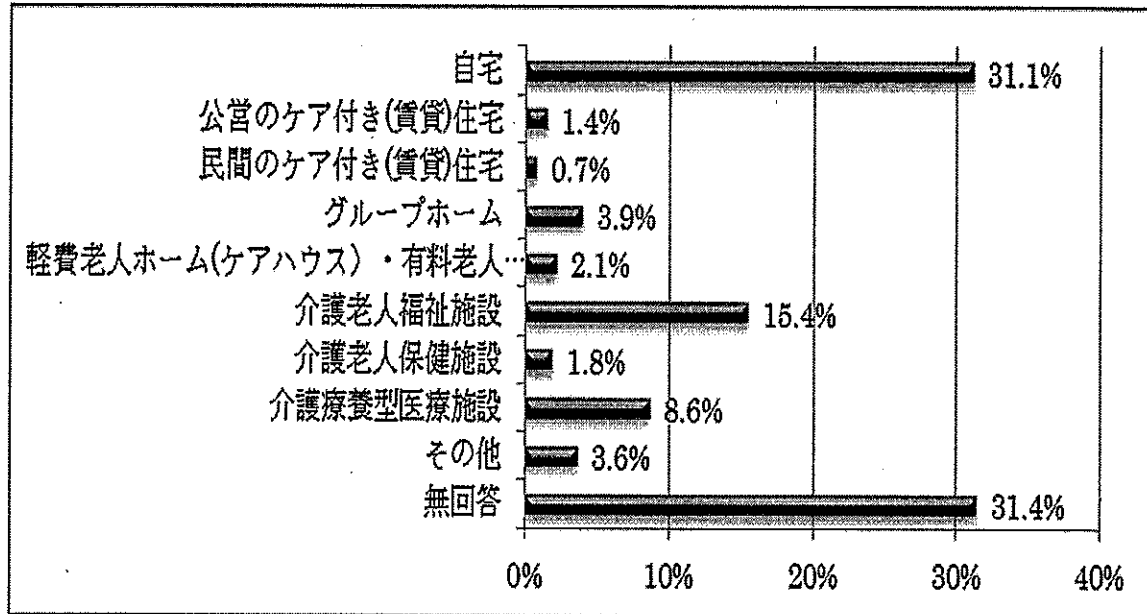
図 23 介護保険料と介護サービスの在り方 (280人)



問 24 今後の希望として、どこで介護を受けたいと思いますか。(1つに○)

「自宅(31.1%)」が最も多く、次いで「介護老人福祉施設(15.4%)」の順となっている。

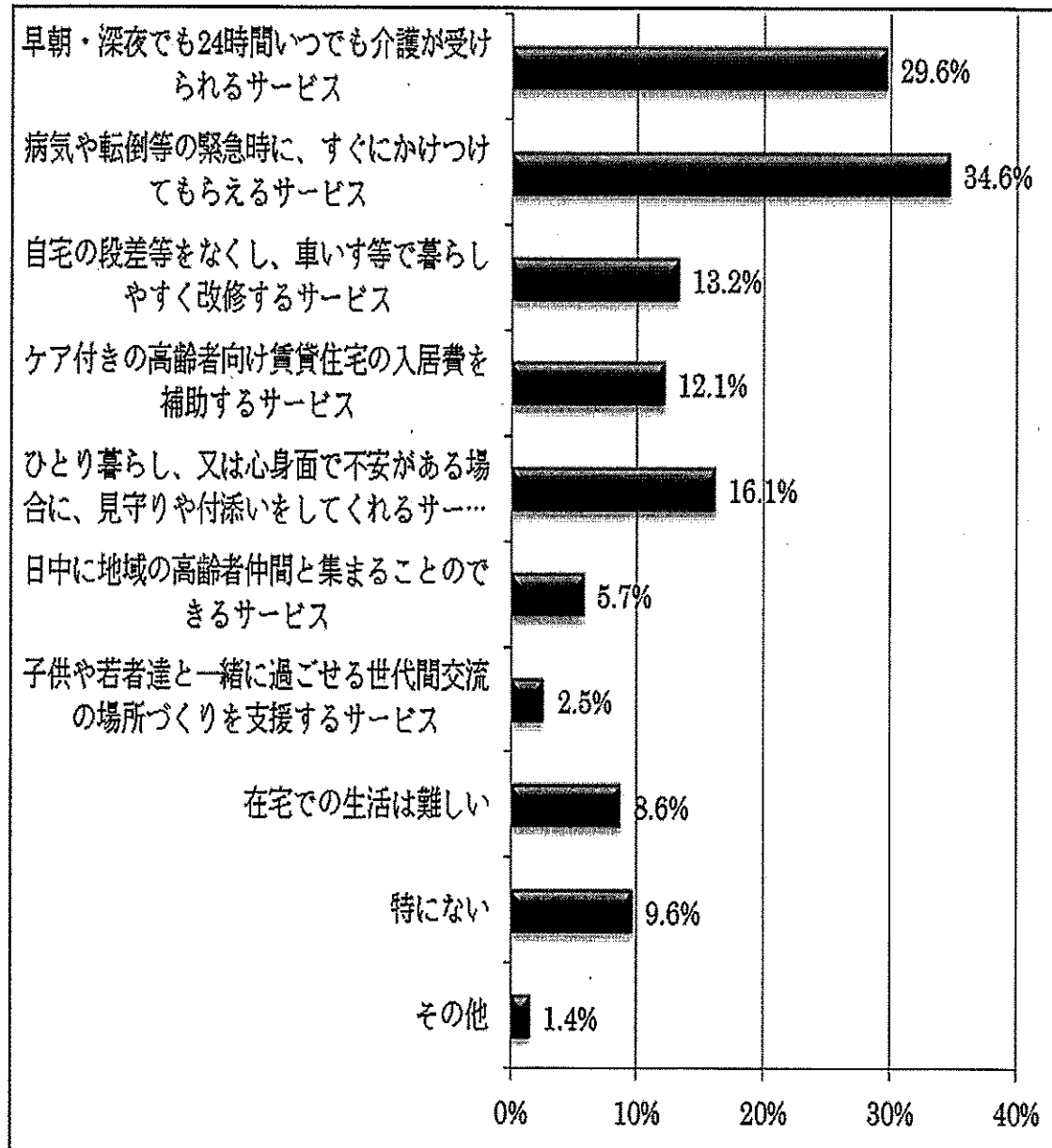
図 24 介護を受けるうえでの今後の希望先(280人)



問 25 在宅での生活をするために必要なサービスをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「病気や転倒等の緊急時にすぐにつけてもらえるサービス(34.6%)」が最も多く、次いで「早朝・深夜でも24時間いつでも介護が受けられるサービス(29.6%)」、「ひとり暮らし、又は心身面で不安がある場合に、見守りや付添いをしてくれるサービス(16.1%)」の順となっている。

図 25 在宅生活をするために必要なサービス(280人)



～自由意見・要望～

自由意見は16件で、回答数の5.7%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●モニタリング・プランニングと評価に関すること

- ・予防通所介護を利用していますが、長期目標と毎月の目標に従い、毎月達成できたか説明がある。細かな指導もあり職員も親切で満足している。
- ・個人個人がどう望んでいるかを理解していただき、納得できる範囲で心が通っていれば十分です。

●情報提供・相談体制

- ・認知症の母と同居しているが、どこまで正常でどこからが異常なのか今ひと理解できない。認知症について学べる施設があったら良い。新聞・テレビでの情報と我が家で体験するのとでは全く様子が違うようで困っている。
- ・定期的な訪問で日常の困りごとを聞いて考える行政の働きかけがほしい。電話で連絡をいただけるように言われるが、電話で話せないことも多い。質問するためには訪問していただければと思っている。
- ・本人、家族が介護に関して知識があって利用者側の本当に必要な在宅サービスが受けられるのではないかと。本人や家族が抱える悩み、利用サービスへの率直な疑問を受け止めてくれる相談員が必要です。

●介護保険料

- ・保険料が高いです。
- ・介護保険料を2人分納め、介護度が上がるたびに利用料も高くなり、お金のない人は介護も受けられなくなるのではないのでしょうか。

●介護サービスの整備

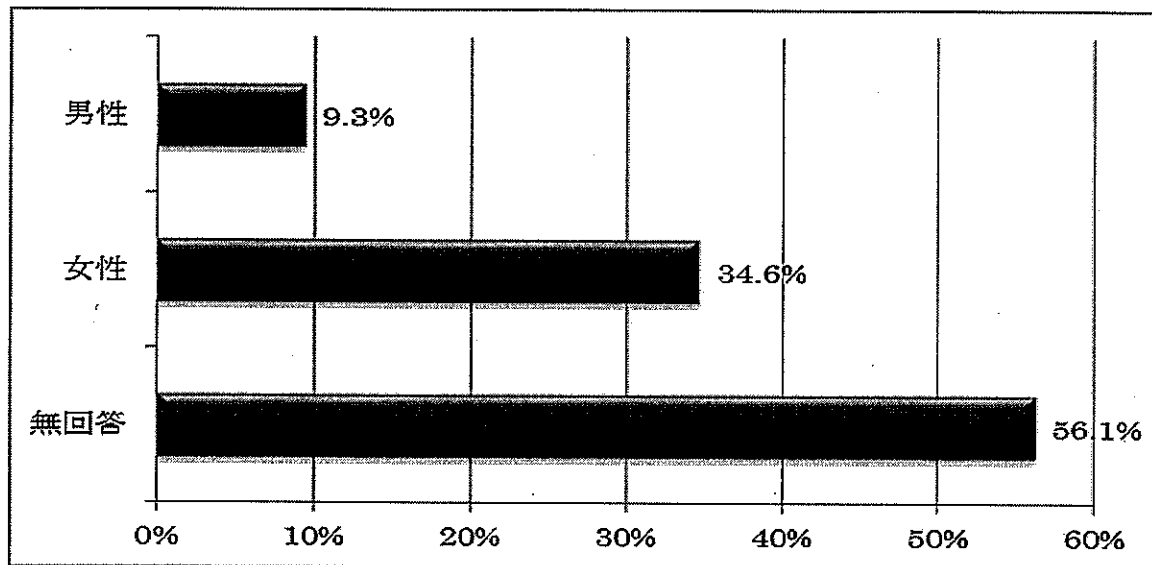
- ・札幌地区に小規模多機能、小規模特養がない。人口が少ない本町ばかり整備されていて不満である。人口比率にあわせた整備をする必要がある。国では中学校区を考慮して整備とされているのに、過去の計画にその状況が反映されていなかったのも、次の計画ではその点を重要視してほしい。

介護者に対する調査結果

問 27-1 主に介護されている方の性別をお答えください。(1つに○)

「男性(9.3%)」より「女性(34.6%)」の方が多くなっている。

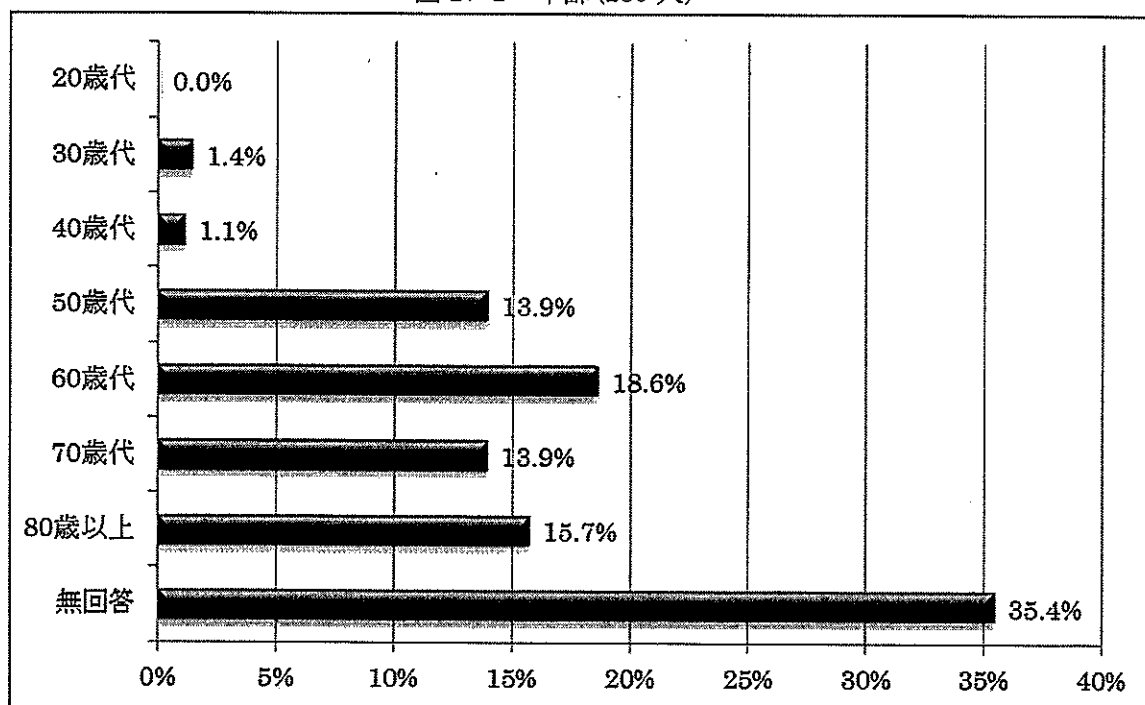
図 27-1 性別 (280 人)



問 27-2 主に介護されている方の年齢をお答えください。(1つに○)

「60歳代(18.6%)」が最も多く、次いで「80歳代(15.7%)」、「50歳代(13.9%)」、「70歳代(13.9%)」の順となっている。

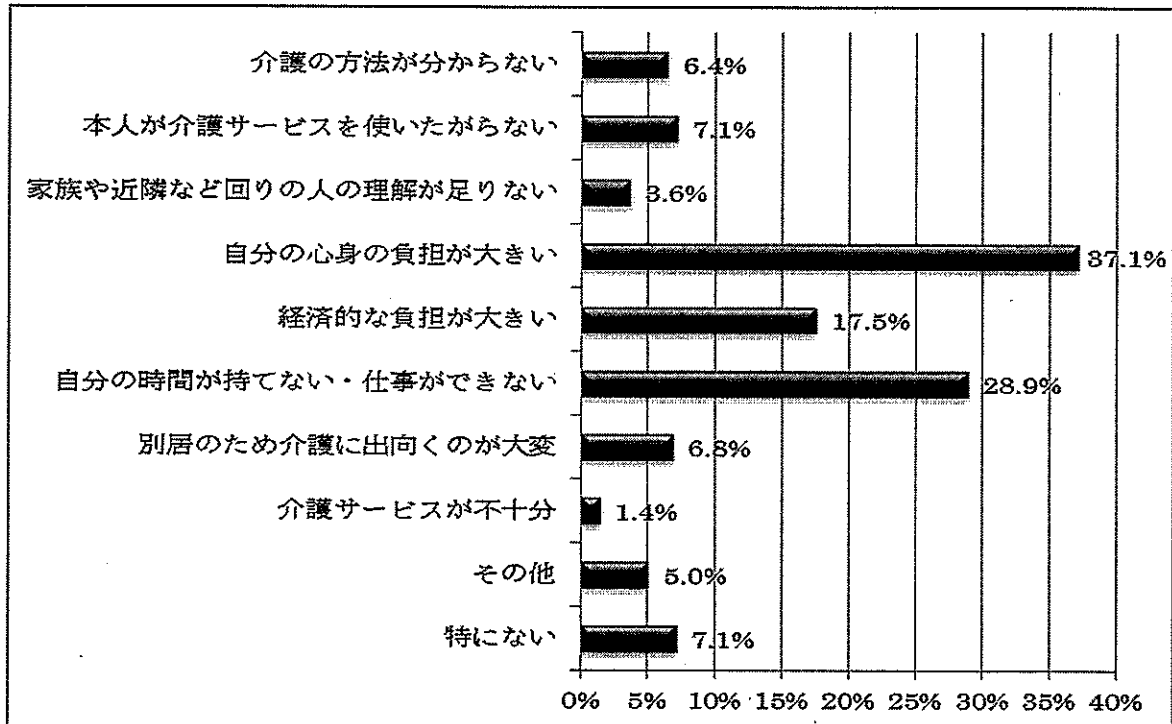
図 27-2 年齢(280 人)



問 28 介護をする上で困っていることをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「自分の心身の負担が大きい(37.1%)」が最も多く、次いで「自分の時間が持てない・仕事ができない(28.9%)」、「経済的な負担が大きい(17.5%)」の順となっている。

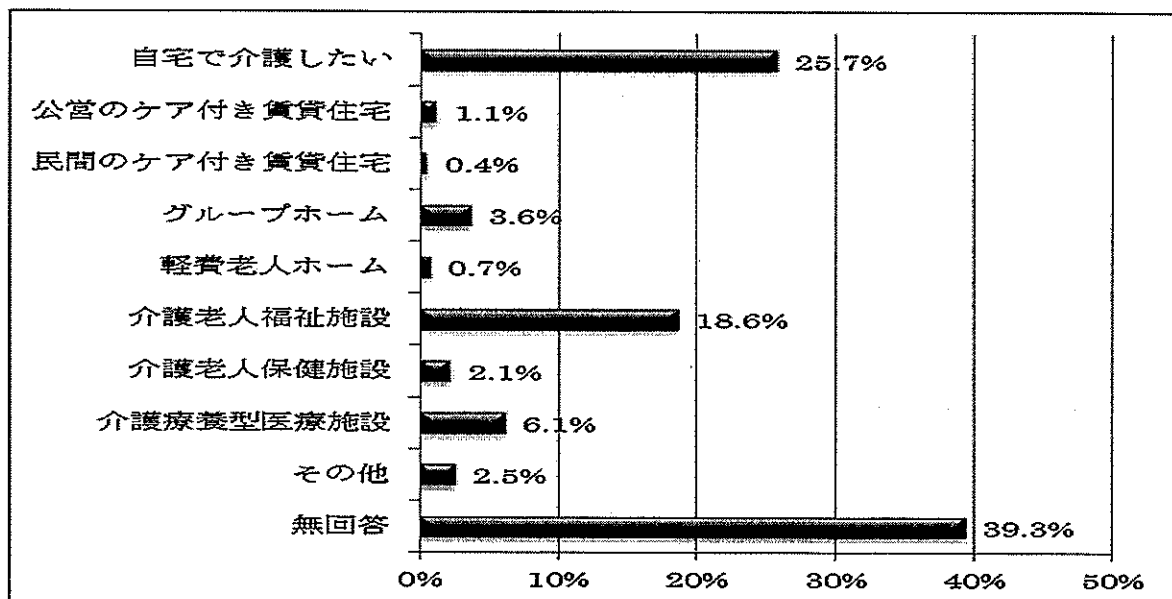
図 28 介護をする上で困っていること (280 人)



問 29 今後どのように介護をしたいと思いますか。(1つに○)

「自宅で介護したい(25.7%)」が最も多く、次いで「介護老人福祉施設(18.6%)」の順となっている。

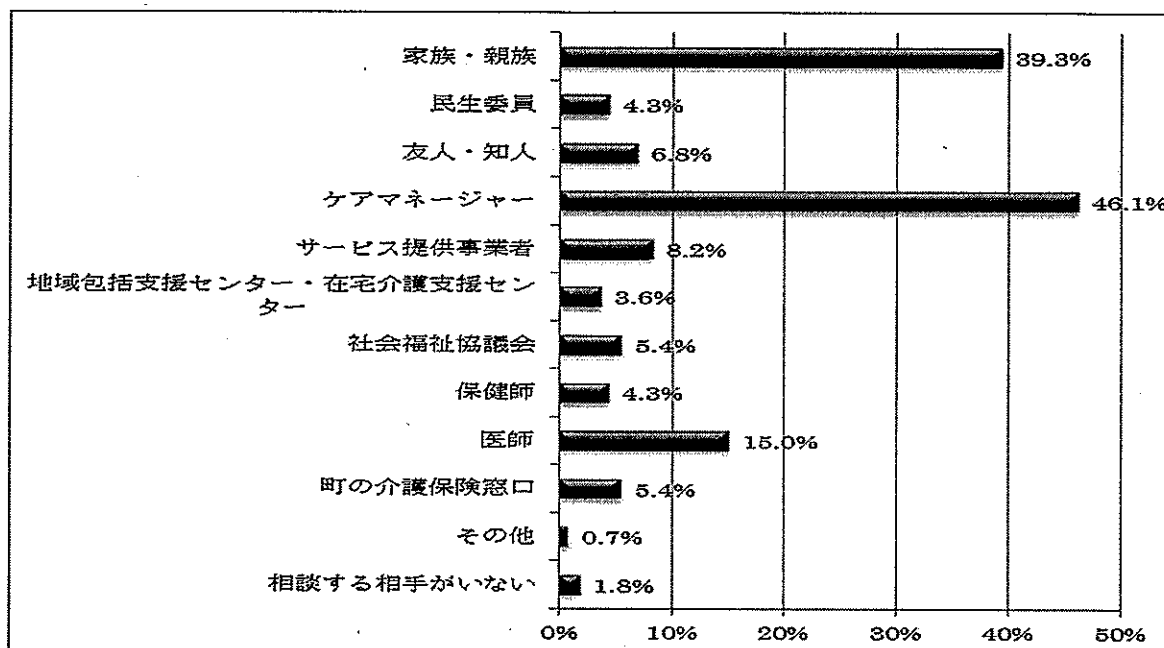
図 29 今後の介護に対する希望(280 人)



問 30 介護に困った時に誰に相談していますか。(あてはまるもの全てに○)

「ケアマネージャー(46.1%)」が最も多く、次いで「家族・親族(39.3%)」、「医師(15.0%)」の順となっている。

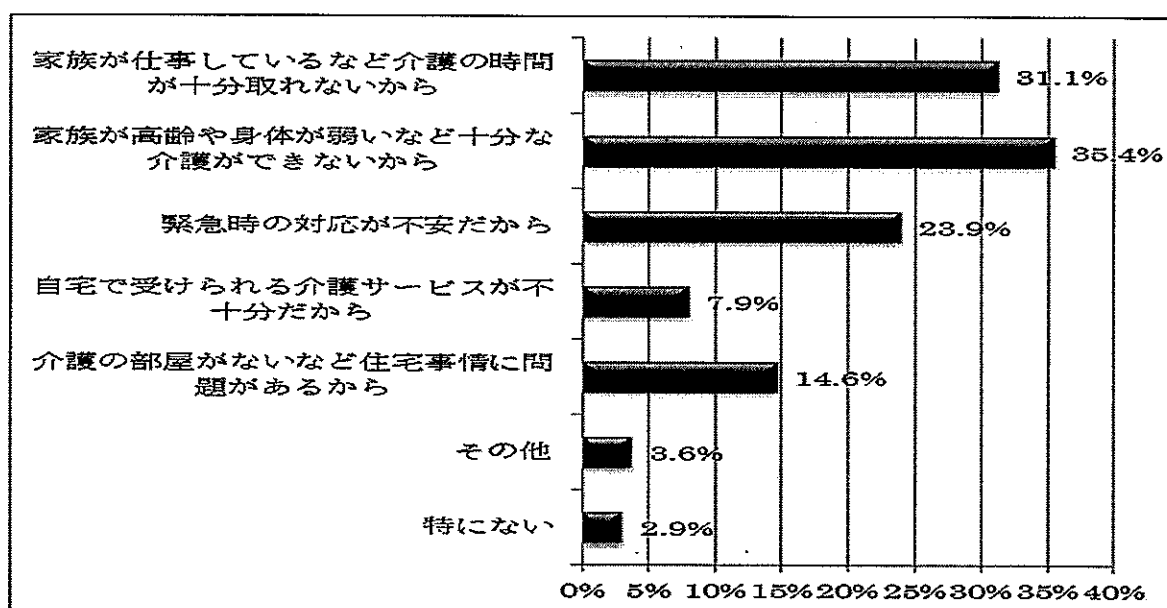
図 30 相談相手 (280 人)



問 31 自宅での介護は難しいと言われていますが、その理由は何だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

「家族が高齢や身体が弱いなど十分な介護ができない(35.4%)」が最も多く、次いで「家族が仕事しているなど介護の時間が十分取れない(31.1%)」の順となっている。

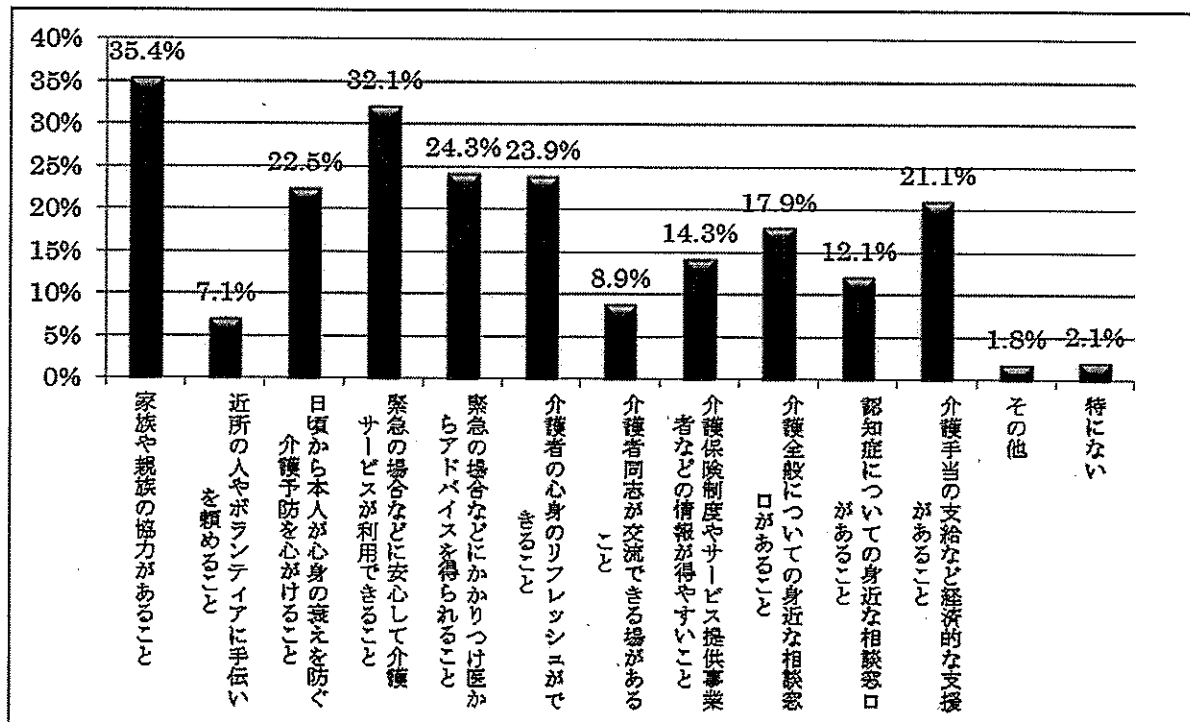
図 31 在宅介護が難しい理由(280 人)



問 32 在宅での介護を続けるために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「家族や親族の協力があること(35.4%)」が最も多く、次いで「緊急の場合等に安心して介護サービスが利用できること(32.1%)」の順となっている。

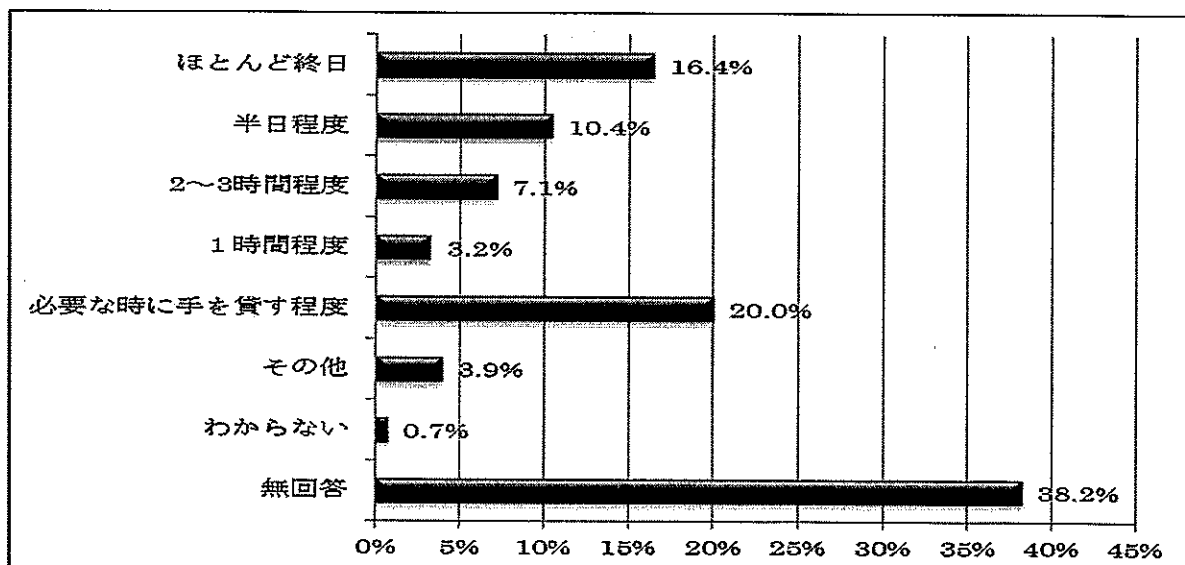
図 32 在宅介護に必要なこと(280人)



問 33 1日の介護に要する時間はどのくらいですか。(1つに○)

「必要な時に手を貸す程度(20.0%)」が最も多く、次いで「ほとんど終日(16.4%)」の順となっている。

図 33 1日の介護に要する時間(280人)



～ 自由意見・要望 ～

自由意見は19件で、回答数の6.8%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●介護する者の負担軽減

- ・現在、親2人を介護しているが、金銭的にも時間的にも大変な思いをしている。
- ・介護保険の認定を受けている者に対し、介護をしている者が介護できない病人になった時、介護認定者が長時間待機するこのないよう早期入居できるようにしてほしい。
- ・本人が風邪をひいて、介護者が寝られない状況になったときに預かってもらえる場所がない。
- ・デイサービスの入浴などとても助けてますが、長年に渡っての在宅介護は、家族にもいろいろな負担をかけるのでつらい。経済的にも辛しい、何より時間がほしい。毎日解放されたいと思ってしまう。
- ・緊急時に預かってくれるところを増やしてほしい。

●その他サービス内容

- ・介護者の不得手な家事（炊事・掃除・洗濯など）を週2回ほどお願いできたら良い。
- ・介護用品の購入に関して、購入品目を多くしてほしい。

●その他

- ・行政の対応、手続きが遅い。
- ・事務的な文書等の送付の場合は、宛名を家族あてにする等の方がよいと思う。
- ・町内の各施設の保険料の使われる詳細な数字を公開してほしい。
- ・このような形だけのアンケートはいかかなものでしょう。携わってる人がしんどくて大変です。

3 高齢社会に関する意識調査

(第2号被保険者 40歳～64歳)

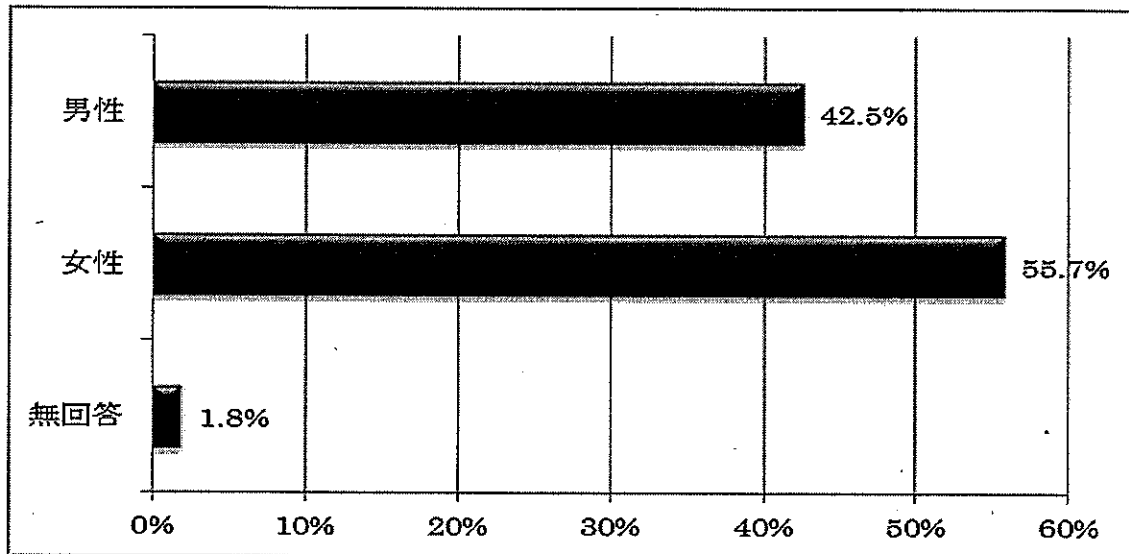
3 高齢者社会に関する意識調査結果

（1）生活状況など

問1 ご本人の性別をお答えください。（1つに○）

「男性(42.5%)」より「女性(55.7%)」の方が多くなっている。

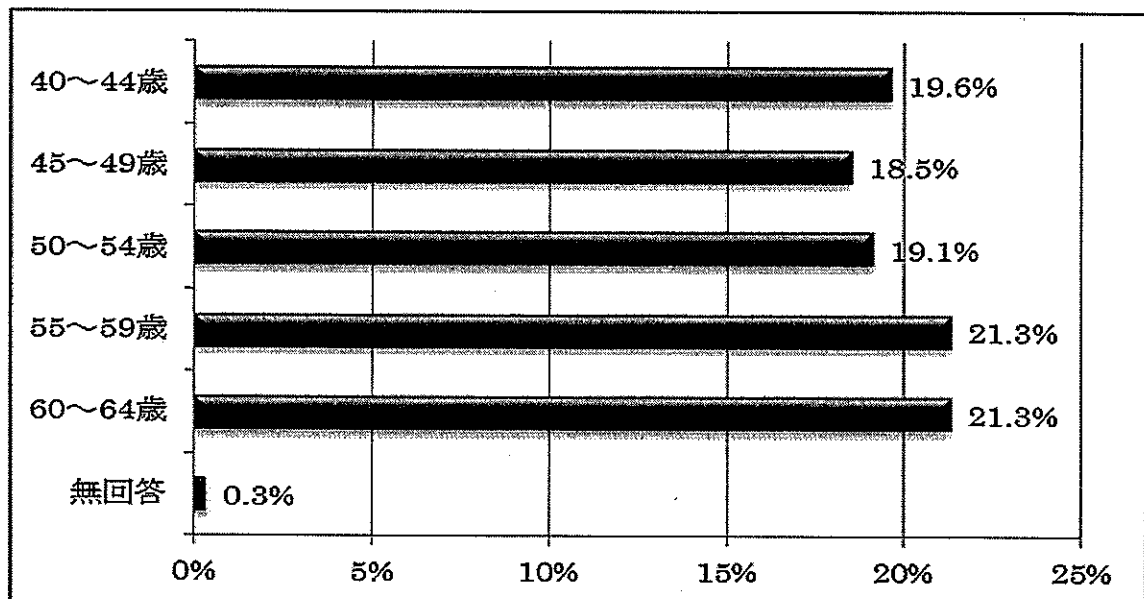
図1 性別（回答者 607 人）



問2 年齢はいくつですか。（1つに○）

「40歳～44歳(19.6%)」から「60歳～64歳(21.3%)」まで、ほぼ同じ割合となっている。

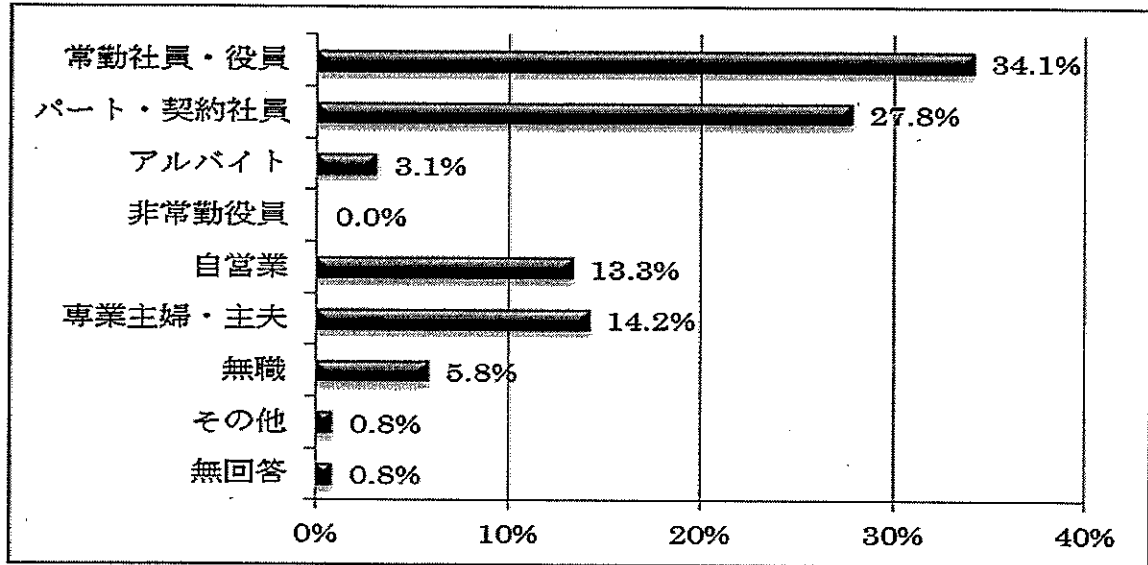
図2 年齢（回答者 607 人）



問3 職業をお答えください。（1つに○）

「常勤社員・役員（34.1%）」が最も多く、次いで「パート・契約社員（27.8%）」、「専業主婦・主夫（14.2%）」、「自営業（13.3%）」の順となっている。

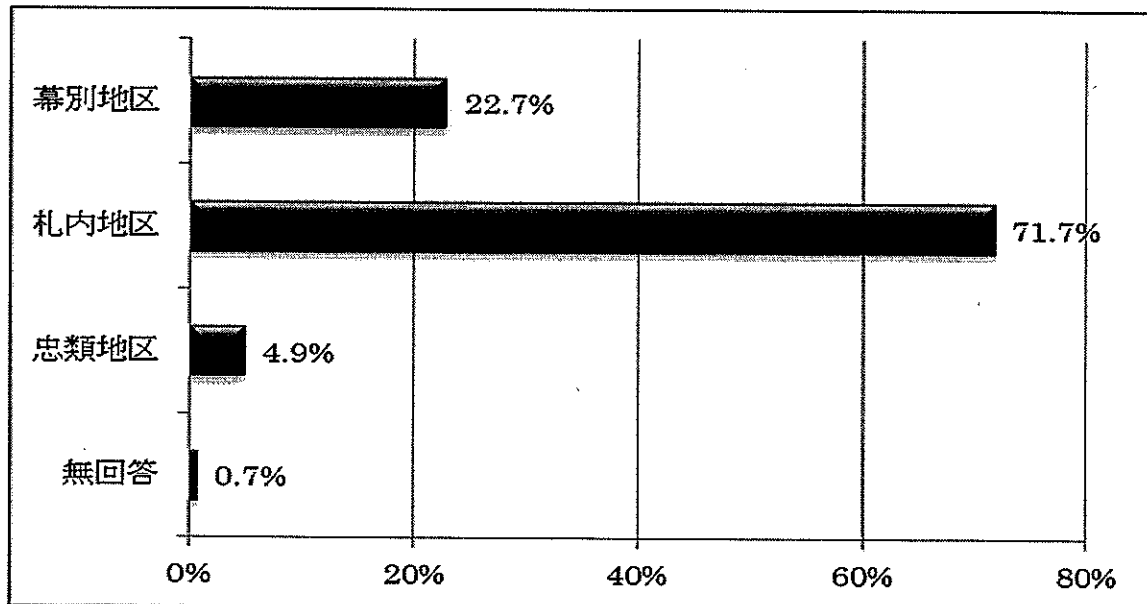
図3 職業（回答者 607人）



問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。（1つに○）

「札幌地区（71.7%）」が最も多く、次いで「幕別地区（22.7%）」、「忠類地区（4.9%）」の順となっている。

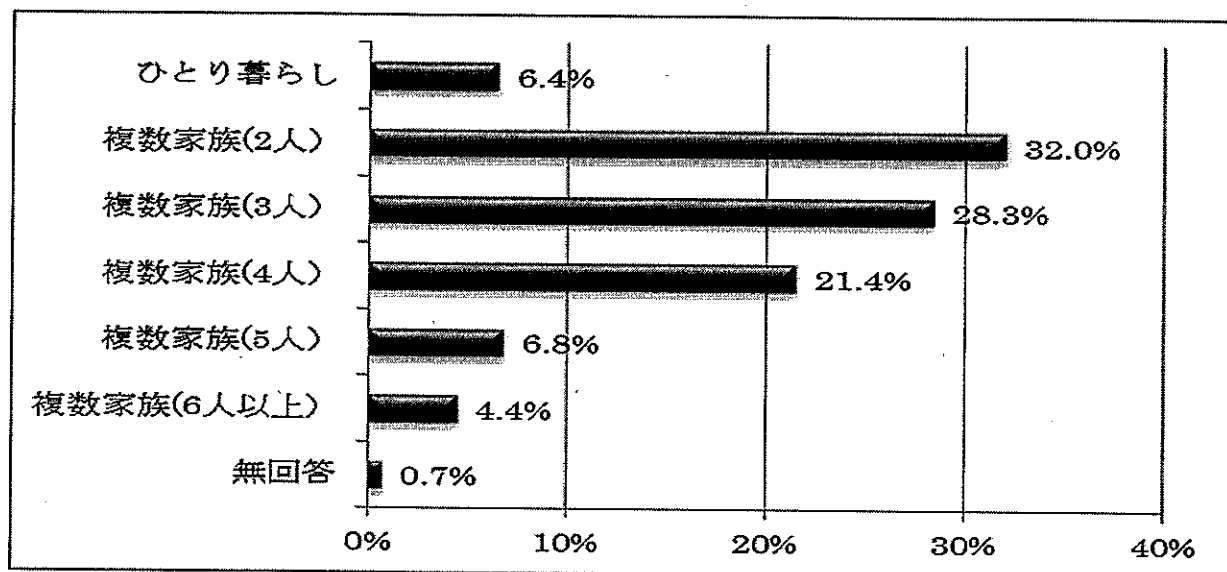
図4 居住地域（回答者 607人）



問5 何人家族ですか。（1つに○）

約9割の方が複数家族での暮らしであり、うち「2人暮らし(32.0%)」が最も多く、次いで「3人暮らし(28.3%)」、「4人暮らし(21.4%)」の順となっている。

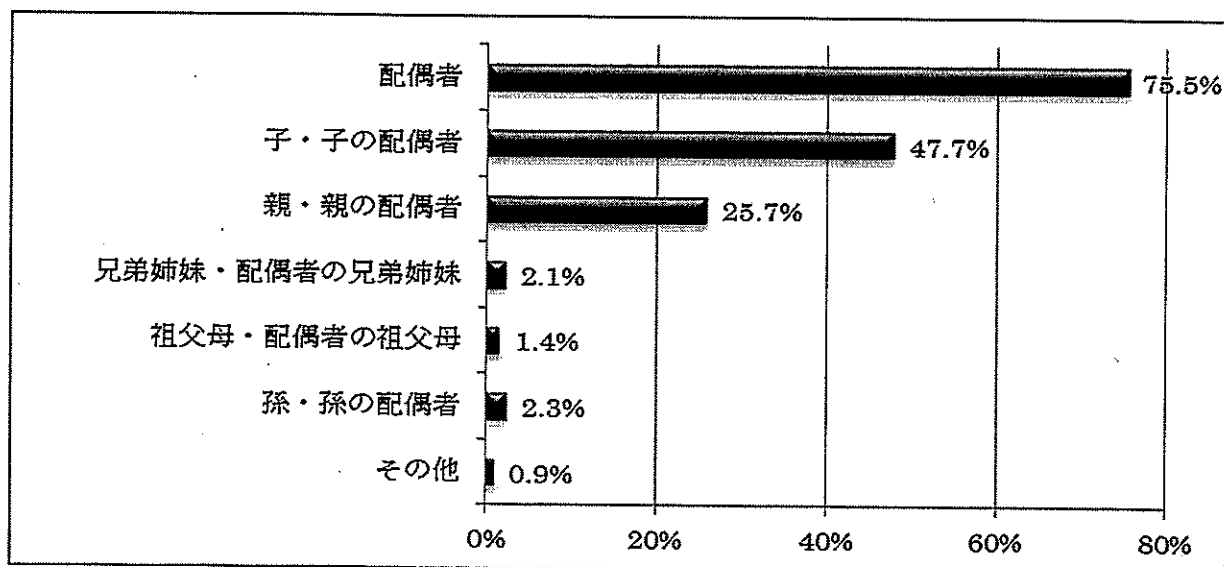
図5 家族構成（回答者 607人）



問5-1 問5で複数家族に○を付けた方にお尋ねします。同居している方はどなたですか。（あてはまるもの全てに○）

同居家族は「配偶者(75.5%)」が最も多く、次いで「子・子の配偶者(47.7%)」、「親・親の配偶者(25.7%)」の順となっている。

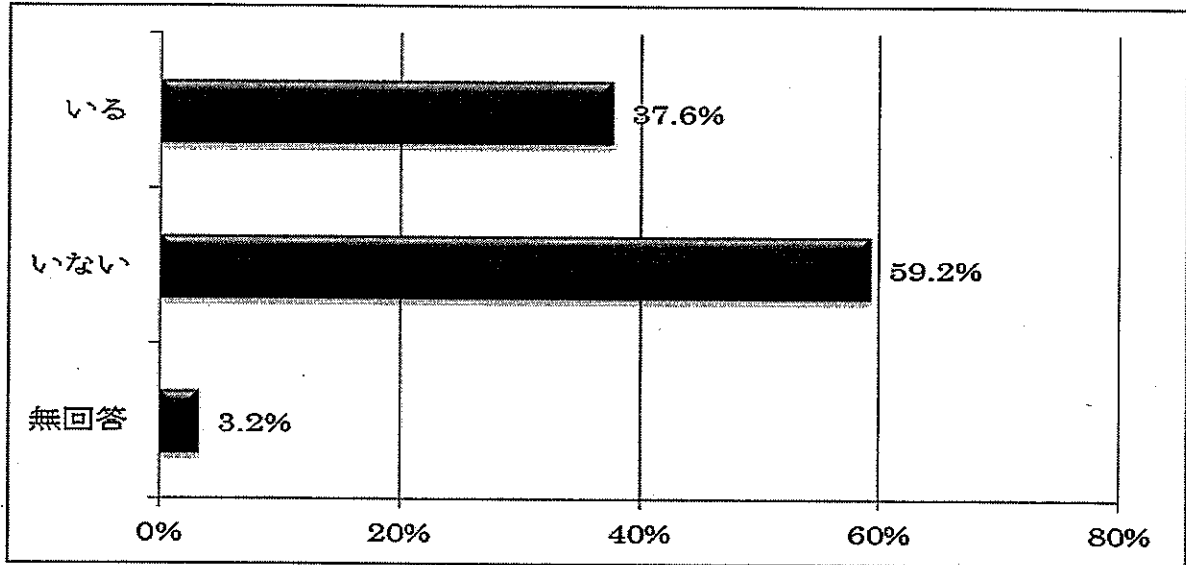
図5-1 同居者（回答者 564人）



問5-2 問5で複数家族に○を付けた方にお尋ねします。同居している方に65歳以上の方はいますか。（1つに○）

「いる（37.6%）」となっており、複数家族の約4割が65歳以上の方と同居となっている。

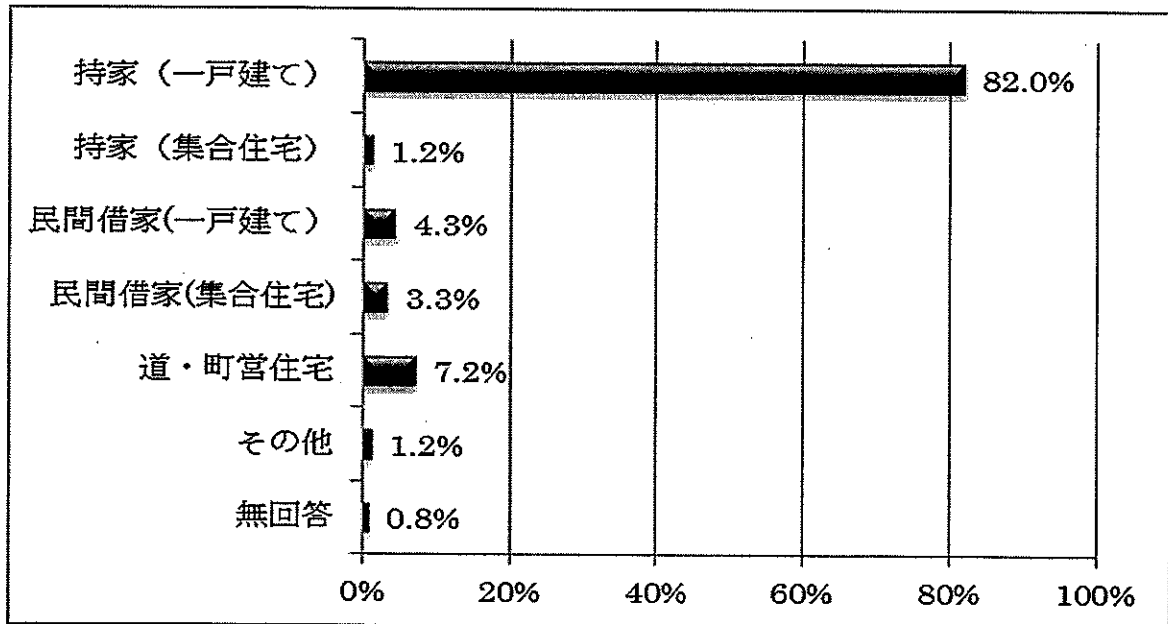
図5-2 65歳以上の同居者（回答者564人）



問6 現在のお住まいの形態はどれにあたりますか。（1つに○）

「持家（一戸建て）（82.0%）」と8割の方が持家（一戸建て）となっている。

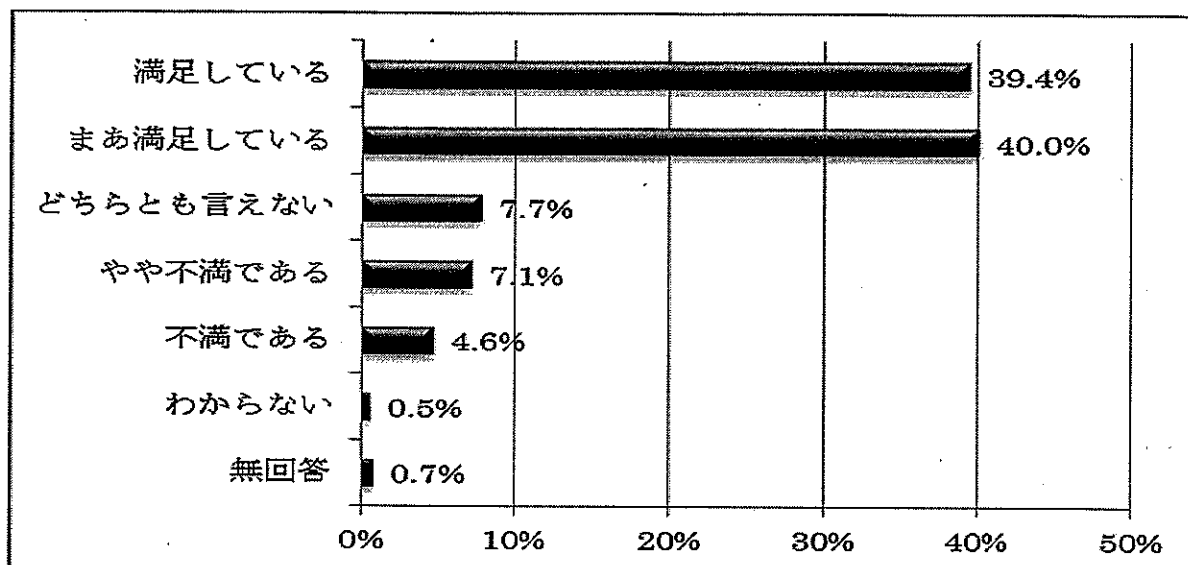
図6 住まい（回答者607人）



問7 現在のお住まいにどの程度満足していますか。（1つに○）

「まあ満足している（40.0%）」が最も多く、次いで「満足している（39.4%）」となっており、約8割の方が現在の住まいに満足している。

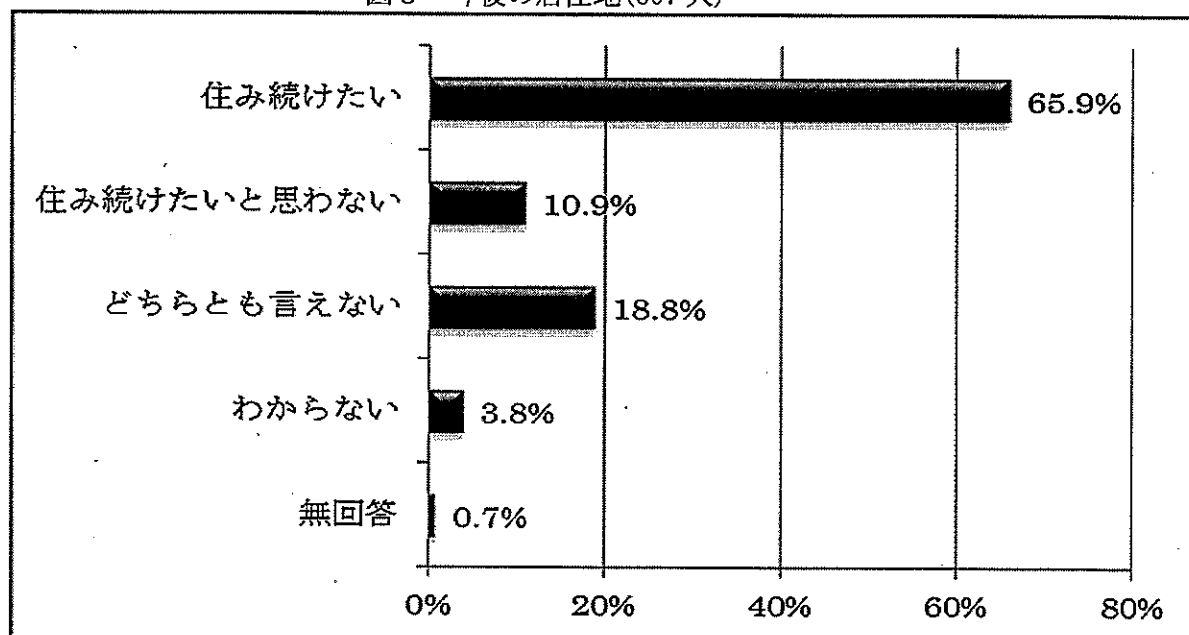
図7 住まいに対する満足度（607人）



問8 今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

今後も現在の地域に「住み続けたい（65.9%）」が最も多くなっている。

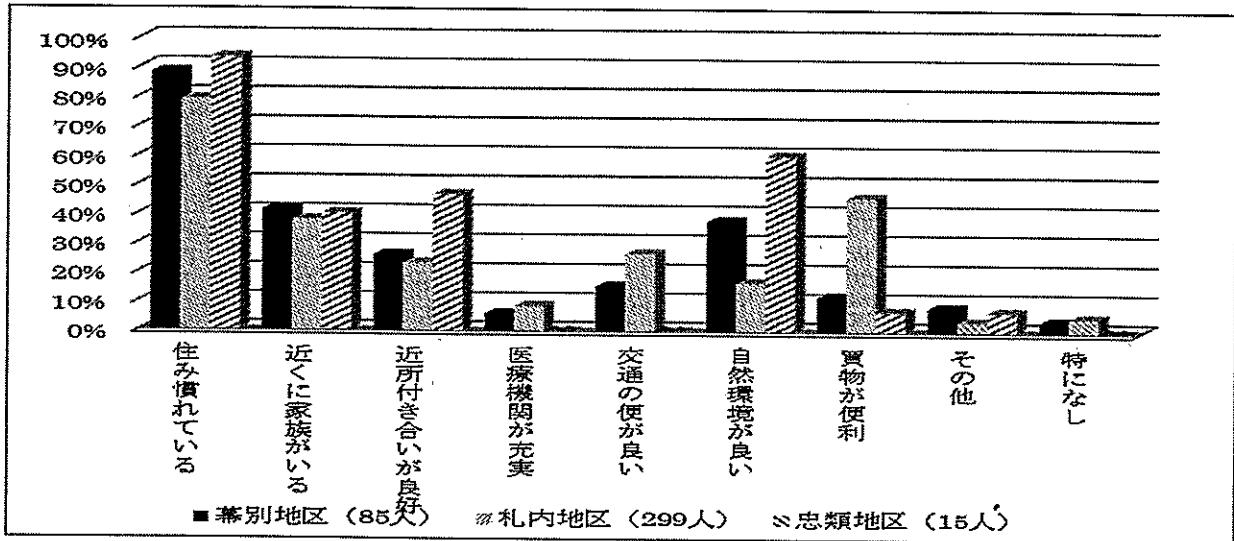
図8 今後の居住地（607人）



問8-1 問8で「1 住み続けたい」に○をつけた方にお尋ねします。住み続けたいと思う理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

全地区で「住み慣れている（幕別地区 81.5%、札内地区 78.9%、忠類地区 93.3%）」の割合が最も多くなっているが、続いては、幕別地区では「近くに家族がいる（41.2%）」、札内地区では「買物が便利（45.8%）」、忠類地区では「自然環境が良い（60.0%）」の順となっている。

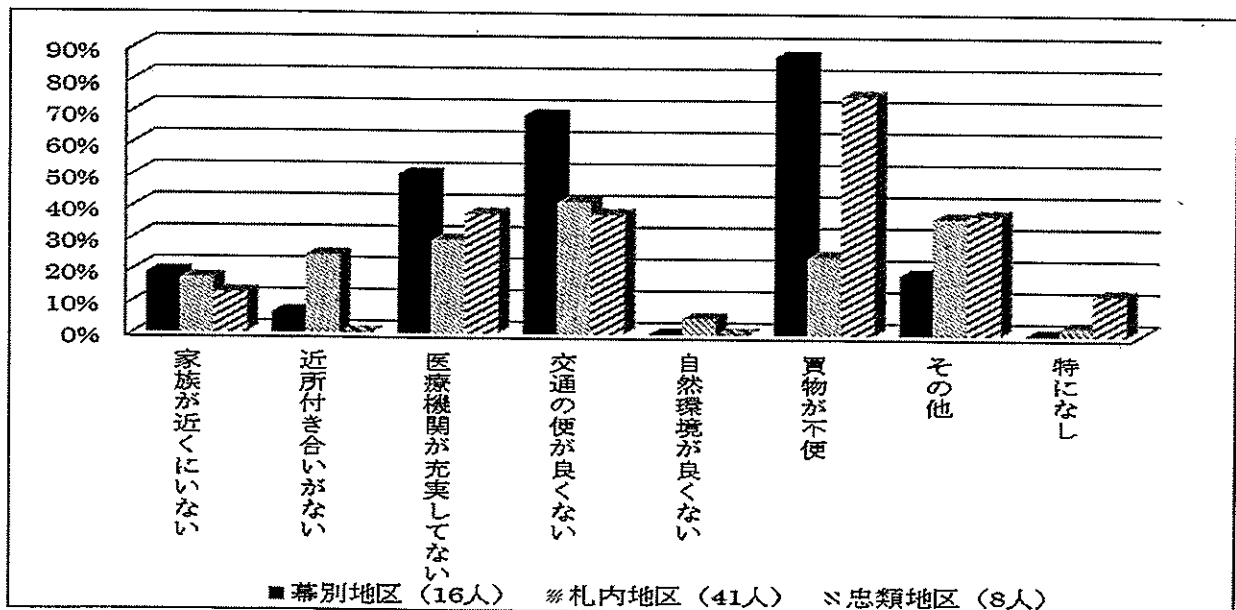
図8-1 住み続けたい理由（地域別集計）（399人）



問8-2 問8で「2 住み続けたいとは思わない」に○をつけた方にお尋ねします。住み続けたいとは思わない理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

幕別地区と忠類地区では「買物が不便（幕別地区 87.5%、忠類地区 75.0%）」、札内地区では「交通の便が良くない（41.5%）」の割合が最も多くなっている。

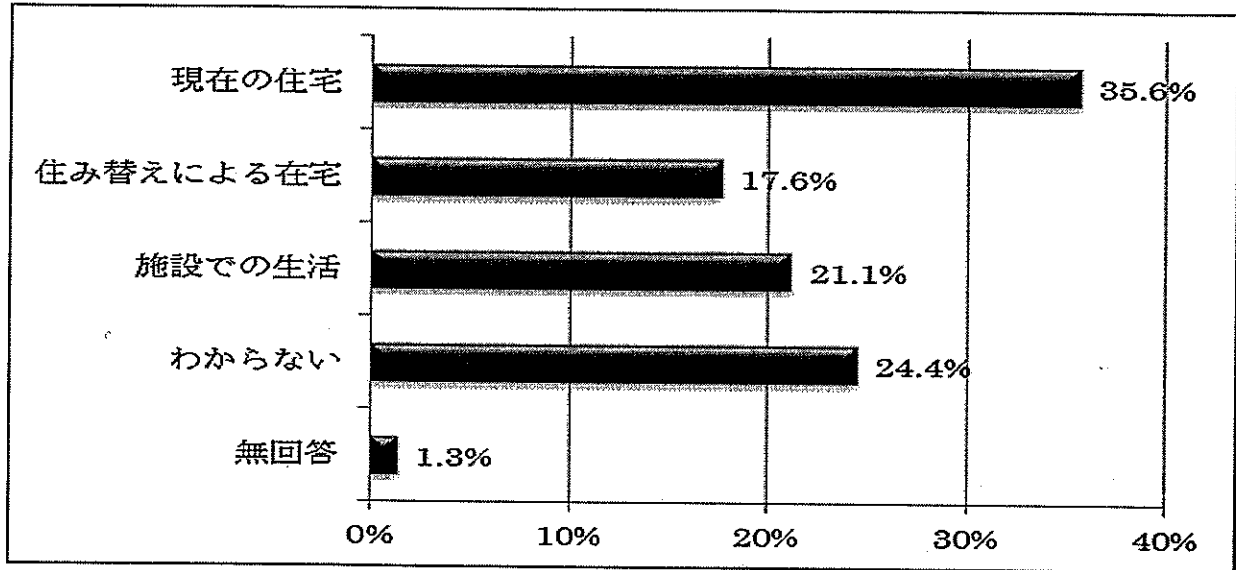
図8-2 住み続けたいとは思わない理由（地域別集計）（65人）



問9 高齢期にひとり暮らしの不安が強くなったり、身体が弱くなったり、日常生活を送る上で判断能力が不十分になった時に、どこで生活したいと思いますか。（1つに○）

「現在の住宅（35.6%）」の割合が最も多くなっている。

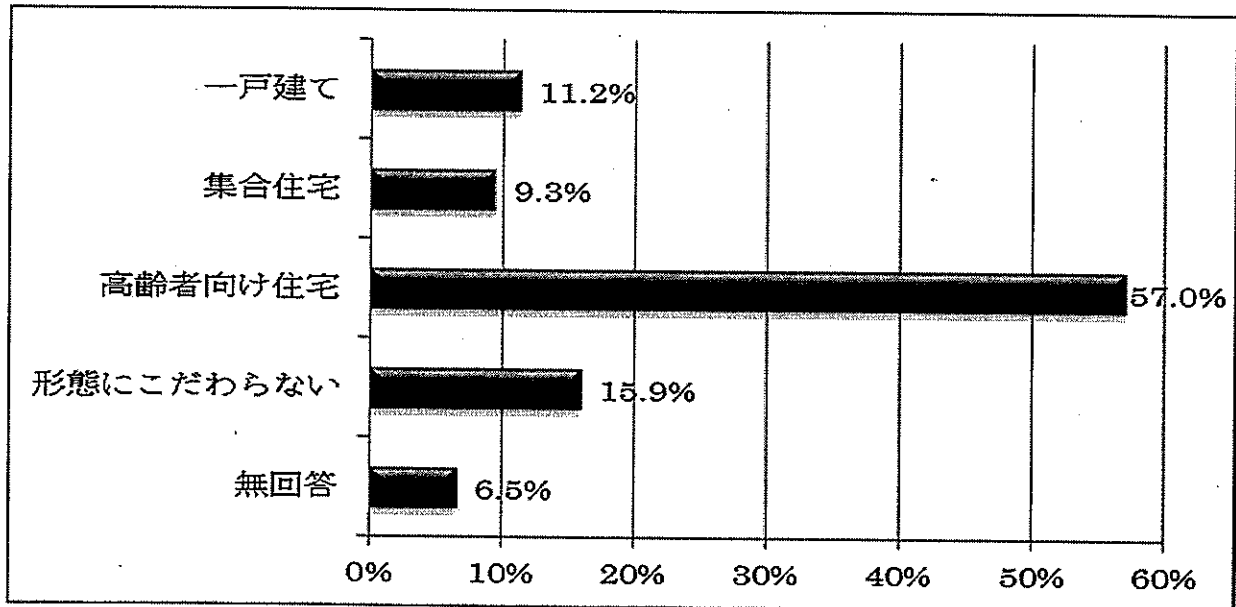
図9 高齢期の住まい（607人）



問9-1 問9で「2 住み替えにより在宅での生活を継続したい」に○をつけた方にお尋ねします。どのような形態の住まいを考えていますか。（1つに○）

住み替えを希望する方は、「高齢者向け住宅（57.0%）」の割合が最も多くなっている。

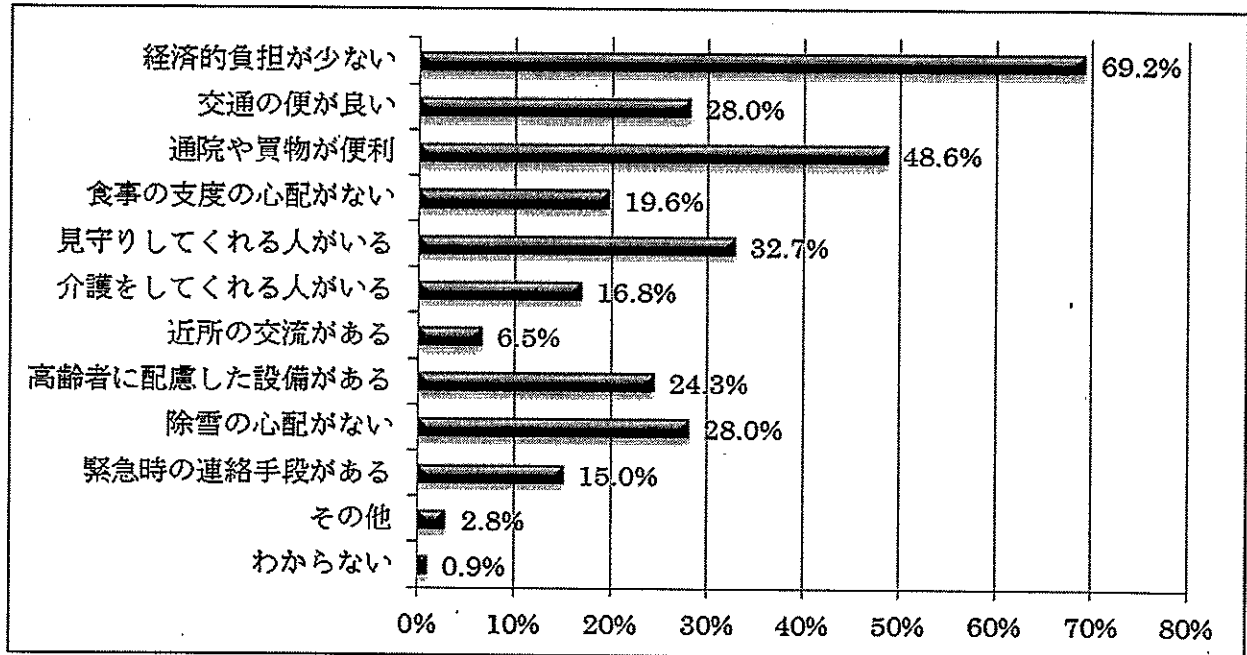
図9-1 住まいの形態（107人）



問9-2 問9で「2 住み替えにより在宅での生活を継続したい」に○をつけた方にお尋ねします。住み替えにあたって重視するのはどのようなことですか。（3つ以内に○）

「経済的負担が少ない(69.2%)」が最も多く、次いで「通院や買物が便利(48.6%)」、「見守りしてくれる人がある(32.7%)」の順となっている。

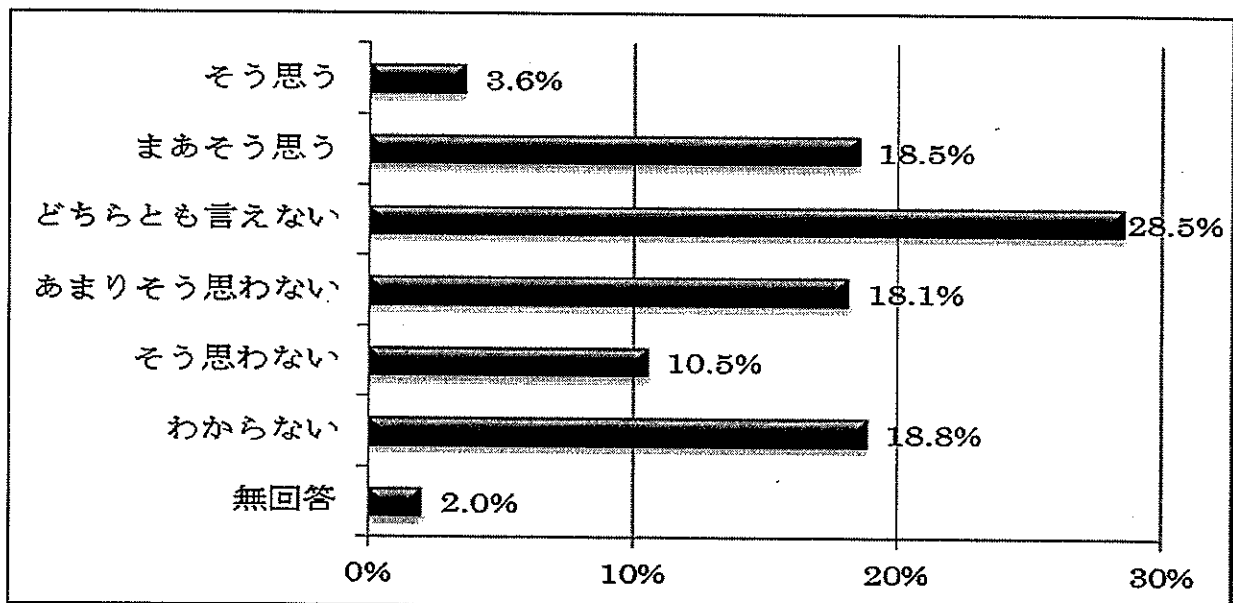
図9-2 住まいの選択理由(107人)



問10 幕別町は高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか。（1つに○）

「どちらとも言えない(28.50%)」が最も多く、次いで「わからない(18.8%)」の順となっている。

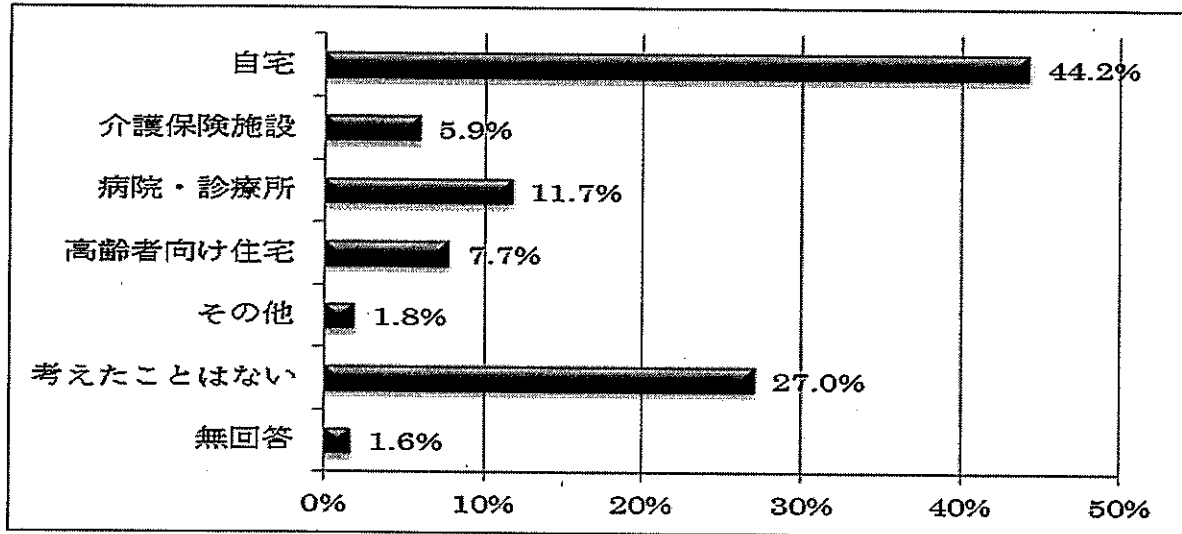
図10 高齢者のための生活環境(607人)



問11 あなたは、人生の最後をどこで迎えたいと思いますか。（1つに○）

「自宅(44.2%)」が最も多く、次いで「考えたことはない(27.0%)」の順となっている。

図11 人生の最後を迎えたい場所(607人)

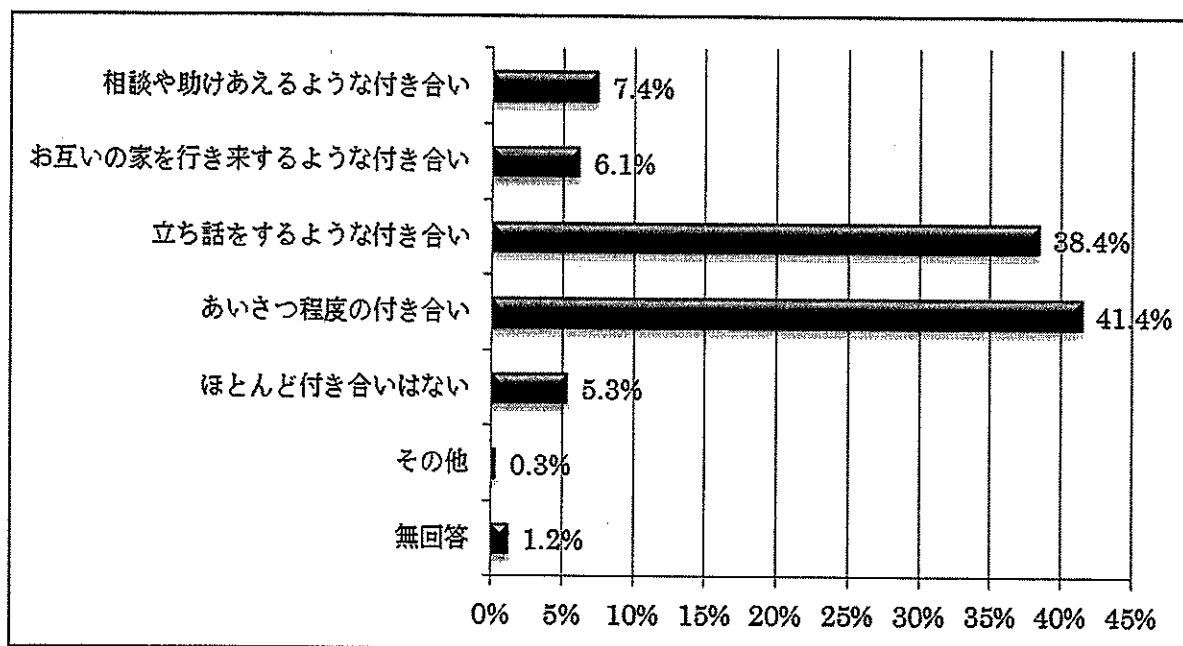


(2) 交流と活動について

問12 ご近所の方との程度のお付き合いをされていますか。（1つに○）

「あいさつ程度の付き合い(41.4%)」が最も多く、次いで「立ち話をするような付き合い(38.4%)」となっているが、「相談や助けあえるような付き合い(7.4%)」も1割程の割合となっている。

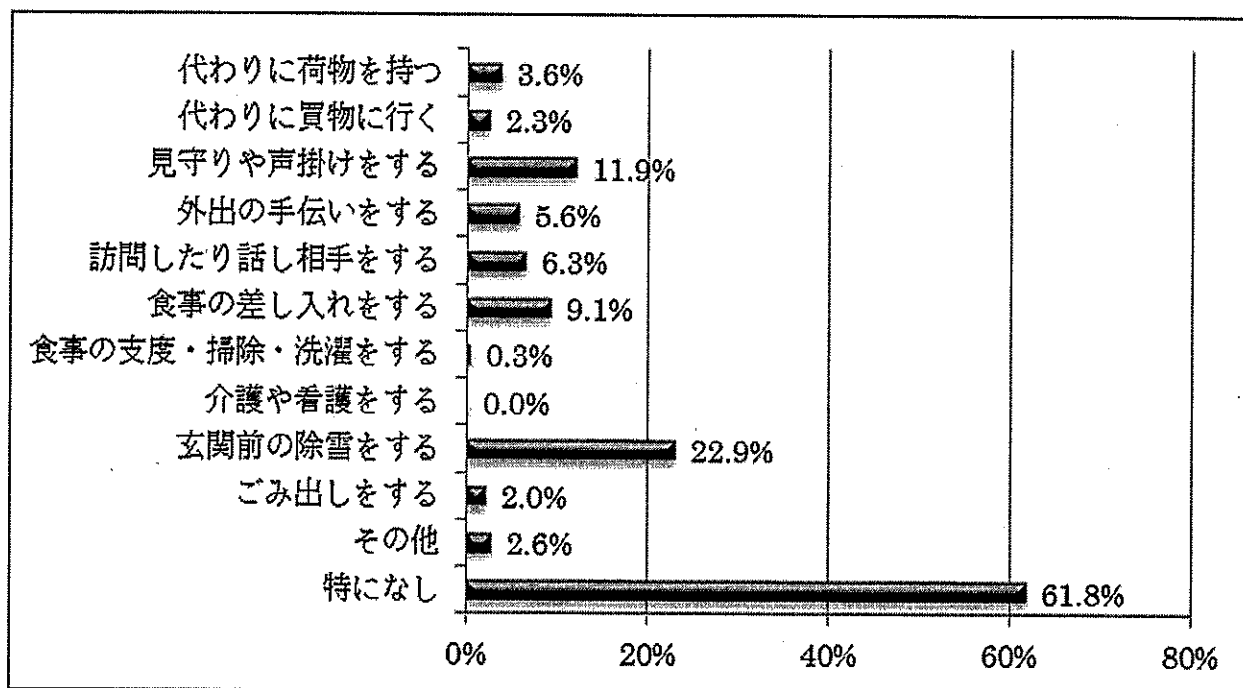
図12 近所との付き合い(607人)



問13 ご近所の方にどのようなお手伝いをした経験がありますか。（あてはまるもの全てに○）

「特になし(61.8%)」が最も多く、次いで「玄関前の除雪(22.9%)」、「見守りや声掛け(11.9%)」の順となっている。その他の理由としては「介護や医療など高齢者を対象とした仕事をしている」がある。

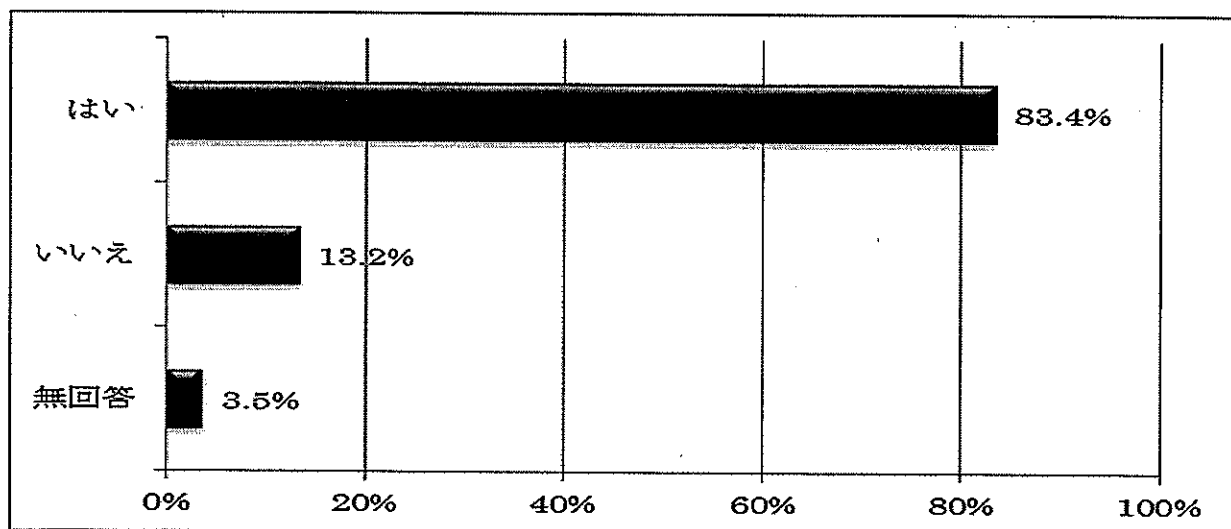
図13 近所での手伝い経験(607人)



問14 家族や友人の相談にのっていますか。（1つに○）

「いいえ(13.2%)」より「はい(83.4%)」が多くなっている。

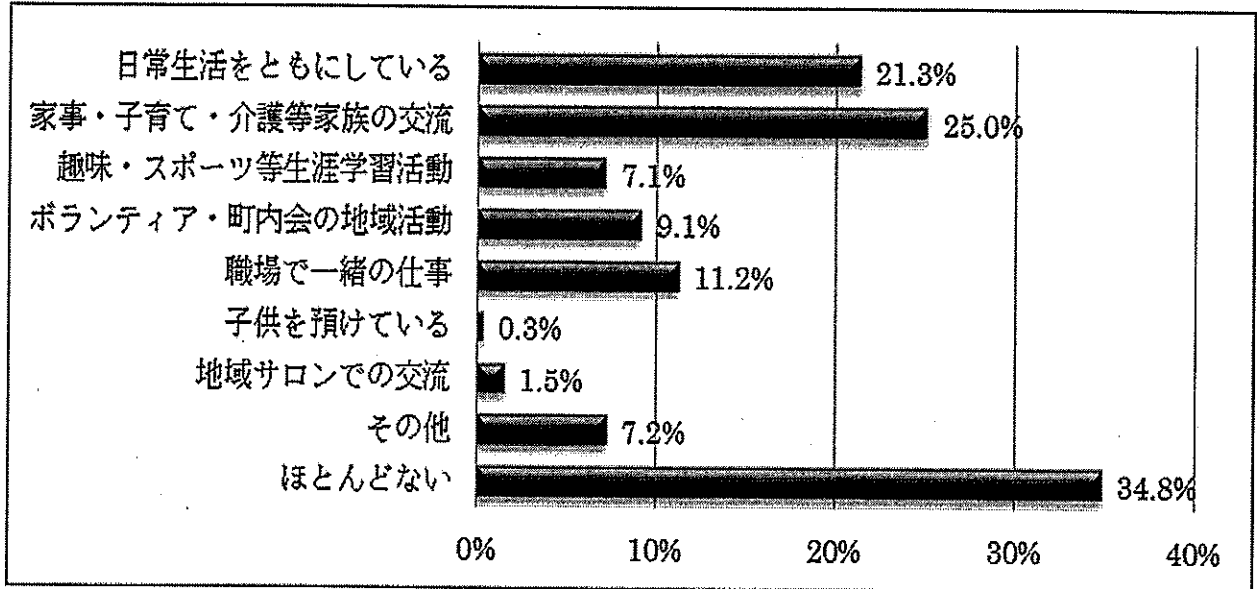
図14 家族や友人の相談(607人)



問 15 高齢者とどのような交流があるかお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「ほとんどない(34.8%)」が最も多く、次いで「家事・子育て・介護等家族の交流(25.0%)」、「日常生活をともにしている(21.3%)」の順となっている。

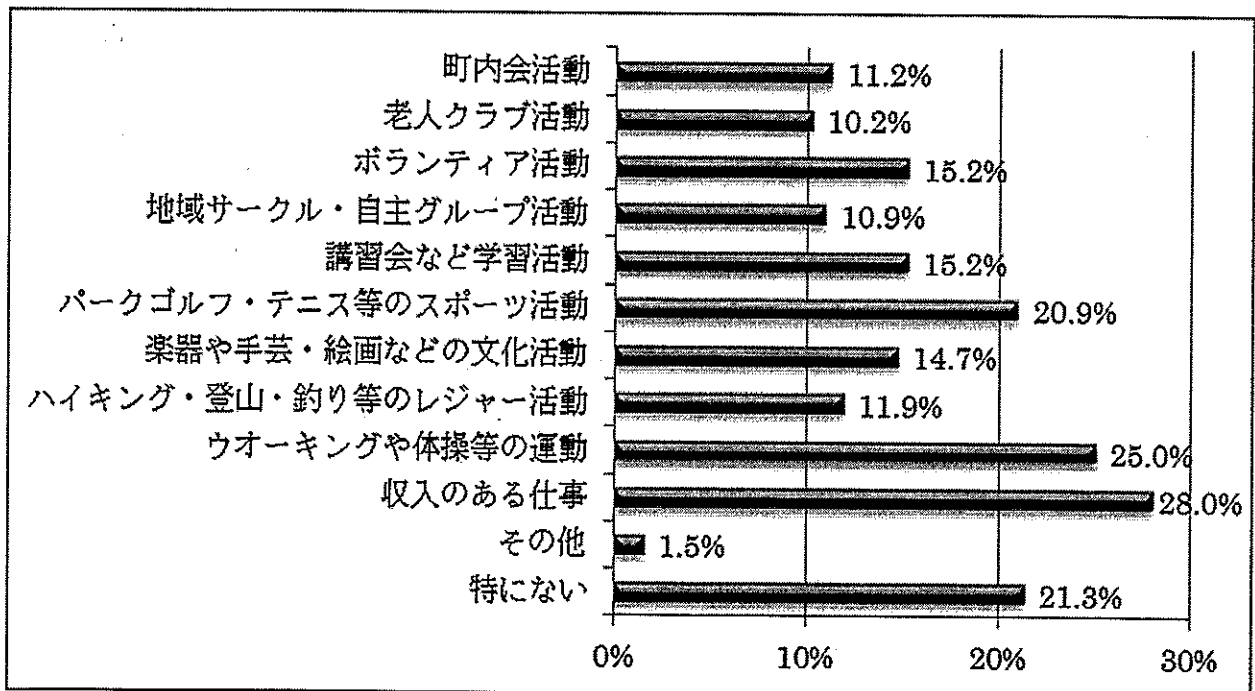
図 15 高齢者との交流(607人)



問 16 高齢期に取り組みたい活動はありますか。（3つ以内に○）

「収入のある仕事(28.0%)」が最も多く、次いで「ウオーキングや体操などの運動(25.0%)」、「パークゴルフ・テニス等のスポーツ活動(20.9%)」の順となっている。

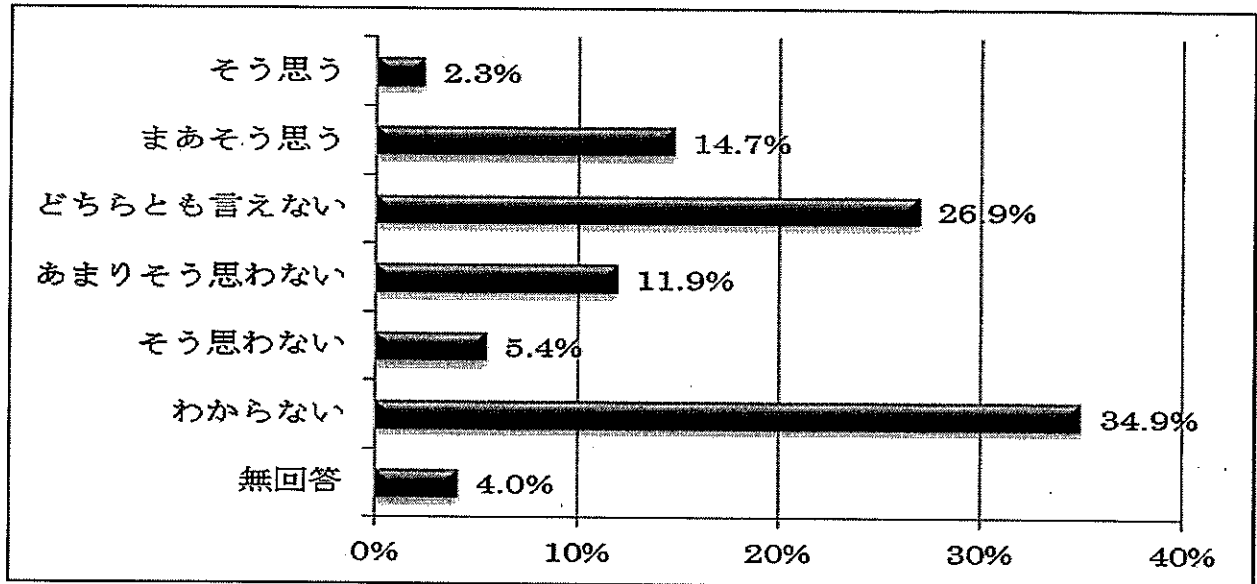
図 16 高齢期に取り組みたい活動(607人)



問17 幕別町は、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか。（1つに○）

「わからない(34.9%)」が最も多く、次いで「どちらとも言えない(26.9%)」の順となっている。

図17 高齢者が社会参加できる機会(607人)

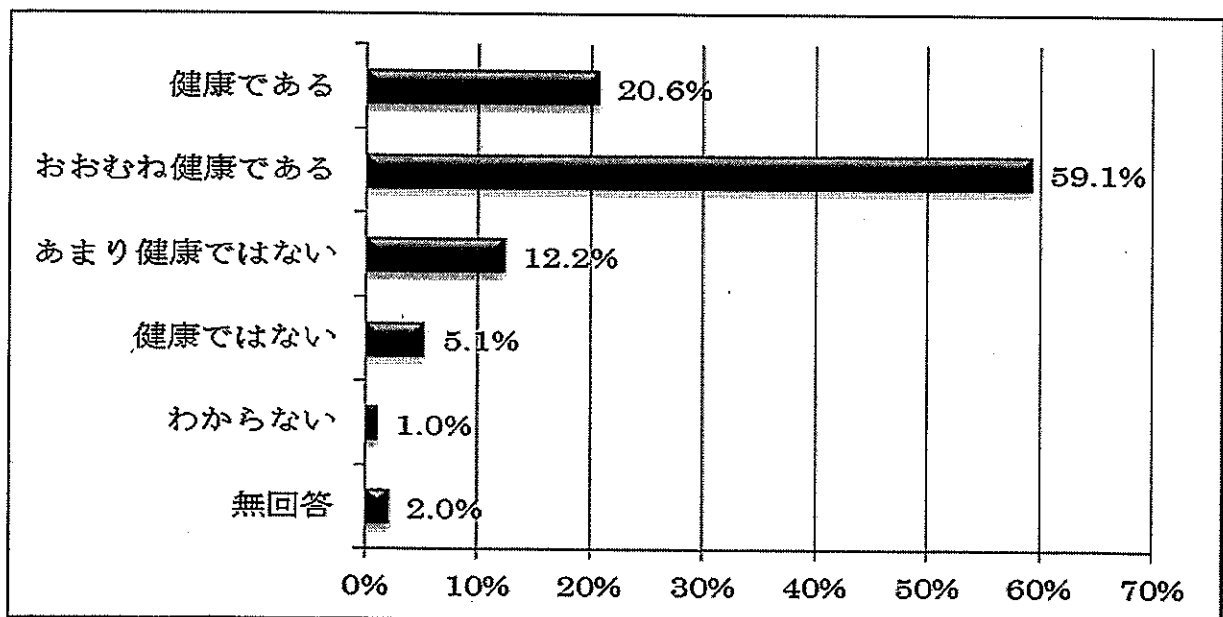


(3) 心身の状況

問18 自分は健康だと思いますか。（1つに○）

「おおむね健康である(59.1%)」が最も多く、次いで「健康である(20.6%)」の順となっている。

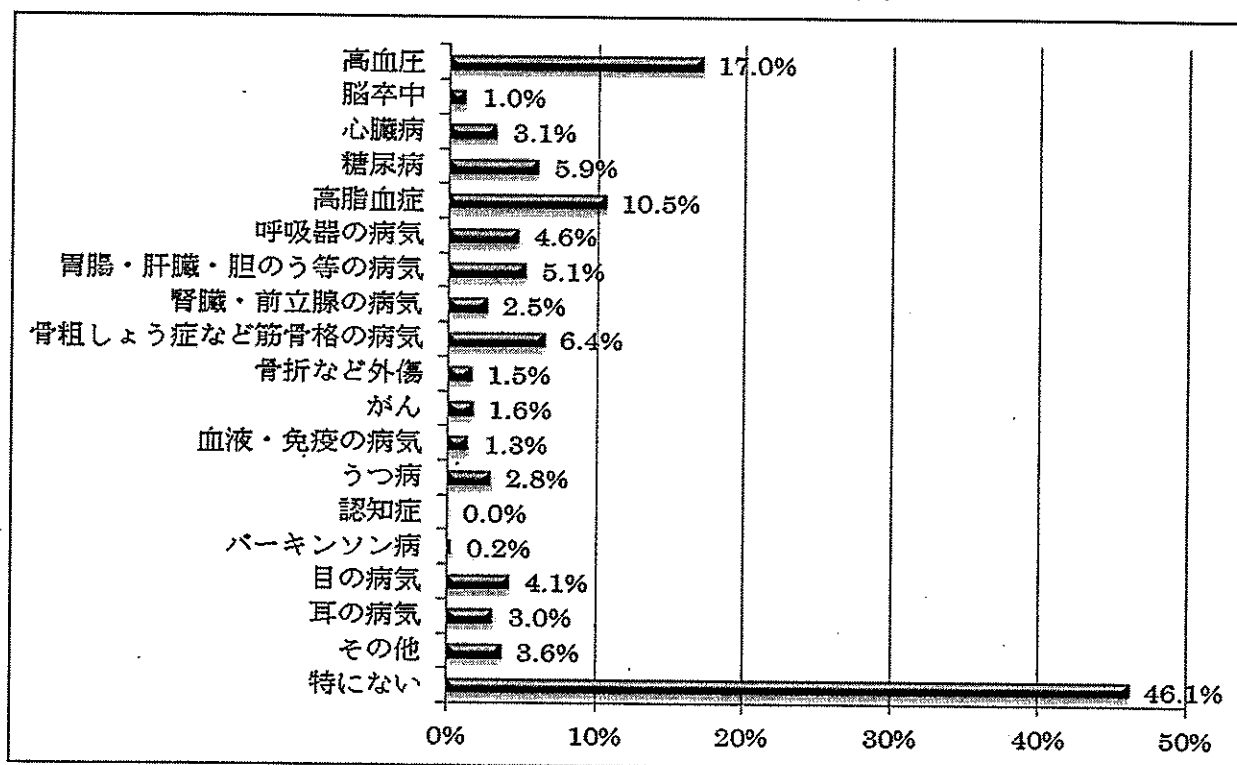
図18 健康状態(607人)



問19 現在治療中もしくは後遺症のある病気はありますか。（あてはまるもの全てに○）

「特にない(46.1%)」となっているが、治療中若しくは後遺症のある病気としては、「高血圧(17.0%)」が最も多く、次いで「高脂血症(10.5%)」の順となっている。

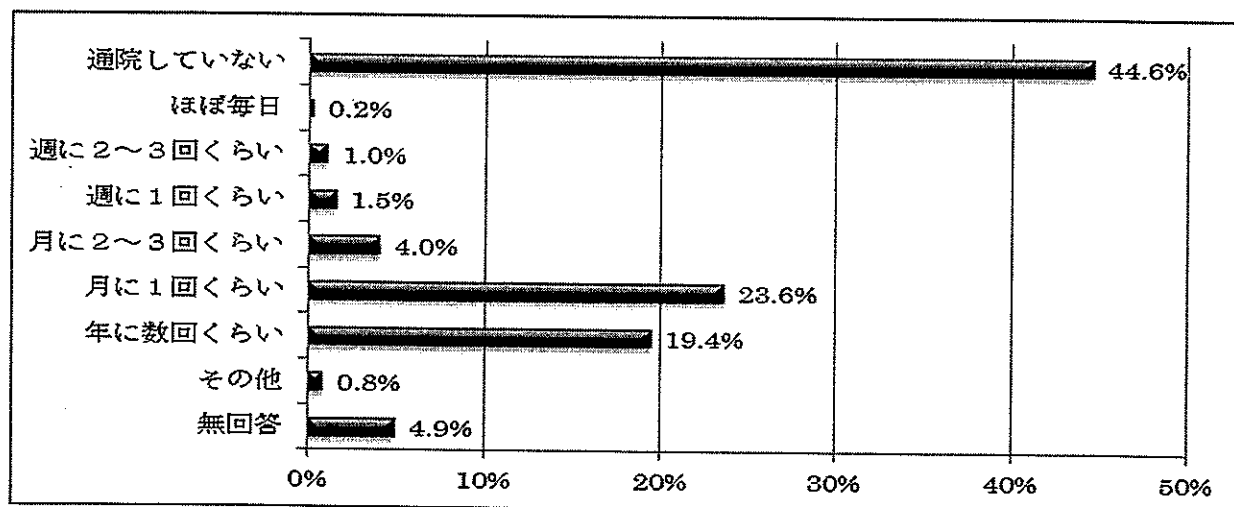
図19 現在の治療や後遺症(607人)



問20 現在の通院頻度についてお答えください。（1つに○）

「通院していない(44.6%)」が最も多く、次いで「月に1回くらい(23.6%)」、「年に数回くらい(19.4%)」の順となっている。

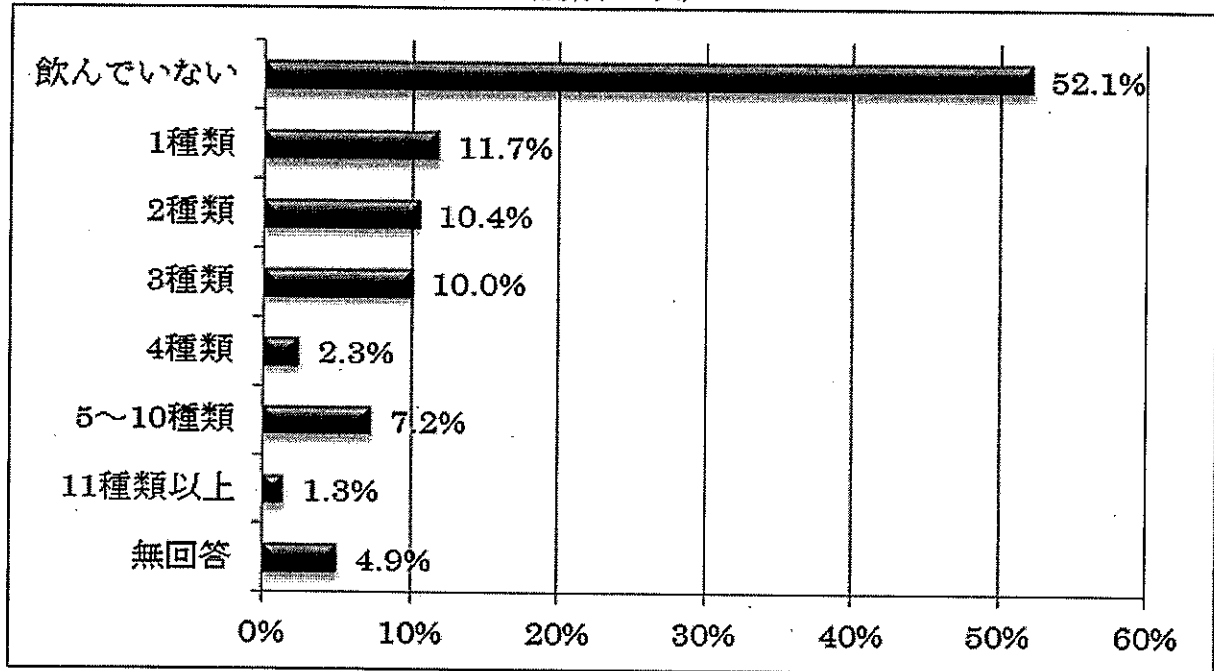
図20 通院頻度(607人)



問 21 現在の服薬頻度についてお答えください。（1つに○）

「飲んでいない(52.1%)」が最も多くなっている。

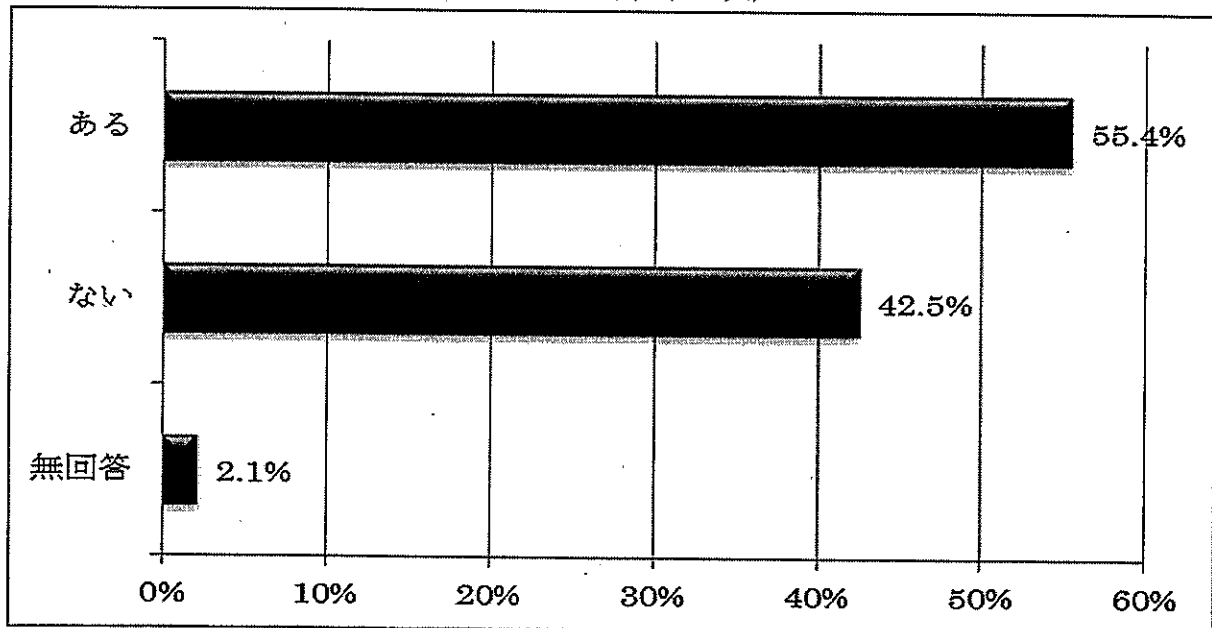
図 21 服薬(607人)



問 22 かかりつけ医はありますか。（1つに○）

「ない(42.5%)」より「ある(55.4%)」が多くなっている。

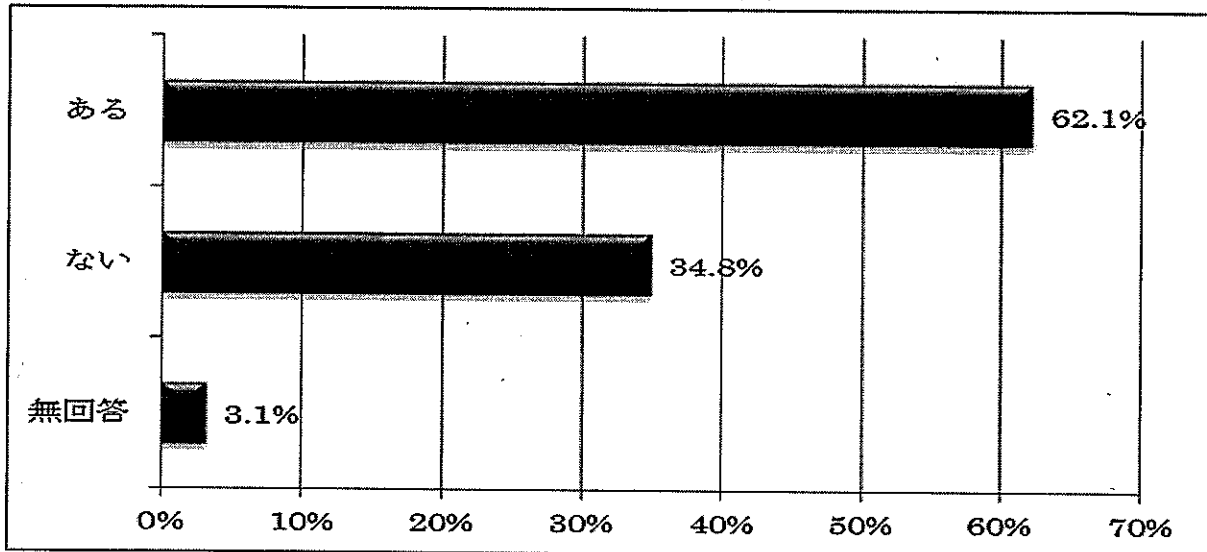
図 22 かかりつけ医(607人)



問23 かかりつけ歯科医はありますか。（1つに○）

「ない(34.8%)」より「ある(62.1%)」が多くなっている。

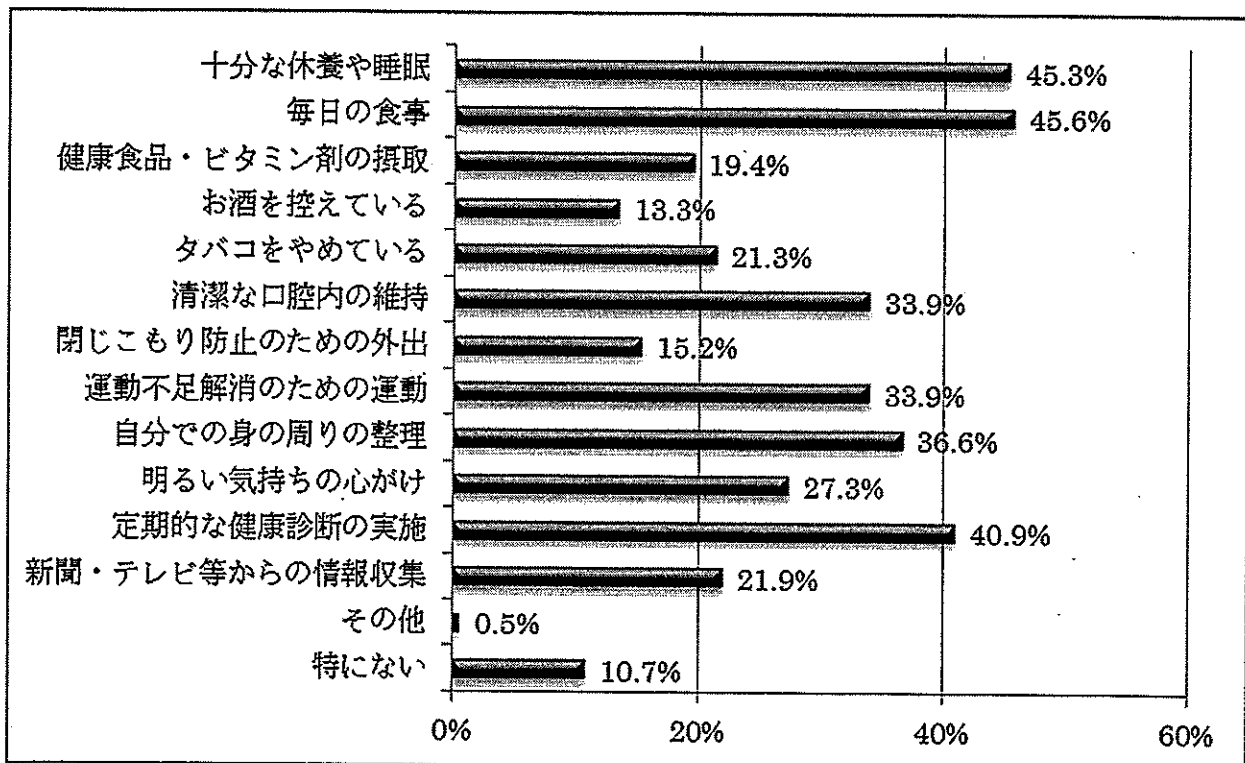
図23 かかりつけ歯科医(607人)



問24 健康のために気を付けていることについてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「毎日の食事(45.6%)」が最も多く、次いで「十分な休養や睡眠(45.3%)」、「定期的な健康診断の実施(40.9%)」の順となっている。

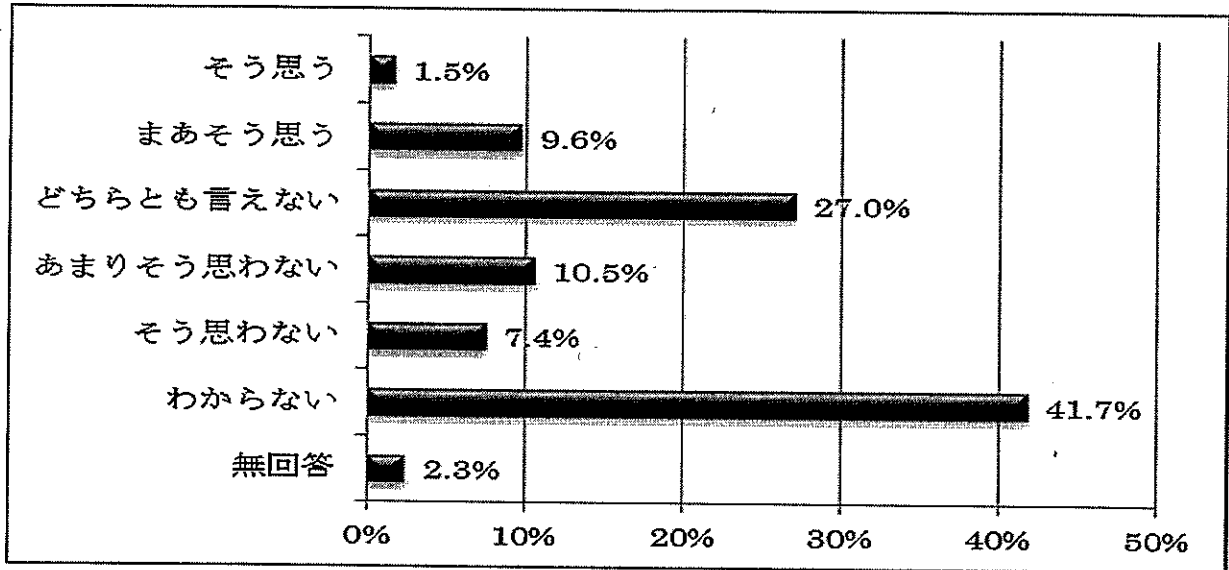
図24 健康のために気を付けていること(607人)



問 25 幕別町では、高齢者が介護を必要とせずに元気で暮らし続けるための取組が十分行われていると思いますか。（1つに○）

「わからない(41.7%)」が最も多く、次いで「どちらとも言えない(27.0%)」の順となっている。

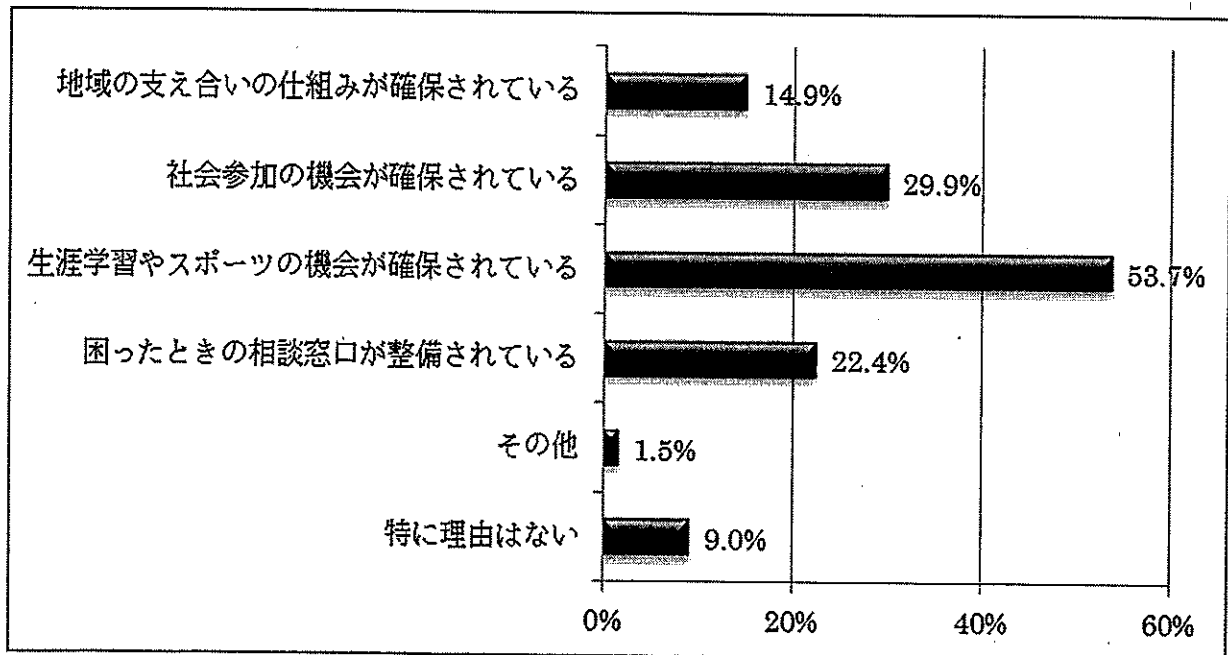
図 25 幕別町の高齢者に対する取組み(607人)



問 25-1 問 25 で「1 そう思う」「2 まあそう思う」に○を付けた方にお尋ねします。そう思う理由についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「生涯学習やスポーツの機会が確保されている(53.7%)」が最も多く、次いで「社会参加の機会が確保されている(29.9%)」の順となっている。

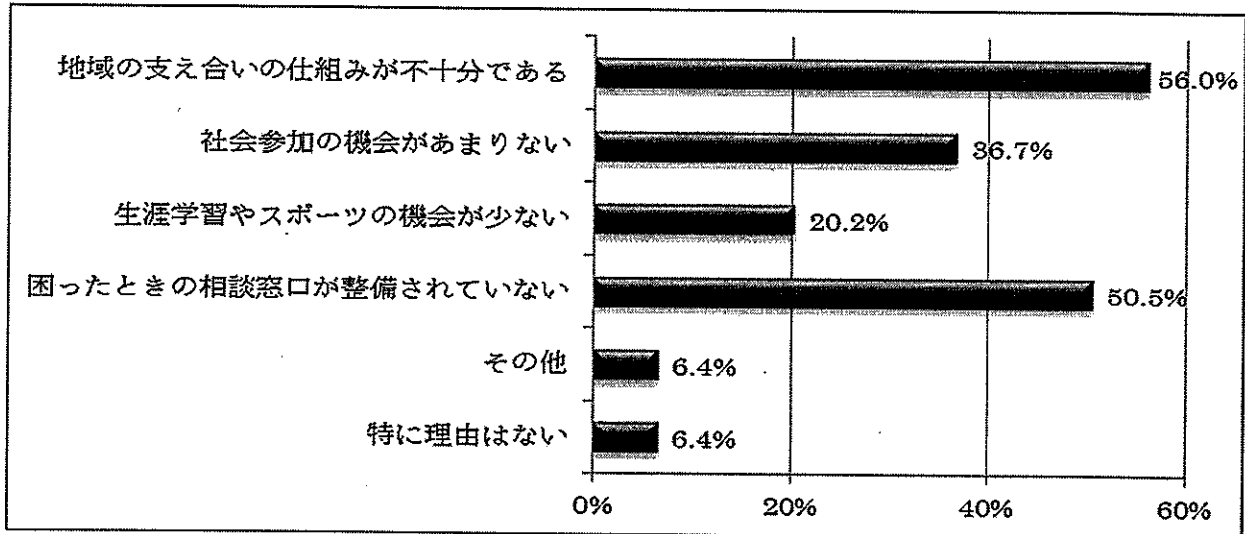
図 25-1 高齢者に対する取組がされていると思う理由(67人)



問 25-2 問 25 で「4 あまりそう思わない」「5 そう思わない」に○を付けた方にお尋ねします。そう思う理由についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「地域の支え合いの仕組みが不十分である(56.0%)」が最も多く、次いで「困った時の相談窓口が整備されていない(50.5%)」の順となっている。その他の意見としては、「情報の周知、告知がないように思う」、「高齢者の社会参加の機会はあるが、特定の人になっている気がする」などの意見があった。

図 25-2 高齢者に対する取組がされていないと思う理由(109人)

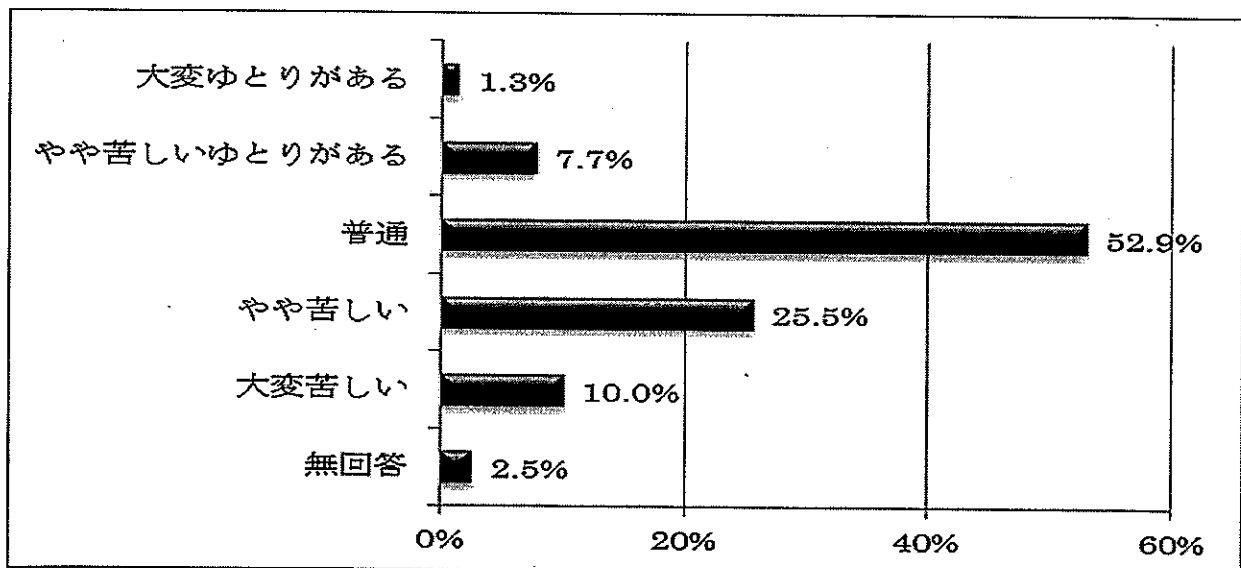


(4) 経済生活

問 26 現在の暮らしぶりを総合的に見てどう感じますか。（1つに○）

「普通(52.9%)」が最も多く、次いで「やや苦しい(25.5%)」、「苦しい(10.0%)」の順となっている。

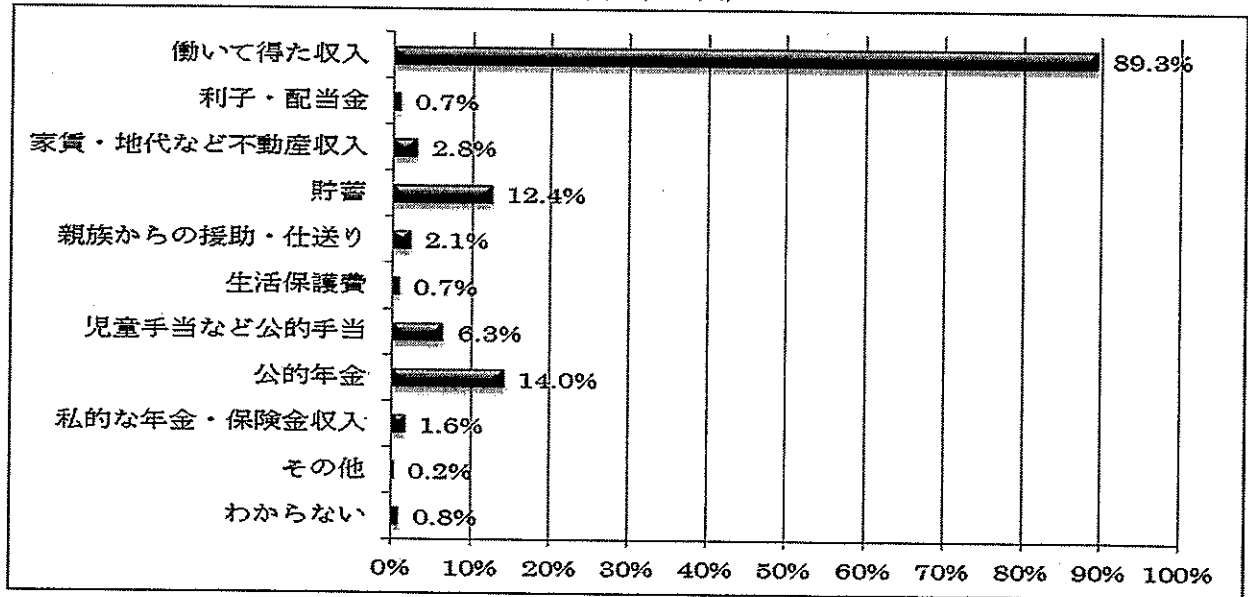
図 26 暮らしぶり(607人)



問 27 生活費に充てている収入についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「働いて得た収入(89.3%)」が最も多く、次いで「公的年金(14.0%)」、「貯蓄(12.4%)」の順となっている。

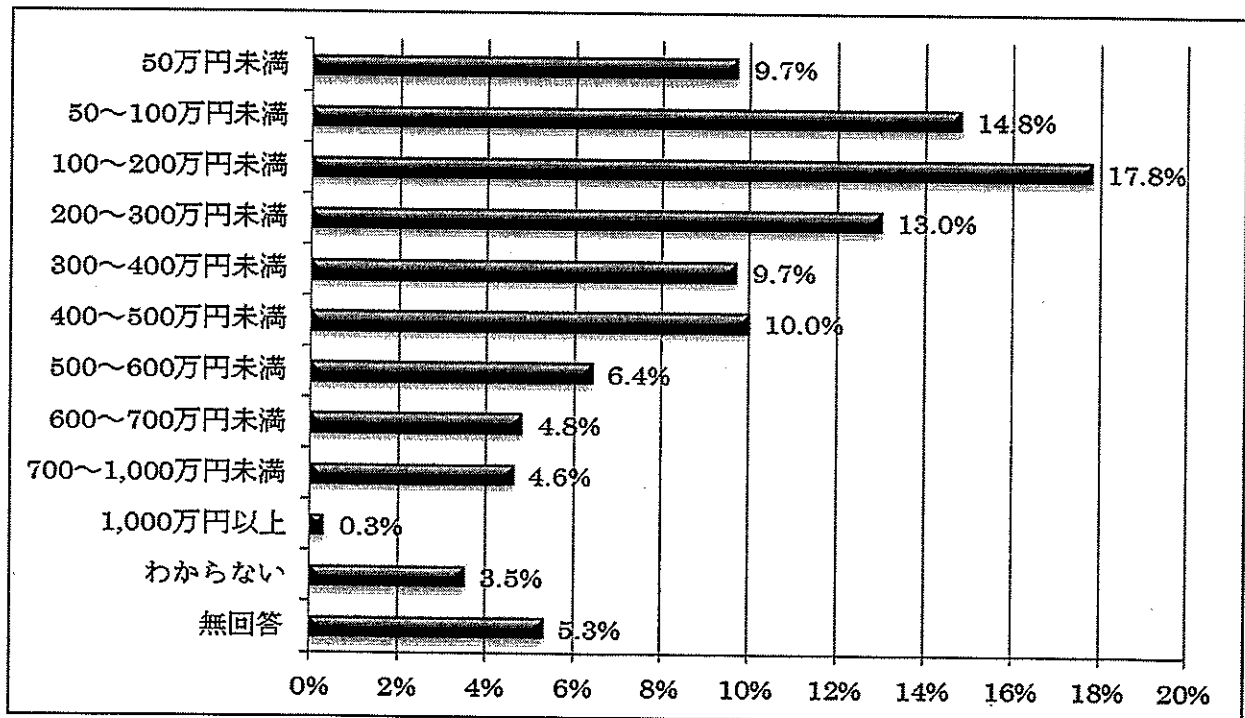
図 27 収入(607人)



問 28 過去1年間の収入はいくらですか。（1つに○）

「100～200万円未満(17.8%)」が最も多く、次いで「50～100万円未満(14.8%)」、「200～300万円未満(13.0%)」の順となっている。

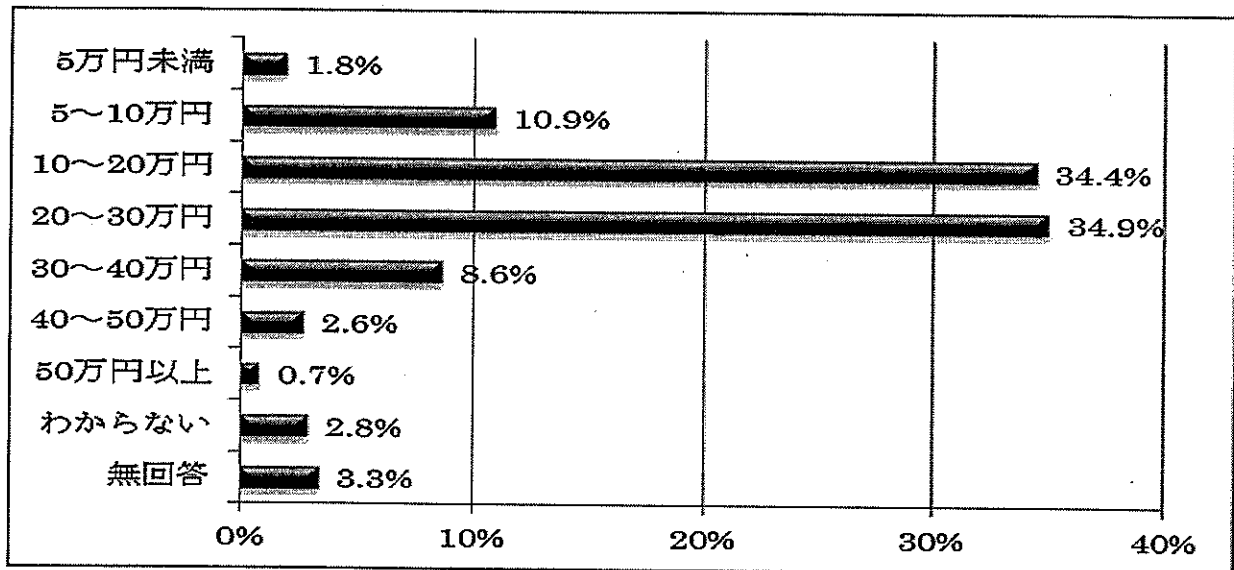
図 28 1年間の収入金額(607人)



問29 世帯の1か月の生活費はいくらですか。（1つに○）

「20～30万円(34.9%)」が最も多く、次いで「10～20万円未満(34.4%)」の順となっている。

図29 1か月の生活費(607人)

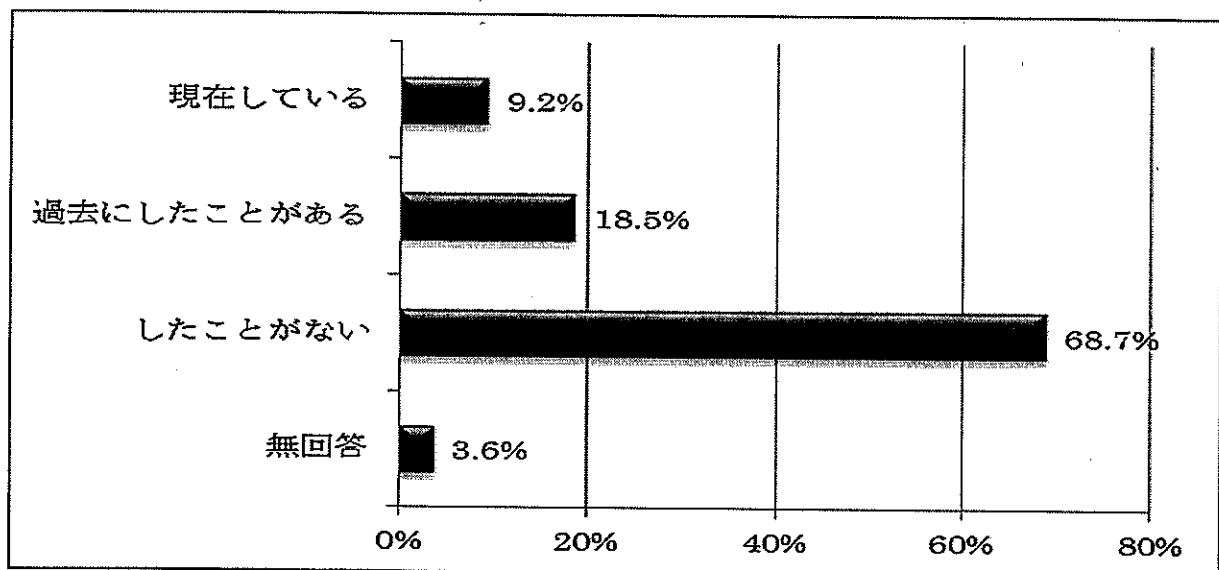


(5) 介護保険・介護

問30 家族の介護をしたことがありますか。（1つに○）

「したことがない(68.7%)」が最も多いが、一方で「現在している(9.2%)」、「過去にしたことがある(18.5%)」と3割の方が介護の経験を有しているとなっている。

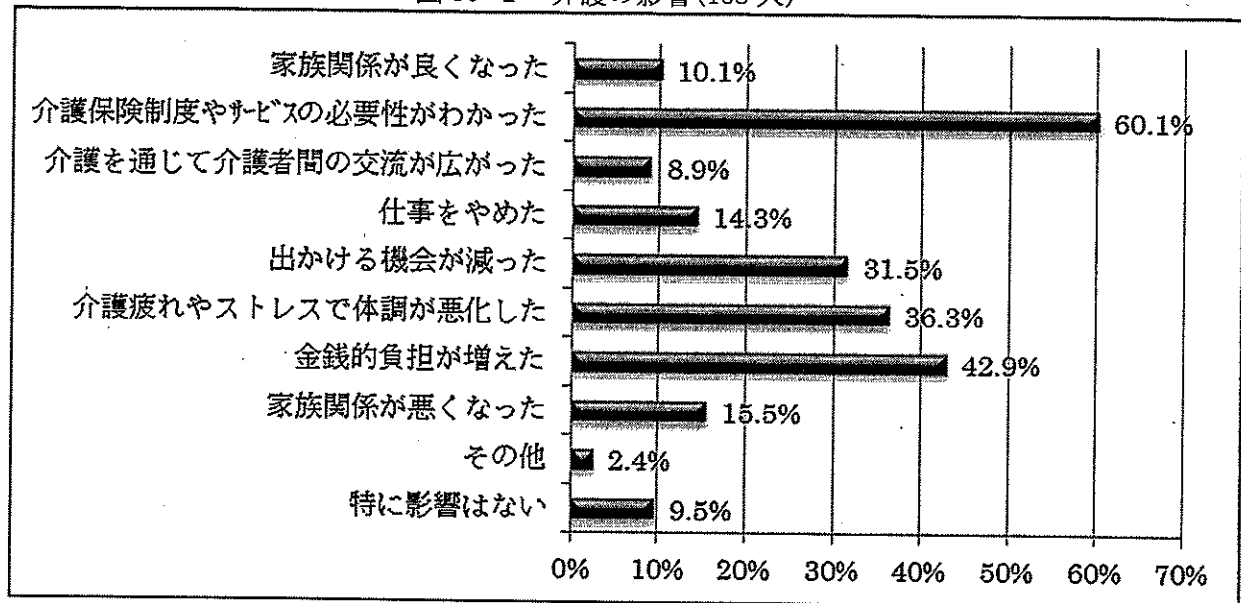
図30 介護経験(607人)



問30-1 問30で「1 現在している」「2 過去にしたことがある」に○を付けた方にお尋ねします。家族の介護による影響はどのようなものがありましたか。(あてはまるもの全てに○)

「介護保険制度やサービスの必要性がわかった(60.1%)」が最も多く、次いで「金銭的負担が増えた(42.9%)」、「介護疲れやストレスで体調が悪化した(36.3%)」の順となっている。

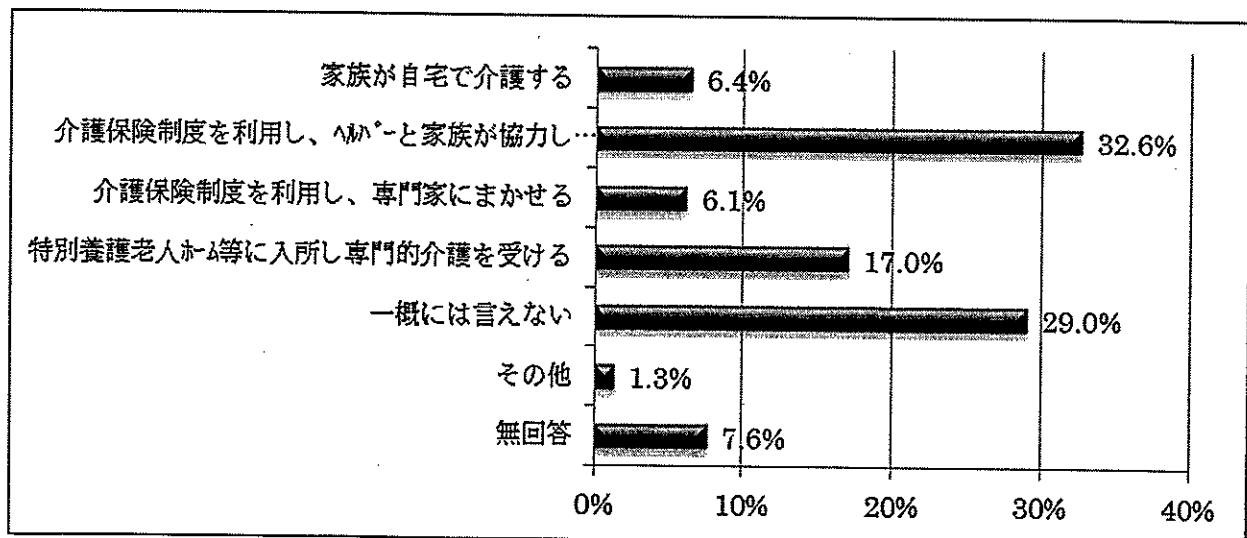
図30-1 介護の影響(168人)



問31 身近な人が介護を必要とする状態になった時にどのような介護をするのが良いと思うかあなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(1つに○)

「介護保険制度を利用し、ヘルパーと家族が協力して介護する(32.6%)」が最も多くなっている。その他としては、「状態に合わせた介護の必要」、「本人の意思をどこまで汲みとってサービスのすりあわせができるか」などの意見があった。

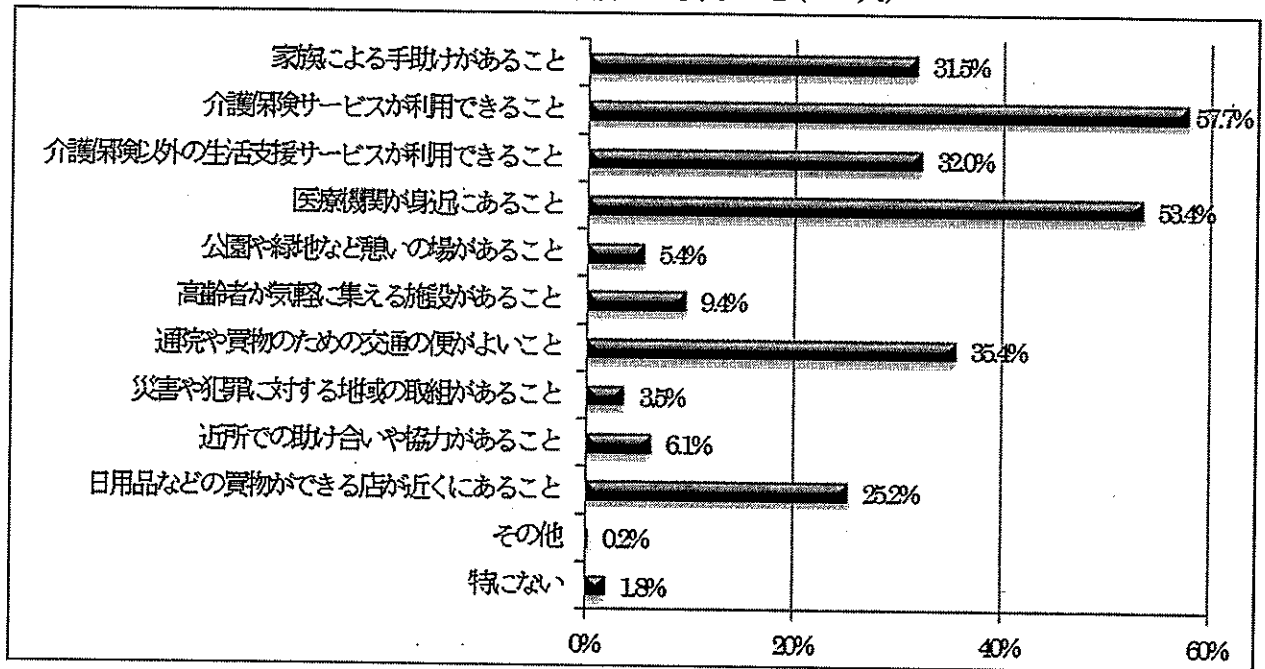
図31 介護に対する考え方(607人)



問 32 高齢期にあなたが希望する場所で暮らすためにはどのようなことが必要だと思いますか。（3つ以内に○）

「介護保険サービスが利用できること（57.7%）」が最も多く、次いで「医療機関が身近にあること（53.4%）」、「通院や買物のための交通の便が良いこと（35.4%）」の順となっている。

図 32 高齢期に暮らす場所で必要なこと（607人）

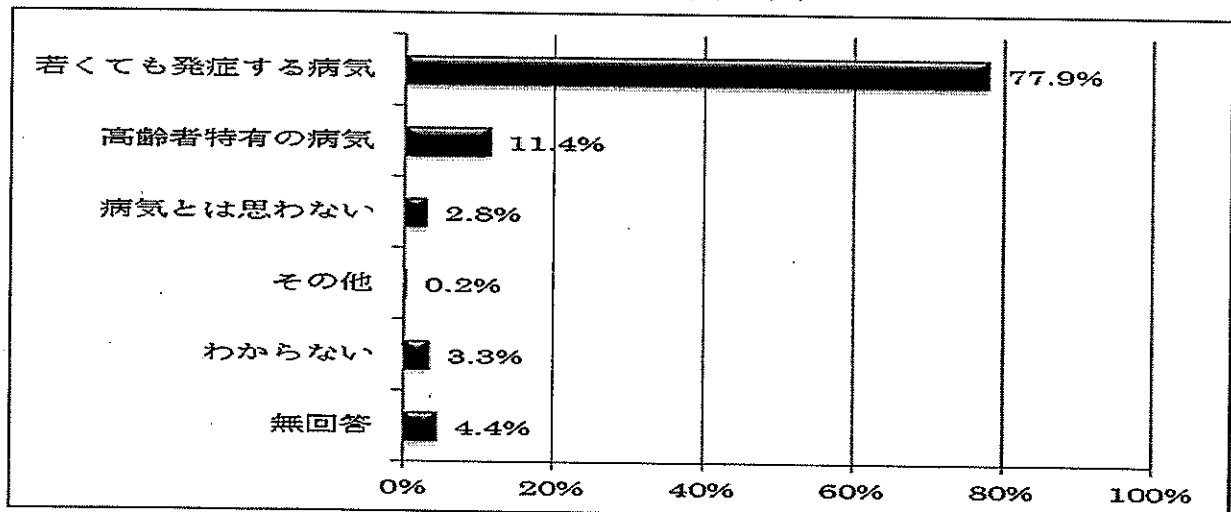


（6）その他

問 33 認知症について、あなたの認識に近いものをお答えください。（1つに○）

「若くても発症する病気（77.9%）」が最も多く、約8割の方が認知症が若くても発症する病気と認識している。

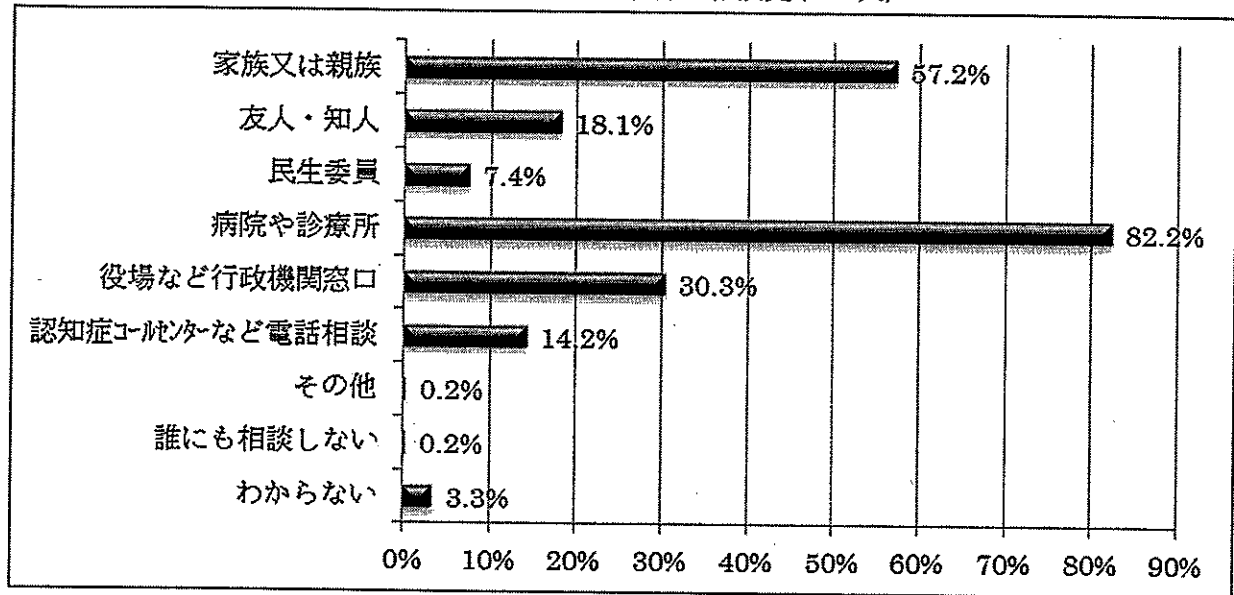
図 33 認知症に対する認識（607人）



問34 身近な方に認知症がある場合の相談先についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「病院や診療所(82.2%)」が最も多く、次いで「家族又は親族(57.2%)」、「役場などの行政機関窓口(30.3%)」となっている。

図34 認知症になった場合の相談先(607人)

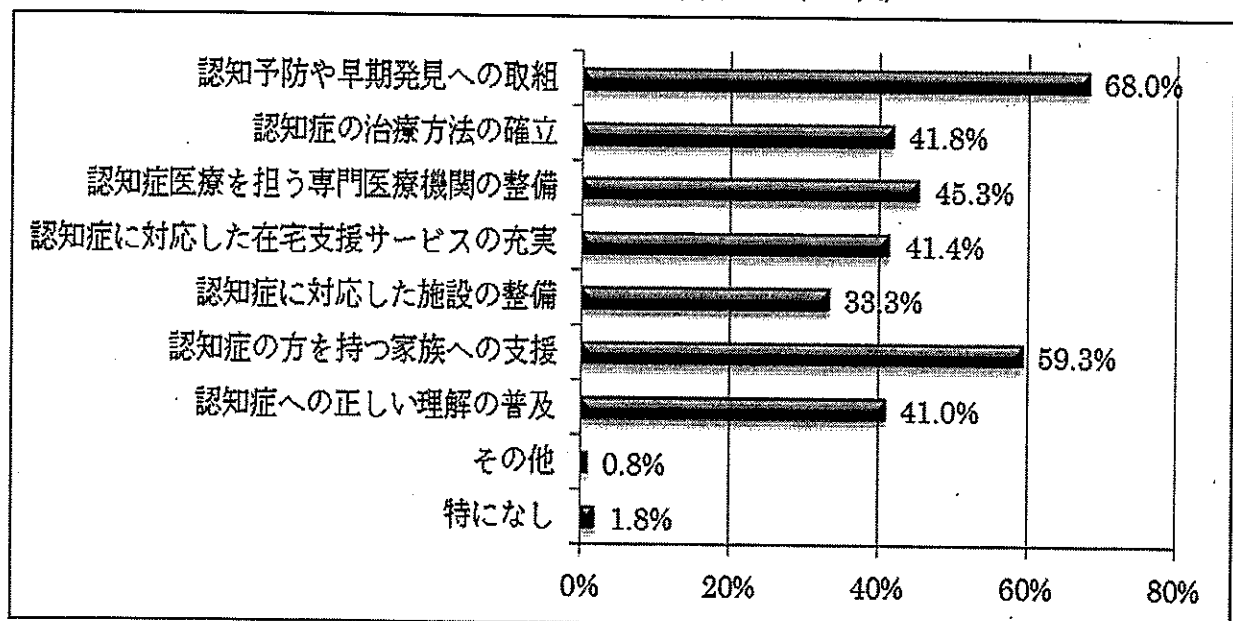


問35 認知症対策として最も重要なことは何だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「認知予防や早期発見への取組(68.0%)」が最も多く、次いで「認知症を持つ家族への支援(59.3%)」、「認知症医療を担う専門医療機関の整備(45.3%)」の順となっている。

その他としては、「予防の取組への具体的な支援が少ない」、「情報が欲しい」などの意見があった。

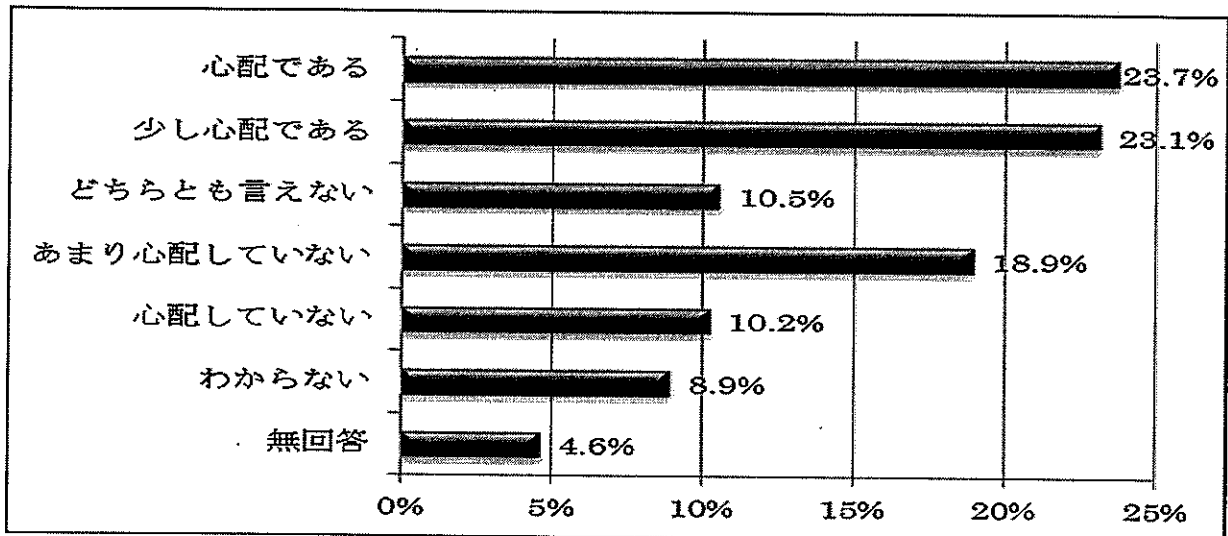
図35 認知症対策として重要なこと(607人)



問 36 孤立死について心配がありますか。（1つに○）

「心配である（23.7%）」が最も多く、次いで「少し心配である（23.1%）」となっており、約5割の方が孤立死に対して何らかの心配をしている。

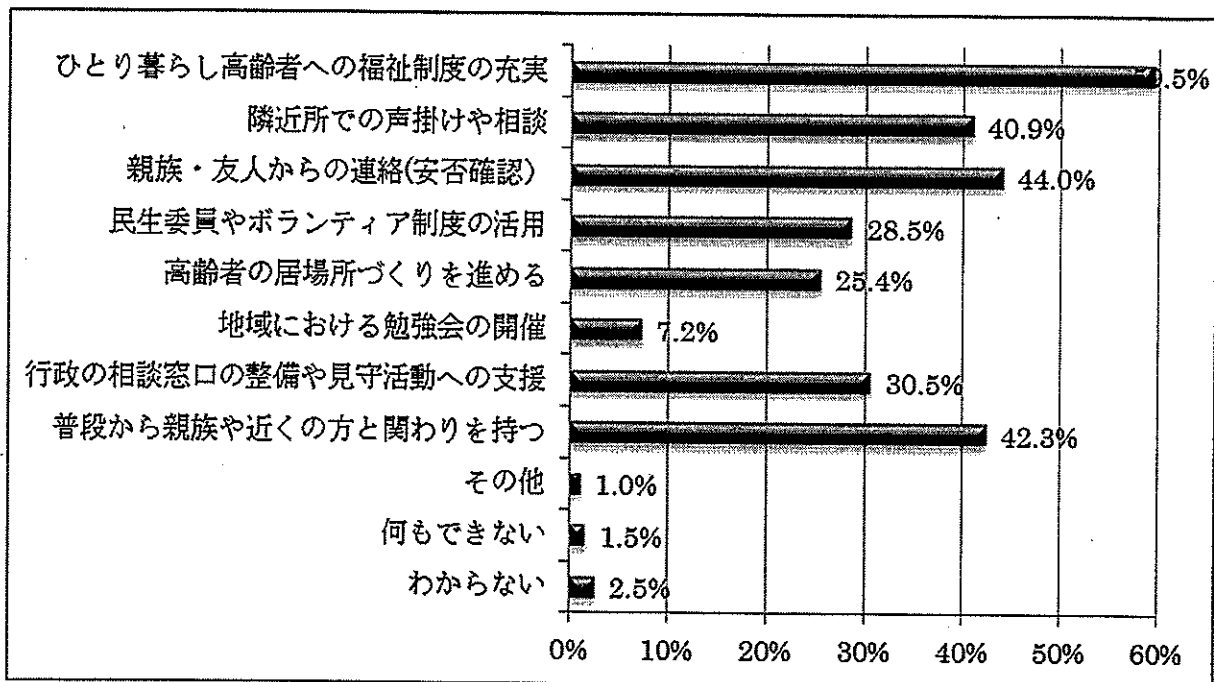
図 36 孤立死への心配（607人）



問 37 孤立死を減らすための方法として効果的と思うことは何だと思いませんか。（あてはまるもの全てに○）

「ひとり暮らし高齢者への福祉制度の充実（59.5%）」が最も多く、次いで「親族・友人からの連絡（44.0%）」、「普段から親族や近くの方と何らかの関わりを持つ（42.3%）」の順となっている。

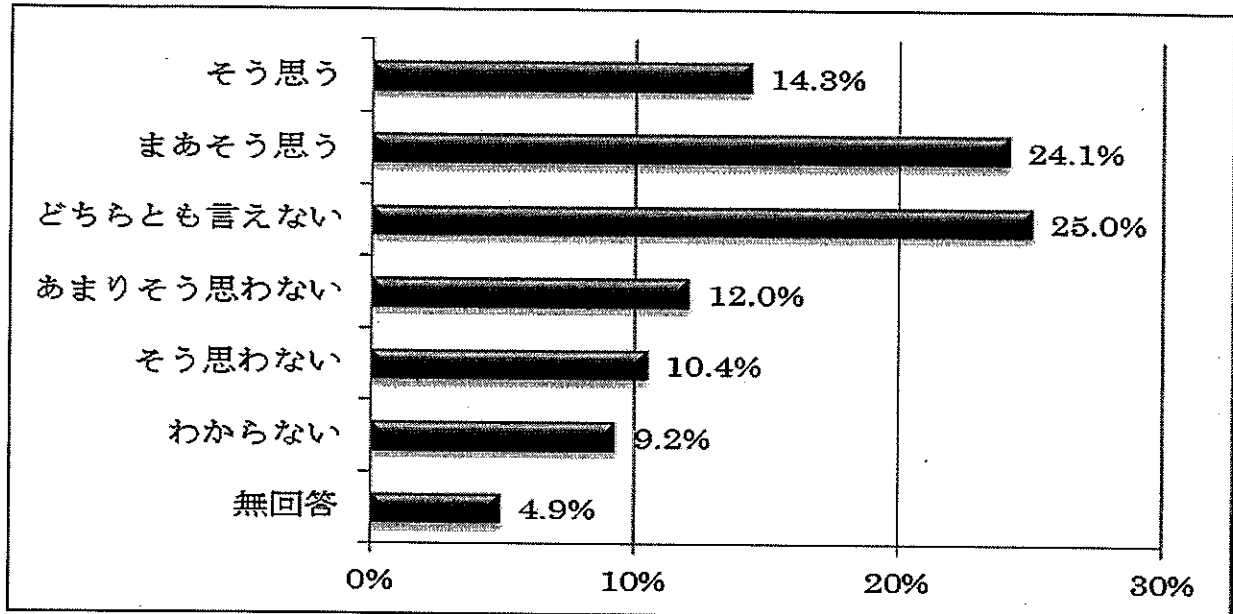
図 37 孤立死を減らすために効果的なこと（607人）



問 38 今の社会では、他の世代に比べて高齢者は優遇されていると思いますか。（1つに○）

「どちらとも言えない(25.0%)」が最も多く、次いで「まあそう思う(24.1%)」、「そう思う(14.3%)」の順になっている。

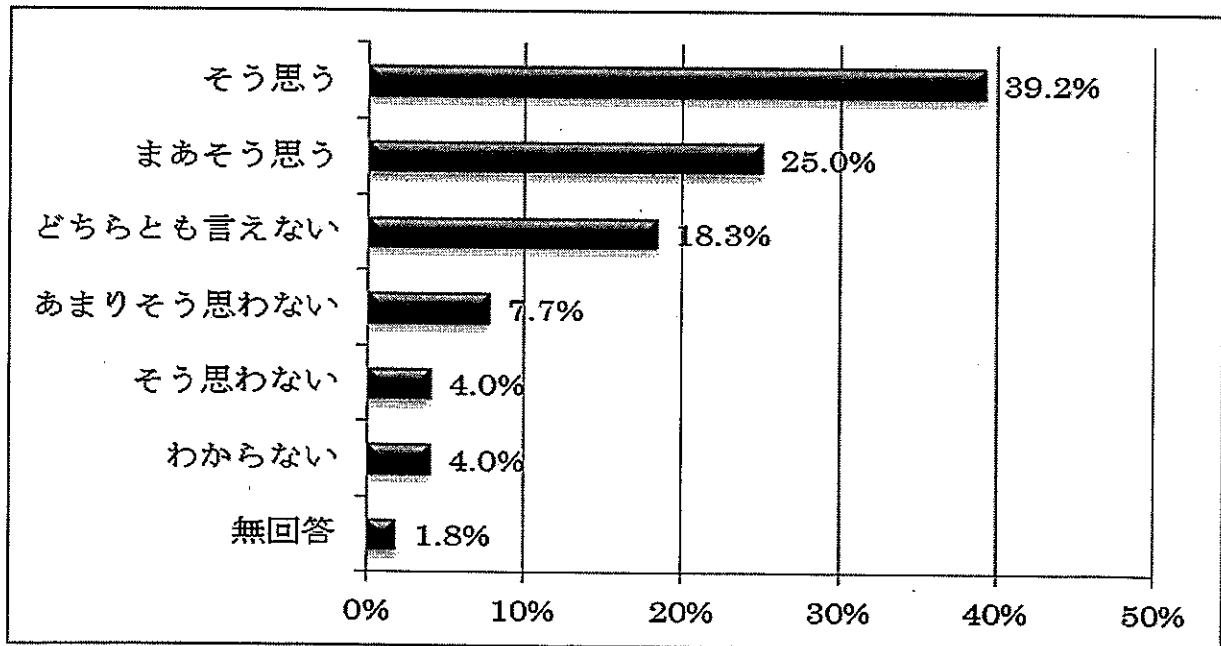
図 38 高齢者の環境(607人)



問 39 今の社会では、一般に若年者に負担がかかっていると思いますか。（1つに○）

「そう思う(39.2%)」が最も多く、次いで「まあそう思う(25.0%)」の順となっている。

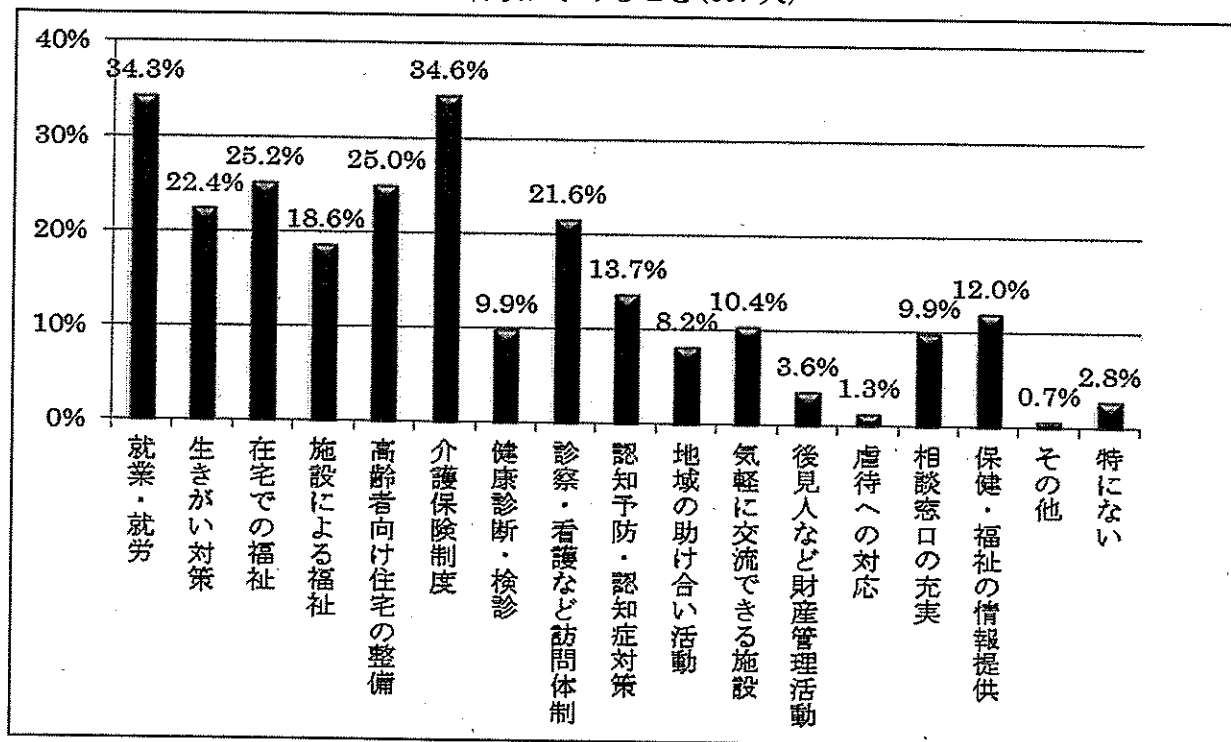
図 39 若年者への負担(607人)



問 40 老後を安心して過ごすために行政に充実を求めることはどのようなことと考えますか。（3つ以内に○）

「介護保険制度(34.6%)」が最も多く、次いで「就業・就労(34.3%)」、「在宅での福祉(25.2%)」の順となっている。その他の意見として「介護の従業員不足や重労働にも関わらず賃金が安い」など介護従事者に対する要望もあった。

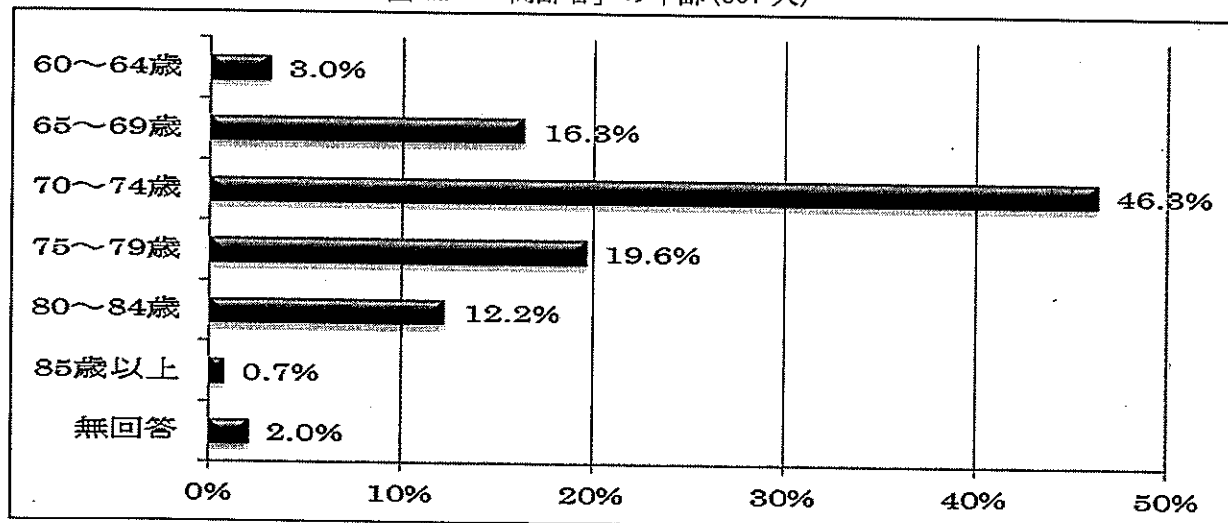
図 40 行政に求めること(607人)



問 41 「高齢者」とは何歳からだと思いますか。（1つに○）

「70～74歳(46.3%)」が最も多く、次いで「75～79歳(19.6%)」となっており、概ね70歳代からの認識が多くなっている。

図 41 「高齢者」の年齢(607人)



～自由意見・要望～

自由意見は81件で、回答数の13.3%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●情報・知識に関すること

- ・普段からの知識をもつことが大切。
- ・現在の保健サービスや介護保険制度がどのようなになっているのかわからない。
- ・本人や家族が相談に行く前にサービスやどの状態の人が利用できるのか分かるように。
- ・気軽に相談できる窓口の整備と、チラシなど分かりやすく書いたものを配布するなど、介護を相談しようと思っている人のハードルを下げる工夫をしてほしい。
- ・ある一定の年齢になったら幕別町の保健サービスについての勉強会があると良い。
- ・高齢になる前（50歳代）に情報や知識が与えられる場や時間ができるように取り組んでほしい。

●認知予防の取組みに対する支援

- ・認知症の症状が出てきたとき進行を遅らせたいが、予防の段階ではこれといったサービスがない。高齢者が集い、認知症を予防できる活動があれば積極的に参加してほしい。老人クラブでは認知症が出てくると疎外感があり、認知症高齢者対策をもっと進めてほしい。

●世代間交流の拡充

- ・介護施設や保育所、学校のそばにシニア会館を整備し、子供の見守りや夏の草取り、冬の除雪や勉強など入居者が得意なことをして、お年寄りから子供まで自分に出来ることで互いに支え合うことができるようパイプ役をしてほしい。
- ・地ぐるみで高齢になってから取り組むのではなく、幼児も含めて体操なり交流も兼ねていくのがよいと思う。幕別町でいつでも誰でもどこでも皆で出来る楽しい体操を取り組んでほしい。
- ・子供から老人までの交流を深め、全ての年代の人々に関心をもってもらい、子供⇄老人の循環した制度を構築してほしい。

●就労・生きがい

- ・65歳はまだ働けるので、社会の役に立てるそういう場所がほしい。
- ・仕事をやめても何か社会的な役割や生きがいになることで生き生きとした生活ができると考える。
- ・行政サイドで雇用の場を作ることができるくらい、企業誘致や観光施設の充実に努めてほしい。

●気軽に集える場所の整備

- ・雑談など気軽にできるような集える場所を設け、孤独感も和らげる場所がほしい。
- ・公区としてもう少し交流行事や勉強会があったら良いのではないかな。

●在宅医療の体制整備

- ・民間医療とタイアップした訪問医療やホームヘルパーを拡充するなど在宅介護を手厚くするか、老人ホームを作るなど施設整備を前面に押し出すなど何らかの有効な対策を期待する。
- ・自宅で看とれるよう医師や看護など訪問してくれるとありがたい。

●生活支援サービス

- ・外出が困難な方への移動販売のサービスがあると助かります。
- ・交通の便も良くないので、運転など出来なくなったら不安です。
- ・帯広への通院も大変、通院バスの助成をしてほしいです。

●介護家族への支援

- ・健康な高齢者でも家族が外泊する時に一泊でも預かってくれるところがあればよい。
- ・介護をする家族が休めるケアや場所の提供があればよい。

●高齢者向け住宅の整備

- ・低所得者でも安心して暮らせる施設の増設
- ・少ない年金の範囲内で入居できる施設が増えてほしい。
- ・独居老人の集団住宅の整備が必要。

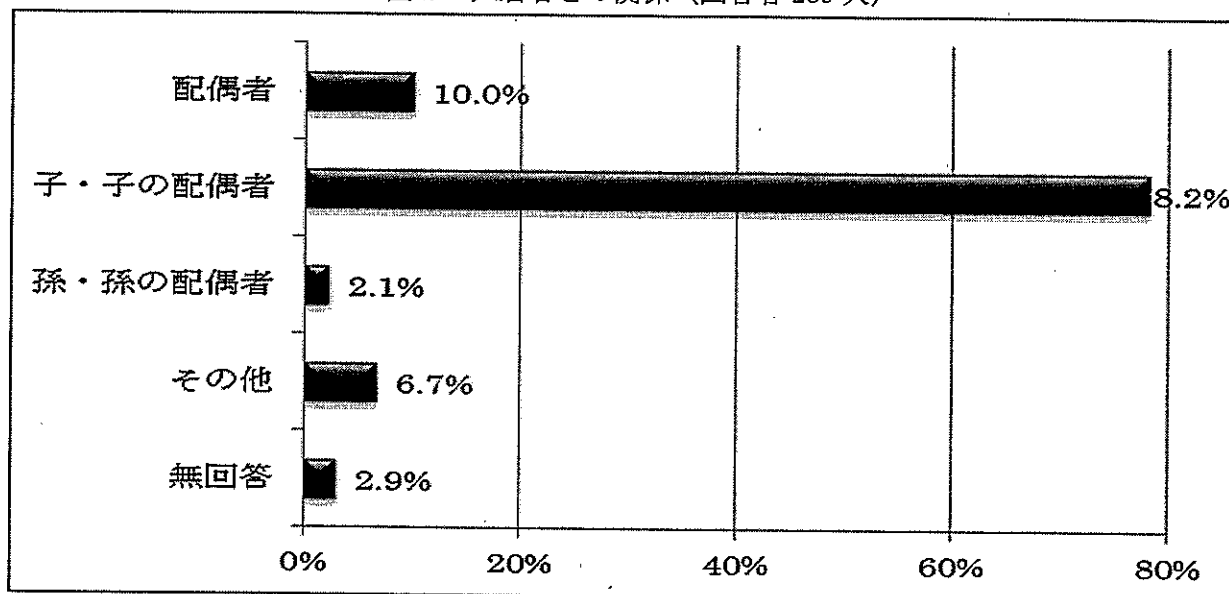
4 介護施設入居者の家族に対する調査

4 介護施設入居者の家族に対する調査結果

問1 介護施設入居者との関係をお答えください。(1つに○)

「子・子の配偶者(78.2%)」が他に比べて最も多くなっている。

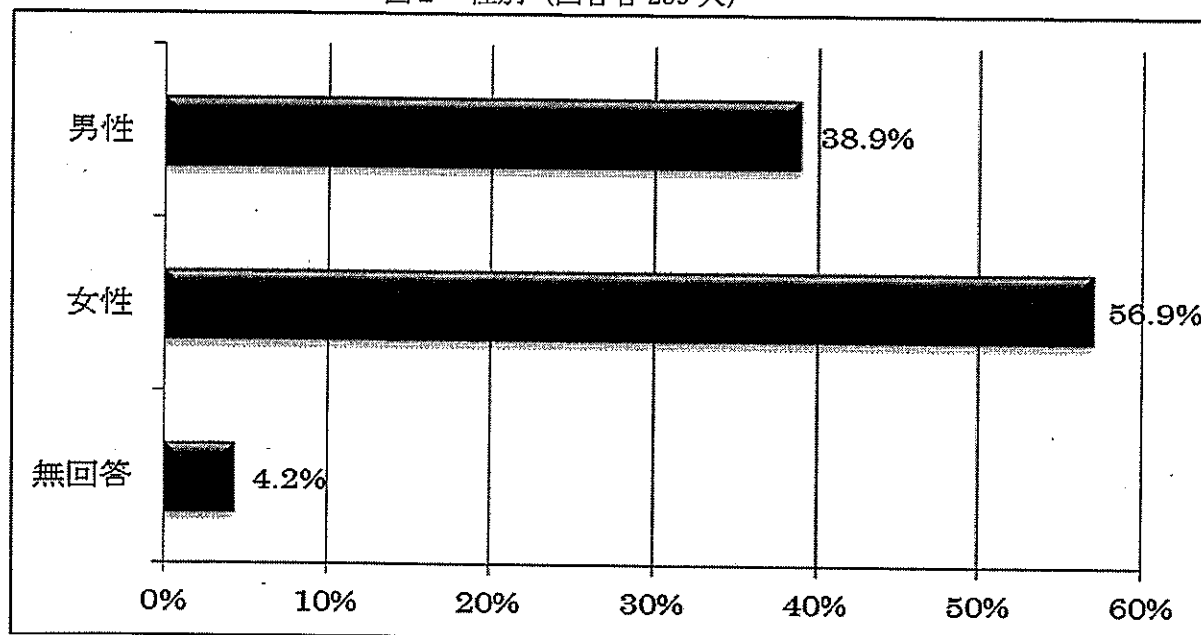
図1 入居者との関係 (回答者 239 人)



問2 性別をお答えください。(1つに○)

「男性(38.9%)」より「女性(56.9%)」が多くなっている。

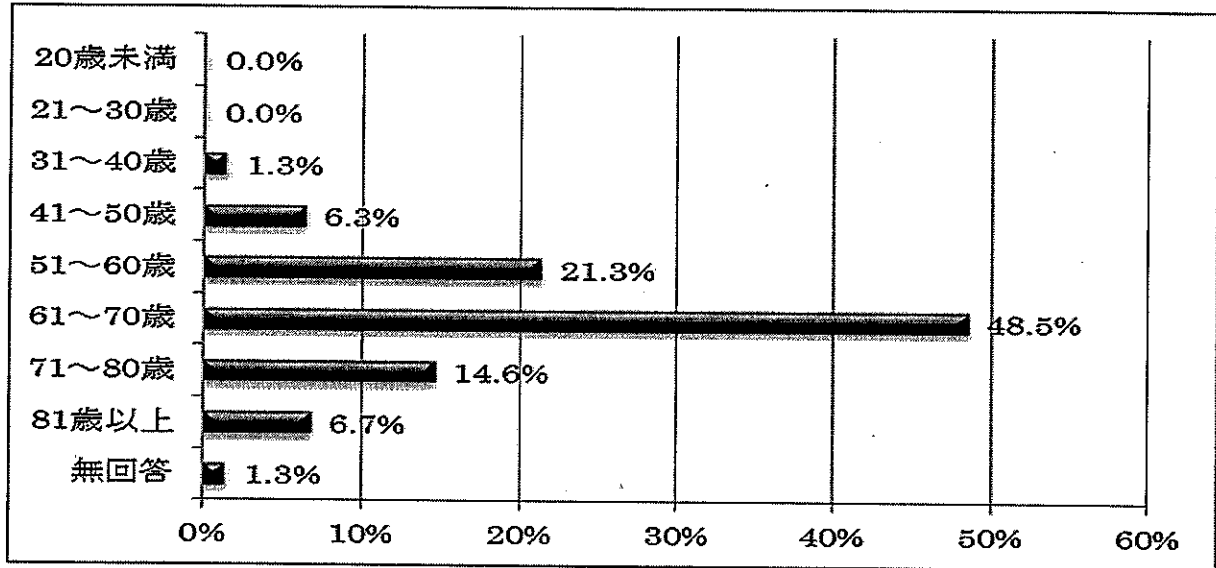
図2 性別 (回答者 239 人)



問3 年齢をお答えください。(1つに○)

「61歳～70歳(48.5%)」が最も多く、次いで「51～60歳(21.3%)」、「71～80歳(14.6%)」の順となっている。

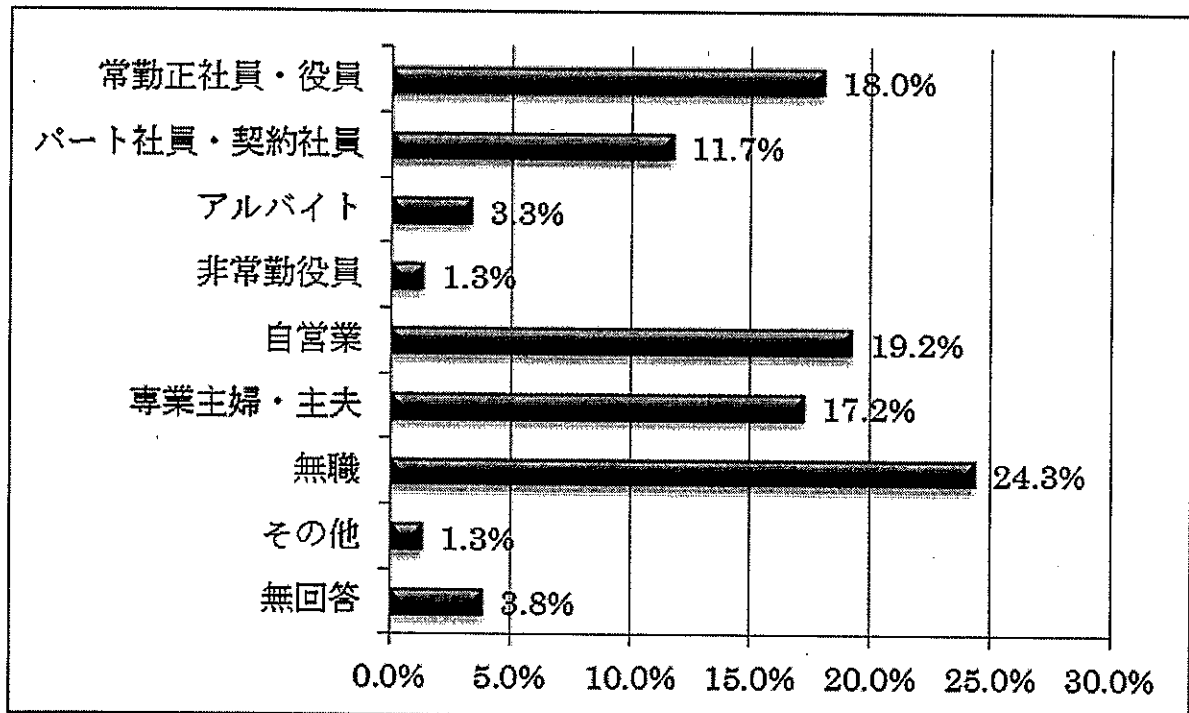
図3 年齢 (回答者 239人)



問4 職業をお答えください。(1つに○)

「無職(24.3%)」が最も多く、次いで「自営業(19.2%)」、「常勤社員・役員(18.0%)」の順となっている。

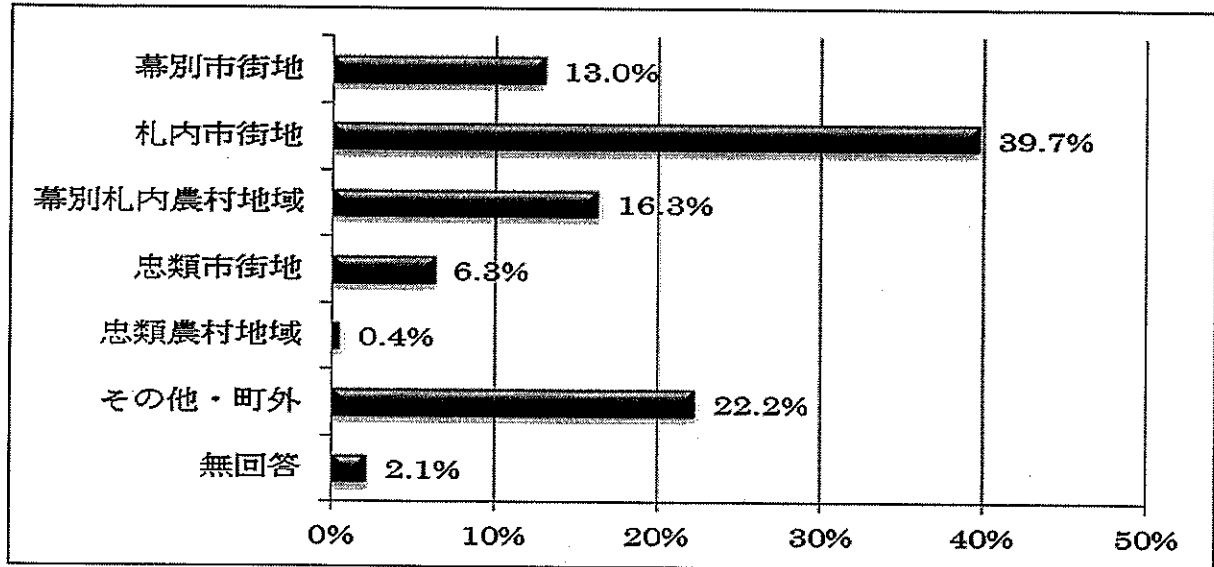
図4 職業 (回答者 239人)



問5 あなたがお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「札幌市街地(39.7%)」が最も多く、次いで「その他・町外(22.2%)」、「幕別札幌農村地域(16.3%)」の順となっている。

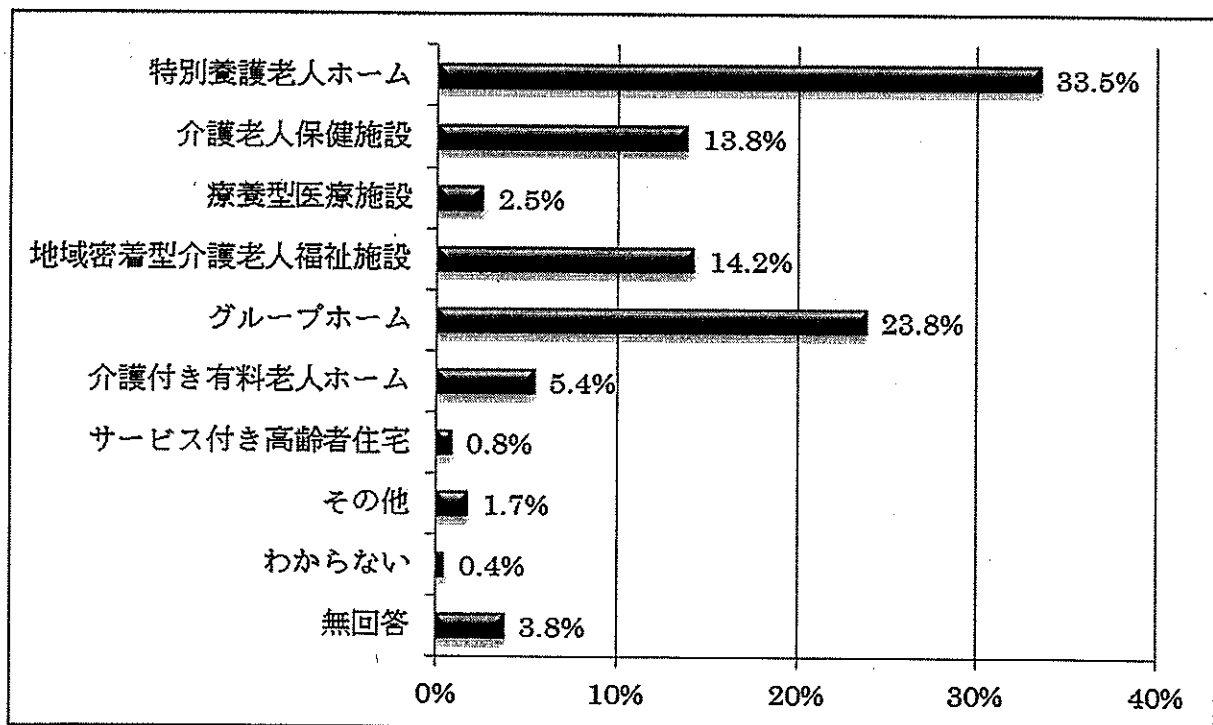
図5 居住地(回答者 239 人)



問6 現在、入居している施設の種別をお答えください。(1つに○)

「特別養護老人ホーム(33.5%)」が最も多く、次いで「グループホーム(23.8%)」、「地域密着型介護老人福祉施設(14.2%)」の順となっている。

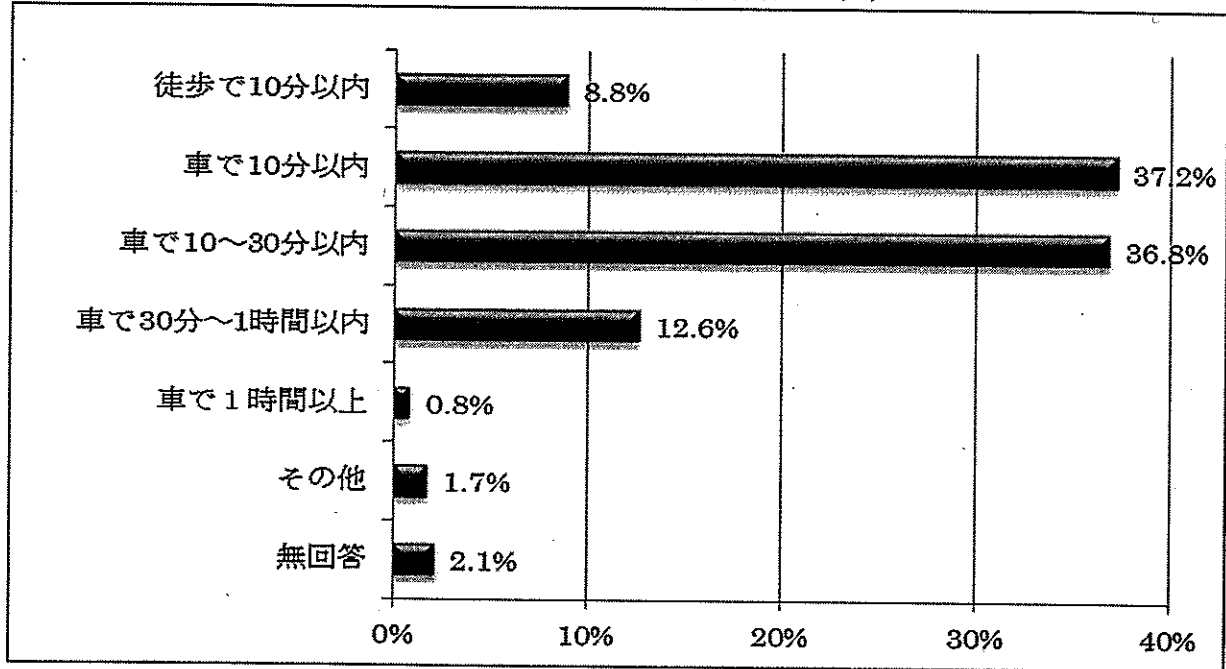
図6 入居施設の種別(回答者 239 人)



問7 介護施設までの距離はどのくらいですか。(1つに○)

「車で10分以内(37.2%)」が最も多く、約8割の方が介護施設まで車で30分以内の距離となっている。

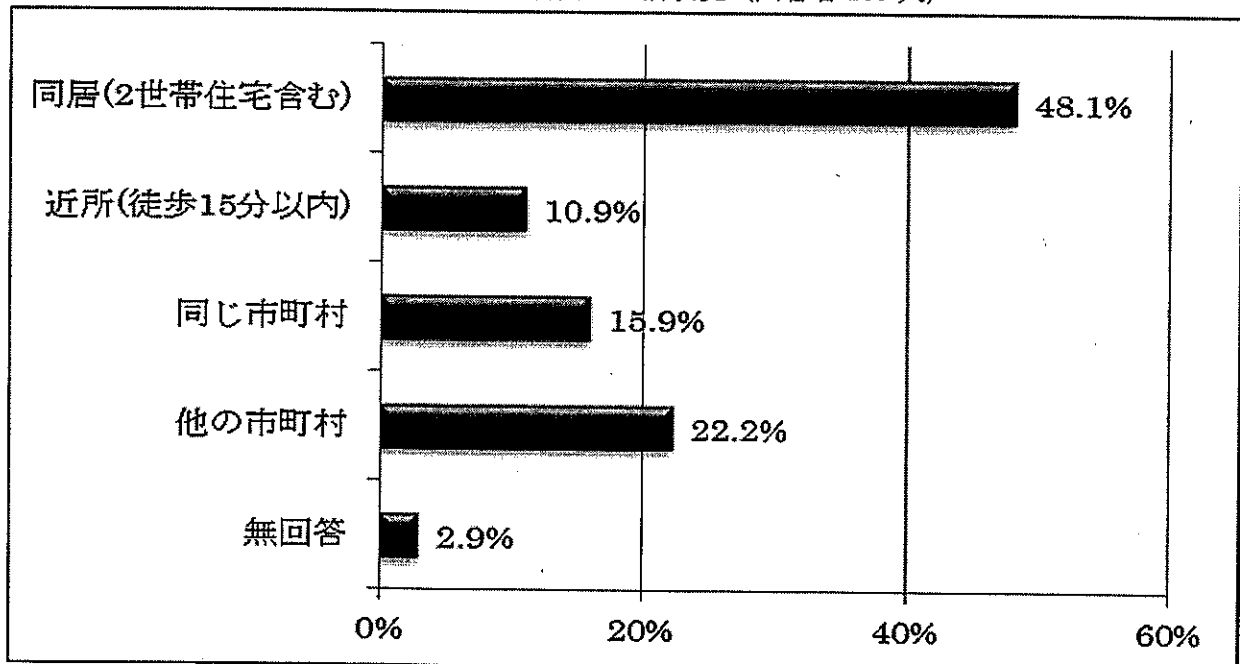
図7 介護施設までの距離 (回答者 239人)



問8 介護施設に入居する前の生活状況をお答えください。(1つに○)

「同居(2世帯住宅含む)(48.1%)」と約5割の方が同居となっている。

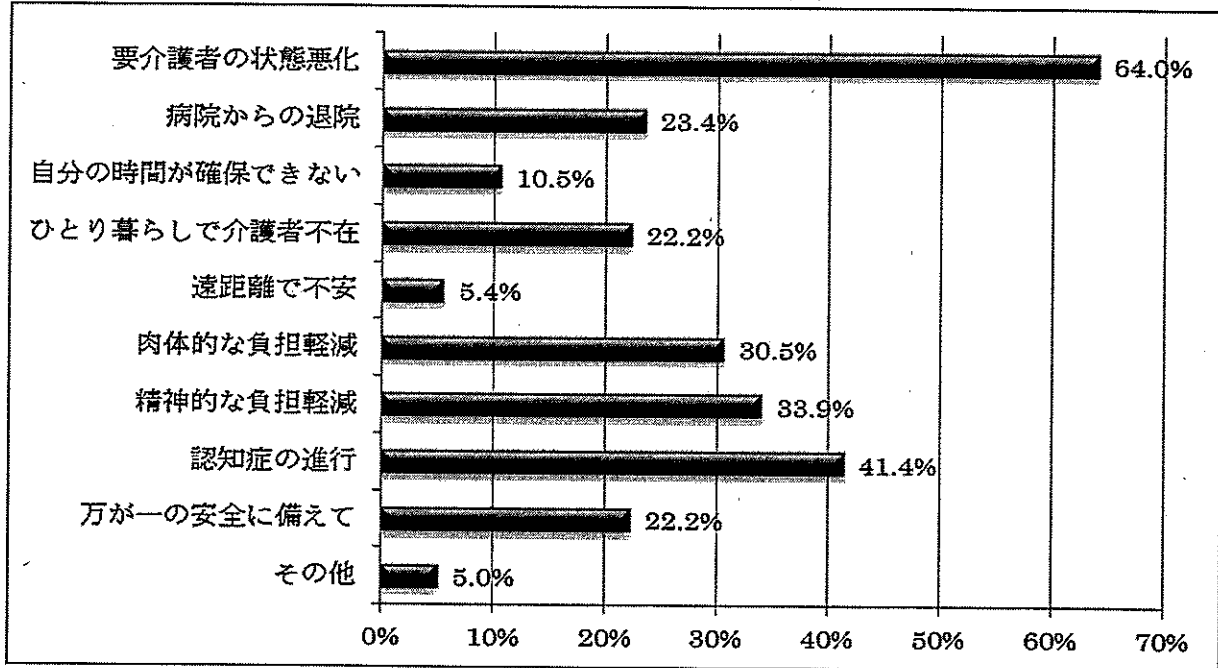
図8 施設入居前の生活状況 (回答者 239人)



問9 施設での介護を選択した理由についてお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「要介護者の状態悪化(64.0%)」が最も多く、次いで「認知症の進行(41.4%)」、「精神的な負担軽減(33.9%)」となっている。その他として、「介護する人がいない」や「同居者も認知症になったため」などの意見があった。

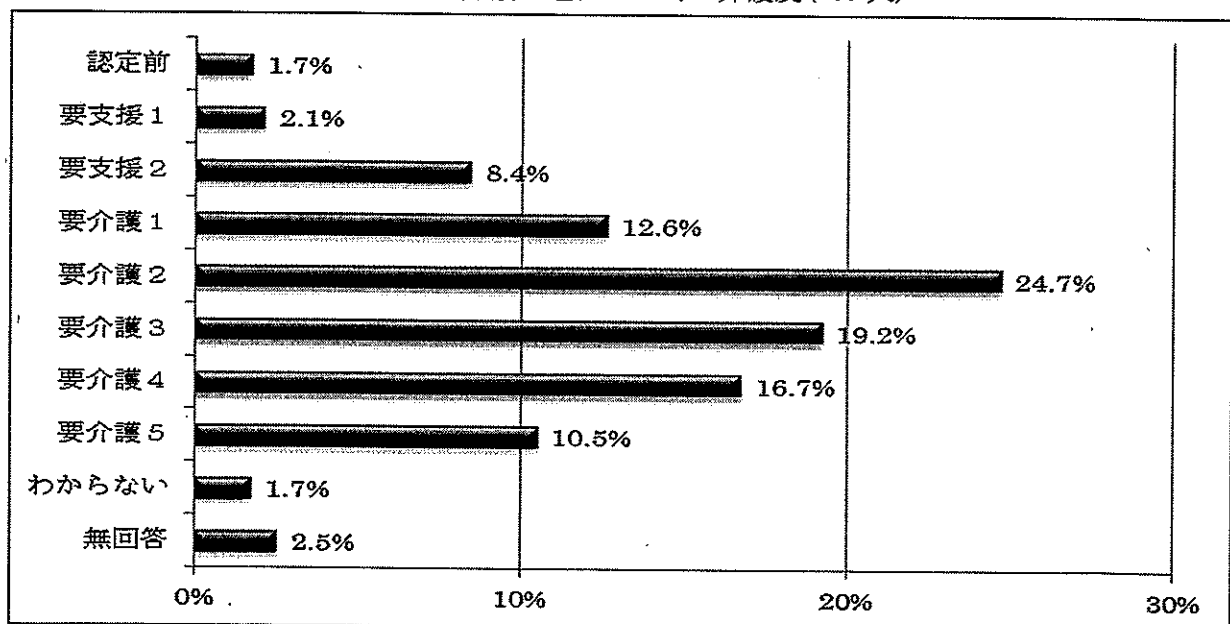
図9 施設介護を選択した理由(239人)



問10 施設での介護を決めた時の介護度はいくつですか。(1つに○)

「要介護2(24.7%)」が最も多く、次いで「要介護3(19.2%)」の順となっている。

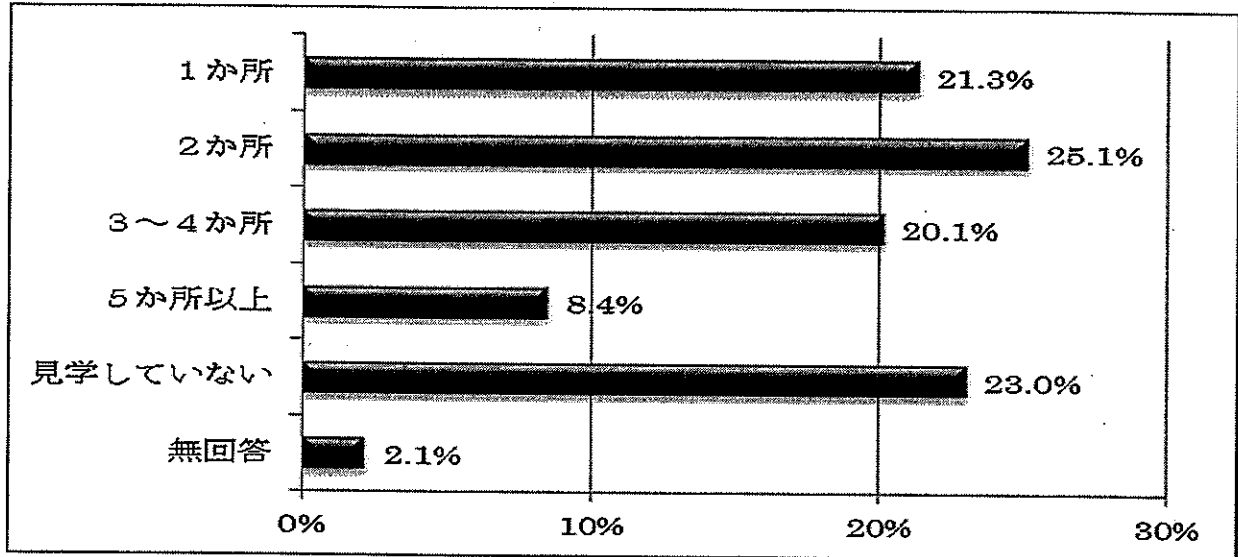
図10 施設介護を選択した時の介護度(239人)



問 11 介護施設に入居する前の施設を何か所見学しましたか。(1つに○)

「2か所(25.1%)」が最も多く、次いで「見学していない(23.0%)」、「1か所(21.3%)」の順となっている。

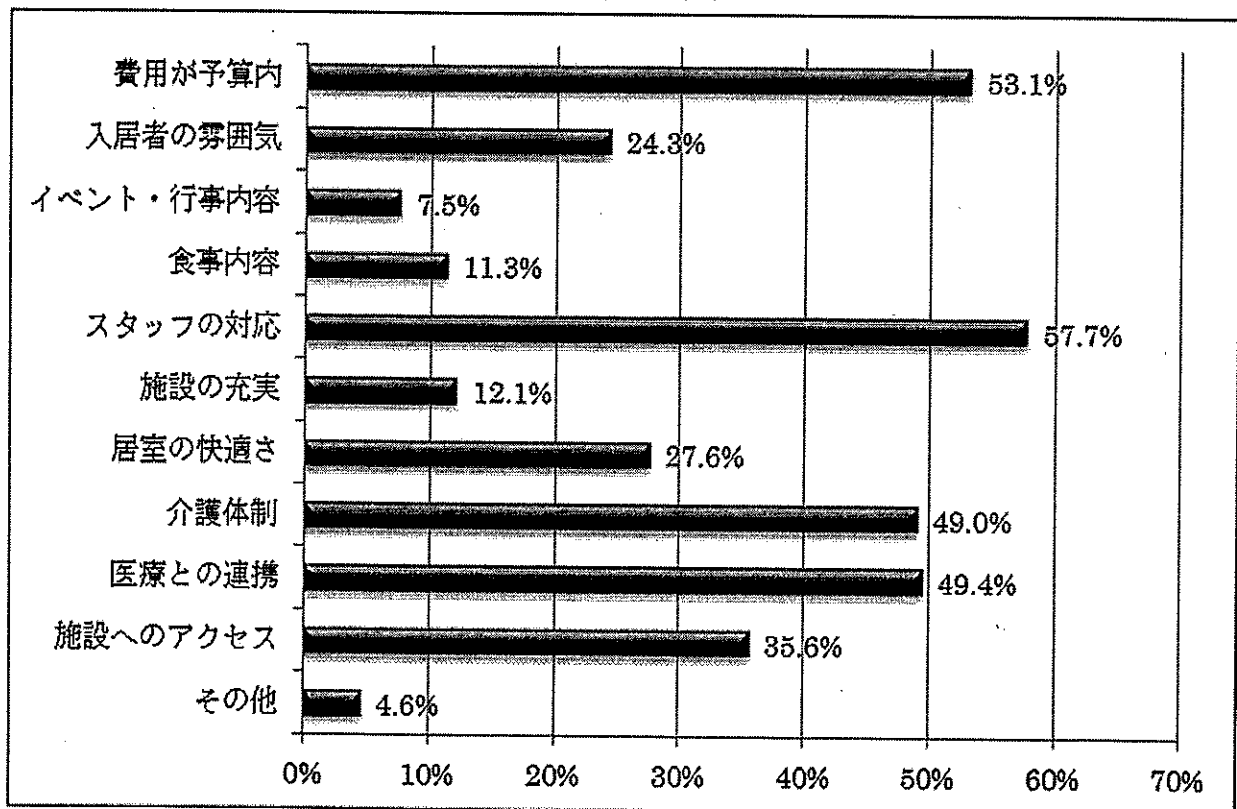
図 11 施設見学(239 人)



問 12 介護施設を選択する際の基準は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「スタッフの対応(57.7%)」が最も多く、次いで「費用が予算内(53.1%)」、「医療との連携(49.4%)」の順となっている。

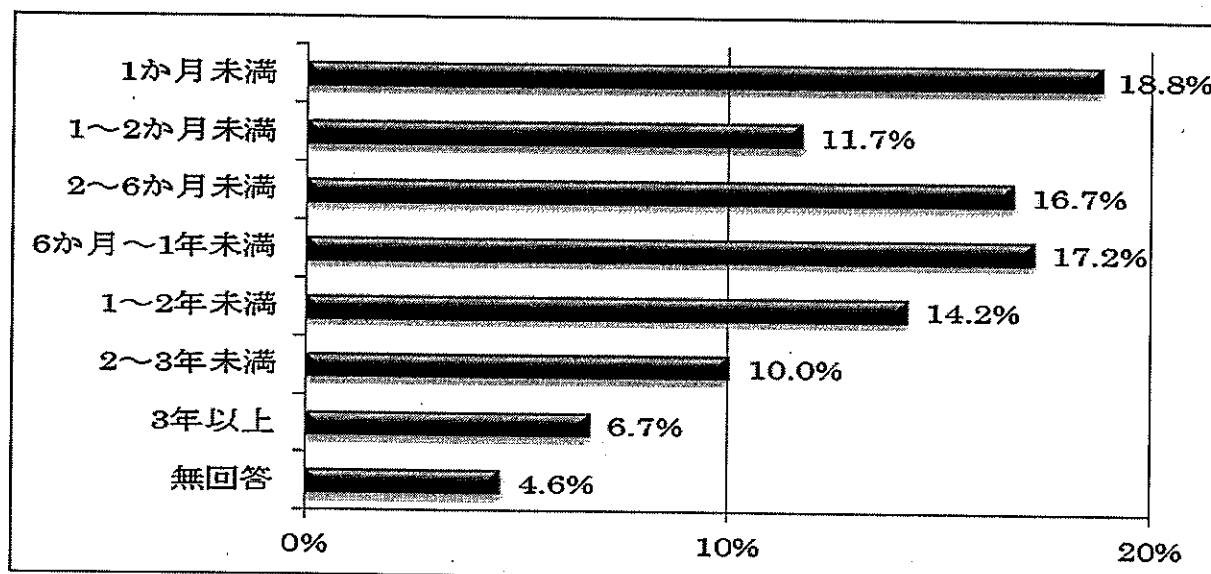
図 12 選択基準(239 人)



問 13 入居までに要した期間はどのくらいですか。(1つに○)

「1か月未満(18.8%)」が最も多く、次いで「6か月～1年未満(17.2%)」、「2～6か月未満(16.7%)」の順となっている。

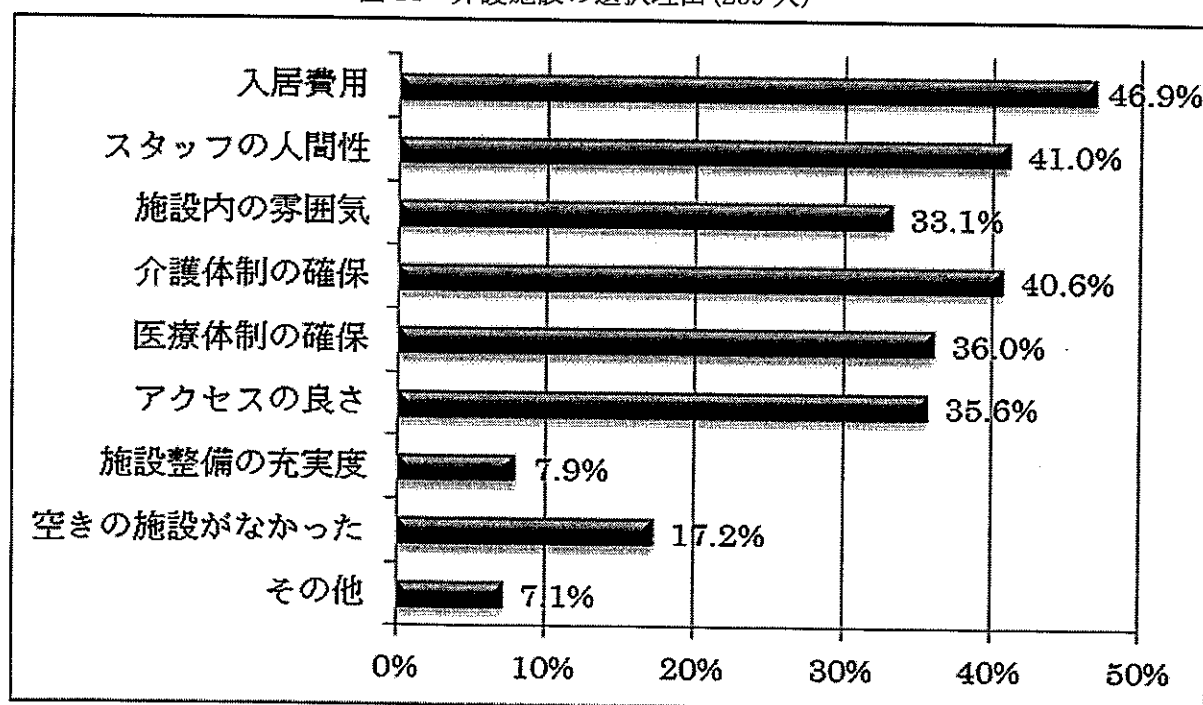
図 13 入居までに要した期間(239人)



問 14 入居する施設を決めた理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「入居費用(46.9%)」が最も多く、次いで「スタッフの人間性(41.0%)」、「介護体制の確保(40.6%)」の順となっている。その他として「短期で利用するなど馴染んでいた」などの意見があった。

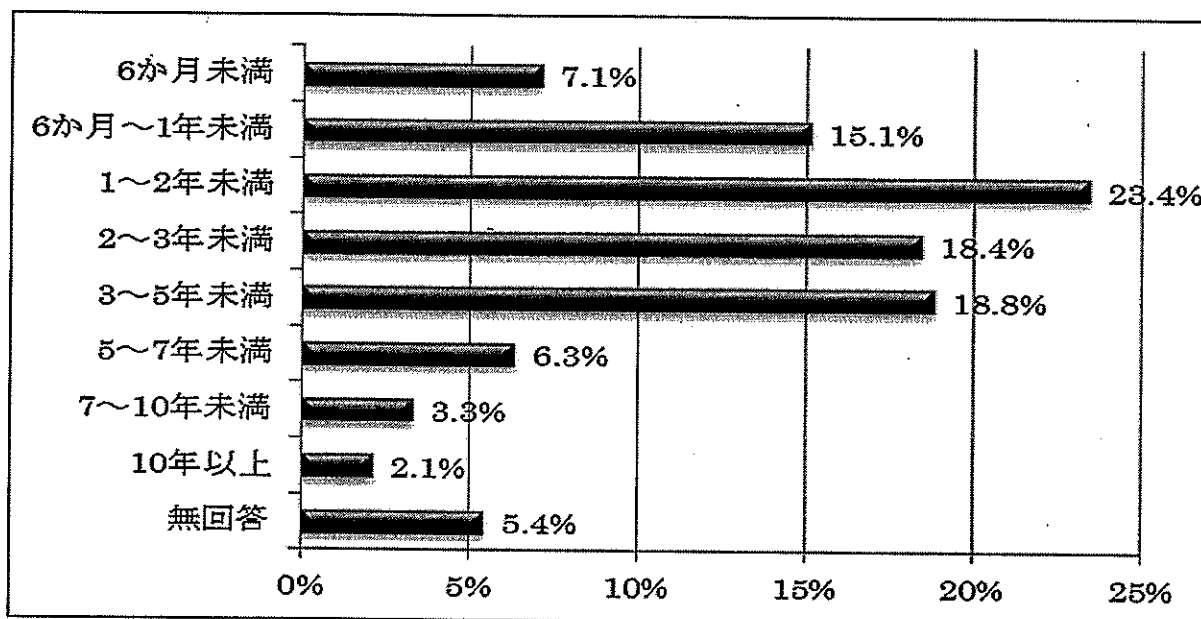
図 14 介護施設の選択理由(239人)



問 15 現在の施設の入居期間はどのくらいですか。(1つに○)

「1～2 年未満(23.4%)」が最も多く、次いで「3～5 年未満(18.8%)」、「2～3 年未満(18.4%)」の順となっている。

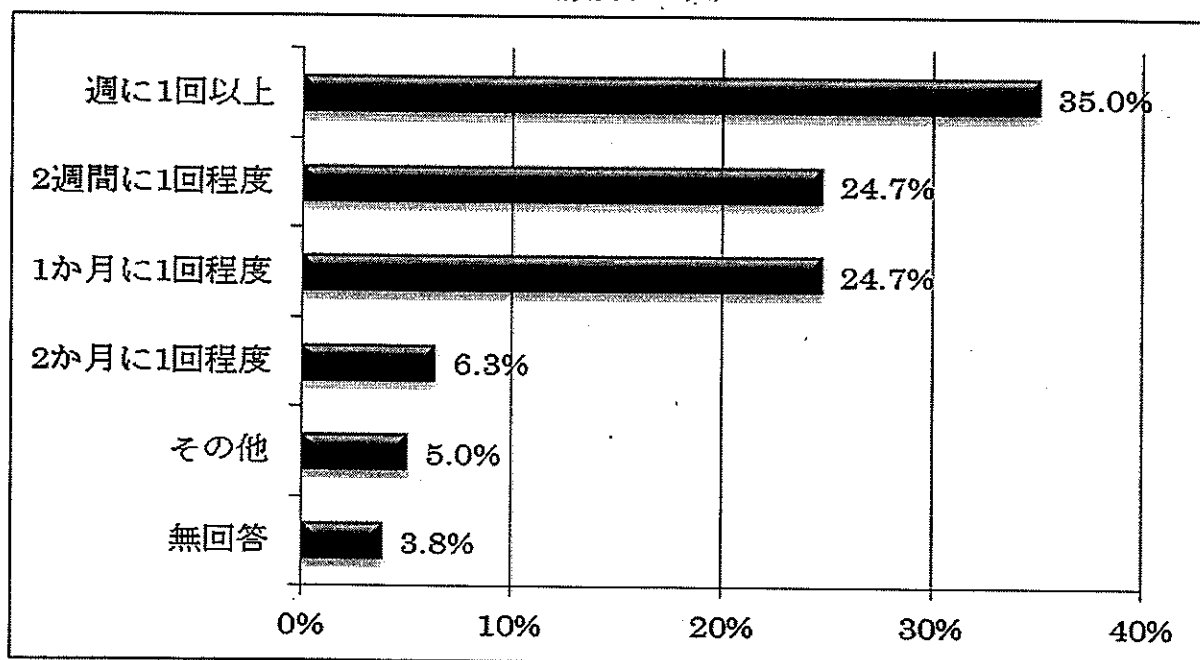
図 15 入居期間(239 人)



問 16 入居者との面会の頻度はどのくらいですか。(1つに○)

「週に1回以上(35.0%)」が最も多く、概ね8割以上の方が1月に1以上介護施設を訪問している。

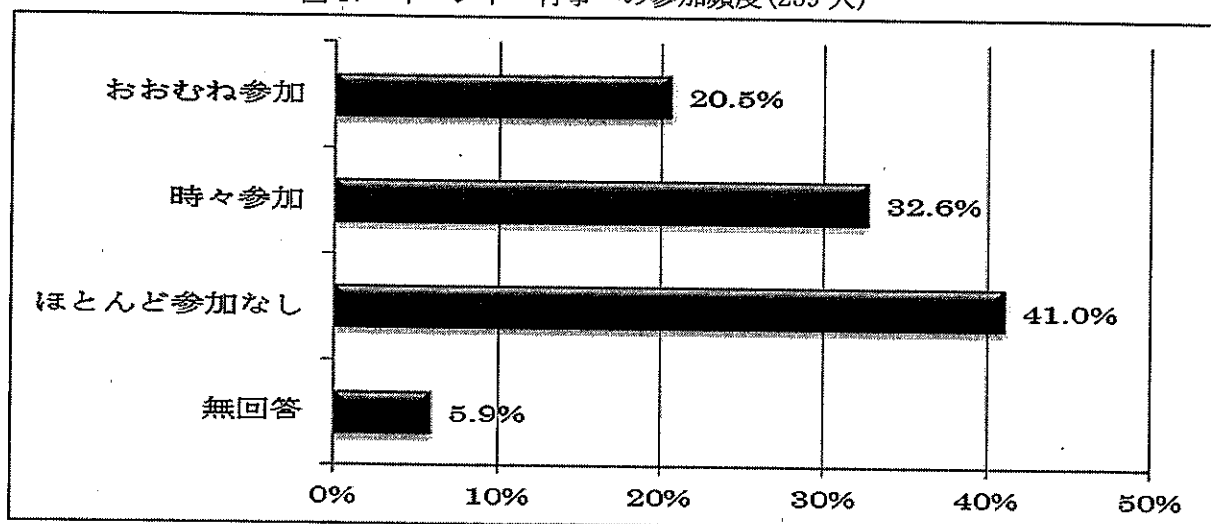
図 16 面会頻度(239 人)



問 17 施設でのイベントや行事への参加頻度はどのくらいですか。(1つに○)

「ほとんどなし(41.0%)」が最も多く、次いで「時々参加(32.6%)」の順となっている。

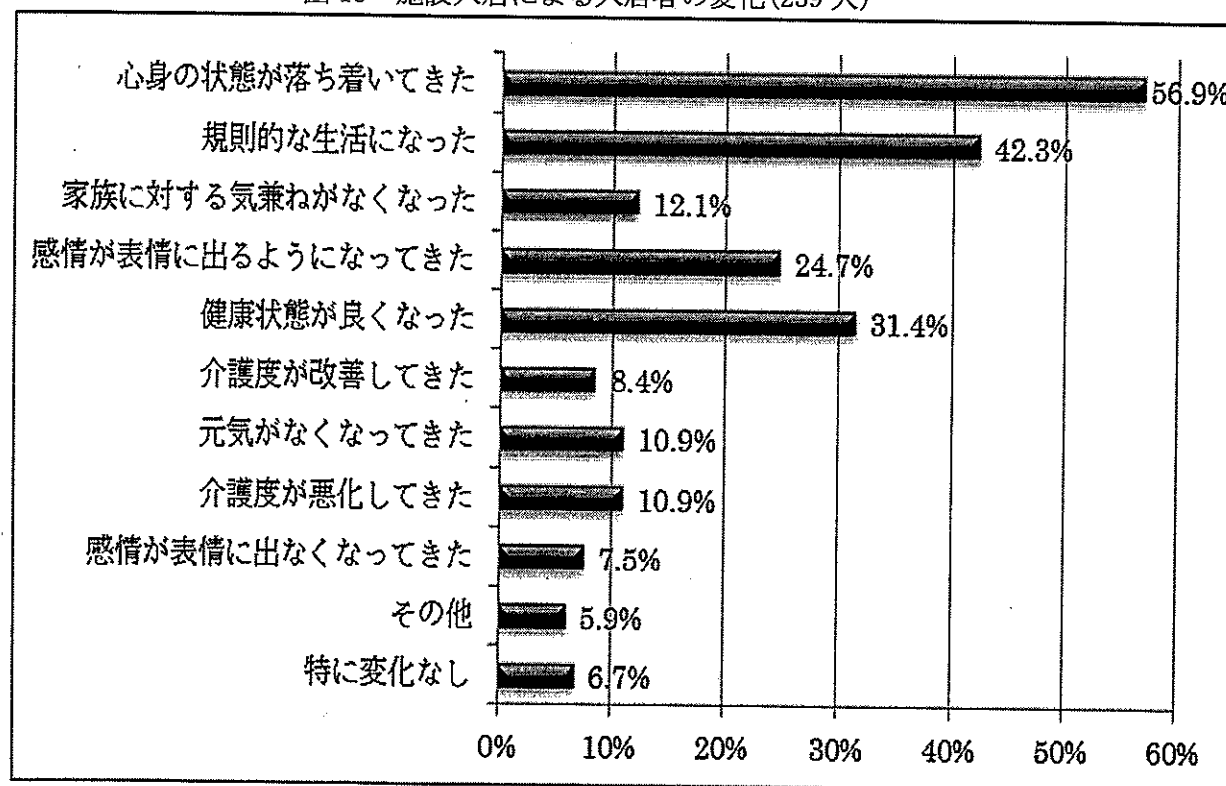
図 17 イベント・行事への参加頻度(239人)



問 18 介護施設への入居により、入居者の心身や生活にどのような変化がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

「心身の状態が落ち着いてきた(56.9%)」が最も多く、次いで「規則的な生活になった(42.3%)」、「健康状態が良くなった(31.4%)」の順となっている。

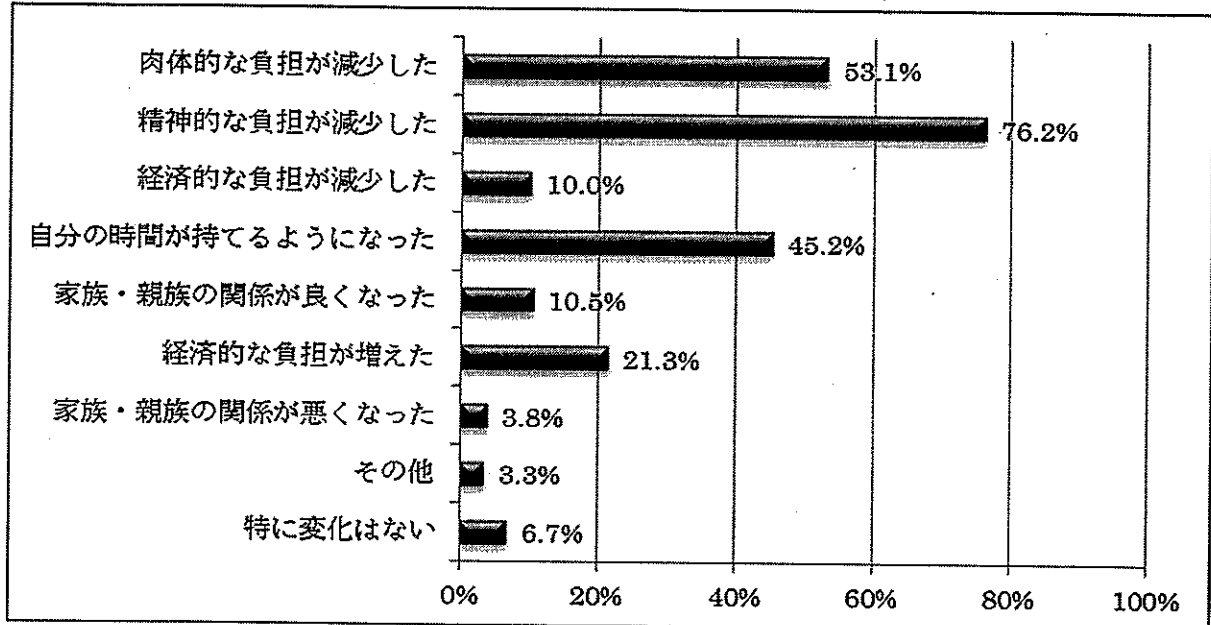
図 18 施設入居による入居者の変化(239人)



問 19 施設への入居により、介護者の生活にどのような変化がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

「精神的な負担が減少した(76.2%)」が最も多く、次いで「肉体的な負担が減少した(53.1%)」、「自分の時間が持てるようになった(45.2%)」の順となっている。

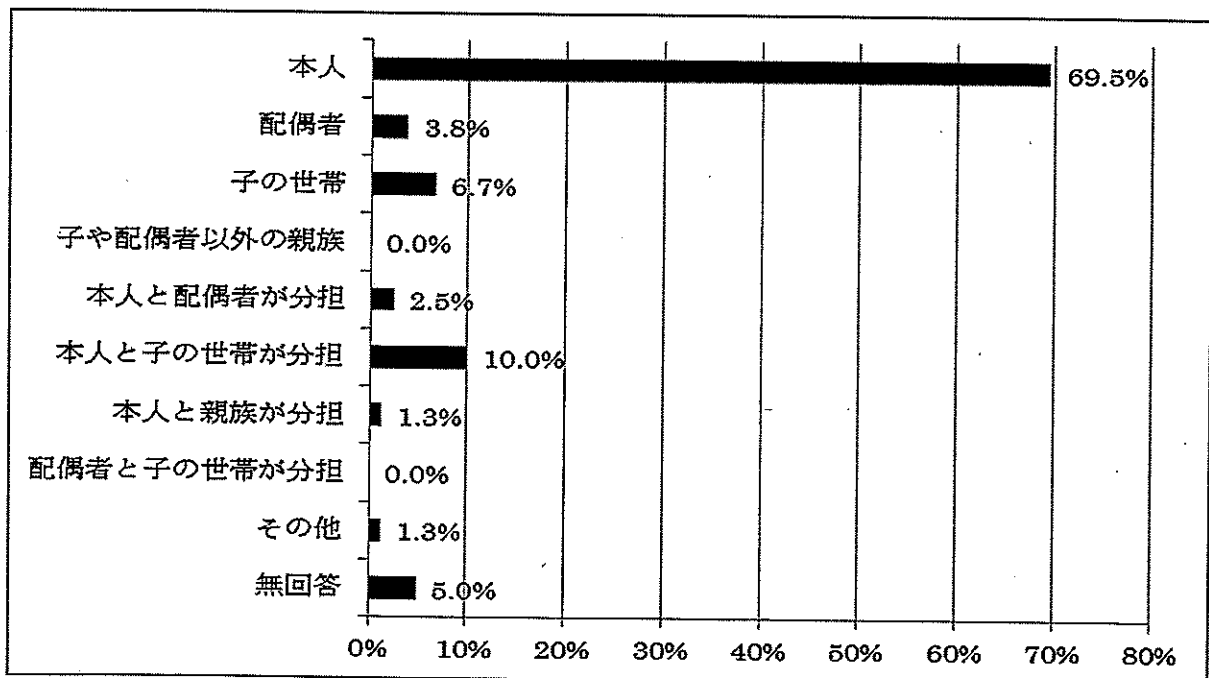
図 19 施設入居による介護者の変化(239 人)



問 20 介護費用を負担している方はどなたですか。(1つに○)

「本人(69.5%)」が最も多く、7割が入居者本人の収入で介護費用を負担している。

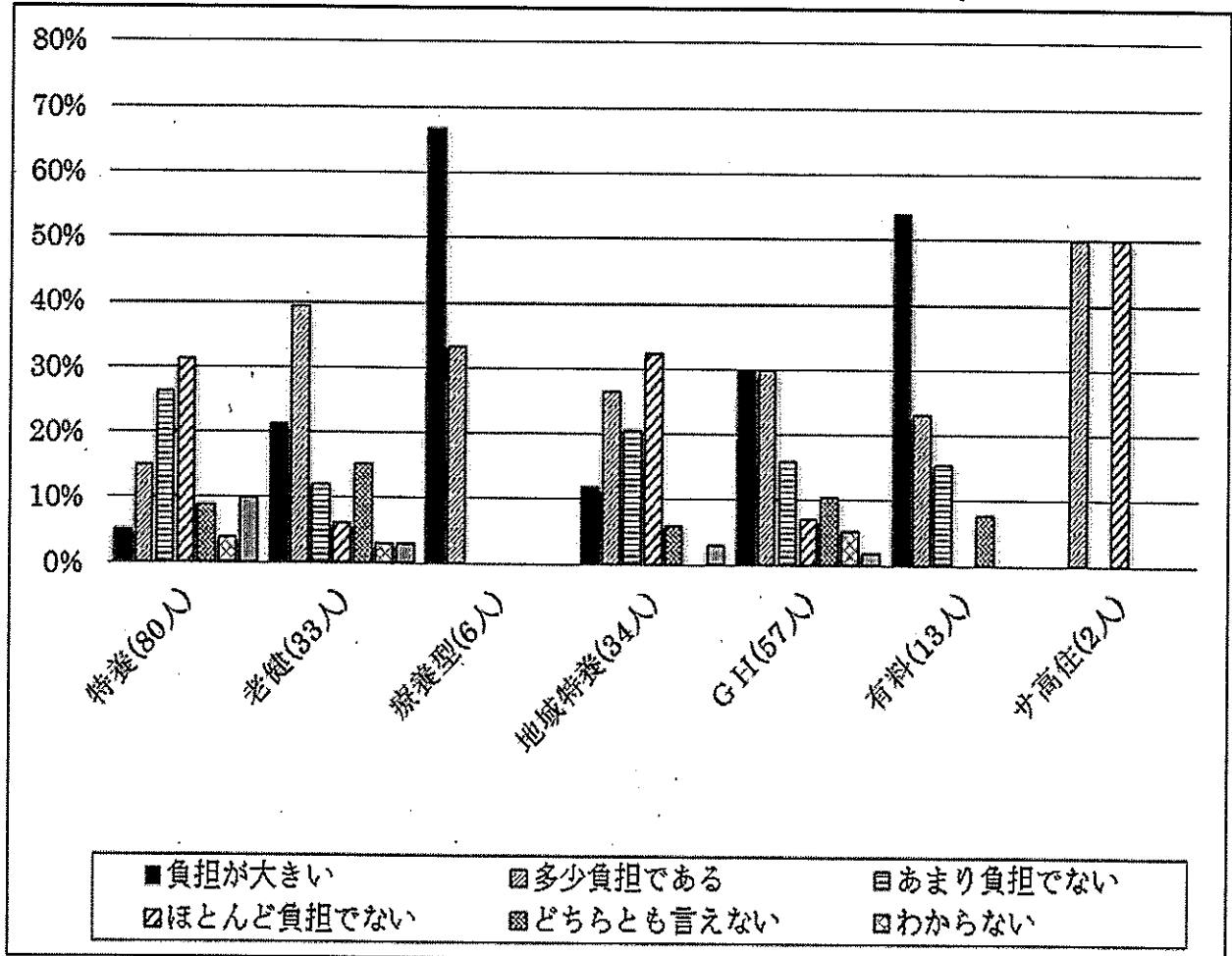
図 20 費用の負担者(239 人)



問 21 施設の入居費用に関してどのように感じていますか（施設別）。（1つに○）

特養と地域密着型特養では「ほとんど負担でない（特養：31.3%、地域密着型特養：32.4%）」が最も多くなっているが、老健やグループホームでは「多少負担である」と、有料老人ホームでは「負担である（53.8%）」と感じている人が多くなっている。

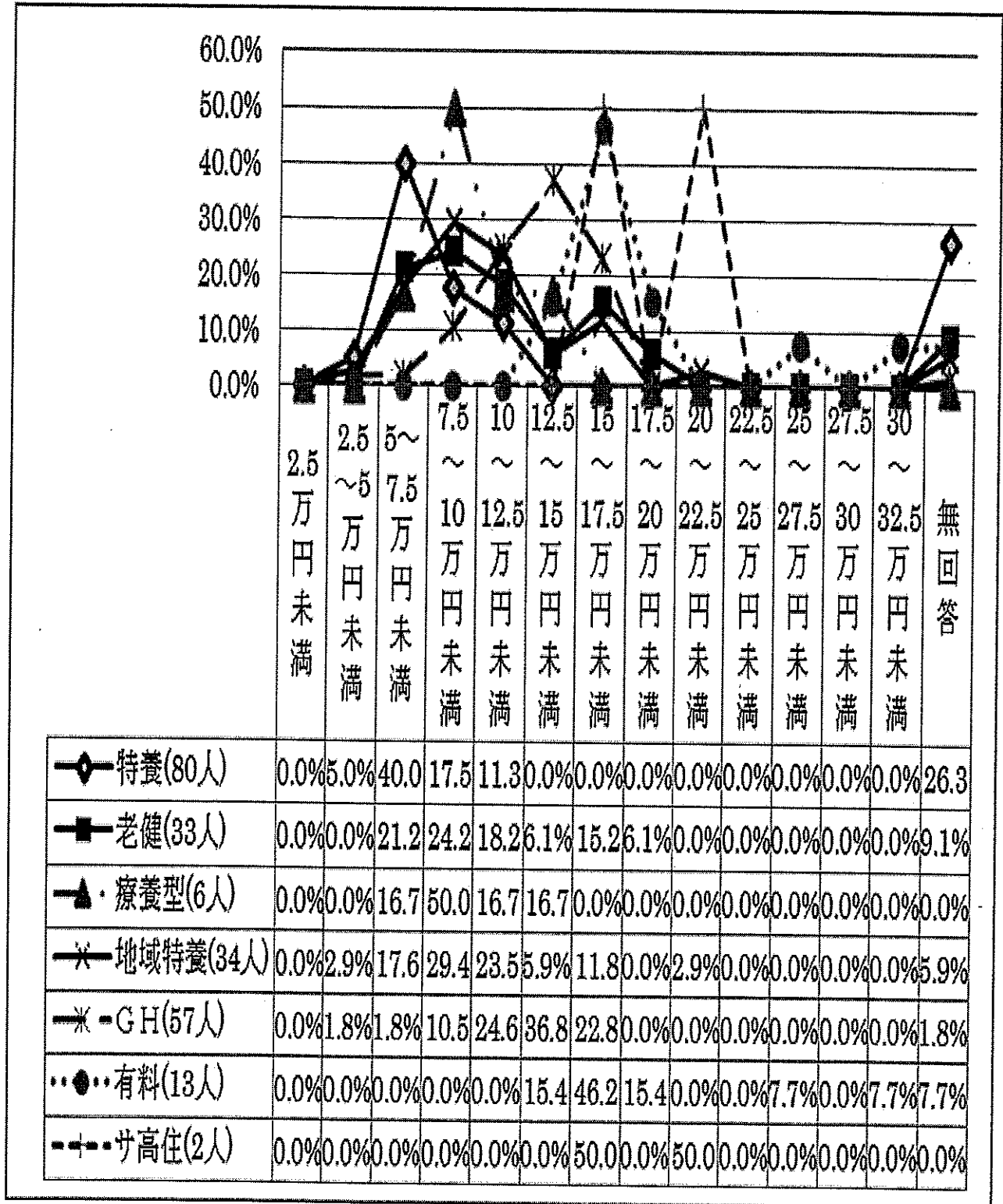
図 21 入居費用に対する負担（239 人）



問 22 1 か月にどのくらいの費用がかかりますか (施設別)。(1 つに○)

1 か月に要する費用は、特養は「5～12.5 万円」、老健と地域密着型特養は「5～17.5 万円」、GH が「7.5～17.5 万円」、介護付き有料老人ホームが「12.5～20 万円」となっている。

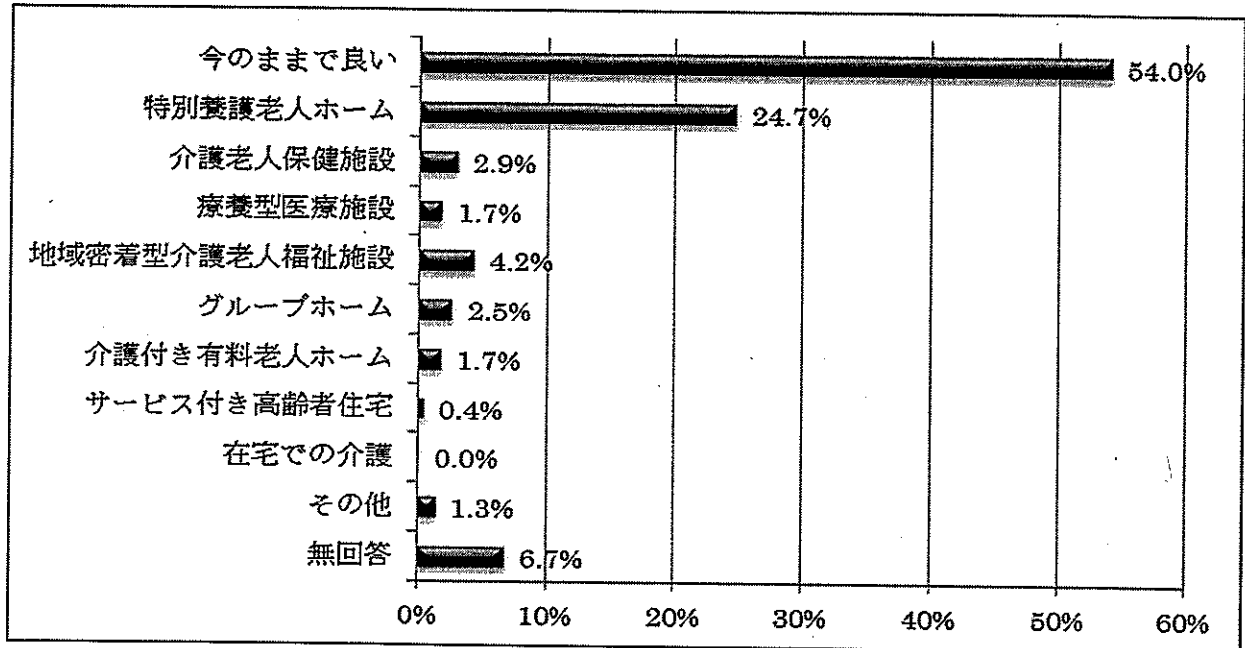
図 22 1 か月に要する費用 (239 人)



問 23 今後、入所を希望する施設の種類の種類はなんですか。(1つに○)

「今のままで良い(54.0%)」が最も多く、次いで「特別養護老人ホーム(24.7%)」の順となっている。

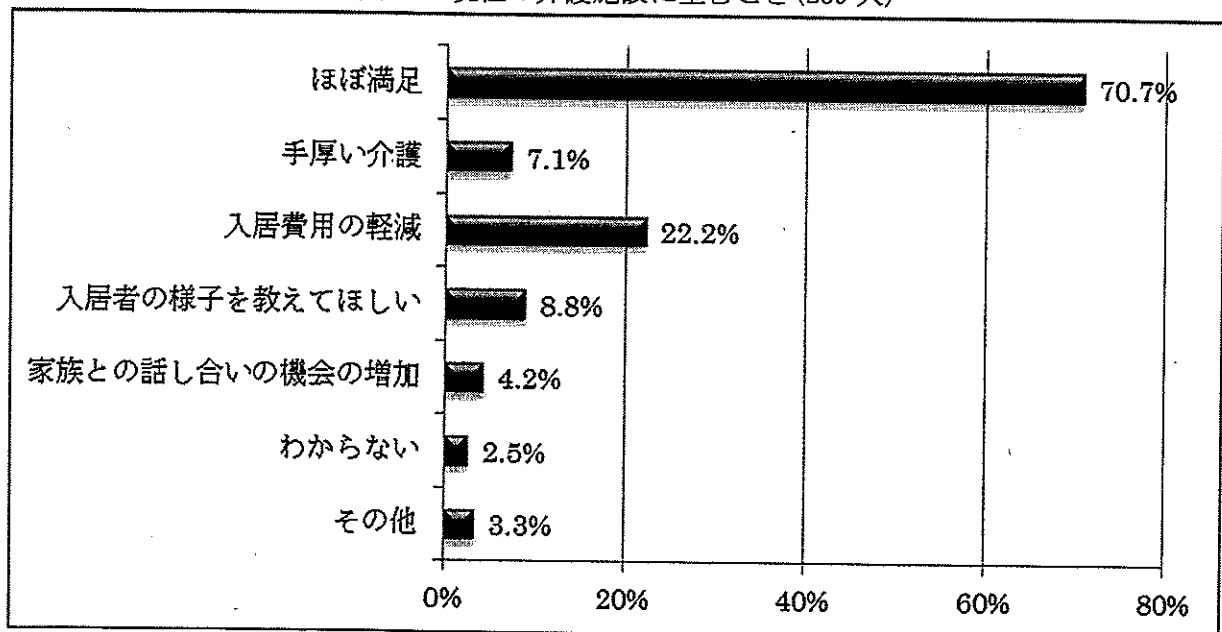
図 23 入居を希望する施設(239 人)



問 24 現在の介護施設に望むことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

7割の方が「ほぼ満足(70.7%)」となっており、次いで「入居費用の軽減(22.2%)」の順となっている。その他として「リハビリ・話しかけ」や「入居者とのふれあい」を増やしてほしいとの意見が複数あった。

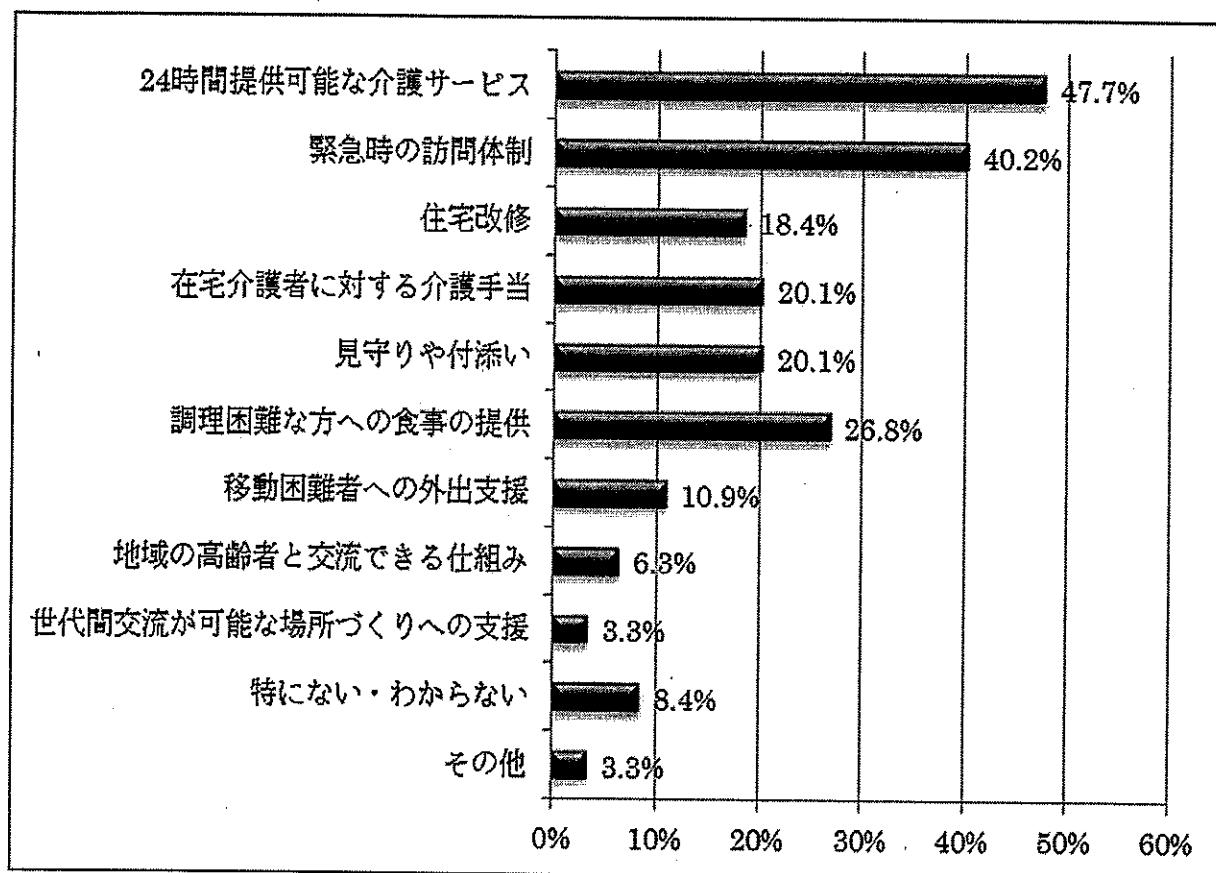
図 24 現在の介護施設に望むこと(239 人)



問 25 在宅での介護を行うとしたら必要な支援は何ですか。(3つ以内に○)

「24 時間提供可能な介護サービス(47.7%)」が最も多く、次いで「緊急時の訪問体制(40.2%)」、「調理困難な方への食事の提供(26.8%)」の順となっている。

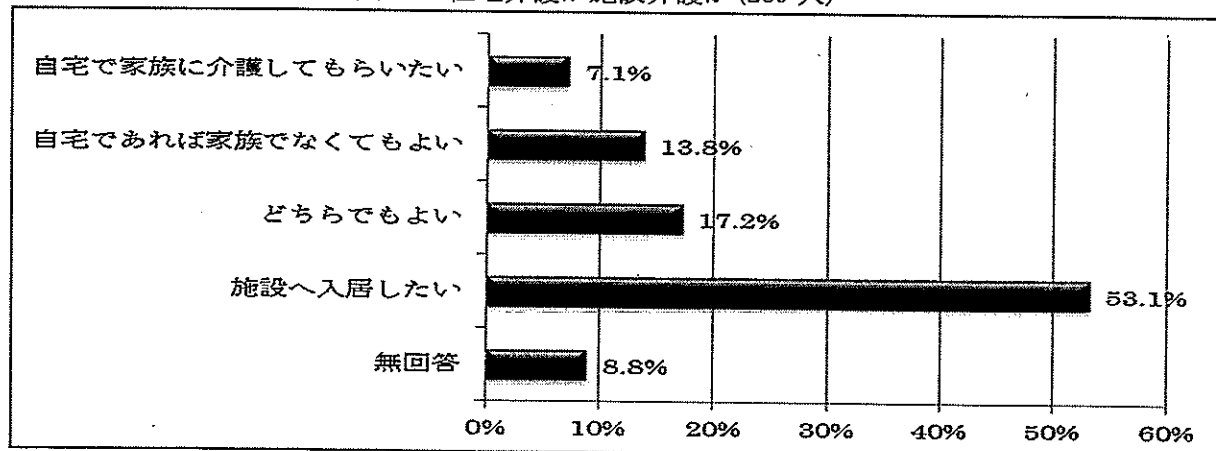
図 25 在宅介護のために必要な支援(239 人)



問 26 もし自分に介護が必要になったら在宅か施設どちらを希望しますか。(1つに○)

「施設へ入居したい(53.1%)」が最も多くなっている。

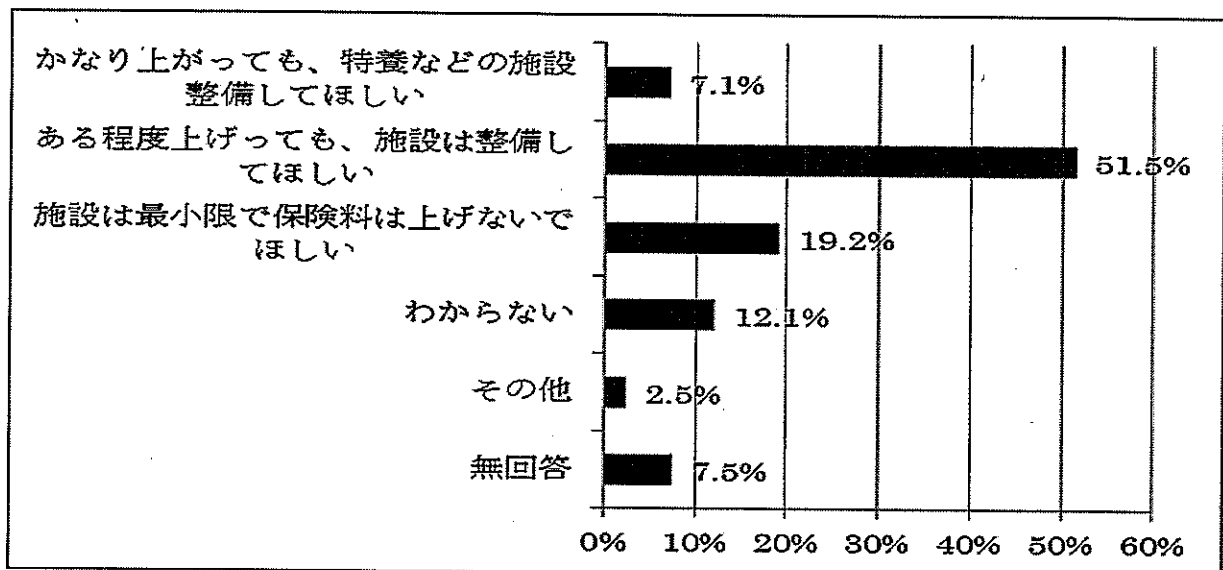
図 26 在宅介護か施設介護か(239 人)



問 27 施設整備が進むことで介護保険料が上がりますが、どのように感じますか。(1つに○)

「介護保険料はある程度上がっても良いので、ある程度の施設はつくってほしい(51.5%)」が最も多くなっている。その他として、「施設を整備しても介護する人材が不足」といった意見があった。

図 27 施設整備と介護保険料の在り方(239 人)



～自由意見・要望～

自由意見は 50 件で、回答数の 20.9%となっています。主な内容は以下のとおりです。

●人材の確保・質の向上に関すること

- ・人材の確保・育成に力を入れ、スタッフを増やす努力と賃金の向上が必要。中学・高校時にボランティアや課外授業などでの経験で高齢者への理解を深めるといいと思う。
- ・施設で働く人の出入りが多いのは、労働に見合った給与や待遇がなされていないのも一因。職員の質の向上と待遇の改善が行われてほしい。
- ・今の施設は良く見てくれるが、スタッフが少なく、スタッフの人数が増えることを望む。
- ・職員の質の向上を図ってもらいたい。
- ・介護者に対する介護士の配置基準を変え、介護士の人数が増えれば余裕も生まれる。町独自の補助などつけて人員を増やすことはできないだろうか。
- ・介護老人保健施設に入居しているが、認知と身体の動きが悪化し、ベッドに横たわっており、リハビリなんか全くやってもらっているのを見たことがない。何か聞こうと思っても人が少なく忙しそうなので頼むことができない。
- ・介護福祉士として資格があっても実践が伴わないと介護を受ける側としては満足できない。細かなところまでゆき届いた対応を望む。・今の施設ではよく見ていただいているのですが、スタッフが少なく、例えば外気浴とか少しでもリハビリになることを望むが無理なのが理解できるので、スタッフの人数が増えることを望む。

●施設運営

- ・GHですがみんなで遊ぶ場所が欲しい。今は食堂らしきところでテーブルに寄りかかっているだけ。会話もなくテレビは映しているだけで楽しくなさそうでちょっとした趣味のある方もいるでしょうから、小手先の遊び道具なり、ストレッチの部屋があってもいいと思う。
- ・GH入居時は介護1でしたが、1年も経たず介護5になり、GHの対応に不信感を抱いている。GHの指導はどうなっているのでしょうか。
- ・施設によってはあまり評判のよくない話も耳にするので、お世話してくれる方の教育も必要だと思う。

●情報・相談体制

- ・家族と病院と介護施設との間で揉めることなく、スムーズに相談できる体制にしてほしい。

●低所得者が入居可能な施設の整備

- ・国民年金の人が入所できる施設を増やしてほしい。GHやサ高住、特定施設では高額となり入所できないケースが多くある。
- ・特養の施設が少ない、介護者の年齢も考えてほしい。
- ・現時点では施設に希望しても入れなかったり、金額が高くてはいることができないことが多い。
- ・特養が少なく、入居を希望しても待機時間が長く現状に即していない。将来、認知症介護者が増えることが予想されているが、行政として即対応できる施設増を希望する。

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査報告書

平成26年12月

編集・発行 〒089-0611 幕別町新町122番地1

幕別町保健福祉センター内

幕別町民生部保健課

TEL 0155-54-3811

FAX 0155-54-3839
